R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)

意匠

図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称	図番	図面名称
A－00	タイトル・図面リスト	A－30	(共通)既存３階全体天井伏図	A－60	(管理棟)展開図(4)	A－90	(共同利用施設)石綿除去工事（煙突）1
A－01	建築改修工事特記仕様書（その１）	A－31	(共通)改修後１階全体天井伏図	A－61	(管理棟)展開図(5)	A－91	(共同利用施設)石綿除去工事（煙突）2
A－02	建築改修工事特記仕様書（その２）	A－32	(共通)改修後２階全体天井伏図	A－62	(管理棟)部分詳細図	A－92	(内待合ホール)仕上表
A－03	建築改修工事特記仕様書（その３）	A－33	(共通)改修後３階全体天井伏図	A－63	(管理棟)外壁調査図	A－93	(内待合ホール)既存1階・屋根平面図
A－04	建築改修工事特記仕様書（その４）	A－34	(共通)既存１階建具全体平面図	A－64	(管理棟)外壁調査数量表	A－94	(内待合ホール)改修後1階・屋根平面図
A－05	建築改修工事特記仕様書（その５）	A－35	(共通)既存２階建具全体平面図	A－65	(管理棟)耐震スリット詳細図	A－95	(内待合ホール)立面図・断面図
A－06	建築改修工事特記仕様書（その６）	A－36	(共通)既存３階建具全体平面図	A－66	(共同利用施設)仕上表(1)	A－96	(内待合ホール)矩計図・断面詳細図
A－07	建築改修工事特記仕様書（その７）	A－37	(共通)既存建具表（管理棟）	A－67	(共同利用施設)仕上表(2)	A－97	(内待合ホール)展開図(1)
A－08	建築改修工事特記仕様書（その８）	A－38	(共通)既存建具表（共同利用施設①）	A－68	(共同利用施設)既存1・2階平面図	A－98	(内待合ホール)展開図(2)
A－09	建築改修工事特記仕様書（その９）	A－39	(共通)既存建具表（共同利用施設②）	A－69	(共同利用施設)改修後1・2階平面図	A－99	(内待合ホール)展開図(3)
A－10	外壁改修工事仕様書	A－40	(共通)既存建具表（内待合ホール）	A－70	(共同利用施設)既存・改修後　屋根平面図	A－100	(内待合ホール)部分詳細図
A－11	(共通)設計概要・案内図・仕上表凡例	A－41	(共通)法チェック表①	A－71	(共同利用施設)既存立面図・解体範囲図		
A－12	(共通)配置図	A－42	(共通)法チェック表②	A－72	(共同利用施設)既存矩計図・断面詳細図		
A－13	(共通)工区別延床面積求積図	A－43	(共通)改修後１階建具全体平面図	A－73	(共同利用施設)改修後矩計図・断面詳細図		
A－14	(共通)既存　１階全体平面図	A－44	(共通)改修後２階建具全体平面図	A－74	(共同利用施設)改修後平面詳細図		
A－15	(共通)既存　２階全体平面図	A－45	(共通)改修後３階建具全体平面図	A－75	(共同利用施設)既存展開図（1）		
A－16	(共通)既存　３階全体平面図	A－46	(共通)改修建具表（管理棟）	A－76	(共同利用施設)既存展開図（2）		
A－17	(共通)既存　Ｒ１，２階全体平面図	A－47	(共通)改修建具表（共同利用施設）	A－77	(共同利用施設)改修後展開図（1）		
A－18	(共通)改修後　１階全体平面図	A－48	(共通)改修建具表（内待合ホール）	A－78	(共同利用施設)改修後展開図（2）		
A－19	(共通)改修後　２階全体平面図	A－49	(共通)サインプロット図	A－79	(共同利用施設)改修後展開図（3）		
A－20	(共通)改修後　３階全体平面図	A－50	(共通)サイン図-1	A－80	(共同利用施設)部分詳細図（1）		
A－21	(共通)改修後　Ｒ１,２階全体平面図	A－51	(共通)サイン図-2	A－81	(共同利用施設)部分詳細図（2）		
A－22	(共通)工事範囲仕上表①	A－52	(管理棟)仕上表	A－82	(共同利用施設)部分詳細図（3）		
A－23	(共通)工事範囲仕上表②	A－53	(管理棟)既存1・2階平面図	A－83	(共同利用施設)部分詳細図（4）		
A－24	(共通)改修後　南側立面図	A－54	(管理棟)改修後1・2階平面図	A－84	(共同利用施設)外壁調査図(1)		
A－25	(共通)改修後　東側立面図	A－55	(管理棟)既存　改修後　R階平面図	A－85	(共同利用施設)外壁調査図(2)		
A－26	(共通)改修後　北側立面図	A－56	(管理棟)矩計図	A－86	(共同利用施設)外壁調査数量表		
A－27	(共通)改修後　西側立面図	A－57	(管理棟)展開図(1)	A－87	(共同利用施設)鉄骨ﾌﾞﾚｰｽ補強詳細図1		
A－28	(共通)既存１階全体天井伏図	A－58	(管理棟)展開図(2)	A－88	(共同利用施設)鉄骨ﾌﾞﾚｰｽ補強詳細図2 耐震ｽﾘｯﾄ詳細図		
A－29	(共通)既存２階全体天井伏図	A－59	(管理棟)展開図(3)	A－89	(共同利用施設)石綿除去工事(煙突) 特記仕様書		

着工	・　・	
竣工	・　・	
監理		
施工		

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	R7 ・ 2 ・	工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)　設計図
縮尺	NO.SCALE	図面名称	タイトル・図面リスト
図面番号	A-00		

建築改修工事特記仕様書

1．共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」(以下、「改修標準仕様書」という。)により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」(以下、「標準仕様書」という。)による。
2．改修標準仕様書及び標準仕様書のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。
3．特記仕様
(1) 項目は、番号に ○印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、⊙ 印の付いたものを適用する。
⊙ 印の付かない場合は、※印の付いたものを適用する。
⊙ 印と ※ 印の付いた場合は、共に適用する。
(3) 特記事項に記載の［ ］内表示番号は、標仕の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（ ）は「各部配筋参考図」の当該項目を示す。
(5) 製造所名は、五十音順とし「株式会社」等の記載は省略する。また（ ）内は製品名を示す。
(6) G 印は「国等による環境物品等の調達の推進に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。
グリーン購入法による調達推進品目は「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表１（鹿児島県のホームページからダウンロード可能）による。
4．前金払
契約金額300万円以上の工事にあっては、契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の４を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができる。
5．中間前金払~~実は部分払~~の選択
契約金額300万円以上の工事にあっては、契約に当たり中間前金払~~実は部分払~~を選択することができる。
6．中間前金払
契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の２を超えない範囲内に限り７の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができる。
7．中間前金払の要件
(1) 工期の２分の１を経過していること。
(2) 工程表により工期の２分の１を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の２分の１以上の額に相当するものであること。
~~8．部分払~~
~~前払金を支払ったものについては工期中２回まで。前払金の支払がされていないものは工期中３回までとする。~~
9．火災保険
契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後21日とする。
10．霧島市産資材の優先使用
工事に使用する資材については、霧島市で産出、生産又は製造されたもの（以下、「霧島市産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、霧島市産資材以外の資材等については、霧島市に主たる営業所を有する資材業者等から調達するよう努めることとする。
また、霧島市産資材以外については、県内で算出、生産製造されたものを優先使用するよう努めることとする。
11．下請工事における霧島市内建設業者の優先活用
工事の一部を下請に付する場合は、霧島市に主たる営業所を有する者を活用するようよう努めることとする。
12．配置技術者等の途中交代
(1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。
① 受注者の責務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合。
② 工場製作を含む工事であって、工場から現地へ工事の現場が移行する時点。
③ 大規模な工事で一つの契約工期が多年に及ぶ場合。
(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
13．電子納品
(1) 本工事は、電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。ここでいう電子納品とは、「霧島市電子納品ガイドライン（案）（令和7年4月）：（以下「ガイドライン」という。）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。
(2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R)で正本1部、副本2部の計3部提出する。電子化しない成果品については従来どおりの取扱いとする。電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。
(3) 電子成果品を提出する際は、鹿児島県の公開する電子納品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウィルス対策を実施した上で提出すること。
14．ＣＡＤ図面データの貸与について
貸与したＣＡＤ図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。
また、当該ＣＡＤ図面データは、完成図提出時までに、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているもの全て消去すること。
15．暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置
霧島市が発注する建設工事等（以下「市工事等」という。）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく市（発注者）及び警察に通報すること。
市工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に被害が生じた場合は、市（発注者）遅れが生じる等のと協議を行うこと。
16．ダンプトラック等による過積載等の防止について
(1) 工事用資機材等の積載超過のないようにすること。
(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
(4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という。）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
(7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
17．施工体制台帳の作成等について
本工事の受注者は、建設工事の一部を下請けに付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に据え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく(遅くとも下請工事の着手前までに)提出すること。また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。
18．施工体系図の作成等について
本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアから エの業務を下請に付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し、提出すること。
ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
イ 土砂やコンクリート殻等の運搬のみを行う業務
ウ 工事現場の警備(交通誘導を含む)を行う業務
エ その他監督職員が記載を指示した業務等
19．法定外の労災保険の付保
本工事において、受注者は法定外の労災保険に付さなければならない。

章	項目	特記事項

① 各章共通事項

① 適用基準等

※ 適用を受ける関係法令等を遵守すること
（参考）
⊙建築工事標準詳細図（国土交通省大臣官房官庁営繕部建築課監修 令和4年版）
⊙建築工事安全施工技術指針（官庁営繕部）
⊙建設工事公衆災害防止対策要綱（建設工事編）（官庁営繕部）
⊙建設副産物適正処理推進要綱（平成14年5月30日国交省通知122号等）
⊙廃棄物の処理及び清掃に関する法律
⊙資源の有効な利用の促進に関する法律（リサイクル法）
⊙建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律（建設リサイクル法）
⊙大気汚染防止法の一部を改正する法律（平成26年6月21日法律第58号）
・公共建築木造工事標準仕様書（令和7年版）

② 工事実績情報の登録

※適用する（※工事請負金額 500万円以上 ・（ ））［1.1.4］

③ 品質計画

⊙施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計算［1.1.2］
※基準風速（Vo）（ 36 ）m/s
※地表面粗度区分（ ・Ⅰ ・Ⅱ ⊙Ⅲ ・Ⅳ ）
適用工種 ・ＡＬＣパネル(外壁、屋根) ・押出成形セメント板(外壁) ・外壁石張(乾式)
・外装材(外断熱工法) ・長尺金属板葺 ・折板葺 ・アルミ笠木
・ガラスブロック ・シート防水(機械式) ・屋上緑化システム・（ ）

4 電気保安技術者

工事現場におく電気保安技術者は、電気事業法に基づく電気主任技術者の職務を補佐し、電気工作物の保安の業務を行うものとする。［1.3.3］
・要 ・不要

⑤ 施工条件

改修標準仕様書［1.3.5］以外の施工条件 ※現場説明書による ・図示［1.3.5］

⑥ 発生材の処理

・発注者に引渡しを要するもの（・金属類 ・ＰＣＢ含有物 ・ ）［1.3.12］
引渡し場所 ※構内 ・（ ）

再生資源化を図るもの又は廃棄するもの ⊙有 ・無

分類	受入れ施設名	所在地	搬出距離(km)
⊙コンクリート塊	㈱フタマタ開発	鹿児島市岡之原町3270	35.5
・アスファルト・コンクリート塊			
⊙建設発生木材	㈱フタマタ開発	鹿児島市川上町3640番1	35.0
⊙廃プラ	㈱丸山喜之助商店	姶良市加治木町西別府5856-2	21.5
⊙ガラス・陶磁器	㈱丸山喜之助商店	姶良市加治木町西別府5856-2	21.5
⊙ボード類	㈱フタマタ開発	鹿児島市川上町3640番1	35.0

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施に当たっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする。なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議する。
※建設廃棄物処理計画書の作成
※再生資源利用計画書及び再生資源利用促進計画書の作成

⑦ 環境への配慮

［1.4.1］
本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有するとともに、次の1)から4) を満たすものとする。
1)合板、木質系フローリング、構造用パネル、集成材、単板積層材、ＭＤＦ、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗材は、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しない又は発散が極めて少ない材料で、設計書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」の区分に応じた材料を使用する。
2)接着剤及び塗料はトルエン、キシレン及びエチルベンゼンの含有量が少ない材料を使用する。
3)接着剤は可塑剤(フタル酸ジー ｎ－ブチル及びフタル酸ジ－2－エチルヘシキル等を含有しない難揮発性の可塑剤を除く）が添加されていない材料を使用する。
4) 1)の材料をして作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、ホルムアルデヒド、アセトアルデヒド及びスチレンを発散しないか、発散が極めて少ない材料を使用したものとする。また、設計図書に規定する「ホルムアルデヒドの放散量」は、次のとおりとする。
・規制対象外
①建築基準法施行令第20条の７第1項に定める第一種、第二種及び第三種ホルムアルデヒド発散建築材料以外の材料
②建築基準法施行令第20条の７第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
・第三種品
①建築基準法施行令第20条の７第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
②建築基準法施行令第20条の７第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
・アスベスト含有建材
本工事に使用する材料については、アスベストを含有しないものとする。

⑧ 材料の品質等

［1.4.2］
本工事に使用する材料等は、設計図書に定める所要の品質及び性能を有するものとし、ＪＩＳマーク及びＪＡＳマークの表示のない材料及びその製造者等は、次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は、外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける。ただし、あらかじめ監督職員の承諾を受けた場合はこの限りではない。
（1）品質及び性能に関する試験データを整備していること
（2）生産施設及び品質の管理を適切に行っていること
（3）安定的な供給が可能であること
（4）法令等で定める許可、認可、認定又は免許等を取得していること
（5）製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
（6）販売、保守等の営業体制を整えていること
なお、商品名等が記載された材料は、当該商品又は同等品を使用するものとし、同等品を使用する場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける。

⑨ 特別な材料の工法

改修標準仕様書及び、標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による。

⑩ 一般技能士

下記により適用する技能士については、適用する工事作業中、１名以上の者が自ら作業をするとともに、他の技能者に対して、施工品質の向上を図るための作業指導を行う［1.7.2］

適用工事種別	技能検定の職種
防水改修工事	・アスファルト防水工事作業 ・合成ゴム系シート防水工事作業 ⊙塗膜防水工事作業 ⊙シーリング防水工事作業 ・左官 ・建築板金
外壁改修工事	・左官 ・タイル張り ⊙塗装（建築塗装作業） ・樹脂接着材注入施工
建具改修工事	⊙サッシ施工 ⊙ガラス施工 ・自動ドア施工
内装改修工事	⊙プラスチック系床仕上げ工事作業 ⊙ボード仕上げ工事作業 ⊙内装仕上げ施工（鋼製下地工事作業） ・表装（壁装作業） ・左官 ・建築大工 ・タイル張り
塗装改修工事	⊙塗装（建築塗装作業）
耐震改修工事	・鉄筋施工 ・型枠施工 ・とび
ブロック、ＡＬＣパネル工事	・ブロック建築 ・ＡＬＣパネル施工
石工事	・石材施工（石張り施工）
植栽工事	・造園
畳工事	・畳製作

① 各章共通事項（続き）

⑪ 室内空気中の化学物質の濃度測定

着工前及び施工完了時に室内空気中のホルムアルデヒド、トルエン、キシレン、エチルベンゼン、スチレン（学校施設については、パラジクロロベンゼンを加えた６物質）の濃度を測定し、監督職員に提出すること。［1.7.9］
測定はパッシブ型採取機器により行う。
着工前の測定 ・行う
測定対象室と箇所数 ・図示 ⊙(10)か所
なお、結果が良好でなかった場合には、監督職員と協議し対策を行うこと。

⑫ 完成図等

完成図 ※作成する（完成図の種類 ※全ての設計図 ・（ ））［1.9.2］
完成図の様式等
Ａ３縮小二つ折り製本 ※３部 ・（ ）部
Ａ１二つ折り製本 ※１部 ・（ ）部
完成図のＣＡＤデータ ＣＤ－Ｒ ※３枚 ・（ ）枚
・作成しない
保全に関する資料 ・作成する（提出部数 ※１部 ・（ ）部）
※作成しない

⑬ 完成写真等

撮影箇所及び方法については、「工事写真撮影ガイドブック（平成30年版）」による
下記のものを監督職員に提出する。ただし、原版は撮影業者の保管とする。

区分	分類	規格	部数	備考
着工前	※デジタルカメラ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※ 1 部	・ ・
工事中 (検査状況)	※デジタルカメラ	カラーサービスサイズ	※ 1 部	・ ・
完成時 (出来形時)	※デジタルカメラ	全景：キャビネサイズ 部分：サービスサイズ	※ 1 部	外観4面/棟 内部全状況 ・
実施調査用	※デジタルカメラ	カラーサービスサイズ	※ 2 部	外観4面/棟 ・
電子ﾃﾞｰﾀ	⊙完成時写真 ⊙工事中写真 ⊙着工前写真			・

100×125以上の原板を使う場合には、監督職員にあらかじめべた焼きを提出し確認を受ける。
電子データは、RGB（フルカラー）、JPEG形式最高画質とし、CD-ROMにて提出する。
外壁改修工事の施工状況は、工法毎に各面（東、西、南、北、階段室、屋上塔屋等）２箇所程度とし、完成は各面・工法毎に全面所撮影する。

各工法の施工状況（施工中の写真は、同じ番号で工事写真を撮影のこと。）

改修工法の種類	撮影する施工状況
ひび割れ部改修工法	・マーキング ・下地処理 ・注入孔墨出し ・座金取付 ・シール ・シリンダー取付状況 ・注入状況 ・仕上状況
欠損部改修工法	・マーキング ・はつり ・清掃 ・鉄筋の錆落とし ・防錆材塗布 ・ステンレスピン打 ・ポリマーセメントモルタル充填 ・仕上げ厚又は全塗厚が厚い場合の施工状況
浮き部改修工法	・マーキング ・穴あけ（ドリル使用） ・清掃 ・エポキシ樹脂注入 ・ステンレスピン注入 ・エポキシ樹脂注入後の浮き確認 ・表面処理

完成写真の撮影業者 ※監督職員の承諾する撮影者 ・監督職員の承諾する撮影業者

⑭ 設備工事との取合い

設備機器の設置、取合い等が検討できる施工図を提出し、監督職員の承諾を受ける。

⑮ 設計GL

※図示 ・設計GL＝現状GL

⑯ 既存部分等への措置

工事施工に際し、既存部分を汚染又は損傷した場合は監督職員に報告するとともに承認を受けて現状に準じて補修する。

⑰ 騒音振動の防止

低騒音型、低振動型建設機械指定要領に基づき指定された建設機械を使用する。
適用工事（土、地業、コンクリート、舗装、植栽、取りこわし等）

⑱ 部分使用

この工事については部分使用は ・有（図示 ） ⊙無

⑲ 一部完成

この工事については一部完成は ・有（図示 ） ⊙無

20 中間検査

この工事については、中間検査を ・行う ・行わない
行う場合は、工事の進捗率が概ね50%に達した時期又は、躯体工事中（とりこわし工事完了時、配筋又は鉄骨建方完了時）及び内装工事等施工途中を検査の目安とし、工事受注者は検査の希望日を監督職員と協議の上、発注者に申し出ること。

21 防腐・防蟻処理

この工事については、(公社)日本しろあり対策協会（以下、「協会」という。）発行「防除施工標準仕様書」（以下、「防除」という。）による。
この項目に記載の（防 ）内表示番号は、防除の当該項目を示す。
※使用薬剤は、協会認定薬剤のうち、非有機リン系薬剤とする。
※工事施工者は、原則として協会登録施工業者とする。
※土壌処理
処理の適用分 ※行う ・行わない［防 1.2］
処理の方法 ※帯状散布法、面状散布法の一つ又はその組み合わせによって行う。［防 1.3.(1)］
・木材処理
処理の適用分 ※行う ・行わない［防 1.2］
処理の方法 ※吹付け処理法、塗布処理法の一つ又はその組み合わせによって行う。［防 1.3.(2)］
※処理の箇所
・木造の場合
※1.4．(2)①～⑥及び⑧に規定する箇所
・陸梁、合掌、小屋梁、間仕切、桁、火打梁などと敷桁又は軒桁との仕口面
・２階梁、火打梁と胴差との仕口面
・木造以外の場合
※1.4．(2)⑦に規定する箇所
・２以上の階の床面より１m以内にある木部でコンクリート、石、レンガに接する面
※保証書及び期間
白蟻防除工事について、下記事項を記載した５年保証書を提出すること。なお、保証書については元請業者と白蟻防除工事施工業者と連帯とする。
(ｱ)工事名称 (ｲ)建物の所在地 (ｳ)建物の構造･用途･面積 (ｴ)白蟻防除工事の施工面積 (ｵ)防除処理 別並びに使用薬剤名、製造者名、施工年月日 (ｶ)登録施工業者会員名簿 (ｷ)施行した防除士の氏名及び登録番号・取得年月日・ 登録年月日 (ｸ)保証期間
※工事施工にあたり、協会発行「しろあり防除施工における安全管理基準」を遵守すること。

22 鹿児島県トライアル発注制度の製品等

製品名（ ）
施工箇所 ※図示による ・（ ）

② 仮設工事

① 足場その他

外部足場 ⊙設置する （設置範囲 工事に必要な範囲・ ）
・設置しない
防護シートによる養生 ⊙設置する （設置範囲 工事に必要な範囲・ ）
内部足場 ※脚立、足場板等 ・
材料、搬去材等の運搬方法
・A種 ・B種 ・C種 ・D種 ・E種

② 既存部分の養生

既存部分の養生 ⊙行う ・行わない［2.3.1］
養生方法 ※ビニルシート、合板等による ・（ ）
既存部分の特別養生 ・行う［2.3.1］
設置範囲及び養生方法 ※図示 ・（ ）
既存家具、既存設備等の養生 ※ビニルシート、合板等による ・（ ）［2.3.1］
開口部の養生 ⊙行う ・行わない
養生方法 ・合板張りによる ・（ ）
・設置範囲 ※図示 ・（ ）
固定された備品、机、ロッカー等の移動［2.3.1］
⊙行わない ・行う（図示）

3 仮設間仕切り

仮設間仕切り等の種類［2.3.2］［表2.3.1］

種別	材質	仕上げ
・A種	・せっこうボード厚9.5両面張り グラスウール充填厚さ（ ） ・合板厚9両面張り グラスウール充填厚さ（ ）	・片面塗装
・B種	・せっこうボード厚9.5片面張り ・合板厚9片面張り ・せっこうボード厚9.5（内部面）＋ 合板厚9（外部面）	・片面塗装
・C種	※シート張り	―
・仮設扉	※合板張り木製扉 程度 ・	・

④ 監督員事務所

⊙設ける ・設ける（既存建築物の一部を使用する） ・設けない
面積規模（・10㎡ ・20㎡ ⊙35㎡ ・100㎡ ・( )㎡）程度
仕上げの程度、設置する設備、備品等の種類及び数量は現場説明書による。

⑤ 工事用水

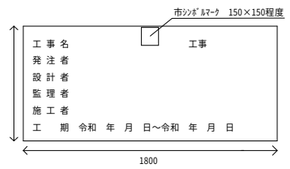
構内既存の施設 ⊙利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑥ 工事用電力

構内既存の施設 ⊙利用できる（※有償 ・無償） ※利用できない

⑦ 現場表示板

規格 ※下図による ・監督職員の承諾による
材質 ・県産杉板 ※監督職員の承諾による
※設置位置は、監督職員との協議による。また取付は、強風に対し安全な工法とする。



3 土工事

1 埋戻し及び盛土

種別 ・A種 ※B種 ・C種 ・D種［3.2.3］［表3.2.1］
（種の場合（発生場所 ）
（連絡先 ）
（運搬 ・発生原因者側 ・本工事 km ）

2 建設発生土の処理

※構外指示の場所 受入施設名 所在地［3.2.5］
受け入れ場所（ ）（ ）
受け入れ場所での処置（・敷均し ※たい積 ）
搬出距離（ ）km
上記に示す受入れ場所・距離は参考であり、実施にあたっては監督職員と協議のうえ決定する
・構内指示の場所（・敷均し ・たい積 ）

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録 第 1-3-164 号
〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179
外村 選
一級建築士登録 第160636号
所長 担当 製図
法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認
登録 第 1-4-19 号 構造設計一級建築士 第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 鎌田 和寿
株式会社ブランディー ・設備設計 ・設備法適合確認
登録 第 1-5-90 号 設備設計一級建築士 第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32 山中 憲幸

設計年月日	令和 7年 6月 日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-01
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その１）	

④ 防水改修工事

① 共通事項

施工標識　※監督職員と表示内容を協議し、指示の位置に標識を取り付ける
改修用ドレン（P0AS、P0AS1、P0D、P0D1、P0S、P0S1、P0Xの場合）
　取付方法等は、ルーフィング類製造所の仕様による

② 降雨等に対する養生方法(とい共)

※改修標準仕様書3.1.3(5)(ｱ)～(ｳ)による　・（　　）　[3.1.3]

③ 既存防水の処理

既存保護層の撤去　・行う（範囲　・図示　・　　）　・行わない　[3.2.3、4、6]
既存防水層の撤去　⊙行う（範囲　⊙図示　・　　）　・行わない
既存露出防水層表面の仕上げ塗装除去　・行う（・M4AS・M4AS1・M4C・M4DI・L4X）　・行わない

④ 既存下地の処理

既存下地の補修箇所の形状、長さ、数量等　※図示　・　[3.2.6]
POS工法及びPOS1工法（機械式固定工法）の既存保護層を撤去し防水層を非撤去とした立上り部等の処理
　※改修標準仕様書3.2.6(4)(ｱ)(g)①～③による　・補修

設備機器架台、配管受部、パラペット、貫通パイプ廻り、手すり・丸環の取付け部、塔屋出入口等の
欠損部及び防水層末端部の納まり部の処理
　⊙図示　※監督職員と協議する

5　アスファルト防水

屋根保護防水　[3.3.2～5]
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	絶縁用シート	立上り部の保護
・P2A	・A-1 ※A-2 ・A-3			※ポリエチレンフィルム 厚さ0.15mm以上 ・	※乾式　保護材 ・コンクリート押え ・れんが　押え (JIS　R1250)
・P1B	・B-1 ※B-2 ・B-3				
・P2AI	・AI-1 ※AI-2 ・AI-3		(材質) ※JIS A 9512に基づく押出法ポリスチレンフォーム断熱材3種bA (スキン層付き) (厚さ)※25mm　・50mm	※フラットヤーンクロス 70g/㎡程度 ・	
・P1BI ・T1B1	・BI-1 ※BI-2 ・BI-3				

改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料構成による区分　※R種　厚さ　・　mm以上
　※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

部分粘着層付改質アスファルトルーフィングシートの種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料構成による区分　※R種　厚さ　・　mm以上
　※改修標準仕様書3.3.3から表3.3.9による

平場の保護コンクリートの厚さ
　こて仕上げ　※水下　80mm以上　・
　床タイル張り　※水下　60mm以上　・
・乾式保護材
　窯業系パネル：無石綿の繊維質原料等を主原料として、板状に押出成形しオートクレーブ養生したもの
　金属複合板　：金属板と樹脂を積層一体化したもの
（品質・性能・試験方法）
　建築材料等品質性能表による

屋根露出防水
高日射反射率防水の適用 G　・有　※無
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	高日反射率防水の適用 G	備　考
・M4C	・C-1 ※C-2 ・C-3 ・C-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	
・M3D ・POD	・D-1 ※D-2 ・D-3 ・D-4			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・PODI ・M3DI ・M4DI	・DI-1 ※DI-2		改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) ・ (厚さ) ・25mm	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない

屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
設置数量
　※アスファルトルーフィング類製造所の指定による
　・脱気装置　・　個
屋根露出防水絶縁断熱工法の場合の、ルーフドレン回り及び立上り部周辺の断熱材の張りじまい位置
　※図示　・

屋内防水

工法	種別	施工個所	保　護　層
・P1E ・P2E	・E-1 ※E-2		・設ける ・設けない

・E－1の工程3を行う部位(・　※貯水槽、浴槽等常時水に接する部位)
押え金物の材質、形状及び寸法　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度
屋根排水溝　※図示　・

④ 防水改修工事(続き)

6　改質アスファルトシート防水

高日射反射率防水の適用 G　・有　※無　[3.4.2、3]
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上材料 種類	仕上材料 使用量	高日反射率防水の適用 G	備　考
・M4AS	・AS-T1 ・AS-T2 ・AS-J2			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	
・M3AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・P0AS	・AS-T3 ・AS-T4 ・AS-J1 ・AS-J3			・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない
・M3ASI ・M4ASI ・P0ASI	・ASI-T1 ・ASI-J1		改修標準仕様書 3.3.2(9) (種類) ・ (厚さ) ・25mm　・	・アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	※アスファルトルーフィング類の製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ドレン ・設ける ・設けない 防湿層 ・設ける ・設けない

改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料構成による区分　※R種　厚さ　・　mm以上
　※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による　・
粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料構成による区分　※R種　厚さ　・　mm以上
　※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による　・
部分粘着層付改質アスファルトシートの種類及び厚さ
　用途による区分　・
　材料構成による区分　※R種　厚さ　・　mm以上
　※改修標準仕様書3.4.1から表3.4.3による　・
屋根露出防水絶縁工法及び屋根露出防水絶縁断熱工法の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　※改質アスファルトシート類の製造所の指定　・
　・脱気装置　・　個　※改質アスファルトシート類の製造所の指定
屋根露出防水絶縁断熱工法の防湿シート　（・設置する　・設置しない）
押え金物の材質、形状及び寸法
　※アルミニウム製　L-30×15×2.0mm程度

7　合成高分子系ルーフィングシート防水

高日射発射率防水の適用 G　・有　※無　[3.5.2～4、表3.5.1～3]
防水層の種別

工法	種別	施工箇所	断熱材 G	仕上材料 種類	仕上材料 使用量	高日反射率防水の適用 G	備　考
・POS ・S4S	・S-F1 ・S-F2 ・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
・S3S	・S-F1 ・S-F2			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・M4S	・S-M1 ・S-M2 ・S-M3			・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない
・POSI ・S3SI ・S4SI ・M4SI	・SI-F1 ・SI-F2		・改修標準仕様書 3.5.2(3)(1)(b) による (種類) ・ (厚さ) ※25mm　・50mm	・ルーフィングシートの製造所の仕様による	※ルーフィングシートの製造所の仕様による	・	脱気装置 ・設ける ・設けない 改修用ﾄﾞﾚﾝ ・設ける ・設けない
	・SI-M1 ・SI-M2		・改修標準仕様書 3.5.2(3)(1)(a) による (種類) ・ (厚さ) ※25mm　・50mm				

・S-M2またはSI-M2の立上り部の工法
　・接着工法　（立上り面のシート厚さ　・1.5mm　・　）
　・機械式固定工法
・SI-M1及びSI-M2の場合の防湿用フィルム　（・設置する　・設置しない　）
・S-F1、S-M1、S-F2、S-M2の仕様　・非歩行用　・軽歩行用

④ 防水改修工事(続き)

屋内防水

種　別	施工箇所	保　護　層 平場のモルタル塗り 塗り厚さ	床塗り工法	下地モルタル塗り	立上り部の保護 モルタル塗り厚さ
・S－C1			※改修標準仕様書 6.15.6(b)(2)及び (3)に準ずる ・	※改修標準仕様書 6.15.6(c)(1)に 準ずる ・	※7mm以下 ・

床塗り場合の床の目地及び種類
　目地割り　（・　・2m程度　最大目地間隔3m程度）
　目地の種類（・　※押し目地）
合成高分子系ルーフィングシートの種類及び厚さ
　・種類　・　厚さ　・　mm以上
　※改修標準仕様書3.5.1から表3.5.3による
絶縁シートの材質　※発砲ポリエチレンシート　・
固定金具の材質、形状及び寸法
　※厚さ0.4mm以上の防錆処理した鋼板、ステンレス鋼板又はそれらの片面若しくは両面に樹脂を積層
　　加工した鋼板

接着工法の場合の脱気装置の種類及び設置数量
　種類　・　※ルーフィングシート製造所の仕様
　設置個数　・　個　※ルーフィングシート製造所の仕様
接着工法の場合のプレキャストコンクリート部材下地の目地処理
　・行う（・図示　・　）　・行わない
プレキャストコンクリート部材の入隅部の増張り(種別　S-F1、SI-F1の場合)
　・行う（・図示　・　）　・行わない
機械式固定工法の場合の一般部のルーフフィングシートの張付け
　1章　適用区分による風圧力（・1.0　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑧ 塗膜防水

[3.6.2、3]

工　法	種　別	施工箇所	仕上塗料 種類	仕上塗料 使用量	備　考
・P0X	※X-1 ・X-2 ・		・主材料の製造所の仕様による	・主材料の製造所の仕様による	
⊙L4X	・X-1 ※X-2 ・	図示	・主材料の製造所の仕様による	・主材料の製造所の仕様による	

ウレタンゴム系塗膜防水X-1(絶縁工法)の脱気装置の種類及び設置数量
　種類・　※主材料製作所の仕様による
　設置個数・　個　※主材料製作所の仕様による

工　法	種　別	施工箇所	仕上塗料	備　考
・P1Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様による ・	・設ける ・設けない
・P2Y	※Y-2 ・		※主材料の製造所の仕様による ・	・設ける ・設けない

⑨ シーリング

シーリング改修工法の種類　[3.1.4] [3.7.2～3.7.8]
　・シーリング充填工法
　⊙シーリング再充填工法
　・拡幅シーリング再充填工法
　・ブリッジ工法
　　ボンドブレーカー張り　・適用する　・適用しない
　　エッジング材張り　・適用する　・適用しない
シーリング材の種類、施工箇所
　下表以外は、改修標準仕様書表3.7.1による

施工箇所	シーリング材の種類（記号）
・押出成形セメント板シーリング	PU-2
⊙建具周囲シーリング	MS-2、PU-2

シーリング材の目地寸法
・図示
シーリング材の接着性試験　[3.7.8]
　※簡易接着性試験　・引張接着性試験

⑩ とい

[3.8.2、3]

種　別	材　種	径	施工箇所	備　考
たてどい	⊙硬質ポリ塩化ビニル管		図示	
	・配管用鋼管			
	・ステンレス鋼管			SUS304、厚2
	・硬質ポリ塩化ビニル管（カラー）			
軒どい	・			

ルーフドレン

種　別		呼　び	施工箇所	材　種
⊙ろく屋根用（・縦型　・横型）	・ねじ込み式	・80 ⊙100 ・125	図示	
	・	・150　・		
・バルコニー用	・ねじ込み式	・50　・80　・100		
	・差し込み式	・50　・75　・100		
⊙バルコニー中継用	・ねじ込み式	・50 ⊙80　・100	図示	
	・差し込み式	・50　・75　・100		

とい受金物
　材種　・鋼製(亜鉛めっき)　※ステンレス製
　形状　・　※市販品(とい径100以下)
　　※25×4.5以上(とい径100を超えるもの)
足金物
　材種　・鋼製(亜鉛めっき)　※ステンレス製
　形状　・　※市販品
ロックウール保温筒及びビーズ法ポリエチレンフォーム保温筒のホルムアルデヒド放散量
　※規制対象外　・
既存のといその他の撤去及び降雨等に対する養生方法　※図示　・
たてどい金物の取付け　・　※図示
ルーフドレンの取付け
　※水はけがよく、床面より下げ、周囲の隙間にモルタルを充填する
　・

④ 防水改修工事(続き)

11　アルミニウム製笠木

[3.9.2、3]

種　類		本体幅 (mm)	板厚 (mm)	表面処理	着　色
・オープン形式	・押出250形 ・押出300形 ・押出350形 ・			・BA-1 ・BA-2 ・BB-1 ・BB-2	・標準色 (　　) ・特注色 (　　)
	・板材折曲げ形	・	・ ※2.0以上		
・シール形式	・板材折曲げ形	・	・ ※2.0以上		

既存笠木等の撤去　・行う　(範囲　・図示　・　　)
　・行わない
下地補修の工法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・
板材折曲げ形の笠木の取付方法　※図示　・
棟上避雷導体システム　・無　・有
笠木の固定金具の構法等
　1章　適用区分による風圧力（・1.0　・1.15　・1.3）倍の風圧力に対応した工法

⑫ 保証書及び期間

防水工事の施工について、10年保証を提出すること。なお、保証書は元請業者と施工業者の連帯とする。
(シーリングを除く)

⑤ 外壁改修工事

① ポリマーセメントモルタル
② ポリマーセメントスラリー

（性能）　建築材料等品質性能表による　[4.2.2]

[4.2.2]

広がり速度 (cm/s)	長さ変化率 (収縮) (%)	引張接着性 (材齢28日) (N/mm²)	曲げ性能 (材齢28日) (N/mm²)	吸水性 (72時間) (%)	耐久性 (劣化曲げ強さ) (N/mm²)
3以上	3以下	0.50以上	5.0以上	15以上	5.0以上

保水係数　0.35～0.55　粘調係数　0.50～1.00

③ 既製調合モルタル

[4.2.2]
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和剤等を予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能・試験方法）　建築材料等品質性能表による

④ 施工数量調査票

調査項目　※外壁改修　・防水改修　・内壁改修　・（　　）　[1.6.2]
調査範囲　※図示　・（　　）
調査方法　※打診及び目視による　・（　　）　[1.6.2]
既存部分の破壊を行った場合の補修方法　※図示　・（　　）　[1.6.3]
調査内容　[1.6.3]
　外壁調査は工事に先立ち全外壁面のひび割れ、浮き、欠損部の位置及び数量（幅、長さ、面積）の調査を行う。報告書は、結果を立面図等に記載し監督職員に提出する。（必要に応じ写真等を添付する。）
　調査報告書の部数　※2部　・（　　）部

5-1 外壁改修工事　コンクリート打放し仕上げ外壁

① ひび割れ部改修工法

⊙樹脂注入工法　[4.1.4] [4.2.4～7]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	・ ※200～300	※130　・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100　・	※40　・
	0.3以上～0.5未満	・100～200　・	※70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250　・	※130　・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形
注入状況の確認方法　※コア抜取りを行う　・
　抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・
　抜取り部の補修方法　・図示　・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す
・Uカットシール材充填工法
　材料　・シーリング材
　　充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系
　　シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填　※行う　・行わない
　・可とう性エポキシ樹脂
・シール工法
　材料　・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

② 欠損部改修工事

⊙充填工法　[4.1.4] [4.2.2] [4.3.7]
　材料　・エポキシ樹脂モルタル
　　⊙ポリマーセメントモルタル

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号
〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179

外村　選
一級建築士登録 第160636号

所長　担当　製図

法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認
登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿
株式会社ブランディー　・設備設計　・設備法適合確認
登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-02
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その２）	

5-2 外壁改修工事　モルタル塗り仕上げ外壁

① 既存モルタル塗りの撤去

② ひび割れ部改修工法

⊙行う（・全面　◎図示の範囲）　・行わない

[4.1.4][4.2.2] [4.4.5、6]

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	・ ※200～300	※130　・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100　・	※40　・
	0.3以上～0.5未満	・100～200　・	※70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250　・	※130　・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

注入状況の確認方法　※コア抜取りを行う　・

抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法　・図示　・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す

・Uカットシール材充填工法

材料　・シーリング材

充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填　※行う　・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

・シール工法

材料　・パテ状エポキシ樹脂　・可とう性エポキシ樹脂

③ 欠損部改修工事

⊙充填工法　[4.1.4] [4.2.2] [4.3.10]

材料　・エポキシ樹脂モルタル　⊙ポリマーセメントモルタル

・モルタル塗替え工法

・現場調合材料

（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）

・既調合材料

既製目地材　・使用する（形状　・図示　・　）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示　・

④ 浮き部改修工法

[4.1.4] [4.2.2] [4.4.10～15]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/㎡） 一般部	アンカーピンの本数（本/㎡） 指定部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 一般部	注入口の箇所数（箇所/㎡） 指定部	注入量（ml/箇所）
⊙アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ・	※ 25 ・	—	—	※ 25 ・
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25 ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	—	—	※ 25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピンの材質

※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの

・

注入口付アンカーピンの材質

※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

・

充填工法

材料　※エポキシ樹脂モルタル　・ポリマーセメントモルタル

モルタル塗替え工法

・現場調合材料　（セメントは改修特記仕様書8-2　コンクリート工事による）

・既調合材料　・使用する（形状　・図示　・　）

仕上げ厚又は全塗厚が25mmを超える場合の処置　※図示　・

5-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

1　共通事項

タイル張りの撤去

・外壁タイル張り全面　・図示の範囲

撤去位置　※下地モルタルまで　・張付けモルタルまで　・タイルのみ

2　ひび割れ部改修工法

改修箇所　※既存タイル張り面　[4.1.4] [4.2.2] [4.5.5、6]

・既存タイル撤去面（・コンクリート面　・モルタル面）

・樹脂注入工法

工法の種類	ひび割れ幅(mm)	注入口間隔(mm)	注入量(ml/m)
※自動式低圧エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～1.0以下	・ ※200～300	※130　・ ・
・手動式エポキシ樹脂注入工法	0.2以上～0.3未満	・50～100　・	※40　・
	0.3以上～0.5未満	・100～200　・	※70　・
・機械式エポキシ樹脂注入工法	0.5以上～1.0以下	・150～250　・	※130　・

エポキシ樹脂　・低粘度形　・中粘度形

注入状況の確認方法　※コア抜取りを行う　・

抜取り個数　※長さ500mごと及びその端数につき1個　・

抜取り部の補修方法

・エポキシ樹脂モルタル又は無収縮モルタル等で埋め戻す　・図示

・リカットシール材充填工法

材料　・シーリング材

充填材料　※1成分形又は2成分形ポリウレタン系

シーリング材の上にポリマーセメントモルタルの充填　※行う　・行わない

・可とう性エポキシ樹脂

5-3 外壁改修工事　タイル張り仕上げ外壁

3　欠損部改修工法　[4.1.4] [4.2.2]

・タイル部分張替え工法

接着剤の種類　・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・タイル張替え工法

張り替え用材料　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・貼り付けモルタル　（・現場調合材料　・既成調合モルタル）

・

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置

※改修標準仕様書　表4.5.1による　・図示

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験　・行う　・行わない

セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

・目荒らし工法（改修標準仕様書4.3.10 (3)の（ウ）及び（エ））

タイル張りの工法

・外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り

・ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り

モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

・目荒らし工法（改修標準仕様書4.3.10 (3)の（ウ）及び（エ））

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・

伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・

シーリングその他事項は、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による

④ 浮き部改修工法

[4.1.4] [4.2.2] [4.4.9～15]

工法の種類	アンカーピンの本数（本/m2） 一般部	アンカーピンの本数（本/m2） 指定部	注入口の箇所数（箇所/m2） 一般部	注入口の箇所数（箇所/m2） 指定部	注入量（ml/箇所）
⊙アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 16 ⊙ 50	※ 25 ⊙ 50	—	—	※ 25
・アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 25 ・
・アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 13 ・	※ 20 ・	※ 12 ・	※ 20 ・	※ 50 ・
・注入口付アンカーピンニング部分 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	—	—	※ 25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 エポキシ樹脂注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 25 ・
・注入口付アンカーピンニング全面 ポリマーセメントスラリー注入工法	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 9 ・	※ 16 ・	※ 50 ・
・充填工法	—	—	—	—	—
・モルタル塗替え工法	—	—	—	—	—

アンカーピンの材質

※ステンレス鋼(SUS304)呼び径4mmの丸棒で全ネジ切り加工したもの　・

・

注入口付アンカーピンの材質

※ステンレス鋼(SUS304)呼び径外径6mm程度

・

・タイル部分張替え工法

接着剤の種類　・ポリマーセメントモルタル

・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・

・タイル張替え工法

張り替え用材料　・JIS A 5557による一液反応硬化形変成シリコーン樹脂系

・貼り付けモルタル　（・現場調合材料　・既製調合モルタル）

・

伸縮調整目地及びひび割れ誘発目地の位置

※改修標準仕様書表4.4.2による　・図示

外装タイル張り下地等の下地モルタル及び下地調整剤塗りの接着力試験　・行う　・行わない

セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り

下地モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

・目荒らし工法（改修標準仕様書4.3.10 (3)の（ウ）及び（エ））

タイル張りの工法

・外装タイル　・密着張り　・改良圧着張り　・改良積上げ張り

・ユニットタイル　・マスク張り　・モザイクタイル張り

シーリング　改修特記仕様書3章　防水改修工事による

・有機系接着剤によるタイル（セラミックタイル）張り

モルタル塗りを行うコンクリート素地面の処理

・目荒らし工法（改修標準仕様書4.3.10 (3)の（ウ）及び（エ））

シーリング材の種類

打継ぎ目地、ひび割れ誘発目地　※ポリウレタン系　・

伸縮調整目地その他の目地　※変成シリコーン系　・

シーリングその他事項は、改修特記仕様書第3章　防水改修工事による

5　目地改修工法　[4.1.4][4.5.16]

・目地ひび割れ部改修工法

・伸縮調整目地改修工法

伸縮調整目地の位置及び寸法　・図示　・

シーリング　改修標準仕様書3章　防水改修工事による

6　タイルの形状、寸法等　[4.2.2]

タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状/寸法 (mm)	吸水率による区分 I類	II類	III類	うわぐすり 施釉	無釉	役物 有	無	色 標準	特注	再生材の適用 G	耐凍害性 有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・					
		・	・	・	・	・	・	・	・	・					

標準的な曲がりの役物は一体成形とする

試験張り　・行う　・行わない

見本焼き　・行う　・行わない

5-4 外壁改修工事　現場試験

① 浮き部改修工法におけるエポキシ樹脂注入後の接着強度の試験

◎行う　・行わない　[4.4.9] [4.4.10] [4.4.12、13]

1．試験方法

① 試験箇所は、監督職員の指示により１棟につき１箇所以上かつ合計で３箇所以上選び出し引張試験を行う。

② 注入後７日間以上たってから、モルタル約40mm角又は内径48mm に躯体（コンクリート）に達するまでコンクリートカッター又はコアカッターで切断し、その面に引張治具（アタッチメント）を接着し、国土交通省建築研究方式簡易引張り試験機又は日本建築仕上学会試験機により引張試験を行う。

2．確認事項

引張強度試験終了後、次のいずれかであることを確認する。又、試験終了後、試験体の切断が躯体に達するまで行われていたかを測って確認する。なお、異常が認められた場合は監督職員へ報告し、その指示を受ける。

a　コンクリート破壊

b　モルタル破壊

c　引張り強度

①アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合

②注入口付アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法の場合

1.2N/mm2 {12.2kgf/cm2}以上

③アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所

④注入口付アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のエポキシ樹脂注入の箇所

0.6N/mm2 {6.1kgf/cm2}以上

⑤アンカーピンニング全面エポキシ樹脂注入工法のピン併用エポキシ樹脂注入の箇所

1.2N/mm2 {12.2kgf/cm2}以上

2　浮き部改修工法におけるポリマーセメントスラリー注入後の接着強度の試験

※行う　・行わない

1．試験方法

① 注入箇所を養生完了後、打診ハンマーを用いて打診する。

② 上記診断状況により、４－４章１項による国土交通省建築研究方式簡易引張試験機又は日本建築仕上学会試験機により接着力試験を行う。試験箇所は、監督職員の指示により、１棟につき１箇所以上選びだす。

（１箇所につき３点の試験を行い、その平均値を接着強度とする。）

2．確認事項

① 注入が良好な状態で行われているかを確認する。

② 接着強度は1.0N/mm2 {10.2kgf/cm2}以上とする。

5-5 外壁改修工事　塗り上げ外壁

① 既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整

[4.6.3]

工　法	処理範囲	下地の補修	加圧力
・サンダー工法	※既存仕上面全体　・図示	・行う	
⊙高圧水洗工法	※既存仕上面全体　・（　　） ・図示	⊙行う	⊙80～100Mpa程度 ・100～250Mpa程度
・塗膜はく離剤工法	※既存仕上面全体　・（　　）・図示	・行う	
・水洗い工法	※上記処理範囲以外の既存仕上面全体 ・図示	・行う	・10～30Mpa程度 ・

② 下地調整材

※下地調整塗材（・C-1　⊙C-2　・CM-2）　[4.5.2]

・ポリマーセメントモルタル

5-5 外壁改修工事　塗り上げ外壁（続き）

③ 仕上げ塗材仕上げ

建物内部に使用する塗料のホルムアルデヒド放散量　[4.1.5] [4.5.2] [表4.5.1]

※規制対象外　・

新規仕上塗材の種類

⊙薄付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料
・外装薄塗材Ｓｉ ・可とう形 外装薄塗材Ｓｉ ・外装薄塗材Ｅ ⊙可とう形 外装薄塗材Ｅ	⊙砂壁状 ・ゆず肌状 ・さざ波状 ・平たん状 ・凹凸状 ・砂壁状	⊙吹付け ・ローラー ・さざ波状 ・こて	・適用する	・
・防水形外装薄塗材Ｅ	・ゆず肌状 ・さざ波状 ・凹凸状	・吹付け ・ローラー	・適用する	・
・外装薄塗材Ｓ	・砂壁状	・吹付け	・適用する	・

・厚付け仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工 法	吸放湿性	防火材料
・外装厚塗材Ｃ ・外装厚塗材Ｓｉ ・外装厚塗材Ｅ	・吹放し ・凸部処理 ・平たん状 ・凹凸状 ・ひき起こし ・かき落とし	・吹付け ・ローラー ・こて	・適用する	・

・複層仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	対候性	防火材料
・複層塗材ＣＥ ・可とう形複層塗材ＣＥ ・複層塗材Ｓｉ ・複層塗材Ｅ ・複層塗材ＲＥ ・防水形複層塗材ＣＥ ・防水形複層塗材Ｅ ・防水形複層塗材ＲＥ	・凸部処理 ・凹凸状 ・ゆず肌状	・吹付け ・ローラー	・溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり	・耐候性 ※対候系３種	・

⊙可とう形改修用仕上塗材

呼び名	仕上げの形状	工 法	上塗材の種類	対候性	防火材料
⊙可とう形改修塗材Ｅ ・可とう形改修塗材ＲＥ ・可とう形改修塗材ＣＥ	・平たん状 ⊙さざ波状 ・ゆず肌状	⊙吹付け ⊙ローラー	・溶媒 ※水系 ・ 樹脂 ※アクリル系 ・ 外観 ・つやあり	⊙耐候性 ※対候系３種	・

4　マスチック塗材塗り

種別　・Ａ種　・Ｂ種　（仕上材塗りEP-G　※B種　・A種）　[4.1.5] [4.6.2]

⑤ 外壁改修数量表

工　法	単位	寸法等	既存仕上げ	検　名
樹脂注入工法	m	0.2mm以上 1.0mm以下	コンクリート モルタル タイル	改修数量は 外壁改修数量表による
充填工法 （エポキシ樹脂 モルタル）	箇所	・100×100×30 ・100×200×30	コンクリート モルタル タイル	
アンカーピンニング部分 部分エポキシ樹脂注入工法	㎡		コンクリート モルタル タイル	
タイル張替え	㎡		コンクリート モルタル タイル	

6　外壁用塗膜防水材塗り

外壁用塗膜防水材塗り　[4.1.5] [4.7.2、3] [表4.7.1]

仕上げ形状		工　法
・凹凸状	・凸部処理	・吹付け　・
・ゆず肌	・さざ波	・ローラー　・

外壁用仕上塗材の対候性　※JIS　A　6909の耐候性1種相当

コンクリート面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修標準仕様書4章外壁改修工事(コンクリート打ち放し仕上げ外壁改修)による

モルタル面のひび割れ部及び欠損部の処理は、改修標準仕様書4章外壁改修工事(モルタル塗り仕上げ外壁改修)による

既存塗膜等の除去、下地処理及び下地調整は、改修標準仕様書4章外壁改修工事(塗り仕上げ外壁等改修)による

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者

堂園設計株式会社

鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号

〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号

TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179

外村 選

一級建築士登録 第160636号

所長　担当　製図

法適合確認

有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認

登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号

鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿

株式会社プランディー　・設備設計　・設備法適合確認

登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号

鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-03
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その３）	

⑥ 建具改修工事

① 改修工事 [5.1.3]

建具の種類		かぶせ工法	撤去工法	適用箇所
⊙アルミニウム製建具		・	・	⊙建具表による ・
・樹脂製建具		—	・	・建具表による ・
⊙鋼製建具	⊙外部	・	・	⊙建具表による ・
	⊙内部	・	・	⊙建具表による ・
・鋼製軽量建具		・	・	・建具表による ・
・ステンレス製建具		・	・	・建具表による ・
・木製建具		・	・	・建具表による ・

新規に建具を設ける場合
壁部分の開口の開け方　※図示　・
新規建具周囲の補修工法及び範囲　※図示　・
建具廻りシーリング　改修標準仕様書３章防水改修工事による

2　防火戸 [5.1.4]
・適用する　適用箇所（・建具表による　・　　）
・適用しない
ヒューズ装置、熱感知器又は煙感知器との連動
・連動させる　適用箇所（・建具による　・　　）
・連動させない

3　防犯建物部品 [5.1.7]
・適用する（　　）　適用箇所（・建具表による　・　　）
※適用しない

④ アルミニウム製建具
性能等級 [5.2.2～5] [表5.2.1、2]
外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：　・建具表による　・　　）
※Ｂ種（建具符号：　⊙建具表による　・　　）
・Ｃ種（建具符号：　・建具表による　・　　）
防音ドア、防音サッシ　⊙遮音性の等級（・建具表による　⊙T-2以上）
断熱ドア、断熱サッシ G　・断熱材の等級（・建具表による　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
耐震ドア　・面内変形追随性の等級（・建具表による）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面処理の種別
外部に面する建具　※BB-1種　・BB-2種　・
皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による　・　）
屋内の建具　※BC-1種　・BC-2種　・
皮膜等の種類（※改修標準仕様書表5.2.2による　・　）
結露水の処理工法　処理方式　・水貯め式　・排水式
設置箇所　・建具表による　・図示
水切り板、ぜん板　※建具表による　・図示

5　網戸等 [5.2.3]

種　類	材　種	線　径	網　目
・防虫網	・合成樹脂製 ※ガラス繊維入り合成樹脂製 ・ステンレス(SUS316)製	※0.25mm以上 ・	※16～18メッシュ ・
・防鳥網	ステンレス(SUS304)線材	1.5mm	網目寸法15mm

⑥ 樹脂製建具
性能等級 [5.2.2] [5.3.2～5] [表5.3.1]
外部に面する建具　・Ａ種（建具符号：　・建具表による　・　　）
・Ｂ種（建具符号：　・建具表による　・　　）
・Ｃ種（建具符号：　・建具表による　・　　）
防音ドア、防音サッシ　・遮音性の等級（・Ｔ－１　・Ｔ－２　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
断熱ドア、断熱サッシ G　・断熱材の等級（・Ｈ－４・Ｈ－５・Ｈ－６・　　）
（建具符号：建具表による　・　　）
枠の見込み寸法　・建具表による　・
表面色　※標準色　・特注色
水切り板、ぜん板　※図示　・
ガラス　※複層ガラス　・

⑦ 鋼製建具
性能等級 [5.2.2] [5.4.2～5] [表5.4.2]
簡易気密型ドアセット　・適用する(建具符号:　・建具表による　・　)
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：　・建具表による　・　　）
・S-5（建具符号：　・建具表による　・　　）
⊙S-6（建具符号：　⊙建具表による　・　　）
・
JIS A 4102(ドアセット)、JIS A 4706(サッシ)による
防音ドア、防音サッシ　⊙遮音性の等級（・建具表による　⊙T-2以上）
（建具符号：　⊙建具表による　・　　）
断熱ドア、断熱サッシ G　・断熱材の等級（・Ｈ－４　・Ｈ－５・Ｈ－６　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による　・
鋼板（JIS G 4305)に基づく)

材　料	めっき付着量	厚　さ
※JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）	※Z12又はF12　・	※改修標準仕様書5.4.4による
・ステンレス鋼板　・SUS304、SUS430J1L、又はSUS443J1	※Z12又はF12　・	・

⑧ 鋼製軽量建具
性能等級 [5.2.2] [5.5.2～4]
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号　・建具表による　・　）
・適用しない
防音ドア、防音サッシ　・遮音性の等級（・建具表による　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
断熱ドア、断熱サッシ G　・断熱材の等級（・建具表による　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による　・
鋼板　※亜鉛めっき鋼板　・ビニル被膜鋼板　・カラー鋼板　・ステンレス鋼板
鋼板の厚さ　・改修標準仕様書表5.5.1による　・
召合せ、縦小口包み板の材質　※ステンレス鋼板　・鋼板　・アルミニウム合金押出形材

⑥ 建具改修工事（続き）

9　ステンレス製建具
性能等級 [5.2.2] [5.4.2] [5.6.2～5]
簡易気密型ドアセット　・適用する（建具符号　・建具表による　・　）
・適用しない
外部に面する建具の耐風圧性　・S-4（建具符号：　・建具表による　・　　）
・S-5（建具符号：　・建具表による　・　　）
・S-6（建具符号：　・建具表による　・　　）
・
防音ドア、防音サッシ　・遮音性の等級（・建具表による　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
断熱ドア、断熱サッシ G　・断熱材の等級（・建具表による　・　　）
（建具符号：　・建具表による　・　　）
耐震性能　・建築非構造部材の耐震性能に係る特記事項による　・
鋼板（屋外）　※SUS304　・SUS430J1L・SUS443J1　・
鋼板（屋内）　※SUS430　・SUS430J1L・SUS443J1・SUS304　・
表面仕上げ　※HL仕上げ　・鏡面仕上げ　・
ステンレス鋼板の曲げ加工　※普通曲げ　・角出し曲げ

⑭ 木製建具
建具材の加工、組立時の含水率　※Ａ種　・ [5.7.2～4]
建物内部の木製建具に使用する表面材及び接着剤のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
・フラッシュ戸
表面材の合板の種類

合板の種類	規格等	備　考
※普通合板 G	表面の樹種 生地、透明塗料塗り （※ラワン程度　・　　） 不透明塗料塗り （※しな程度　・　　） 板面の品質（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・天然木　化粧合板 G	樹種名（　　） 接着の程度（・1類　・2類 ）	
・特殊加工　化粧合板 G	化粧加工の方法 （・オーバーレイ　・プリント　・塗装） 表面性能（　　）タイプ 接着の程度（・1類　・2類 ）	

表面板の厚さ　※標準仕様書　表16.7.6による　・
・かまち戸
かまち樹種（　　）　鏡板樹種（　　）
見込み寸法　※36mm　・建具表による　・
・ふすま
張りの種別（・Ⅰ型　・Ⅱ型）
上張り　・鳥の子　※新鳥の子又はビニル紙程度　押入等の裏側は雲花紙程度
縁仕上　・塗り縁　※生地縁（素地）　・生地縁（ウレタンクリヤー塗装）
見込み寸法　※19.5mm　・建具表による　・
・戸ふすま
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
・紙張り障子
見込み寸法　※30mm　・建具表による　・
枠、くつずりの材料　・建具表による　・

⑪ 建具用金物
⊙マスターキー　※製作する（・新規　⊙既存にあわせる） [5.8.2～4] [表5.8.1]
※シリンダー箱錠
※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
座金　※丸座　・長座
・握り玉　材質　※ステンレス
・本締り錠（性能）　・建築材料等品質性能表による
・空錠
※レバーハンドル　材質　※アルミニウム合金　・ステンレス　・黄銅
座金　※丸座　・長座
・握り玉　材質　※ステンレス
・グレモン錠
レバーハンドルの材質　※亜鉛合金　・ステンレス
製造所　※図示
・ピボットヒンジ
カバー部の材質　※ステンレス　・亜鉛合金
⊙フロアヒンジ
・Grade1　※Grade2
カバー部の材質　※ステンレス
・ヒンジクローザー（丁番型）
材質　・鋼（焼付け塗装）
・ヒンジクローザー（ピボット型）
材質　・鋼（焼付け塗装）
⊙ドアクローザー
・Grade1　※Grade2
材質　※アルミニウム合金
⊙押棒、押板
材質　⊙ステンレス　・黄銅　・合成樹脂
・アームストッパー
材質　・鋼（クロームめっき）　※ステンレス
⊙クレセント
材質　※建具製造所の仕様による
・排煙オペレーター（※埋込　・露出）

金物の種類及び見え掛り部の材質等
※改修標準仕様書　表5.8.1により適用は建具表による
金属建具用丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書　表5.8.2による
樹脂製建具用丁番の枚数及び大きさ
※改修標準仕様書　表5.8.3による

⑥ 建具改修工事（続き）

⑫ 自動ドア開閉装置 [5.9.2、3]

性　能	防　錆	センサーの種類	凍結防止
※改修標準仕様書表5.9.1による	・適用する ・適用しない	※光線（反射）スイッチ ・熱線スイッチ ・音波スイッチ ・光電スイッチ ・電波スイッチ ・タッチスイッチ ・押しボタンスイッチ ・ペダルスイッチ ・多機能トイレスイッチ ・車椅子使用者用便房スイッチ	・行う （適用箇所は建具表による） ※行わない

駆動力　※電気式または電動油圧式　・（　　）
電源　※ＡＣ100Ｖ（過電流保護装置付）　・（　　）
補助センサー　※安全光線スイッチ１組　・（　　）
各開閉装置毎に補助センサーを設ける

13　自閉式上吊り引戸装置
性能　※改修標準仕様書　表5.10.1による [5.10.3]

14　重量シャッター [5.11.2、3]

シャッターの種類	耐風圧強度	備　考
・管理用シャッター	耐風圧強度（　　）Pa	※障害物感知装置（自動閉鎖型）
・外壁用防水シャッター	耐風圧強度（　　）Pa	
・屋内用防火シャッター		※危害防止機構
・屋内用防煙シャッター		

開閉方式による種類　※電動式（手動併用）　・上部手動式
屋内用防火シャッター若しくは防炎シャッターの危害防止機構
※改修標準仕様書5.11.2(4)(エ)(a)かつ(C)
・改修標準仕様書5.11.2(4)(エ)(b)かつ(C)
リモコンの有無　※無　・有（リモコン個数　　個）
電動式の場合の電源　※三相200Ｖ　0.75kw以下（過電流保護装置付）
管理用シャッターのシャッターケース　・設ける　・設けない
スラット及びシャッターケース用鋼板
鋼板の種類　・JIS G 3302（溶融亜鉛めっき鋼板）
・JIS G 3312（塗装溶融亜鉛めっき鋼板）
めっきの付着量　※Z12又はF12　・
ガイドレール、まぐさ、雨掛りに用いる座板及び座板カバー、雨掛りに用いるスイッチボックス類のふたの材質
・ステンレス鋼板　SUS304、SUS430J1L又はSUS443J1　・

15　軽量シャッター
開閉方式による種類　※手動式　・電動式（手動併用） [5.12.2～4]
シャッターケース　※設ける　・設けない
耐風圧強度（　　）Pa
スラットの材質　・
スラットの形状　※インターロッキング形　・オーバーラッピング形
ガイドレール・座板の材質　※ステンレス（SUS304）　・溶融亜鉛めっき鋼板
電動式の場合の危害防止機構　※有（障害物感知装置自動閉鎖型）
電動式の場合の電源　※単相100Ｖ(過電流保護装置付)　・（　　）

16　オーバーヘッドドア [5.13.2、3]

セクション材料による区分	耐風圧区分	開閉方式による区分	収納形式による区分	ガイドレールの材質
※スチールタイプ ・アルミニウムタイプ ・ファイバーグラスタイプ	・125 ・100 ・75 ・50	※バランス式 ・チェーン式 ・電動式	・スタンダード形 ・ローヘッド形 ・ハイリフト形 ・バーチカル形	・ステンレス鋼板 ・溶融亜鉛めっき鋼板

障害物感知装置を設けた電動シャッターの設置個所　・図示

⑰ ガラス [3.7] [5.14.2～4]
⊙フロート板ガラスの品質及び厚さの呼びによる種類　※建具表による
・型板ガラスの厚さによる種類　※建具表による
・網入り板ガラス及び線入り板ガラス網又は線の形状、板の表面の状態及び厚さの呼びによる種類　※建具表による
・合せガラス
材料の板ガラスの種類及び厚さの組み合わせ並びにガラスの合計厚さによる種類
※建具表による
形状による種類
・平面合せガラス　・局面合せガラス
落球衝撃によるはく離特性並びにショットバック衝撃特性による種類
・１類　・Ⅱ-１類　・Ⅱ-２類　・Ⅲ類
⊙強化ガラス
形状による種類及び材料板ガラス種類による名称　※建具表による
破片の状態及びショットバック衝撃特性による種類　・１類　・Ⅲ類
・熱線吸収板ガラス
板ガラスの種類、厚さによる種類　※建具表による　・
性能による種類　・１類　・２類
・複層ガラス
材料板ガラスの種類及び厚さの組合せ並びに複層ガラスの厚さ
※建具表による　・
断熱性による区分
・T1　・T2　・T3　・T4　・T5　・T6
日射取得性、日射遮断性による区分
・G　・S
乾燥気体の種類
・空気　・アルゴン　・
・熱線反射ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類　※建具表による　・
日射遮断性による区分
・１種　・２種　・３種
耐久性による区分（日射熱遮断性による区分が２種の場合）
・A種　・B種
映像調整
・行わない　・行う
・倍強度ガラス
材料板ガラスの種類、厚さによる種類　※建具表による　・

⑥ 建具改修工事（続き）

⑰ ガラス（続き）
ガラスの留め材及び溝の大きさ

建具の種類	ガラス留め材	ガラス溝の大きさ（mm）
アルミニウム製	※シーリング材（SR-1） ガスケット ・グレイジングチャンネル形 ・	※建具の製造所の仕様による ・図示 ・
鋼製及び鋼製軽量	※シーリング材（SR-1） ・	※建具の製造所の仕様による ・図示　・
ステンレス製	※シーリング材（SR-1） ・	※建具の製造所の仕様による ・図示　・

18　鍵箱
形式　・30本入（　）個　・60本入（　）個　・120本入（　）個　・　本入（　）個
鋼製市販品とし、監督職員の承諾による

⑦ 内装改修工事

① 改修範囲 [6.1.3]
既存間仕切壁の撤去に伴う当該壁の取り合う天井、壁及び床の改修範囲
※壁面より両側100mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
天井内の既存壁の撤去に伴う当該壁の取合う天井の改修範囲
※壁面より両側600mm程度とし、既存仕上げに準じた仕上げを行う　・図示
既存天井の撤去に伴う取合部の壁面の改修
※既存のまま　・図示

② 既存床の撤去及び下地補修 [6.2.2]
ビニル床シート等の除去　※仕上げ材のみ（接着剤とも）
・下地モルタルとも（・図示の範囲　・除去範囲全て）
合成樹脂塗床材の除去工法　・機械的除去方法　・目荒し工法
既存コンクリート又はモルタル面の下地処理に用いるポリマーセメントモルタル及びエポキシ樹脂モルタルは、4章外壁改修工事による

③ 既存壁の撤去及び下地補修 [6.3.2]
間仕切壁撤去に伴う他の構造体の補修
※改修標準仕様書4.4.8によるモルタル塗り
（塗り厚25mmを超える場合の処置　・行う　・行わない）
・図示

4　製材 G [6.5.2]
・JAS1083-5に基づく下地用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※2級・	※A種・B種・		・

・JAS1083-2に基づく造作用針葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
見え掛り面			・上小節 ・	※A種・B種・		・
見え掛り面以外			※小節以上 ・	※A種・B種・		・

・JAS1083-6に基づく広葉樹製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	等級	含水率	保存処理	間伐材等の適用
			※1等　・	※10%以下 ・A種・B種・		・

・JAS1083以外の製材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	材面の品質	防虫処理	難燃処理	含水率	間伐材等の適用
			（　　） 造作材の場合 （・A種　・B種）	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	※A種・B種・ ・	・

・代用樹種を使用できない箇所（　　）

5　造作用集成材 G
ホルムアルデヒド放散量　※規制対象外　・ [6.5.2]
・「集成材の日本農林規格」に基づく造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	見付け材面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用
					※1等　・2等	・
					※1等　・2等	・

・「集成材の日本農林規格」に基づく化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面積	見付け材面の品質	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・1等 ・2等	・

・「集成材の日本農林規格」以外の造作用集成材

施工箇所	樹種	寸法(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
				・15%以下 ・	・
				・15%以下 ・	・

・「集成材の日本農林規格」以外の化粧ばり造作用集成材

施工箇所	品名	樹種名	寸法(mm)	化粧薄板の厚さ(mm)	見付け材面の品質	含水率	間伐材等の適用
		化粧薄板： 芯材：				・15%以下 ・	・

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号
〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179
外村　選
一級建築士登録 第160636号
所長　担当　製図
法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認
登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿
株式会社ブランディー　・設備設計　・設備法適合確認
登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　　日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-04
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その４）	

⑦ 内装改修工事

6 造作用単板積層材 G

・JAS 0701に基づく造作用単板積層材

施工箇所	品名	寸法(mm)	表面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
				・適用する ・適用しない	・
				・適用する ・適用しない	・

・JAS 0701以外の造作用単板積層材

施工箇所	寸法(mm)	表面の品質	含水率	防虫処理	間伐材等の適用
			・14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・
			・14%以下 ・	・適用する ・適用しない	・

・JAS 3079に基づく直交集成板（CLT）

施工箇所	品名	強度等級	種別	接着性能(使用環境)	樹種	寸法(mm)	間伐材等の適用
							・

7 合板等 G

・「合板の日本農林規格」による普通合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	防虫処理	間伐材等の適用
	・5.5 ・	・ラワン ・しな ・	・1類 ・2類	広葉樹 ・2等以上 ・1等 針葉樹 ・C-D以上 ・	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による構造用合板 G

施工箇所	等級	単板の樹種名	接着の程度	板面の品質	厚さ(mm)	防虫処理	強度等級	間伐材等の適用
	・2級以上 ・1級		・1類 ・特類	・C-D以上 ・	・12 ・	・適用する ・適用しない	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による化粧ばり構造用合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	単板の樹種名	接着の程度	防虫処理	間伐材等の適用
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない	・

・「合板の日本農林規格」による天然木化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	化粧板に使用する単板の樹種名	接着の程度	防虫処理
			・1類 ・2類	・適用する ・適用しない

・「合板の日本農林規格」による特殊加工化粧合板 G

施工箇所	厚さ(mm)	接着の程度	表面性能	化粧板加工の方法	防虫処理
		・1類 ・2類			・適用する ・適用しない

・パーティクルボード G JAS A 5908

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	耐水性による区分	難燃性による区分
	・15 ・		・13ｷｲﾌﾟ ・	・P又はW ・	

・JAS 0360に基づく構造用パネル

施工箇所	寸法（mm）

・ＭＤＦ G

施工箇所	厚さ(mm)	表裏面の状態による区分	曲げ強さによる区分	接着剤による区分	難燃性による区分

⑨ 接着剤

⊙接着剤 [6.5.3、4][6.8.2][6.9.3][6.11.4,5]
接着剤は可塑剤（難揮発性の可塑剤を除く）が添付されていないものとする
ホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外 ・
施工箇所の下地がセメント系下地及び木質系下地以外の場合の接着剤の種別

⑦ 内装改修工事（続き）

10 防腐・防蟻処理 [6.5.5]

・防腐、防蟻処理が不要な樹種による製材
適用部位：（ ）
・薬剤の加圧注入による防腐・防蟻処理

適用部位	保存処理性能区分
	・Ｋ２ ・Ｋ３ ・Ｋ４

・薬剤の塗布等による防腐・防蟻処理

適用部位	処理の方法	薬剤の種類
	※薬剤の製造所の仕様による ・	JIS K517に適合又は同等品
	※薬剤の製造所の仕様による ・	JIS K517に適合又は同等品
	※薬剤の製造所の仕様による ・	JIS K517に適合又は同等品

・ボード原料接着剤への薬剤混入による防腐、防蟻処理 適用部位（ ）
・合板等の加圧注入処理等の適用 適用部位（ ）

11 軽量鉄骨天井下地 [6.6.2～4]

野縁等の種類 屋外（※25形 ・19形） 屋内（※19形 ・25形）
⊙屋外の軒天井、ピロティ天井等
野縁受・吊りボルト及びインサートの間隔 ・900程度 ・（ ）
周辺部の端からの間隔 ・図示 ・
野縁の間隔 ・300程度 ・（ ）
既存の埋込みインサート ⊙使用する ⊙使用しない
あと施工アンカーの引抜き試験
・行う 試験個所数（・ 箇所 ※屋内の場合、当該階において３箇所）
確認強度 （ ・ Ｎ ※屋内の場合、当該階において３箇所）
※吊りボルトの受け等の間隔が900mm程度以下かつ天井面積構成部材等の
単位面積あたりの質量が20kg/㎡以内の天井の場合は400N程度
・行わない
・吊りボルトの間隔が900mmを超える場合
補強方法 ※図示 ・
・天井のふところが1.5m以上の場合
補強方法 ※図示 ・
・屋内外への耐震補強
・行う ・行わない
補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・
⊙耐風圧性を考慮した補強
・行う（1．各章共通事項 3．品質計画による） ・行わない
補強箇所 ※図示 ・
補強方法 ※図示 ・

12 軽量鉄骨壁下地 [6.7.3]［表6.7.1］
※改修標準仕様書6.7.3によるスタッドの高さによる区分に応じた種類 ・図示
スタッドの高さが5mを超える場合 ※図示 ・

13 ビニル床シート G [6.8.2,3]

種類	種類の記号	施工箇所	色柄	特殊機能	厚さ(mm)	備考
⊙発泡層のないもの	・FS(複層ビニル床シート) ・	仕上表による	⊙無地 ⊙マーブル柄 ・無地 ・柄物	・帯電防止 ・耐動荷重性 ・防滑性 ・耐薬品性	⊙2.0 ・2.5	
・発泡層のあるもの	・					

工法 ※熱溶接工法 ・突付け（施工箇所： ）

14 ビニル床タイル G [6.8.2、3]

種 類	色 柄	寸 法	厚さ(mm)	備考
・TT（単層ビニル床タイル（接着型）） ⊙FT（複層ビニル床タイル（接着型）） ・KT（コンポジションビニル床タイル） ・FOA（置敷きビニル床タイル（置敷き型）） ・FOB（置敷きビニル床タイル（置敷き型））	・無地 ⊙柄物	⊙300×300 ・450×450 ・500×500 ・	・2.0 ・2.5 ⊙3.0 ・	

15 特殊機能床材 [6.8.2]

種 類	厚さ(mm)	寸 法	性 能	備 考
・帯電防止床シート （ ）	・		・	
・帯電防止床タイル （ ）	・	・	・	
・耐動荷重性床シート （ ）	・			
・防滑性床シート （ ）	・			
・防滑性床シート （ ）	・	・		

16 ビニル幅木 [6.8.2]

材質 ※軟質 ・硬質
高さ(mm) ※60 ・75 ⊙100
厚さ(mm) ※1.5以上 ・

17 カーペット敷き G

・タイルカーペット

パイル形状	種別	施工箇所	寸法	総厚さ(mm)	備考
※ループパイル	※ 第一種 ・ 第二種		・500×500 ・	※6.5 ・	帯電防止及び防汚加工品
・カットパイル	・ 第一種 ・ 第二種		・500×500 ・	※6.5 ・	
・カット・ループ併用	・ 第一種 ・ 第二種		・500×500 ・	※6.5 ・	

色柄 ※無地 ・柄物
タイルカーペットの敷き方 平場 ※市松敷き ・模様流し ・
階段部分 ※模様流し ・市松敷き ・
見切り、押え金物
材質（ ） 種類（ ）
形状等 ・図示 ・

⑦ 内装改修工事（続き）

18 合成樹脂塗床 [6.10.2～3]

種 別	施工箇所	工 法	仕上げの種類
・厚膜型塗床材 弾性ウレタン樹脂系塗床			※平滑仕上げ ・防滑仕上げ ・つや消し仕上げ
※厚膜型塗床材 エポキシ樹脂系塗床		※薄膜流し展べ工法 ・厚膜流し展べ工法 ・樹脂モルタル工法	・平滑仕上げ ・防滑仕上げ
・薄膜型塗床材			・平滑仕上げ

塗料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外 ・

19 フローリング張り G [6.11.2～6]［表6.11.1～5］

単層フローリング G

種 類	工法	樹種	厚さ(mm)	大きさ	仕上塗装	間伐材の適用
・フローリングボード １等	・釘留め工法 （根太張り）	・なら ・	15	板幅75 板長さ500以上	・塗装品 ・無塗装品	・あり ・なし
	・釘留め工法 （直張り）	・なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		・あり ・なし
	・接着工法	・なら ・	・12以上 ・	板幅75 板長さ500以上		・あり ・なし
・フローリングブロック １等	・接着工法	・なら ・	15	303×303	・塗装品 ・無塗装品	・あり ・なし
		・	・	・	・	

天然木化粧複合フローリング G

種 類	工 法	樹種	厚さ/大きさ(mm)	種別	塗装仕上げ	間伐材の適用
・天然木化粧複合フローリング	・釘留め工法 （根太張り） ・釘留め工法 （直張り）	・なら ・	板厚 ・8以上 ・ 板幅 ・75以上 板長さ 400以上	・A種 ・B種 ※C種	・塗装品 ・無塗装品	・
	・接着工法	・なら ・				・

フローリング及び接着剤のホルムアルデヒドの放散量 ※規制対象外
接着工法の場合の裏面緩衝材 ※合成樹脂発泡シート ・
現場塗装仕上げ ・図示（施工箇所 ）

20 畳敷き

種別 ・A種 ・B種 ※C種 ・D種（畳床：KT-Ⅰ ・KT-Ⅱ ・KT－Ⅲ ・KT-K ・KT-N） [6.12.2]
下地の種類 ※ポリスチレンフォーム床下地（ノンフロン G）
・標準仕様書 表12.6.1による床組 ・
畳表及び畳床にはホルムアルデヒド、アセドアルデヒド及びスチレンを発散しないか、
発散が極めて少ない材料を使用したものとする。

21 せっこうボード、その他のボード及び合板張り [6.13.2、3]

種 類	JIS記号	厚さ（mm）、規格等
・硬質木毛セメント板 G	HW	・15 ・20 ※25 ・
・普通木毛セメント板 G	NW	・15 ・20 ※25 ・
⊙けい酸カルシウム板	0.8FK 1.0FK	・突付け ⊙目透し タイプ２（無石綿） ※6 ・8
⊙ロックウール化粧吸音板	DR	※突付け ・ ⊙フラットタイプ（・9(不燃) ※12(不燃) ・ ） ・凹凸タイプ （・12(不燃) ・15(不燃) ・19(不燃) ・ ） ※300×600 ・455×910
⊙せっこうボード	GB-R	※突付け（ベベルエッジ） ・継目処理（ベベルエッジ） ※12.5（不燃） ・15（不燃） ※910×2730 ・910×1820
・グラスウール吸音ボード32K	GW-B	※ 25（厚手ガラスクロス包） ※ 留め付け材 樹脂製プラグ@300程度
・不燃積層せっこうボード	GB-NC	※突付け ※9.5（不燃） ・化粧無（下地張り用） ・化粧有（トラバーチン模様） ※450×910 ・910×910
⊙シージングせっこうボード	GB-S	⊙12.5（不燃）
⊙強化せっこうボード	GB-F	⊙12.5（不燃） ・15（不燃）
・化粧せっこうボード（木目）	GB-D (W)	※目透し ・12.5（不燃）幅440mm程度 ※9.5 模様（・柾目 ・板目）専用下地材有り
⊙メラミン樹脂化粧板		JIS K 6903 による （※1.2 ⊙3.0 ）
・普通合板 G		裏面の樹種名 ・ 板面の品質 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1種 ・2種 防虫処理 ・行う ・行わない
・天然木化粧合板 G		化粧板の樹種名 ・ 厚さ ・図示 ・ 接着の程度 ・1種 ・2種 防虫処理 ・行う ・行わない

せっこうボード等の下地及びせっこうボードの目地工法は図示による
遮音シール材 ※アクリル系またはウレタン系シーリング材
・ジョイコンパウンド（JIS A 6914）
合板類、MDF及びパーティクルボードのホルムアルデヒド放散量
※規制対象外 ・
合板類の張付け ・B種 ・A種

⑦ 内装改修工事（続き）

22 壁紙張り

ホルムアルデヒド放散量 ※規則対象外 ・ [6.14.2、3]

施工箇所	壁紙の種類：紙	繊維	プラスチック	無機質	その他	防火種別	商品名(程度)
図示	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	
	・	・	・	・	・	・不燃 ・準不燃	

モルタル・プラスター面の下地調整 ※Ｂ種 ・Ａ種
コンクリート・ＡＬＣパネル面の下地調整 ※Ｂ種 ・Ａ種
せっこうボード面の下地調整 ※Ｂ種 ・Ａ種

23 モルタル塗り [6.15.3、6]

吸水調整材は、改修標準仕様書表4.3.2による
既製目地材 ・設ける 施工箇所（ ） 形状（※図示 ・ ）
・設けない
床の目地 ・設ける（工法※押し目地 ・ ）
（目地割り ※2m程度 ・ ）
（最大目地間隔 ※3m程度 ・ ）
・設けない

24 タイル張り [6.16.2～4]

伸縮調整目地の位置 床タイル （※縦、横とも4m以内ごと ⊙図示 ・ ）
床タイル以外 ⊙図示 ・ ）
伸縮目地のシーリング材、目地寸法は改修特記仕様書第3章による
・セメントモルタルによるタイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分：Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり：無ゆう	無ゆう	役物：有	無	色：標準	特注	再生材料の適用 G	耐凍害性：有	無	耐滑り性	備考
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
既製調合モルタル
モルタル下地としたタイル工事に使用する張付け用モルタルとして、セメント、細骨材、混和材等を
予め工場において所定の割合に配合した材料とする。
（品質・性能・試験方法） 建築材料等品質性能表による

※有機系接着剤による陶磁器質タイル（セラミックタイル）張り
タイルの形状、寸法等

施工箇所	形状寸法(mm)	吸水率による区分：Ⅰ類	Ⅱ類	Ⅲ類	うわぐすり：無ゆう	無ゆう	役物：有	無	色：標準	特注	再生材料の適用 G	耐凍害性：有	無	耐滑り性	備考
図示	二丁掛	⊙	・	・	⊙	・	⊙	・	⊙	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	
		・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	・	

標準的な曲がりの役物は一体成形とする
試験張り ・行う ※行わない
見本焼き ・行う ※行わない
内装壁タイル接着材張りに使用する有機質接着剤のホルムアルデヒド放散量
※Ｆ☆☆☆☆ ・

25 セルフレベリング材塗り

種類及び品質 ・せっこう系 ・セメント系 [6.17.2、3]
標準塗厚(mm) ・

26 フリーアクセスフロア [20.2.2]

施工箇所	寸法(mm)	高さ(mm)	所定荷重(N)	表面仕上げ材	備 考
	※450角以上 ・600角以下 ・	※100 ・120	※3000 ・5000	・帯電防止床タイル ※タイルカーペット ・	

適用地震時水平力 １階及び地階 ※0.6Ｇ以上
中間階（ ～ 階） ※0.6Ｇ以上 ・1.0Ｇ以上
最上階（ 階） ※1.0Ｇ 以上
帯電防止床タイル ・置敷タイプ ・パネル一体タイプ
（パネル一体タイプ以外の仕上げ材は別途内装工事とする）
寸法精度
※標準仕様書20．2.2(2)（ｵ）(a)～(c)による
厚さ ±0.5mm
平坦度 パネル周辺部 1.0mm以下
図心と各頂点を結ぶ線上部 2.0mm以下
表面仕上材の品質、性能は、標準仕様書19章による

27 可動間仕切 [20.2.3]

構造形式による種類	構造基材の種類：スタッド	パネル	パネル表面材仕上げ	遮音性(dB/500Hz)	防火性能
・スタッド式(内蔵) ・スタッド式(露出) ・パネル式 ・スタッドパネル式			※メラミン樹脂焼付 又は樹脂焼付アクリル ・壁紙張り	・36未満 ・36以上	・不燃

パネル内に取付ける建具 ・あり（※図示 ・ ） ・なし
表面仕上材を壁紙張りとする場合の品質、性能は標準仕様書19章による
パネル材料のホルムアルデヒド放散量 ※規制対象外
ガラス留め材 ・ガスケット ・シーリング

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録 第 1-3-164 号
〒890-0067 鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177 FAX 099-257-1179

外村 選
一級建築士登録 第160636号
所長 担当 製図

法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所 ・構造設計 ・構造法適合確認
登録 第 1-4-19 号 構造設計一級建築士 第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76 鎌田 和寿
株式会社ブランディー ・設備設計 ・設備法適合確認
登録 第 1-5-90 号 設備設計一級建築士 第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32 山中 憲幸

設計年月日	令和 7年 6月 日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-05
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その５）	

⑦ 内装改修工事（続き）

㉘ 移動間仕切 [20.2.4]

構造形式	操作方法	パネル圧縮装置の操作方法	総厚さ (mm)	パネル表面材 材質	パネル表面材 パネル表面仕上げ	遮音性 (dB/500Hz)
⊙平行方向 移動式 ・二方向 移動式	⊙手動式 ・電動式 ・部分電動式	・プッシュ式 ・ハンドル式 ・	※60程度 ・100程度	⊙鋼板 ・	※焼付塗装 ・壁紙張り ・	・36未満 ⊙36以上

パネル表面仕上げの壁紙張りの品質、性能は標準仕様書19章による。
遮音性能は、JIS A 6512に準拠し、中心周波数500Hzの音についての透過損失とする。

ハンガーレールの取付け下地の補強
※取付け全重量の５倍以上の荷重に対して、使用上支障のない耐力及び変形量となるように補強する。
・図示
移動間仕切の壁面当たり枠　※適用する（製造所の仕様による）　・
ランナー
パネル重量の5倍の荷重をパネル1枚に使用するランナー数で除した値に対して、耐力及び変形量が使用上支障のないものとする

29 トイレブース [20.2.5]

表面材の種類	色 柄	脚部 形状	ドアエッジ 形状	ドアエッジ 材質
※ メラミン樹脂系化粧板 ・ ポリエステル樹脂系化粧板	※ 無地 ・ 柄物	※幅木タイプ ・	※ 標準 ・ R	※ アルミニウム製 ・ ステンレス製 ・ 表面材と同材

吊り方式　※中心吊、戸当たり付　・（　　）
パネル材料のホルムアルテヒド放散量　※規制対象外

㉚ 視覚障害者用床タイル [11.2.2] [19.2.2]

施工箇所		種類	寸法 (mm)	厚さ (mm)
屋内	平面図による	⊙塩化ビニール製	※300×300 ・	⊙7.0 ・
屋内		・セラミックタイル	※300×300 ・	※17程度
屋内		・レジンコンクリート製	※300×300 ・	・30 ・
屋外		・セラミックタイル G	※300×300 ・	※17程度
屋外		・レジンコンクリート製	※300×300 ・	・30 ・
		・	・	・

視覚障害者用ブロック等の突起の形状及びその配列はJIS T 9251による
・樹脂系点字鋲（タイルカーペット用）
寸法　・300角　※500角
色　※黄色　・
樹脂系点字鋲の留付は、両面からの挟込みホック式または接着式

㉛ 階段滑り止め [20.2.7]

材種
⊙ステンレス製　・黄銅製押出形材
・アルミニウム製押出形材　・
滑り止め材　形状　・ひも型　⊙タイヤ型
材質　ゴム又は合成樹脂
取付工法　⊙接着工法　・埋め込み工法
幅(mm)　⊙図示　・
端部フラットエンド　⊙あり　・なし

㉜ 床目地棒 [20.2.8]

床仕上げの異なる箇所には目地棒を入れる
※ステンレス製冂型(幅40程度 ⑦1.5)　標準詳細図 (A-31-1)
・ステンレス製6×12　標準詳細図 (A-31-2)
・黄銅製6×12　標準詳細図 (A-31-2)

㉝ 手すり [20.2.6]

・集成材手すり

形式	径	材種	仕上
・１段	・35φ　※45φ　・	※タモ ・	※ＣＬ ・
※２段	※35φ　・		

⊙既製手すり（樹脂製）

形式	径	ブラケット	備考
・Ｏ型（１段）	※40φ　・	アルミ合金製 （心材共）	指づめ防止材共
※Ｏ型（２段）	※34φ　・		

点字表示板（　　）箇所
JIS T 0921 に基づく点字の表示原則及び点字表示方法による
※ポリカボネード製　大きさ　120×150程度　厚み　0.1程度
※塩ビ製　大きさ　100×125程度　厚み　0.1程度

㉞ ブラインド [20.2.14]

⊙再使用する　⊙新設する

形式	操作方法	種類	スラットの材種	スラット幅 (mm)	ボックス・レールの材種	幅・高さ 取付箇所
⊙横型	⊙手動	※ギヤ式 ・コード式 ・操作棒式	※アルミニウム合金製 G ・	※25 ・	※鋼製 ・	・図示 ・
	・電動	―				
・縦型	・手動	※２本操作ｺｰﾄﾞ式 ・１本操作ｺｰﾄﾞ式	・アルミスラット ・クロススラット ・	・80 ・100	アルミニウム合金製	・図示 ・
	・電動	―				

スラットの材質
アルミスラット　焼付け塗装仕上げ
クロススラット　消防法で定める防炎性能の表示がある特殊樹脂加工
ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする

㉟ カーテン [20.2.16]

⊙再使用する　⊙新設する

形式		開閉操作	ひだの種類	商品名(程度)	取付箇所	備考
⊙シングル ・ダブル	⊙片引き ・引分け	⊙手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ⊙プレーンひだ、片ひだ		⊙図示 ・	
・シングル ・ダブル	・片引き ・引分け	・手引き ・ひも引き ・電動	・フランスひだ ・箱ひだ、つまひだ ・プレーンひだ、片ひだ		・図示 ・	

ポリエステル繊維又は植物を原料とする合成繊維を使用した製品を使用する場合は G とする
暗幕カーテンの両端、上部及び召合せの重なり　※300mm以上　・

⑦ 内装改修工事（続き）

㊱ カーテンレール [20.2.16]

⊙再使用する　⊙新設する
材種　※アルミニウム製及びアルミニウム合金の押出し成型材　・ステンレス製
形式　⊙シングル　・ダブル　⊙片引き　・引分け
強さによる区分　※10-90　・
仕上げ　※アルマイト　・
形状　※角形

㊲ ブラインドボックス及びカーテンボックス

⊙再使用する　⊙新設する
溝型×深さ (mm)　・90×150　・120×80　⊙120×150　・150×80　・図示
材質　⊙集成材（仕上げ：　SOP塗装　）
※アルミニウム製　押出形材（市販品）
表面処理　・C-1　・C-2　・
皮膜等の種類　※標準仕様書　表14.2.1による　・
⊙鋼製（仕上げ：　SOP塗装　）

㊳ 天井点検口

材種	寸法	形式		外枠	内枠
※アルミニウム製	※450×450 ・600×600	・一般型	・屋内外用 ・屋内用	※額縁タイプ ・目地タイプ	※額縁タイプ ・目地タイプ
・	・	・気密型			

（品質・性能・試験方法）　建築材料等品質性能表による

39 床点検口

材種	寸法	形式		備考
（底板）※鋼製 ・	・450×450	・一般型	・屋内外用	・鍵付き
（枠）※アルミニウム製 ・	※600×600	・密閉型	※屋内用	※鍵なし
（目地）※ステンレス製 ・				

（品質・性能・試験方法）　建築材料等品質性能表による

⑧ 塗装改修工事

① 材料 [7.1.3]

屋内で使用する塗料のホルムアルデヒド放散量
※規制対象外　・
防火材料　※屋内の壁、天井仕上げは防火材料とする。
・次の箇所を除き防火材料とする。（箇所：　　）

② 下地調整 [7.2.1～7]

塗替えＲＢ種の場合の既存塗膜の除去範囲
※劣化部分は除去し、活膜部分は残す　・図示　・
既存錆止め塗料の鉛含有調査
・行う　（　　）箇所　⊙行わない

下地調整

下地面の種類	下地調整の種別 塗替え	下地調整の種別 新規	ひび割れ部の補修
木部	※ＲＢ種　・	標準仕様書(18.2.1)素地ごしらえによる	・
鉄鋼面	※ＲＢ種　・		
亜鉛めっき鋼面	※ＲＢ種　・		
亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※ＲＢ種　・		
モルタル、プラスター面	※ＲＢ種　・		・行う ・行わない
コンクリート面(DP以外)、ＡＬＣパネル面	※ＲＢ種　・		・行う ・行わない
押出成形セメント板面	・ＲＡ種 ※ＲＢ種 ・ＲＣ種		・行う ・行わない
コンクリート面(DP)	※ＲＢ種 ・ＲＣ種		・行う ・行わない
せっこうボード面及びその他ボード面	※ＲＢ種　・		―

⑧ 塗装改修工事（続き）

③ 錆止め塗料塗り [7.4.2、3]

錆止め塗料塗りの種別

塗装面		塗料	工程
鉄鋼面	ＥＰ－Ｇ以外	塗替え	Ａ種	※Ｃ種
		新規鉄鋼面見え掛り	Ａ種	※Ａ種
		新規見え隠れ	Ａ種	※Ｂ種
	ＥＰ－Ｇ	塗替え	Ｂ種　・Ａ種	※Ｃ種
		新規鉄鋼面見え掛り	Ｂ種　・Ａ種	※Ａ種
		新規見え隠れ	Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種
亜鉛めっき鋼面	ＥＰ－Ｇ以外	塗替え	※Ａ種　・Ｂ種	※Ｃ種
		新規鋼製建具等	※Ａ種　・Ｂ種	※Ａ種
	ＥＰ－Ｇ	塗替え	Ｃ種	※Ｃ種
		新規鋼製建具等	Ｃ種	※Ａ種

④ 塗装

塗装の種類	塗装	工程 塗替え	工程 新規
⊙合成樹脂調合ペイント塗り（SOP） 塗料の種別 ※1種　・2種	木部屋外	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	木部屋内	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
	鉄鋼面	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・Ａ種
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具）	※Ａ種　・	※Ｂ種　・
	亜鉛めっき鋼面（鋼製建具以外）	※Ｂ種　・	※Ｂ種　・
・クリヤラッカー塗り（CL）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・			
・アクリル樹脂系非水分散型塗料塗り（NAD）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
⊙耐候性塗料塗り（DP）	鉄鋼面 上塗り等級（ 3 ）級	⊙ Ｂ種	Ａ種
	亜鉛めっき鋼面 上塗り等級（　）級	・	Ａ種
	コンクリート面及び押出成形セメント板面	・	・Ａ-1種 ・Ｂ-1種 ・Ｃ-1種
⊙つや有合成樹脂エマルションペイント塗り（EP-G）	コンクリート面等	※Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	屋内の木部	※Ｂ種　・	※Ａ種　・
	屋内の鉄鋼面	※Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
	屋内の亜鉛めっき鋼面	※Ａ種　・	・Ａ種
・合成樹脂エマルションペイント塗り（EP）		※Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
・合成樹脂エマルション模様塗料塗り（EP-T）		※Ｂ種　・	・Ａ種　・Ｂ種
・ウレタン樹脂ワニス塗り（UC）		※Ｂ種　・Ａ種	※Ｂ種　・Ａ種
・オイルステイン塗り（OS）		―	―
・木材保護塗料塗り（WP）		※Ｂ種	※Ｂ種

つや有合成樹脂エマルションペイント塗り(コンクリート面、モルタル面、プラスター面、せっこうボード面、その他ボード面)の塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書　表7.9.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする

合成樹脂エマルションペイント塗りの塗替えの場合のしみ止め
※改修標準仕様書　表7.10.1の工程1の下塗りをしみ止めシーラーとする

・高日射反射率塗料塗り G

工程	塗料その他 規格番号	規格名称	種類	等級	塗付け量 (kg/m2)
塗料塗り	JIS K 5675	屋根用高日射反射率塗料	２種	・１級 ・２級 ・３級	塗料製造所の仕様による

下地調整(改修標準仕様書7.2.2)　・RA種　・RB種　・RC種

5 フッ素樹脂塗装

打放しコンクリート面保護工法
（下塗材）　水性　浸透性吸水防止材
（上塗材）　・水性フッ素樹脂クリヤー
・水性フッ素樹脂カラークリヤー

6 焼付塗装

素材	焼付種別	仕上げ	コート	ベーク	部位
・アルミニウム	・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂	・ソリッド ・メタリック			
・ステンレス	・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂	・ソリッド ・メタリック			
・亜鉛めっき鋼板	・フッ素樹脂 ・ウレタン樹脂 ・アクリル樹脂	・ソリッド ・メタリック			

⑨ 環境配慮改修工事

① 石綿含有建材の除去工事

表示形態の変更

施工調査　※石綿含有建材の事前調査 [9.1.1,3～5]

工事着手に先立ち、目視及び貸与する設計図書等により石綿を含有している吹き付け材、成形板、建築材料等の使用の有無について調査する。

調査範囲　（※改修対象部位　・図示　⊙共同利用施設屋根、煙突、玄関ﾎｰﾙ、集会室(2)前ﾎｰﾙ、貸与資料　（　　）　内待合ﾎｰﾙ壁、５ヶ所

⊙分析による石綿含有建材の調査
分析対象
アクチノライト、アモサイト、アンソフィライト、クリソタイル、クロシドライト、トレモライト

分析方法

材料名	定性分析（JIS A 1481-1または JIS A 1481-2）	定量分析（JIS A 1481-3または JIS A 1481-4）
・	・箇所	・箇所
・	・箇所	・箇所
・	・箇所	・箇所
・	・箇所	・箇所

サンプル数　1箇所あたり3サンプル
採取場所　⊙ 図示

・石綿粉塵濃度測定 [9.1.1]
測定時期、場所及び測定点

適用	測定名称	測定時期	測定場所	備考（各施工箇所ごと）
・	測定１	処理作業前	処理作業室内	計　点
・	測定２		調査対象室外部の付近	計　点
・	測定３	処理作業中	処理作業室内	計　点
・	測定４		セキュリティーゾーン入口	計　点
・	測定５		負圧・除じん装置の排出口（処理作業室外の場合）	出口吹き出し風速 1m/ｓ以下の位置
・	測定６		処理作業室外 ・施工区画周辺 ・敷地境界	計　点
・	測定７	処理作業後（シート養生中）	処理作業室内	計　点
・	測定８	処理作業後シート	処理作業室内	計　点
・	測定９	撤去後1週間以降	調査対象室外部の付近	計　点

・JIS K 3850-1に基づいた測定 [9.1.1]

測定名称	メンブレンフィルター直径(mm)	試料の吸引流量 (L/min)	試料の吸引時間 (min)
・測定４ ・測定５	２５	５	３０
・測定 ・	４７	１０	１２０
・測定 ・	４７	１０	２４０
・測定 ・			

・自動測定機による測定

測定名称	測定方法
・測定４ ・測定５	粉じん相対濃度計（デジタル粉じん計）、パーティクルカウンター、繊維状粒子自動測定器（リアルタイムファイバーモニター）等の粉じんを迅速に測定できる機器を用いた測定

石綿含有吹付材の処理 [9.1.3]
⊙石綿含有吹付材の除去
除去対象範囲　※図示
除去工法　※ [9.1.3] (2)(7)による
除去した石綿含有吹付材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付材の処分
・埋立処分　（管理型最終処分場）
・中間処理　（溶融施設又は無害化処理施設）

・石綿含有保温材の除去
除去対象範囲　※図示
除去工法　・切断又は破砕して除去　・手ばらし
除去した石綿含有保温材等の飛散防止措置
※湿潤化　・固形化
除去した石綿含有吹付材の処分
・埋立処分　（管理型最終処分場）
・中間処理　（溶融施設又は無害化処理施設）

処理を行う石綿含有保温材等の仕様等

材料名	厚さ(mm)	処理を行う範囲
・石綿含有保温材		※図示　・
・石綿含有耐火被覆板		※図示　・
・石綿含有断熱材		※図示　・

⊙石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形版（下地調整材）の除去
除去対象範囲　※図示
除去した石綿形成板等の処分
石綿含有せっこうボード
・埋立処分　（管理型最終処分場）
石綿含有せっこうボードを除く石綿含有成形板、石綿含有仕上塗材又は石綿含有成形版（下地調整材）の除去
・埋立処分　（管理型最終処分場）
・埋立処分　（安定型最終処分場）
・中間処理　（溶融施設又は無害化処理施設） [9.1.1]

石綿含有建材除去後の仕上げ工事　⊙図示

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号
〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179

外村 選
一級建築士登録 第160636号
所長　担当　製図

法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認
登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿
株式会社プランディー　・設備設計　・設備法適合確認
登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　日
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その６）
図面番号	A-06

⑨ 環境配慮改修工事（続き）

②煙突用ライニング材撤去（高圧洗浄除去工法）

範囲　※図示
仕様は以下による
1) 最下部灰出し口部分及び煙突頂部の離隔養生を行う。
　最下部は洗浄水を受けるために防水シートを設置する。
2) 頂部より高圧洗浄機具を挿入し、煙突用ライニング材を湿潤化させながら撤去作業を行う。
3) 撤去後は撤去面に飛散防止材を吹付ける。
4) 最下部で高圧洗浄機具により撤去が困難な場合は手はつりにて撤去する。
5) 石綿を含んだ洗浄水は固形化した上で密封処理及び梱包処理を行う。
6) セキュリティーゾーン等の養生材を適切に除去する。

撤去後の撤去面の調査は適切に行う。
石綿の処理は関係法令に基づき適切に処理する。
セキュリティーゾーンは関係法令に基づき適切に設置する。
煙突の頂部、最下部の撤去コンクリートは石綿が付着したものとして適切に処分する。

3 外断熱改修工事 G　表示形態の変更

断熱材の種類　・　[9.2.2～4]
断熱材の厚さ（mm）　・
ホルムアルテヒド放散量　※規制対象外　・
外装材

種　類	防火性能	備　考
・		

既存外壁の措置
既存外壁仕上げ材の撤去　・あり　・なし
下地面の清掃　・行う　・行わない
欠損部の改修工法　・改修標準仕様書　第4章　外壁改修工事による
工法
１章適用区分による風圧力の（＊1.0　＊1.15　＊1.3　）倍の風圧力に対応した工法
不陸等の下地調整
通気層の有無　・あり（　　mm）　・なし
断熱材の施工　※断熱材製造所の仕様による　・
外装材の施工　・外装材製造所の仕様による　・
外装材の外壁への取付け　・図示　・
笠木の施工　・改修標準仕様書第3章　アルミニウム笠木による

4 断熱・防震改修工事 G

フェノールフォーム断熱材又は保温材、接着剤のホルムアルテヒド放散量　[9.3.2～4]
※規制対象外
・断熱材打ち込み工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスティック断熱材
種類　・
厚さ（mm）　・
施工場所　・
・断熱材現場発泡工法
断熱材種類　・A種1　・A種1H　・　種
吹付厚さ（mm）　・※25　・30　・
施工箇所　・図示
※窓廻り等の断熱材補修部分、ルーフドレン廻りの版下等、部分的に跡張りとしなければならない箇所
・断熱材後張り工法
断熱材　JIS A 9521に基づく発泡プラスティック断熱材
種類　・
厚さ（mm）　・
施工場所　・
断熱材にせっこうボード等を取り付けたパネル　・　使用する

5 屋上緑化改修工事 G　[9.4.2、3]

植栽基盤及び材料
・屋上緑化軽量システム　※適用する　・適用しない
芝及び地被類の樹種並びに種類等　※図示　・
見切り材、舗装材、排水孔、マルチング材等　※図示　・

（品質・性能・試験方法）　建築材料等品質性能表による
かん水装置　※設置する（種類　・　・　）
既存保護層の撤去　・行う　・行わない　・改修標準仕様書［3.2.3］による
新植した芝及び地被類の枯補償の期間　引き渡しの日から1年

6 透水性アスファルト舗装改修工事　[9.5.2～5、9]

適用範囲：歩道
既存舗装の撤去及び再利用　※図示　・
路床
路床の材料

種　別	材　料	厚さ（mm）
・盛土	・A種　※B種　・C種　・D種 ・建設汚泥から再生した処理土 G	・図示 ・
・凍上抑制層	※再生クラッシャラン G ・クラッシャラン ・切込み砂利　・	・図示 ・
・フィルター層	※砂　・	・図示

路床安定処理　・適用する　・適用しない
路床安定処理の方法
・添加材料による安定処理
種類　・普通ポルトランドセメント　・高炉セメント8種 G
・フライアッシュセメントB種　・生石灰（・特号　・１号）
・消石灰（・特号　・１号）　・
添加量　kg/m2（目標CBR　・３以上　・　）
目標ＣＢＲを満足する添架量の確認方法
・安定処理土のＣＢＲ試験　・

⑨ 環境配慮改修工事（続き）

6 透水性アスファルト舗装改修工事(続き)

試験
砂の粒度試験　・行う　・行わない
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
路盤
路盤の構成及び厚さ　・図示　・

路盤材料の種類

路盤材料の種類	
・再生材	・クラッシャラン ・粒度調整砕石
※再生材 G	※クラッシャラン G ・粒度調整砕石 G
・クラッシャラン鉄鋼スラグ G	
・粒度調整鉄鋼スラグ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラグ G	

舗装の構成　※図示　・
開粒度アスファルト混合物等の抽出試験　※行う　・行わない
舗装の平たん性　※著しい不陸がないもの

7 PCB含有シーリング材

・サンプリングの採取(1次分析用)
※現場においてサンプリングを採取する
採取箇所　※外壁目地　・図示　・
採取箇所数　※部材が異なるごとに1箇所　・（　　）箇所
・サンプリングの採取(2次分析用)
※現場においてサンプリングを採取する
採取箇所　※外壁目地　・図示　・
採取箇所数　・（　　）箇所
・発注者より貸与する
分析個数　・（　　）箇所

1) 採取作業はシーリング等が散逸することのないよう注意して行う。
2) シーリング材は目地に打設されている形状のままｘcm程度をカッターナイフで切断し、ただちにポリエチレン製の密封袋に保管し、No及び採取場所を記入する。
　サンプルは1袋に1つずつ入れること。
3) カッターナイフの刃は、1つのサンプルを採取する毎に新しい部分に変えること。
4) シーリング材を切除した部分は必要に応じて補修すること。補修材料は特記仕様書による
5) 皮膚との接触を避けるため保護手袋及び保護マスクを着用する。
6) 休息時及び作業終了後には必ず手洗いを行う。
7) 作業後は周囲を清掃し、散逸物を回収する。回収物はサンプリング残渣とその他のごみに分別し、サンプリング残渣と同様にポリエチレン製の密封袋に入れる。

・サンプルの分析
・1次分析(シーリング種類の調査)
「シーリング材種判定及びPCB含有分析の要否判定書」を作成し、採取したサンプルと合わせて日本シーリング材工業会に送付し、分析を行うこと。
・2次分析（PCB含有率調査）
専門分析機関にサンプルを送付しPCB含有分析を行うこと。
・施工調査等
調査範囲　※図示　・（　　）
処分にあたり、あらかじめ次の事項について調査を行うこと。
シーリング使用部位の確認
シーリング長さの確認
施工範囲と工事管理区分の確認
廃棄物等の搬出方法

・除去処分工事
PCBを含有したシーリング材の処理は次によるほか、「廃棄物の処理及び清掃に関する法律(昭和45年法律137号）」並びに「ポリ塩化ビフェニル産業物の適正な処理の推進に関する特別措置法(平成13年法律65号）」により適切に行うこと。
1) 工事に先立ち施工計画書を作成し、監督職員の承諾を得ること。
2) シーリング材の散逸防止として、床面、開口部、換気口等に養生を行い、作業区域から飛散薄社牛措置を取ること。
3) 作業員は保護マスク及び保護手袋を着用すること。
4) シーリング材はカッターナイフ等を用い、下地が露出するまで極力切除する。
5) 除去工事終了後、シーリング材及び散逸物を回収しポリエチレン製の密閉袋に入れて保管容器に入れること。保管容器の形状、材質等は保管量、保管場所を考慮し、監督職員の承諾を得たものとする。
6) 除去及び回収状況について監督職員の検査を受けること。
7) 工事着工後、設計図書によりがたい場合、又は不測の事象が発生した場合は監督職員と協議する。

8 路床　[22.2、3、5]［表22.2.1］

路床土　・A種　※B種　・C種　・D種
路床の構成及び仕上り　※図示
試験
路床土の支持力比（ＣＢＲ）試験　・行う　・行わない
路床締固め度の試験　・行う　・行わない
現場ＣＢＲ試験　・行う　・行わない

9 路盤　[22.2.2、3、5]［表22.3.1］

路盤の構成及び厚さ　・図示　・
路盤材料の種類

・砕石	・クラッシャラン ・粒度調整砕石
・再生材 G	※クラッシャラン ・粒度調整砕石
・クラッシャラン鉄鋼スラブ G	
・粒度調整鉄鋼スラブ G	
・水硬性粒度調整鉄鋼スラブ G	

路盤締固め度の試験　※行う　・行わない

⑨ 環境配慮改修工事（続き）

10 アスファルト舗装　[22.4.2～6]［表22.4.2］

アスファルト舗装の構成及び厚さ　※図示　・
材料
アスファルト　※再生アスファルト G　（・60～80　・80～100　）
・ストレートアスファルト
骨材　・道路用砕石
※アスファルトコンクリート再生骨材 G
加熱アスファルト混合物等の種類
※密粒度アスファルト混合物（13）
・細粒度アスファルト混合物（13）
シールコートの乳剤の種類
・PK-1　・PK-2
試験
アスファルト混合物等の抽出試験　・行う　・行わない
舗装の平たん性　※通行の支障となる水たまりを生じない程度

その他特記事項

1 打継止水材

適用箇所　※外部耐震壁打継部　・（　　）
材質　水膨張性一液弾性シーリング　寸法10×10

⑩ 耐震改修工事　共通事項

① 適用範囲

この特記仕様書は、「公共建築改修工事標準仕様書(建築工事編)(令和7年版)」第8章耐震改修工事において適用する。耐震改修工事以外については、建築工事特記仕様書を適用とし、別途記載を行う。
工事内容
・現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事
⊙鉄骨ブレースの設置工事　⊙既存架構内設置型　・完全外付け型）
・柱補強工事　（溶接金網巻き工法又は溶接閉鎖フープ巻き工法）
・柱補強工事　（鋼板巻き工法又は帯板巻き工法）
・柱・梁補強工事　（連続繊維補強工法）
⊙耐震スリット新設工事
・アウトフレーム新設工事
（・ＰＣａアウトフレーム　・現場打ちアウトフレーム）
・免震改修工事
・制震改修工事
・

10-1 耐震改修工事　鉄筋工事

1 鉄筋

鉄筋の種類　[8.2.1]［表8.2.1］

種類の記号	呼　び　名	備　考
・SD295		
・SD345		
・		
・		

2 溶接金網

形状等　[8.2.2]

種　類	種類の記号	網目の形状、網目寸法、鉄線の径（mm）	使用部位
・溶接金網			
・鉄筋格子			

3 鉄筋の継手

継手方法等　[8.3.4] [8.4.2、3]

部　位	継手方法	呼び名
柱・梁の主筋	・ガス圧接　・機械式継手 ・溶接継手　・重ね継手	
耐力壁の鉄筋	・重ね継手　・	
その他の鉄筋（　　）	・重ね継手　・	

主筋及び耐力壁の重ね継手の長さ　[8.3.4]
・図示による(改修標準仕様書　表8.3. 2)
・耐力壁の場合、フックのありなしにかかわらず、40d(軽量コンクリートの場合は50d)以上と図示(改修標準仕様書　表8.3.2）の重ね継手長さのうち大きい径とする。
・図示による（　　）
継手位置図
・図示による（改修標準仕様書　表8.3.3）　・図示による（　　）
既存鉄筋との継手
・溶接継手（　※フレア溶接　・図示による（　　））
部位　（　　）
呼び名（　　）
継手位置　・図示による（　　）
・重ね継手
部位　（　　）
呼び名（　　）
継手位置　・図示による（　　）

10-1 耐震改修工事　鉄筋工事（続き）

4 鉄筋の定着長さ

鉄筋の定着長さ　[8.3.4]
・図示による（改修標準仕様書　表8.3.4）　・（　　）
機械式定着工法
適用箇所
・図示による（　　）
種類
・摩擦圧接接合　・螺合グラウト固定
・嵌合グラウト固定
工法
・第３者機関の評定等を取得している工法
必用定着長さ、補強筋形状、かぶり厚さ
品質確認、検査
・評定等の評価内容による

5 鉄筋かぶり厚さ及び間隔（溶接金網を含む）

最小かぶり厚さ（目地底から算出を行う）　[8.3.5]
・図示による(改修標準仕様書　表8.3.6)
・図示による（　　）
・
柱及び梁の主筋に D29以上の使用の有無
・無し
・有り　適用箇所（　　）
主筋のかぶり厚さ
※鉄筋径の1.5倍以上
・
耐久性上不利な部分（塩害等を受けるおそれのある部分等）
・無し
・有り　適用箇所（　　）
・図示(改修標準仕様書　表8.3. 6)に加える厚さ(　)mm
鉄筋相互のあき（特殊な鉄筋を除く）　[8.3.5]［図8.3.5］
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）4.1）
・図示による（　　）
・

6 圧接完了後の試験

超音波探傷試験　[8.3.8] (5.4.9) (5.4.10)
※行う
箇所数　・全圧接部
・標準仕様書 5.4.10による抜取試験

7 機械式継手

使用箇所
・図示による（　　）　・
性能（H12建告第1463号に適合するもの）　[8.4.2]
・A級　・
機械式継手の種類及び工法（　　）　[8.4.2]
鉄筋相互のあき　[8.3.5]
・図示による(改修標準仕様書　図8.3.5)　・（　　）
品質の確認方法　[8.4.2]
・図示による（　　）　・評定等の評価内容による　・
施工完了後の継手部の試験　[8.4.2]
・外観試験
試験対象　・全数
試験項目　・評定等の評価内容による　・
試験方法　・評定等の評価内容による　・
・超音波測定試験
試験対象
・抜取り
ロット　・１組の作業班が１日に行った継手箇所で、最大２００箇所程度とする
・
試験の個所数
１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　・挿入長さ
試験方法　・JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用機械式継手の鉄筋挿入挿入長さの超音波測定試験方法及び判定基準）による
不良となった継手の修正方法等　[8.4.2]
・図示による（　　）　・

8 溶接継手

使用箇所
・図示による（　　）　・
性能（H12建告第1463号に適合するもの）　[8.4.3]
・A級　・
溶接継手の工法（　　）　[8.4.3]
鉄筋相互のあき　[8.3.5]
・図示による(改修標準仕様書　図8.3.5)　・（　　）
品質の確認方法　[8.4.3]
・図示による（　　）　・
施工完了後の継手部の試験　[8.4.2]
・外観試験
試験対象　・全数
試験項目　・評定等の評価内容による　・
試験方法　・評定等の評価内容による　・
・超音波深傷試験
試験対象
・抜取り
ロット　・１組の作業班が１日に行った溶接箇所で、最大２００箇所程度とする
・
試験の個所数
１ロットに対して（　　）箇所
・全数
試験項目　・内部欠陥の検出
試験方法　・JIS Z 3064（鉄筋コンクリート用異形棒鋼溶接部の超音波深傷試験方法及び判定基準）による
不良となった継手の修正方法等　[8.4.3]
・図示による（　　）　・

9 帯筋

組立の形の種別及び接手・定着　[8.4.3]
・図示による(構造関係共通事項（配筋標準図）6.2　・H形　・（　）形
・図示による（　　）

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号
〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179
外村 選
一級建築士登録 第160636号
所長　担当　製図
法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認
登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿
株式会社ブランディー　・設備設計　・設備法適合確認
登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-07
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その７）	

10-1 耐震改修工事　鉄筋工事（続き）

10　壁開口部の補強

一般壁
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）6.2　（・A型　・B型））
・

耐震壁
・図示による（　　）
・

11　最上階柱頭補強

補強方法
・図示による（　　）
・

12　片持ちスラブの出隅部の補強配筋（出隅受け部分の補強筋を含む）

配筋方法
・図示による

出隅部分及び出隅受け部の補強筋
・図示による（　　）　・

13　梁貫通孔の補強

補強形式
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）11.1　）
・

配筋種別
・図示による（構造関係共通事項（配筋標準図）11.1　）
・

梁貫通孔径（部材記号含む）及び配筋種別リスト
・図示による（　　）　・

14　基礎梁主筋の継手

・図示による（　　）
・

15　既存構造体との取合い

割裂補強筋　[8.22.7]

種　類	材　料	材　質	径	本数ピッチ等	適用箇所
・スパイラル筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼（丸鋼）	・SR235 ・	・φ6 ・φ9 ・	径（mm） （　　） ピッチ（mm） （　　）	・図示による （　　） ・
	※鉄筋コンクリート用棒鋼（異形鉄筋）	※SD295 ・	※D6 ・D10		
・はしご筋	・鉄筋コンクリート用棒鋼（異形鉄筋）	・SD295 ・	・D10 ・	壁面内方向筋 （　　） 壁面外方向筋 （　　）	・図示による （　　） ・
・	・	・	・	・	

16　既存部分の処理

既存コンクリートの目荒らしの程度　[8.21.3]
・既存柱、梁面　打継ぎ面の15～30%程度
・既存壁　　打継ぎ面の10～15%程度
・

既存コンクリートの目荒らしの範囲　[8.21.3]
・平均深さ2～5mm（最大7mm）程度の凹面を、全体にわたってつける。
・

現場打ち鉄筋コンクリート壁の増設工事における既存構造体と増設壁との取合いの処理方法　[8.21.9]
・図示による（　　）
・改修標準仕様書 8.21.9(ア)～(ク)による
・

増設壁工事後の仕上げ　[8.19.10]
・図示による（　　）
・

10-2 耐震改修工事　コンクリート工事

1　コンクリートの使用骨材による種類及び強度

普通コンクリートの設計基準強度　[8.1.4]

設計基準強度（N/mm2）	適　用　箇　所
・21	・
・	・
・	・

スランプの値　（単位：cm）　[8.1.4]
・15、18　（基礎、基礎梁、土間スラブ）
・18　　（柱、梁、スラブ、壁）

2　レディーミクストコンクリートの類別

種別　[8.1.3] [表8.1.1]
※Ⅰ類　・Ⅱ類

3　セメント

種類　[8.2.5] [表8.2.3]
・普通ポルトランドセメント、高炉セメントA種、シリカセメントA種又はフライアッシュセメントA種とする。
普通ポルトランドセメントの品質は、JIS R 5210 に示された規定の他、水和熱が7日目で352J/g以下、かつ28日目で402J/g以下のものとする。
施工箇所（　　）
・高炉セメントB種 G
施工箇所（　　）
・フライアッシュセメントB種 G
施工箇所（　　）
・

4　骨材

アルカリシリカ反応性による区分　[8.2.5]
※A　・B

5　気乾単位の容積重量

普通コンクリート　(6.2.3)(6.10.2)
※2.3t/m3　程度　・

10-2 耐震改修工事　コンクリート工事

6　ひび割れ誘発目地打継目地

目地寸法　(6.6.4) (6.8.2) (9.7.3)
・標準仕様書 9.7.3による　・図示による（　　）
間隔、位置、形状
・図示による（　　）　・

7　コンクリートの仕上り

合板せき板を用いるコンクリートの打放し仕上げ　[8.1.4] [8.2.7]
※コンクリートの打放し仕上げ種別と適用箇所は図示による

8　打増し厚さ（打放し仕上げ部）

・打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む）の打増し厚さ　[8.7.8]
（外部に面する部分に限る）
・20mm　・
・打放し仕上げ（仕上塗材、塗装等の仕上げを行う部分を含む）の打増し厚さ
（内部に面する　部分に限る）
・
外壁タイル張りで、MCR工法又は目荒らし（高圧水洗）工法を行う場合は外部側に20mmの増打しを行う。

9　型枠

せき板の材料及び厚さ　[8.2.7]
・合板（※12mm　・　　）G（但し、グリーン購入法基本方針における「合板型枠」の備考３の表示がある合板型枠を用いる場合に限る。
・

断熱材を兼用した型枠材の使用　[8.2.7]
・行う　　適用箇所（　　）
・行わない

スリーブの材種・規格等　[8.2.7] [表8.2.6]
・改修標準仕様書 8.2.7(7)及び表8.2.6による

10　コンクリートの打込み工法等

部位毎のコンクリート打設工法の指定　[8.21.8] [8.23.5]

補強工法	打設工法	部　位
・現場打ちコンクリート柱・梁・壁の増設工事	・工法指定なし	・全て　・図示（　　）による
	・流込み工法	・全て　・図示（　　）による
	・圧入工法	・全て　・図示（　　）による
	・	・図示（　　）による　・
・鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き及び溶接閉鎖フープ巻き工法	・工法指定なし	・全て　・図示（　　）による
	・流込み工法	・全て　・図示（　　）による
	・圧入工法	・全て　・図示（　　）による
	・	・図示（　　）による　・
・	・工法指定なし	
	・流込み工法	
	・圧入工法	

鉄筋コンクリート柱の溶接金網巻き工法及び溶接閉鎖フープ巻き工法での型枠等　[8.23.5]
柱頭柱脚の隙間部間の型枠
・発泡プラスチック保温材等を埋込む　・
・
柱頭柱脚の隙間寸法
・図示による（　　）　・
既存柱外周部打込みコンクリート又はグラウト材の厚さ
・図示による（　　）　・

10-3 耐震改修工事　鉄骨工事

1 鉄骨製作工場

鉄骨製作工場の加工能力　[8.1.5]
※建築基準法第68条の25に基づき国土交通大臣から性能評価機関として認定を受けた(株)日本鉄骨評価センター及び(株)全国鉄骨評価機構（旧(社)全国鋼構工業協会）の「鉄骨製作工場の性能評価基準」に定める（R　）グレードとして国土交通大臣から認定を受けた工場又は同等以上の能力のある工場
・監督職員の承諾する工場（標準仕様書 7.1.1以外の適用範囲に限る。）

2 鉄骨製作工場における施工管理技術者

・配置する　　・配置しない　(7.1.4) [8.1.6]

3 鋼材

材質等　[8.2.8] [表8.2.7]

種類の記号	適用箇所	規　格
図示	※図示（　　）による	※JISによる　・大臣認定による　・
	※図示（　　）による	※JISによる　・大臣認定による　・
	※図示（　　）による	※JISによる　・大臣認定による　・
	※図示（　　）による	※JISによる　・大臣認定による　・

有効細長比（圧縮材に限る）
※図示による（　　）　・

4 高力ボルト

ボルトの区分　[8.2.9]
※トルシア形高力ボルト
（一社）日本鋼構造協会規格JIS Ⅱ 09（構造用トルシア形高力ボルト・六角ボルト・六角ナット、平座金のセット）により、建築基準法に基づき認定を受けたものとする。
・JIS形高力ボルト　JIS B 1186（摩擦接合用高力六角ボルト・六角ナット・平座金のセット）
セットの種類　　※2種（F10T）　・
高力ボルトの径　[8.2.9]
※図示による（　　）　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による
・
すべり係数試験　[8.14.2]
・行わない　・行う
試験方法等
・図示による（　　）　・

5 普通ボルト

ボルト及びナットの材料　(7.2.3)
※標準仕様書　表7.2.3(JIS附属書品)による
・標準仕様書　表7.2.3(JIS附属書品)又は、JIS本体規格品(ISO規格)による。
(JIS本体規格品による場合は、ボルトの種類を呼び径六角ボルト又は全ねじ六角ボルト、強度区分を4.6又は4.8の鋼製とし、ナットの種類を六角ナット-Cの鋼製とする。なお、呼び径六角ボルトの軸径の最大寸法は、ボルトの径の値以下とする。)
座金　(7.2.3)
※標準仕様書 7.2.3(4)による　・
ボルトの径　(7.2.3)
・図示による（　　）　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による（　　）　・
・

10-3 耐震改修工事　鉄骨工事（続き）

6 溶融亜鉛めっき高力ボルト

セットの種類　[8.2.9]
※1種（F8T相当）　・
溶融亜鉛めっき高力ボルトの径　[8.2.9]
・図示による（　　）　・
溶融亜鉛めっき高力ボルトのめっき前の孔径
・大臣認定を受けた内容による　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　[8.13.2]
・図示による（　　）　・
摩擦面の処理　[8.20.5]
・ブラスト処理（表面粗度50μmRz以上）又はリン酸塩処理
リン酸塩処理とした場合はすべり系数値の確認を行う
※すべり係数試験
試験方法等
・「高力ボルト接合設計施工ガイドブック(日本建築学会)」による

7 アンカーボルト

適用　(7.2.4)（表7.2.3）
・構造用アンカーボルト
・ABR400　　セットの種類（JIS B 1220）
・ABR490　　セットの種類（JIS B 1220）
・SNR400B　　アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書　表7.2.3による　・
形状、寸法
・図示による（　　）　・
・建方用アンカーボルト
材質
・SS400　・
アンカーボルト及びナットのねじの公差域クラス及び仕上げの程度
※標準仕様書　表7.2.3による　・
形状、寸法
・図示による（　　）　・
ボルトの縁端距離、ボルト間隔、ゲージ等　(7.3.2)
・図示による（　　）　・

8 溶接材料

溶接材料　[8.2.10]
※改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)による
・改修標準仕様書 8.2.10(1)(2)以外の溶接材料
材料及び使用箇所
・図示による（　　）　・

9 ターンバックル

種類　(7.2.6)
建築用ターンバックル胴
※割枠式　・
建築用ターンバックルボルト
※羽子板ボルト　・
ねじの呼び　(7.2.6)
・図示による（　　）　・

10 床構造用デッキプレート

材質、形状及び寸法　(6.8.2) (7.2.7)

	適用箇所	材質・形状・寸法	備　考
・デッキプレート単独の構法			
・デッキプレートとコンクリートとの合成スラブとする構法			

開口部補強要領（補強筋の定着長さ等を含む）
・図示による（　　）　・
鉄骨部材への溶接方法
・図示による（　　）　・
耐火認定　(7.7.8)
・有り
耐火時間
・図示による（　　）　・
・無し

11 スタッド

材質、形状及び寸法　[8.2.11]
※頭付きスタッド JIS B 1198
呼び名等

呼び名	呼び長さ（mm）	適用箇所
・16		
・19		
・22		

12 柱底均しモルタル

モルタルの種別　[8.2.12]
・無収縮モルタル
無収縮モルタルの材料、調合等
※改修標準仕様書 8.2.12(1)(7)から(I) による　・

13 鉄骨の工作図

監督職員による現寸検査　[8.13.2]
・行わない　・行う
増築工事等を含め、既存建築物との取り合う箇所がある場合は現場実測のうえ作成を行う。

14 鉄骨の製作精度

鉄骨の制作精度は、JISS6付則6「鉄骨精度検査基準」に加えて次による　[8.13.3]
逃しダイアフラムの突合わせ継手の食い違いず法
・H12建告第1464号第二号イ(2)による
・
アンダーカットの寸法
・H12建告第1464号第二号イ(3)による
・
食い違い・仕口のずれの検査方法及び補強方法
・「突合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・補強マニュアル」による
・

15 鉄骨の仮組

・行う　[8.13.10]
仮組を行う範囲
・図示による（　　）　・

16 溶接技能者の技量付加試験

試験の要領及び試験を要する溶接個所　[8.15.3]
・図示による（　　）　・

10-3 耐震改修工事　鉄骨工事（続き）

17 溶接接合

開先の形状　[8.15.4]
・図示による（構造関係共通事項（鉄骨標準図）1-2）
・図示による（　　）
・
スカラップの形状
・図示による（構造関係共通事項（鉄骨標準図）1-4）　[8.15.7]
・図示による（　　）
・
エンドタブの切除する部分
・全て
・見え掛り部となる部分　[8.15.7]
・切除する部分なし
切断する範囲
・鋼製エンドタブ、裏あて金等は、梁フランジの端から直線状に切断する。その際の残し寸法は5mm以下とする。
なお、切断面が交差する場合は交差部をアール状に加工する。
・
切断面の仕上　[8.15.7]
・改修標準仕様書8.15.7(1)(ｲ)(ﾛ)②による　・
溶接部の余盛り高さ　(7.6.7)
・JIS56付則6「鉄骨精度検査基準」付表3［溶接］による
・

18 現場溶接の有無

・有り
適用箇所
・図示による（　　）

19 入熱、パス間温度の溶接条件

鋼材と溶接材料の組合せと溶接条件　[8.15.7]　[8.15.10]
・図示による（構造関係共通事項（鉄骨標準図）1-4）
・図示による（　　）
・
適用箇所
・柱、梁、ブレースのフランジ端部の完全溶け込み溶接部
・図示による（　　）

20 溶接部の試験

完全溶込み部の超音波探傷試験　[8.15.12]
・行わない　　※行う
・工場溶接の場合
・全数検査
・計数調整型抜取検査

AOQL(%)	・4.0　・2.5			
節	・全て	・	・	
検査水準	・第6水準	・	・	

・工事現場溶接の場合
※全数検査
・計数連続生産型抜取検査
AOQL(%)　（・4.0　・2.5　）
突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査
「突き合わせ継手の食い違い仕口のずれの検査・マニュアル（建築研究所監修）」による
・抜き取り検査①　　※抜き取り検査②

21 錆止め塗装

・鉄骨鉄筋コンクリート造の鋼製スリーブの内面の錆止め塗料(鉄骨に溶接されたものに限る)　[8.17.4]
※改修標準仕様書 表7.3.1　A種　・
・塗装を行う耐火被覆材の接着する面
適用箇所
・図示による（　　）　・
塗料の種別
・改修標準仕様書 表7.3.1（　　）種　・
・改修標準仕様書 表7.3.2（　　）種　・

22 耐火被覆

種別及び性能　[8.18.2～8]

種　別	材料・工法	性能（耐火時間）	適用箇所（部位・部分）
・耐火材吹付け	・乾式吹付けロックウール		
	・半乾式吹付けロックウール		
	・湿式ロックウール		
	・		
	・		
・耐火板張り	・繊維混入けい酸カルシウム板		
	・		
・耐火材巻付け	・高断熱ロックウール		
	・		
・ラス張りモルタル塗り	—		

材料及び工法は、建築基準法に基づき指定又は認定を受けたものとする

23 アンカーボルトの設置等

建方用アンカーボルトの保持及び埋込み工法　(7.10.3)（表7.10.1）
種別　　・A種　　・B種
構造用アンカーフレームの形状及び寸法
種別　　・図示による（　　）　・
柱底均しモルタルの厚さ及び工法の種別　(7.10.3)（表7.10.2）
※標準仕様書 表7.10.2
※A種　モルタル厚さ（　　）
・B種　モルタル厚さ（　　）

24 軽量形鋼構造

接合部（ボルト接合の場合）　(7.11.2)
・普通ボルト接合　・
もや、胴縁類の取付け用ボルトを普通ボルト接合とする場合は、二重ナットとする。

25 溶融亜鉛めっき（構造耐力上主要な部分）

種別等　[8.20.4] [表8.20.1]

亜鉛めっきの種別	材　料	適用部位
A種	最小板厚 6.0mm 以上の形鋼、鋼板	
B種	最小板厚 3.2mm 以上、6.0mm 未満の形鋼、鋼板	
C種	普通ボルト・ナット類・アンカーボルト類 最小板厚 1.6mm 以上、3.2mm 未満の形鋼、鋼板	

素地ごしらえは、JIS H 8641による
適用箇所
※図示による（　　）

26 鉄骨ブレースの仕上げ

・図示による（　　）　[8.22.9]
・

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号
〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179
外村　選
一級建築士登録 第160636号
所長　担当　製図
法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認
登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿
株式会社ブランディー　・設備設計　・設備法適合確認
登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　日
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その８）
図面番号	A-08

10-4 耐震改修工事　あと施工アンカー工事

① あと施工アンカー

種類　[8.2.4]
・金属系　セット方式　・本体打込み式（・改良型　・従来型　）・
アンカー本体の径及び埋込み深さ　・図示による（　　）・
引張耐力　・図示による（　　）・
せん断耐力　・図示による（　　）・
接合筋の種類、径、長さ　・図示による（　　）・
⊙接着系　セット方式　⊙カプセル式　・
接着剤の品質　⊙有機系　・無機系
アンカー本体の径及び埋込み深さ　⊙図示による（　　）・
引張耐力　・図示による（　　）　⊙ 6 kN
せん断耐力　・図示による（　　）・
施工方式　⊙回転打撃式又は監督職員の認める同等の施工方式
アンカー筋の種類、径、長さ　⊙図示による（　　）・

あと施工アンカーの性能確認試験
⊙実施する　※実施しない
試験方法
・（一社）日本建築あと施工アンカー協会のあと施工アンカー標準試験法による
・
試験対象のあと施工アンカー試験数
・図示による（　　）・

2 あと施工アンカーの穿孔

穿孔前の既存鉄筋及び埋設配管・配線等の探査　[8.12.4]
探査範囲
※あと施工アンカー施工部分全て　・
探査方法
・鉄筋探査器（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出を行う。
・はつり出しによる
・
穿孔機械
※ハンマードリル
・コアドリル（施工個所　図示による（　　））
金属検知により電源供給が停止できる付属装置等を使用する

③ 施工確認試験

試験の適用　[8.12.7]
※実施する（・シアコネクタは除く　・シアコネクタを含む）
試験方法
※引張試験　・
確認強度
※図示する（　　）・

4 シアコネクタ（現場打ちコンクリート壁の打増し部に用いるシアコネクタ）

種類
・金属系あと施工アンカー（従来型）の異形差筋アンカー　・
径
・D10　・
既存壁への有効埋め込み長さ
・4d（d：シアコネクタの呼び径）（埋込み深さ＝5d）　・
増打ち壁への有効定着長さ（mm）
・増打ち壁厚さ－40mm　・
間隔
・500×500　・

10-5 耐震改修工事　グラウト工事

1 モルタル及びグラウト材

構造体用モルタル　[8.2.6]
圧縮強度（　　）N/mm2
フロー値（　　）mm
材料及び調合
・改修標準仕様書 8.2.6 (2) による
柱底均しモルタル　[8.2.12]
※無収縮モルタル　・
グラウト材　[8.2.12]
※無収縮モルタル　・
無収縮グラウト材の材質等品質及び試験方法は工事建築材料等品質性能表による

10-6 耐震改修工事　連続繊維補強工事

1 適用範囲

連続繊維補強工法　[8.24.1]
・連続シートを柱に巻き付けて補強する方法
・連続シートを梁に巻き付けて補強する方法

2 連続繊維シート

連続繊維の材料　[8.2.13]
・炭素繊維　・アラミド繊維　・
連続繊維の材質　[8.2.13]
引張強度（含浸硬化後）
・（　　）N/mm2　・
ヤング係数（含浸硬化後）
・（　　）N/mm2
下地処理　[8.24.6]
・ひび割れ部改修
・行う
範囲
・図示による（　　）・
種類
・改修標準仕様書 8.24.6(1)(イ)による　・
・柱の隅角部の面取り　[8.24.6]
大きさ
・図示による（　　）・
連続繊維補強材の引張強度試験　[8.24.6]
・行う
引張強度試験
※JIS A 1191（コンクリート用連続繊維シートの引張り試験方法）による
・
試験数量
・図示による（　　）・
連続繊維補強材の付着強度試験　[8.24.6]
・行う
試験数量
・図示による（　　）・

3 連続繊維補強後の仕上げ

・図示による（　　）
・

10-7 耐震改修工事　耐震スリット新設工事

① スリットの方式及び充填材

[8.25.2]

方　向	タイプ	耐火性能	防水性能	遮音性能	備　考
⊙垂直方向 ・水平方向	※完全 （全貫通型）	・耐火型 ⊙非耐火型	⊙**有り** ・無し	・有り ・無し	

耐火材の使用箇所及び仕様　・図示による（　）・
遮音材の使用箇所及び仕様　・図示による（　）・

目地

目　地	内　壁	外　壁
目地材	⊙シーリング材 （見え掛りのみ） ・	・シーリング材 （見え掛りのみ） ・シーリング材（内外とも）
目地寸法 （幅mm×深さmm）	・20×10　⊙30×20(以上)	・20×10　・

目地材の材質は標準仕様書 表9.7.1による

② スリットの施工

既存撤去部の配管等の探査　[8.25.2]
⊙鉄筋探査機（金属探知機）により探査し、鉄筋、配管類の位置に墨出しを行う。
・はつりだしによる
・
スリットの幅及び深さ　[8.25.2]
⊙図示による（　　）・

10-8 地業工事

1 支持地盤

・杭基礎　(4.3.4、5) (4.4.4) (4.5.5、6)
支持地盤の種類及び位置（基礎ぐいの先端の位置含む）
・図示による（　　）・
・直接基礎　(4.5.4、5)
支持地盤の種類及び位置（基礎底部の位置含む）
・図示による（　　）・
長期設計支持力度
・（　　）kN/m2　・
試験堀（根切り底）による支持地盤の確認
・行う　位置等は図示による（　　）
・行わない
地盤の載荷試験　(4.2.4)
・行う　試験の位置、方法等は図示による（　　）
・行わない

2 既製コンクリート杭地業

種類　(4.3.3)
・遠心力高強度プレストレストコンクリート杭（PHC杭）
・外殻鋼管付きコンクリート杭（SC杭）
SC杭の鋼管材料　・SKK400　・SKK490
・プレストレスト鉄筋コンクリート杭（PRC杭）
・
試験堀
・行う　孔径はオーガー径とする　位置及び長さは図示による（　　）
試験堀の施工は試験杭の施工に先立ち行う
・行わない

寸法、継手、性能等（種別：種類、性能及び曲げ強度区分）　(4.2.2) (4.3.3)

		種類	コンクリート強度（N/mm2）	杭径（mm）	杭長（m）	継手数	長期設計支持力（kN/本）
試験杭	上杭 中杭 下杭						
本杭	上杭 中杭 下杭						

試験杭の施工　※本杭の施工に先立ち行う　・
試験杭の位置、本数　※最初の一本　・図示による（　　）

杭先端部形状　(4.3.3)
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・
施工方法
・セメントミルク工法　(4.3.4)
アースオーガーの支持地盤への掘削深さ
・1.5m程度　・
杭の支持地盤への根入れ深さ
・1.0m以上　・
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・
・特定埋込杭工法　(4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法　・図示による（　　）
・上記以外の特定埋込杭工法　図示による（　　）
工法
・プレボーリング拡大根固め工法
・中掘り拡大根固め工法
・
杭周固定液
・使用する　・使用しない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・

10-8 地業工事（続き）

2 既製コンクリート杭地業（続き）

杭継手工法　(4.3.2、6) (7.2.5)
・アーク溶接継手
・標準仕様書 4.3.6による
溶接材料
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による　・図示による（　　）
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法　※評定等を受けた工法　（・図　　による）
検査　※評価等により定められた項目　（・図　　による）
施工　※評価等をされた施工管理基準による　（・図　　による）
杭頭の処理　(4.3.8)
・行う
処理方法（切断にともなう補強方法含む）
・図示による（　　）・
・行わない
杭頭の中詰め材料　(4.3.8)
※基礎のコンクリートと同調合のもの　・

3 鋼杭地業

種類の記号　(4.4.3)
・SKK400　・SKK490　・
寸法、継手等　(4.2.2) (4.4.5)

		種類	杭径（mm）	板厚（mm）	杭長（m）	継手数	長期設計支持力（kN/本）	備考
試験杭	上杭 中杭 下杭							
本杭	上杭 中杭 下杭							

試験杭の施工　※本杭の施工に先立ち行う　・　(4.4.3)
試験杭の位置、本数　※最初の一本　・図示による（　　）
杭先端部形状
・開放形　・半開放形　・閉そく形　・
施工方法　(4.4.1)
・特定埋込杭工法　(4.3.5)
・H13国土交通省告示第1113号第6による地盤の許容支持力式でα＝250を採用できる工法
・図示による（　　）
・上記以外の特定埋込杭工法　図示による（　　）
工法
・中掘り拡大根固め工法　・
杭の精度
・水平方向の位置ずれ　・杭径の1/4かつ100mm以下　・
・杭の傾斜　・1/100以内　・
杭の現場継手
・溶接継手
形状　(4.4.5)
・JIS A 5525による　・
溶接材料　(4.4.3)
・標準仕様書 7.2.5(1)(2)による
・図示による（　　）
・
・無溶接継手（継手部に接続金具を用いた方式のもの）
工法
※評定等を受けた工法　（・図　　による）
検査
※評価等により定められた項目　（・図　　による）
施工
※評価等をされた施工管理基準による　（・図　　による）
杭頭の処理　(4.3.8) (4.4.6)
・行う
処理方法（切断にともなう補強方法を含む）
・図示による（　　）・
・行わない
杭頭の中詰め材料　(4.3.8) (4.4.6)
・基礎のコンクリートと同調合のもの　・

10-8 地業工事（続き）

4 場所打ちコンクリート杭地業

杭径、長さ、仕様等
・図示による（　　）・
材料その他　(4.5.4) (6.3.1)
帯筋　・図示による（　　）
鉄筋の最小かぶり厚さ　・図示による（　　）
セメントの種類
※高炉セメントB種　G　・
コンクリートの種別　(4.5.4) (表4.5.1)
・A種　・B種
・認定等の内容による
コンクリートの設計基準強度　（　　）N/mm　2　(4.5.3～6)
構造体強度補正値（S）　(4.5.4)
・3N/mm2
・認定等の内容による
掘削工法　(4.5.1) (4.5.4、5)
・アースドリル工法
安定液　・使用する　・使用しない
・リバース工法
・オールケーシング工法
孔内の水張り　・行う　・行わない
併用する工法
・場所打ち鋼管コンクリート杭工法　図示による（　　）
鋼管巻き材料　・SKK400　・SKK490　・
・拡底杭工法　図示による（　　）
安定液　・使用する　・使用しない
・
試験杭　(4.2.2) (4.5.4、6)
試験杭の施工　※本杭の施工に先立ち行う　・
試験杭の位置、本数　※最初の一本　・図示による（　　）
孔壁測定　(4.5.4、6)
・行う
測定方法、測定箇所は図示による（　　）
・行わない
杭の精度
水平方向の位置ずれ　・100mm以下　・
杭の傾斜　・1/100以内　・

5 地盤改良（セメント系固化材を用いた工法による改良）

工法
・浅層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による（　　）
長期設計支持力
・（　　）kN/m2　・
・深層混合処理工法
適用範囲、仕様及び計測、試験は図示による（　　）
長期設計支持力
・（　　）kN/m2　・

6 置換コンクリート地業（ラップルコンクリート地業）

形状、支持地盤、仕様　・図示による（　　）・
長期設計支持力　・（　　）kN/m2　・
セメントの種類　(6.3.1)
※高炉セメントB種　G　・
コンクリートの設計基準強度　（　　）N/mm2
構造体強度補正値（S）＝（　　）N/mm2

7 液状化対策

工法　・（　　）
仕様、範囲、計測、試験等
・図示による（　　）

8 砂利地業

材料　(4.6.2)
※再生クラッシャラン　G　・切込砂利及び切込砕石
厚さ及び使用範囲　(4.6.3)

厚　さ	使　用　範　囲
※60	基礎スラブ下、基礎梁下、土間コンクリート下、土に接するスラブ下
・	

9 捨コンクリート地業

コンクリートの仕様　(4.6.4) (6.14.1～3)
※無筋コンクリートによる　・
セメントの種類　(6.3.1)
※高炉セメント8種　G　・
厚さ及び使用範囲　(4.6.4)

厚　さ	使　用　範　囲
※50	基礎スラブ下、基礎梁下、土に接するスラブ下
・	

10 床下防湿層

施工範囲　・建物内の土間スラブ及び土間コンクリート下（ピット下を除く）　(4.6.2、5)
・
材料　・ポリエチレンフィルム厚さ0.15mm以上　・
防湿層の位置　・図示による（　　）・

霧島市建築改修工事特記仕様書

設計者
堂園設計株式会社
鹿児島県知事登録　第　1-3-164　号
〒890-0067　鹿児島県鹿児島市真砂本町21番7号
TEL 099-257-1177　FAX 099-257-1179
外村　選
一級建築士登録 第160636号
所長　担当　製図
法適合確認
有限会社鎌田建築構造設計事務所　・構造設計　・構造法適合確認
登録　第 1-4-19 号　構造設計一級建築士　第 11434 号
鹿児島県鹿児島市坂元町47-76　鎌田　和寿
株式会社ブランディー　・設備設計　・設備法適合確認
登録　第 1-5-90 号　設備設計一級建築士　第 1303 号
鹿児島県鹿児島市田上7丁目9-32　山中　憲幸

設計年月日	令和　7年　6月　日	図面番号
工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	A-09
図面名称	建築改修工事特記仕様書（その９）	

外 壁 改 修 工 事 仕 様 書

外壁複合改修構工法

1 建設大臣より建設技術評価制度「外壁複合改修構工法の開発」の開発目標を達しているものと認められた工法とする

2 使用材料にはアスベスト：クリソタイル、アサモサイト及びクロシドライトが含有されていないものとする。
また、公的機関の報告書を提出する。

3 施工者は、同工法による鹿児島県内においての施工実績を提出すること

4 施工は、同工法による技術認定を取得した技術者の施工とする。

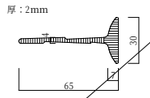
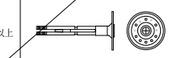
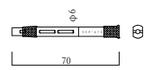
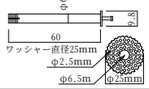
5 施工手順は、各メーカー仕様による。

6 工事完成後、外壁剥落・落下に対しての１０年間保証書を元請業者・専門業者連名で提出すること

7 第三者賠償責任保険に加入している工法とし、加入証明書提出すること

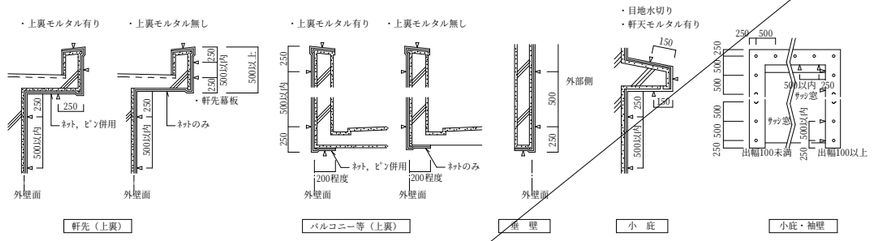
8 定期点検：施工会社は定期的な自主点検で品質の管理を行い、異常が見られる場合には手直しを速やかに行い、
施主及び設計者に報告すること。尚、点検の時期は２年目、４年目、６年目、７年目、８年目、９年目に
行うこと。また、保証書には定期点検の予定を記載することとする。

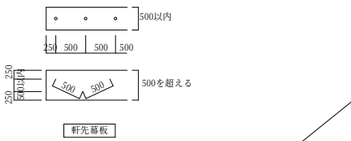
参考工法（メーカー）

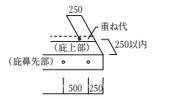
工法名 ＼ 項目	既存塗材の処理	ピンニング箇所	ピンの形状（ピン長さは、モルタル厚により選定すること）	ネットの材質	下処理	ネット伏込みモルタル	浮き部への注入	ひび割れ部への注入
タケモルピンネット工法	局部的に撤去（4ヶ所／m²にφ20㎝）	1m²に４ヶ所以上	厚：2mm 	ガラス繊維製二軸ネット	ＳＢＲ系セメントフィラー	ＳＢＲ系ポリマーセメントモルタル	無し	0.5mm以上のひび割れのみ注入
ボンドカーボピンネット工法	縦・横50㎝間隔で格子状巾10㎝で除去	1m²に４ヶ所以上	ワッシャー直径25mm 	ビニロン繊維製三軸ネット	変性シリコンエポシキ樹脂系	ＳＢＲ系ポリマーセメントモルタル	浮き面積0.25m²以上の注入（0.5*0.5＝0.25m²）	0.3mm以上のひび割れのみ注入
スーパーフィラーＧＮＳピンニングネット工法	脆弱部は撤去	1m²に４ヶ所以上	ＳＳＰ－６７０ 仕上モルタル厚み：35～55mm 	ビニロン繊維製二軸ネット	アクリル系セメントフィラー	アクリル系ポリマーセメントモルタル	浮き面積0.5m²以上の注入	0.3mm以上のひび割れのみ注入
ネットバリア工法ＰＴ１	脆弱部は撤去	1m²に４ヶ所以上	ﾉｯｸｽｱﾝｶｰKNA-60 仕上モルタル厚み：12～75㎜ 	アラミド・ビニロン繊維複合ネット	粉末アクリルエマルジョンプレミックスフィラー	粉末アクリルエマルジョンプレミックスフィラー	浮き面積2.0m²以上の注入	0.3mm以上のひび割れのみ注入

一般面（重ね代・ピン位置・数）

a、一般壁に於けるアンカーピンの本数は４本／m²以上とする。
b、幕板部分のアンカーは、幅５００以内は直列に、５００を超える場合は両端部より２５０の位置に各１本打ち、その間隔が
５００以内となる様にピン本数を決める。

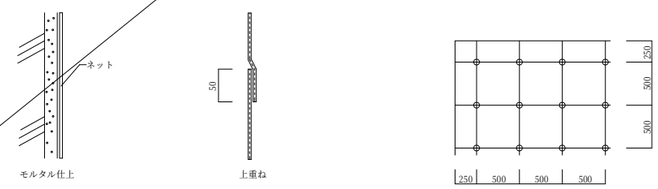






※各メーカー施工要領書による

a、ネットの重ね代は50mm以上とする。
b、アンカーピンの位置は、壁の端部より250とし、縦横500mm以内とする。



単位：mm

※各メーカー施工要領書による

A　浮き部改修工法

アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法

（１）適用範囲

モルタル塗りで下記の部位が浮いている場合は、剥落する恐れのある部分及び浮きの程度が大きくはつり落とした方が良いと判断される部分を除き、浮き部をアンカーピンニングで躯体コンクリートに固定し、浮き代に注入充填する

1、パラペット及び笠木
2、庇
3、窓面台
4、壁・柱その他

（２）材　料

1、エポキシ樹脂は、ＪＩＳＡ６０２４（建築用注入補修エポキシ樹脂）により種類は施工時期に適したもので、監督員の承諾を受けたものとする
2、アンカーピンの材質は、ステンレスＳＵＳ３０４呼び径４㎜の丸棒とし、全ネジ切加工したものとする
3、アンカーピン固定用エポキシ樹脂は、特記製作所の製品とする

（３）工　法

1、注入範囲の確認は、テストハンマーを用いて確認し、又、アンカーピンニング注入範囲については共浮き防止も含め、チョーク等で明示し監督員と協議の上決定する
2、浮き部分に対するアンカーピン本数は、一般改修（壁面等）は１６本／m²、指定部分（見上げ面、庇鼻、まぐさ隅角部分等）は２５本／m²とする。又、所定の本数が浮き部分に対して均等に配置されるよう穿孔位置をマーキングする
3、穿孔はコンクリート用ドリルを用い、使用するアンカーピンの直径より約２㎜大きい径とし、壁面に対し直角に穿孔する
穿孔はマーキングにしたがって入念に行い、躯体コンクリート中に３０㎜の深さに達するまで行う。
穿孔後は、充分孔内を清掃して、接着の妨げとなる粉末等を除却する。
（清掃は電気ブロア器具同等以上の清掃器具を使用すること）
4、アンカーピン固定用エポキシ樹脂をグリースガンを用いて、穿孔部の最深部より徐々に充填する。
充填量は、挿入孔１ヶ所当たり２５ＣＣ（約３０ｇ）とする
5、アンカーピンを穿孔最深部まで挿入し、余長部はエポキシ樹脂の硬化を見計らってクリッパーで切断し、目立たぬ色のパテ状エポキシ樹脂で仕上げる
6、浮き代が１㎜を越える浮き部分がある場合は、監督員の指示を受けること
7、施工中の汚れは直ちに除去、清掃する。

（４）確　認

アンカーピン固定部のエポキシ樹脂の広がり、固着状況について全数をテストハンマーの打診により確認する

B　ひび割れ部改修工法

Ｕカットシール充填工法

（１）適用範囲

窓枠回りを除くひび割れ部０．３㎜以上の場合に適用する

（２）材　料

1、シール材は、充填材料製造所の指定する製品とする。

（３）工　法

（ａ）、プライマー塗布及び充填時に被着体が５℃以下又は５０℃以上になるおそれのある場合は、作業を中止する。
（ｂ）、シール材の仕上り状態及び硬化状態を目視及び指触により確認し、その結果を監督職員に提出して、承諾を受ける。
（ｃ）、ひび割れ部の処理は、次による。
（１）ひび割れ部に沿って電動カッター等を用いて幅１０㎜程度、深さ１０～１５㎜程度にＵ字型の溝を設ける。
（２）Ｕカット溝部に付着している切片、粉塵等は、ワイヤーブラシ、はけ等で除去する。
（３）被着体に適したプライマーを溝内部に塗残しのないよう均一に塗布する。
（４）プライマー塗布後、ごみ、ほこり等が付着した場合又は当日充填ができない場合は再清掃し、プライマーを再塗布する。
（ｄ）、充填は、シーリング材又は可とうエポキシ樹脂材とし、製造所の仕様による配合、練混ぜ、充填とする。
（１）シーリング材のうえにポリマーセメントモルタルを充填する場合は、次による。
・　シーリング材はコンクリート面から３～５㎜程度低めに充填し、充填後は、へらで押え下地と密着させて表面を落し仕上げとする。
・　ポリマーセメントモルタルをコンクリート表面に合せて平滑に塗り込む。
（ｅ）、養生及び清掃
（１）シール材が硬化するまでは損傷、汚染等のないようにすることともに降雨からも養生する。
（２）充填以外に、付着した汚れ等を適切な方法で除去し、清掃する。

C　ひび割れ部改修工法

自動式低圧エポキシ樹脂注入工法

（１）適用範囲

窓枠回りを除くひび割れ部についてエポキシ樹脂を注入する場合に適用する

（２）材　料

１．エポキシ樹脂は，ＪＩＳＡ６０２４（建築用注入補修エポキシ樹脂）により種類は施工時期に適したもので、監督員の承諾を受けたものとする
２．シール材は、注入材料製造所の指定する製品とし、塗料等又は塗材等に支障のないものとする

（３）工　法

（ａ）、ひび割れに沿って幅５０Ｍ／Ｍ程度の汚れを除去し，清掃する
（ｂ）、注入孔位置をスケール等で測定し、チョーク等でその位置のマーキングを行う
（ｃ）、注入孔位置間隔は２００．３００Ｍ／Ｍとする
（ｄ）、注入器具又は台座をひび割れが中心にくるようにして，仮止めシール材等で取り付ける
（ｅ）、混練りしたエポキシ樹脂を注入器具に入れ，ゴム，バネ，空気圧等により４Ｋｇｆ／ｃｍ２以下として注入する
（ｆ）、注入時は，台座やシール部からの漏れをチェックし，注入器具内のエポキシ樹脂の減量状態を確認して、足りない場合は補充する。尚注入完了後は、注入器具を取り付けたまま硬化養生する
（ｇ）、エポキシ樹脂注入材の硬化を見計らい，仮止めシール材及び注入パイプを適切な方法で撤去し、清掃を行う

（４）確　認

・注入時の確認は一つ上の注入パイプから漏出することを確認する。
・注入後の確認は注入が行われたか否かを目視する

注入孔の間隔

ひび割れ幅（mm）	注入パイプ間隔（mm）
０．３以下	５０～１００
０．３～０．５	１００～２００
０．５～１．０	１５０～２５０
１．０以上	２００～３００

D　欠損部改修工法（鉄筋爆裂部を含む）

ポリマーセメントモルタル充填工法

（１）適用範囲

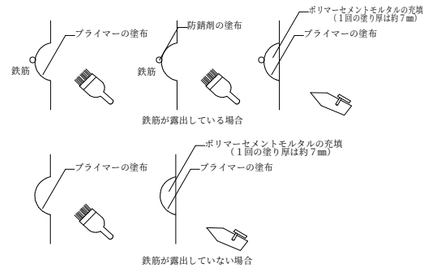
欠損部の面積が１箇所当たり０．２５㎡程度以下の場合に適用する

（２）欠損部周辺のモルタルの撤去

欠損部周辺のモルタル浮き部分は、ダイヤモンドカッター等で健全部と縁を切って損傷が拡大しないようにはつり撤去する

（３）下地面は、デッキブラシ等で水洗いを行い、モルタル等の接着を妨げるものを取り除く
（４）欠損部周辺の危弱部分は、ハンマー等で軽い打撃与えて除却し欠損部の状況を目視によって確認する
（５）下地部分は、ワイヤーブラシ等でケレンし、汚れ、ほこり、油等の除却・清掃を行う。
又、部分的に露出している鉄筋及びアンカー金物等は、健全部が露出するまでコンクリートをはつり、ワイヤーブラシ等でケレンを行い錆を除却し、防錆剤等を塗布して防錆処理を行う
尚、損傷が著しい部分の下地処理及び補強等は、監督員と協議する
（６）ポリマーセメントモルタル充填
1、欠損部の危弱部分をハンマー等で取り除き、プライマーを被着面にはけを用いて塗布する
2、ポリマーセメントモルタルは、製造所の仕様により、調合し混練りする
3、はがれの状況により、１～３層に分けてポリマーセメントモルタルを充填又は塗り付ける。
各層の塗り厚は７㎜程度とし、表面を金ごてで加圧しながら平滑に仕上げる
4、各層共、急激な乾燥を避け、適切な養生を行う
補修部以外に付着した材料は、適切な方法で除却し清掃する
6、ポリマーセメントモルタルが硬化するまでは損傷、汚染等ないようにするとともに降雨等からも養生する

ポリマーセメントモルタル充填工法



E　はつり部改修工法

ポリマー混入モルタル充填工法

（ａ）適用範囲

モルタル充填を行う場合に適用する。

（ｂ）調合及び塗厚

（１）モルタルの調合及び塗厚は、表４．４．１による。

表４．４．１　調合（容積比）及び塗厚の標準値等

下地	下塗り		むら直し中塗り		上塗り		塗厚の標準値（㎜）
	セメント	砂	セメント	砂	セメント	砂	
コンクリート	1	2.5	1	3	1	3	25

（２）ポリマー混入モルタルの調合は、（１）による。ただし、混和剤の使用量は、セメント質量の５％（全固形分換算）程度とする。
（３）ポリマーセメントペーストの混和剤の使用量は，セメント質量の５％（全固形分換算）程度とする。
（４）混和材の使用量は，モルタルの強度等に著しい影響を与えない程度とする。
（５）モルタルの練混ぜは、原則として、機械練りとする。
（６）１回の練混ぜ量は、６０分以内に使い切れる量とする。
（７）１回の塗り厚は、７㎜を標準とする。

（ｃ）下地処理

（１）コンクリート、コンクリートブロック等の壁で、ひずみ、不陸等の著しい箇所は、目荒し、水洗い等のうえモルタルで補修し、夏期は７日以上、冬期は１４日以上放置する。ただし、気象条件等により、モルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。
（２）総塗り厚が２５㎜以上になる場合は、ステンレス製アンカーピンを打込み、ステンレス製ラス又は、溶融金網、ネット等を取付け安全性を確保した上でモルタルを塗り付ける。

（ｄ）工法

（１）下塗り
（ｉ）（ｃ）の下地処理ののち，下地の乾燥具合を見計らい、吸水調整材を吸水調整材製造所の仕様により全面に塗る。ただし、下塗りにポリマー混入モルタルを塗り付ける場合以外にあっては、（ｃ）の下地処理ののち、吸水調整材塗りに代えてポリマーセメントペーストを１～２㎜塗ることができる。この場合、必要に応じて保水剤を使用する。
（ii）塗付けは、吸水調整材塗りを行った場合は乾燥後，ポリマーセメントペースト塗りを行った場合は、ポリマーセメントペーストが乾燥しないうちに、塗残しのないよう全面に行う。
（iii）下塗り面は、金ぐし類で荒らし目をつける。
（iv）下塗り後、モルタル表面のドライアウトを防止するために、水湿しを行う。
（v）下塗りは、１４日以上放置して、ひび割れ等を十分発生させてから次の塗付けにかかる。ただし、気象条件等により、モルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。

（２）むら直し

（ｉ）むらが著しい場合に行う。
（ii）むら直しが、部分的な場合は、下塗りに引き続いて行い、（１）（iii）から（ｖ）による。
（iii）むら直し部分が比較的大きい場合は、（１）（ｖ）ののち、塗り付ける。塗付け後、荒らし目を付け、７日以上放置する。ただし気象条件等によりモルタルの付着が確保できる場合には、放置期間を短縮することができる。

（３）中塗り

出隅、入隅、ちり回り等は、定規塗りを行い、定規通しよく平らに塗り付ける。

（４）上塗り

中塗りの状態を見計らい、面、角、ちり回り等に注意し、こてむらなく平らになるよう、次により仕上げる。
①　金ごて仕上げの場合は、金ごてで押さえて仕上げる。
②　木ごて仕上げの場合は、水引き具合を見計らい、木ごてでむらを取り、平たんに仕上げる。
③　はけ引き仕上げの場合は、木ごてで均したのち、少量の水を含ませたはけを引き、はけ目の通りよく仕上げる。

着工	・　・		
竣工	・　・		
監理			
施工			

堂 園 設 計 株 式 会 社
一 級 建 築 士 事 務 所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿 児 島 市 真 砂 本 町 ２ １ 番 ７ 号　　Ｔ Ｅ Ｌ （ 代 ） ０ ９ ９ － ２ ５ ７ － １ １ ７ ７
一 級 建 築 士 登 録　第 １ ６ ０ ６ ３ ６ 号　外 村　選

設計年月日	工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	設計図	図面番号
R7 ・ 2 ・				A-10
縮尺 NO.SCALE	図面名称	外壁改修工事仕様書		

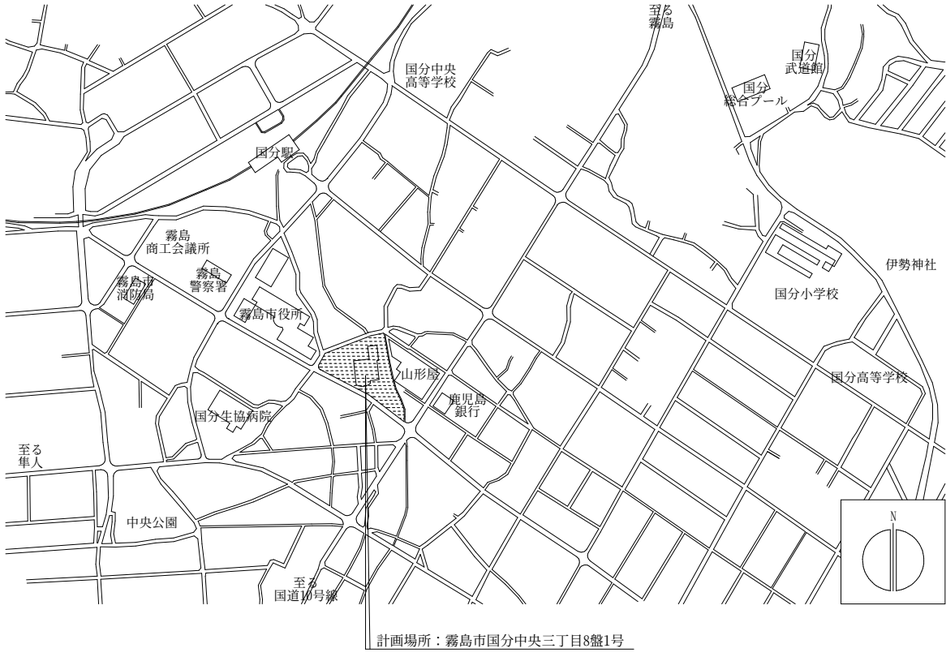
■設計概要

工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)	敷地面積	11,712.32㎡（H10.10.7確認申請時）
工事場所	地名地番 鹿児島県霧島市国分中央三丁目8番1号		
	住居表示 鹿児島県霧島市国分中央三丁目45番1号	建築面積	2,954.51㎡（H10.10.7確認申請時）
区域の指定	都市計画区域内	延べ面積	4,472.55㎡（H10.10.7確認申請時）
防火地域　他	指定なし	建ぺい率	25.22%　＜　90%　（H10.10.7確認申請時）
		容積率	38.18%　＜　300%　（H10.10.7確認申請時）
その他の指定条例	―	高さ	階数　地上3階
前面道路（最大）	幅員 20.50m		最高高さ　21.75 m(平均地盤面より)　最高軒高　10.455m(平均地盤面より)
用途地域	商業地域	構造種別	構造種別　鉄筋コンクリート造　一部　鉄骨造
法定建ぺい率	80%+10%（角地適用）		耐火種別　耐火建築物
法定容積率	300%	建築設備の種類	電気・給水・排水・換気・暖房・冷房
主要用途	集会場	工事の種別	改修

■特記事項

- 法37条の指定建築材料は、全て日本工業規格又は日本農林規格に適合したものを使用する。
- 内装仕上材、下地材及び天井裏等に用いる建築材料は、全てF☆☆☆☆を使用する。
- 配管設備は、建築基準法施行令第129条の2の4に基づき施工する。
- 高圧ガス保安法第24条に基づき施工する。
- ~~ガス事業法第 162 条に基づき施工する~~。
- 液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律第38条の2に基づき施工する。
- 水道法施行令第5条に基づき施工する。
- 下水道法第10条第1項及び第3項に基づき施工する。
- 給湯設備は、H12建告1388号に基づき施工する。
- 電気設備については、電気事業法により施工する。
- 既存敷地内の埋設物（配管など）について工事着工前に調査を行うこと。
- 天井・壁の下地は特記なき限りＬＧＳ下地とする。天井下地は19型とし屋外部分は25型とする。
- 壁下地(LGS)は65型(H=4.0m以下）90型（H=4.0～4.5m以下）100型（H=4.5～5.0m以下）とする。
- 軽量鉄骨天井下地で、目透かし張りの場合は、野縁以外の目地あたりに目地板　を入れる。
- 床仕上の貼物下地についてはコンクリート表面の下地補修をする。
- ボード類による柱型、壁の見えがかり出隅部は、ボード用コーナー補強材にて補強すること。
- 防水型複層塗材Ｅ（低汚染型）のトップコートは2液アクリルシリコン樹脂仕上とする。
- 設備機器類取付の補強等は建築工事とする。
- ビニル床シートは熱溶接工法とする。
- 特記以外の木部・鉄面の仕上げはSOP塗りとする。
- 施工時撤去,破損したものは現状復旧すること。
- クロス等壁紙仕上の下地がＧＢ又はＦＫの場合は、ジョイント部分はパテ等でシゴキ、段差の生じないように入念に処置すること。
- カーペット類、カーテン類は防炎処理品とする。

■付近見取図



■内装制限/排煙/排煙免除根拠凡例

●内装制限凡例		●排煙免除根拠凡例	
《不》	下地共不燃材	告ロ	平成12年建告1436四ロによる
《準》	下地共準不燃材以上	告ニ	平成12年建告1436四ニによる
（不）	不燃材	告ホ	平成12年建告1436四ホによる
（準）	準不燃材以上	告へ(1)	平成12年建告1436四へ(1)による
（難）	難燃材以上	告へ(2)	平成12年建告1436四へ(2)による
		告へ(3)	平成12年建告1436四へ(3)による
●排煙方式凡例		告へ(4)	平成12年建告1436四へ(4)による
自然	自然排煙	告へ(5)	平成12年建告1436四へ(5)による
機械	機械排煙	令126	令126条の2　1-三
免除	排煙免除		

■塗装一覧表

SOP	合成樹脂調合ペイント
UC	ウレタン樹脂ワニス塗り
CL	クリアーラッカー
OS	オイルステイン
VE	塩化ビニル樹脂エナメル
AE	アクリル樹脂エナメル
EP	合成樹脂エマルションペイント
EP-G	つや有合成樹脂エマルションペイント
EP-T	合成樹脂ｴﾏﾙｼｮﾝ模様塗料
DP-U	ｳﾚﾀﾝ樹脂耐候性塗料塗
DP-F	ﾌｯ素樹脂耐候性塗料塗

■仕上材符号一覧表

RC	鉄筋コンクリート	GB－R	石膏ボード
LC	軽量コンクリート	GB－F	強化石膏ボード
PC	プレキャストコンクリート	GB－NC	不燃積層石膏ボード
CB	コンクリートブロック	GB－NC（S）	不燃積層石膏ボード（星柄）
ALC	軽量気泡コンクリート板	GB－R－H	普通硬質石膏ボード
ECP	押出成形セメント板	GB－S	シージング石膏ボード
LGS	軽量鉄骨下地	GB－D（T）	化粧石膏ボード（ﾄﾗﾊﾞｰﾁﾝ模様）
GW	グラスウール	GB－D（S）	化粧石膏ボード（星柄）
DR	ロックウール吸音板	GB－D－Hc	化粧吸放湿石膏ボード
		FK	けい酸カルシウム板
		MDF	ﾐﾃﾞｨｱﾑﾃﾞﾝｼﾃｨﾌｧｲﾊﾞｰﾎﾞｰﾄﾞ

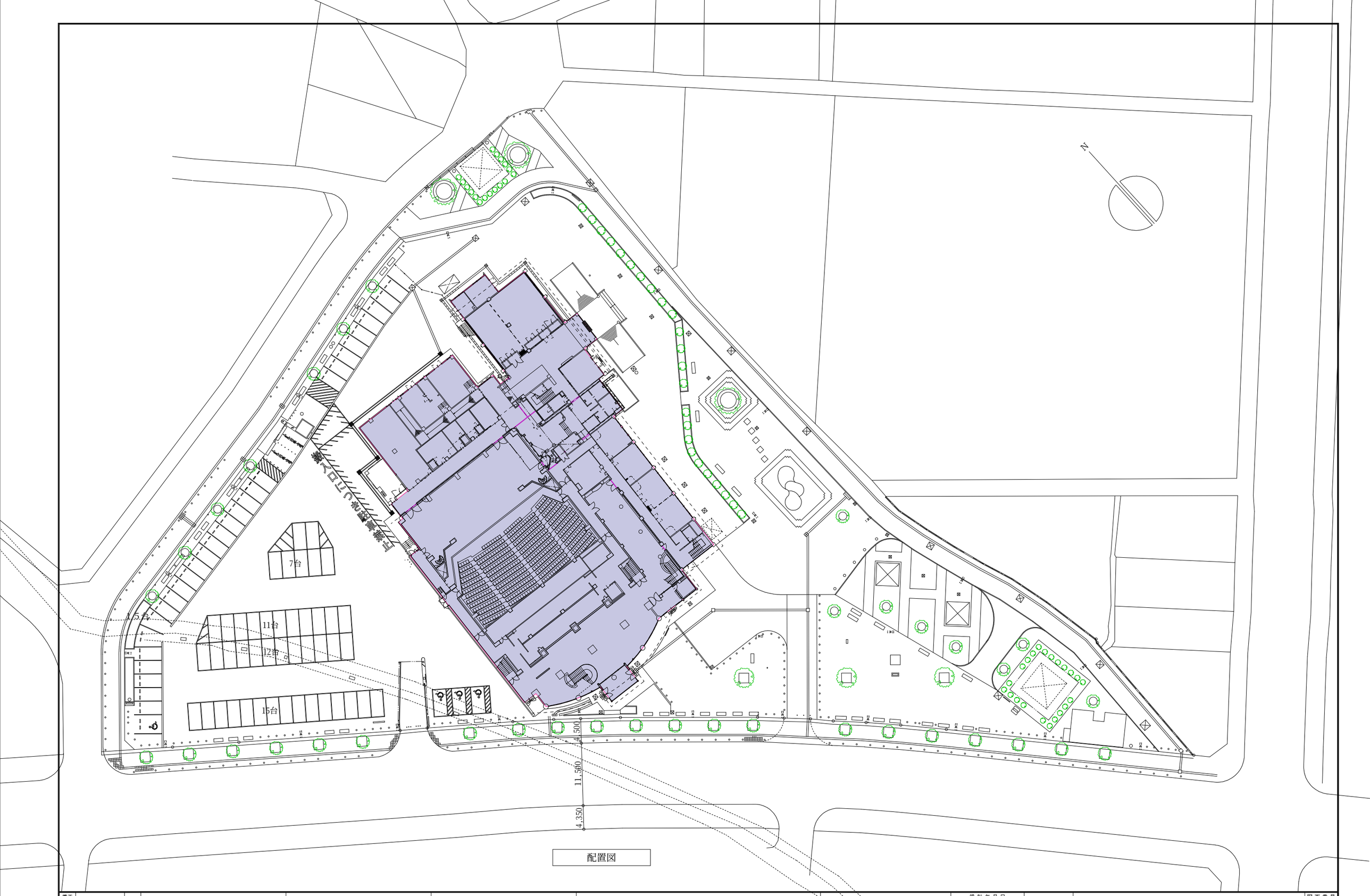
■防火材料一覧表

石膏ボード(GB-R t=9.5)	準不燃	QM-9828	吸放湿化粧せっこうボード　(GB-D-Hc　t=9.5)	準不燃	QM-0172
石膏ボード(GB-R t=12.5　15)	不　燃	NM-8619	吸放湿化粧せっこうボード　(GB-D-Hc　t=12.5)	不　燃	NM-0530
強化石膏ボード(GB-F t=12.5,15,21,25)	不　燃	NM-8615	繊維混入けい酸ｶﾙｼｳﾑ板	不　燃	NM-8578
不燃積層石膏ボード(GB-NC t=9.5)	不　燃	NM-0441	木毛セメント板	準不燃	QM-9022
普通硬質石膏ボード(GB-R-H t=9.5,12.5,15)	不　燃	NM-9645	ロックウール吸音板(岩綿吸音板)	不　燃	NM-8599
シージング石膏ボード（GB-S　t=9.5,12.5)	準不燃	QM-0898	吹付けロックウール	不　燃	NM-8601
シージング石膏ボード（GB-S　t=12.5)	不　燃	NM-9639	グラスウール保温板	不　燃	NM-8605
化粧石膏ボード(GB-D t=9.5)（トラバーチン，星柄）	準不燃	QM-0524	グラスウールガラスクロス化粧マット	不　燃	NM-8606
化粧石膏ボード(GB-D t=9.5)（アートタイプ）	準不燃	QM-9824	塗料塗装/不燃材料(下地・法定不燃材)	不　燃	NM-8585
化粧石膏ボード(GB-D t=9.5)（スクエア）	不　燃	NM-0879	ビニルクロス	不　燃	NM-※※
化粧不燃積層石膏ボード（天井用）(GB-NC t=9.5)	不　燃	NM-1864	曲面ボード（繊維混入石膏板）t=6.0	不　燃	NM-2967

特記事項

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

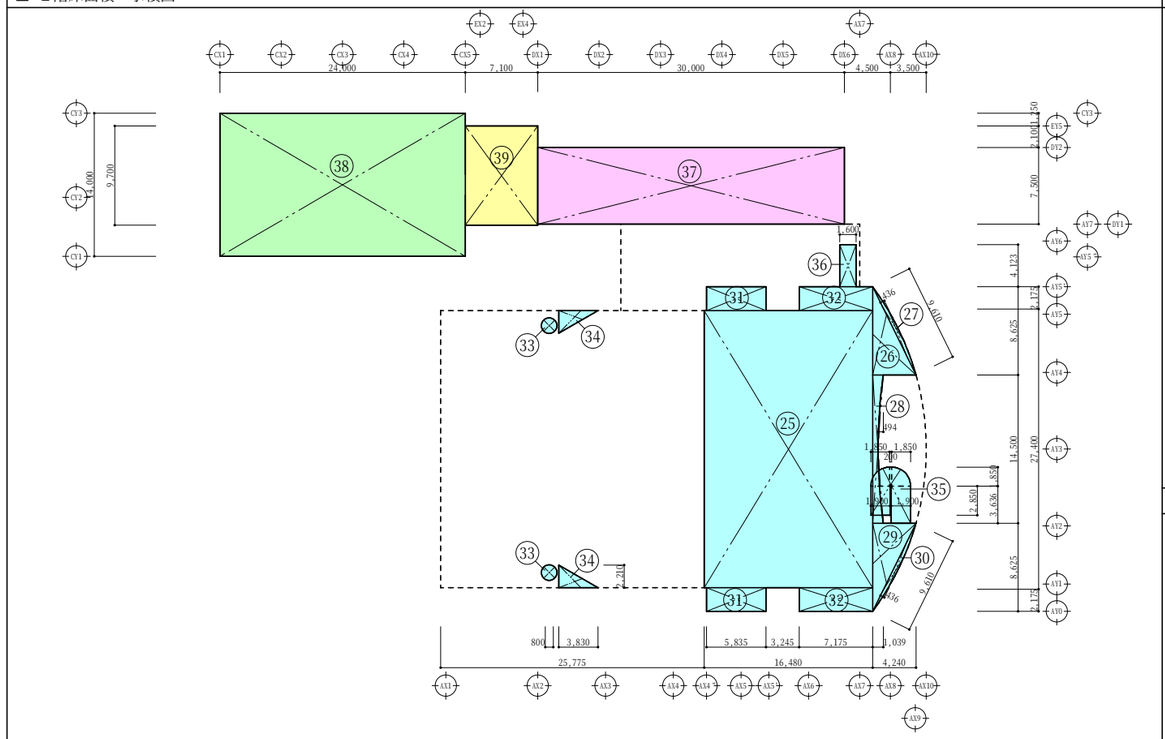
設計年月日	R7・2・	工事名称	R7 霧島市民会館大規模改修工事(建築２工区)　設計図
縮尺	NO.SCALE	図面名称	(共通)設計概要・案内図・仕上表凡例
図面番号	A-11		



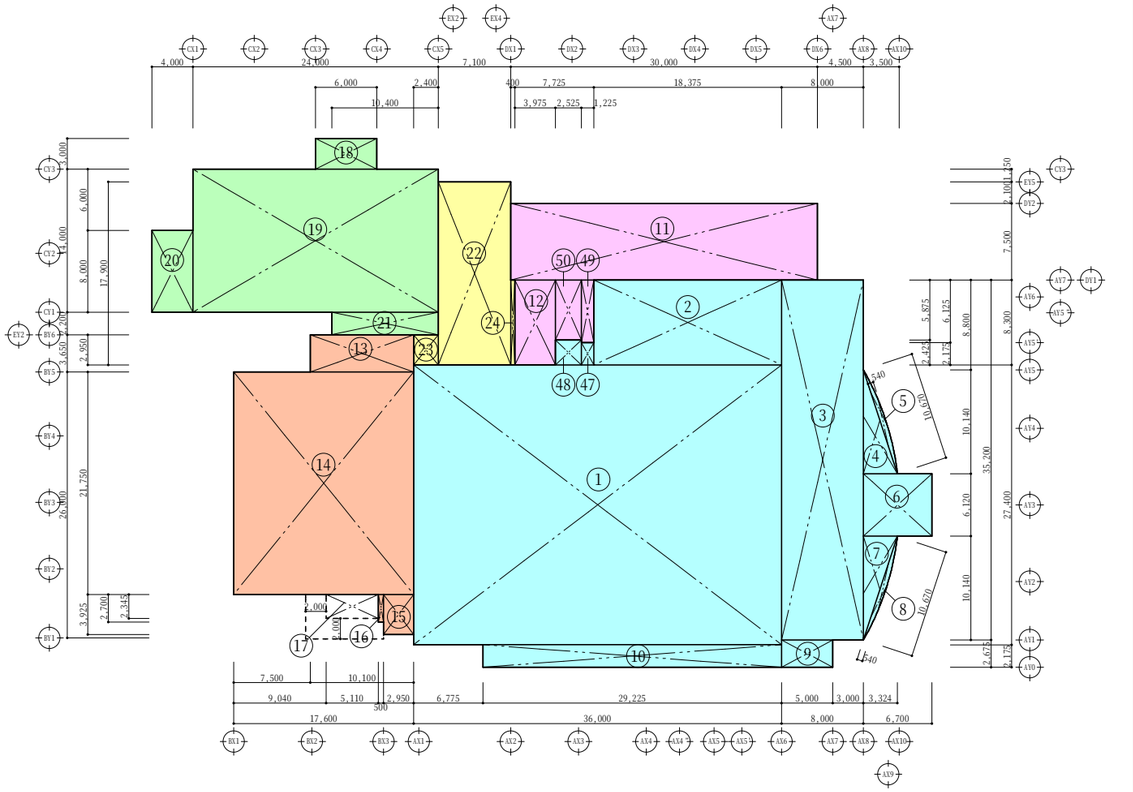
配置図

着工	・ ・		堂園設計株式会社	一級建築士登録 第１６０６３６号 外村 選	設計年月日 R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	図面番号 A-12
竣工	・ ・		一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号		縮尺 1：300(A1) 1：600(A3)	図面名称	(共通)配置図	
監理			鹿児島市真砂本町２１番７号 TEL（代）０９９-２５７－１１７７					
施工								

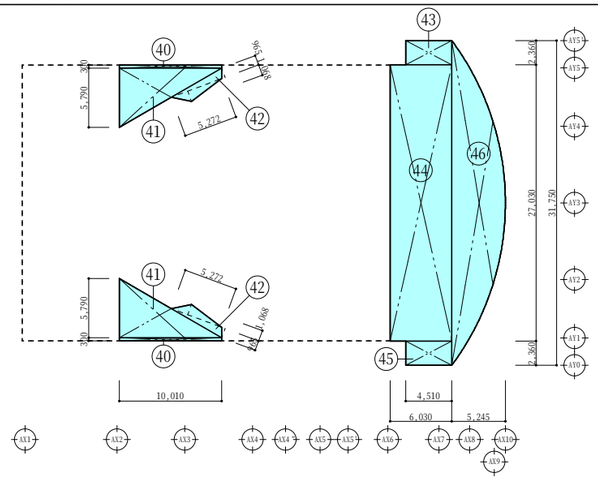
■ ２階床面積　求積図



■ １階床面積　求積図



■ ３階床面積　求積図



■ １階床面積　求積図

１階 面積求積表		(㎡)
①	36.000 × 27.400	986.400000
②	18.375 × 8.300	152.512500
③	8.000 × 35.200	281.600000
④	3.324 × 10.140 × 1/2	16.852680
⑤	10.670 × 0.540 × 2/3	3.841200
⑥	6.700 × 6.120	41.004000
⑦	3.324 × 10.140 × 1/2	16.852680
⑧	10.670 × 0.540 × 2/3	3.841200
⑨	5.000 × 2.675	13.375000
⑩	29.225 × 2.175	63.564375
㊼	1.225 × 2.175	2.664375
㊽	2.525 × 2.425	6.123125
ホール棟　１階床面積		1588.631135
⑪	30.000 × 7.500	225.000000
⑫	3.975 × 8.300	32.992500
㊾	1.225 × 6.125	7.503125
㊿	2.525 × 5.875	14.834375
管理棟　１階床面積		280.330000
⑬	10.100 × 3.650	36.865000
⑭	17.600 × 21.750	382.800000
⑮	2.950 × 3.925	11.578750
⑯	0.500 × 2.700	1.350000
⑰	5.110 × 2.345	11.982950
楽屋棟　１階床面積		444.576700
⑱	6.000 × 3.000	18.000000
⑲	24.000 × 14.000	336.000000
⑳	4.000 × 8.000	32.000000
㉑	10.400 × 2.200	22.880000
共同利用施設　１階床面積		408.880000
㉒	7.100 × 17.900	127.090000
㉓	2.400 × 2.950	7.080000
㉔	0.400 × 8.300	3.320000
内待合ホール　１階床面積		137.490000

２階 面積求積表		(㎡)
㉕	16.480 × 27.400	451.552000
㉖	4.240 × 8.625 × 1/2	18.285000
㉗	9.610 × 0.436 × 2/3	2.793307
㉘	1.039 × 14.500 - 14.500 × 0.494 × 2/3	10.290217
㉙	4.240 × 8.625 × 1/2	18.285000
㉚	9.610 × 0.436 × 2/3	2.793307
㉛	5.835 × 2.175 × 2	25.382250
㉜	7.175 × 2.175 × 2	31.211250
㉝	0.800 × 0.800 × 3.14 × 2	4.019200
㉞	3.830 × 2.210 ÷ 2 × 2	8.464300
㉟	(2.850 + 3.630) × 1.900 + 0.200 × 1.850 + 1.850 × 1.850 × 3.14 ÷ 2	18.055325
㊱	1.600 × 4.123	6.596800
ホール棟　２階床面積		597.727905
㊲	30.000 × 7.500	225.000000
管理棟　２階床面積		225.000000
㊳	24.000 × 14.000	336.000000
共同利用施設　２階床面積		336.000000
㊴	7.100 × 9.700	68.870000
内待合ホール　２階床面積		68.870000

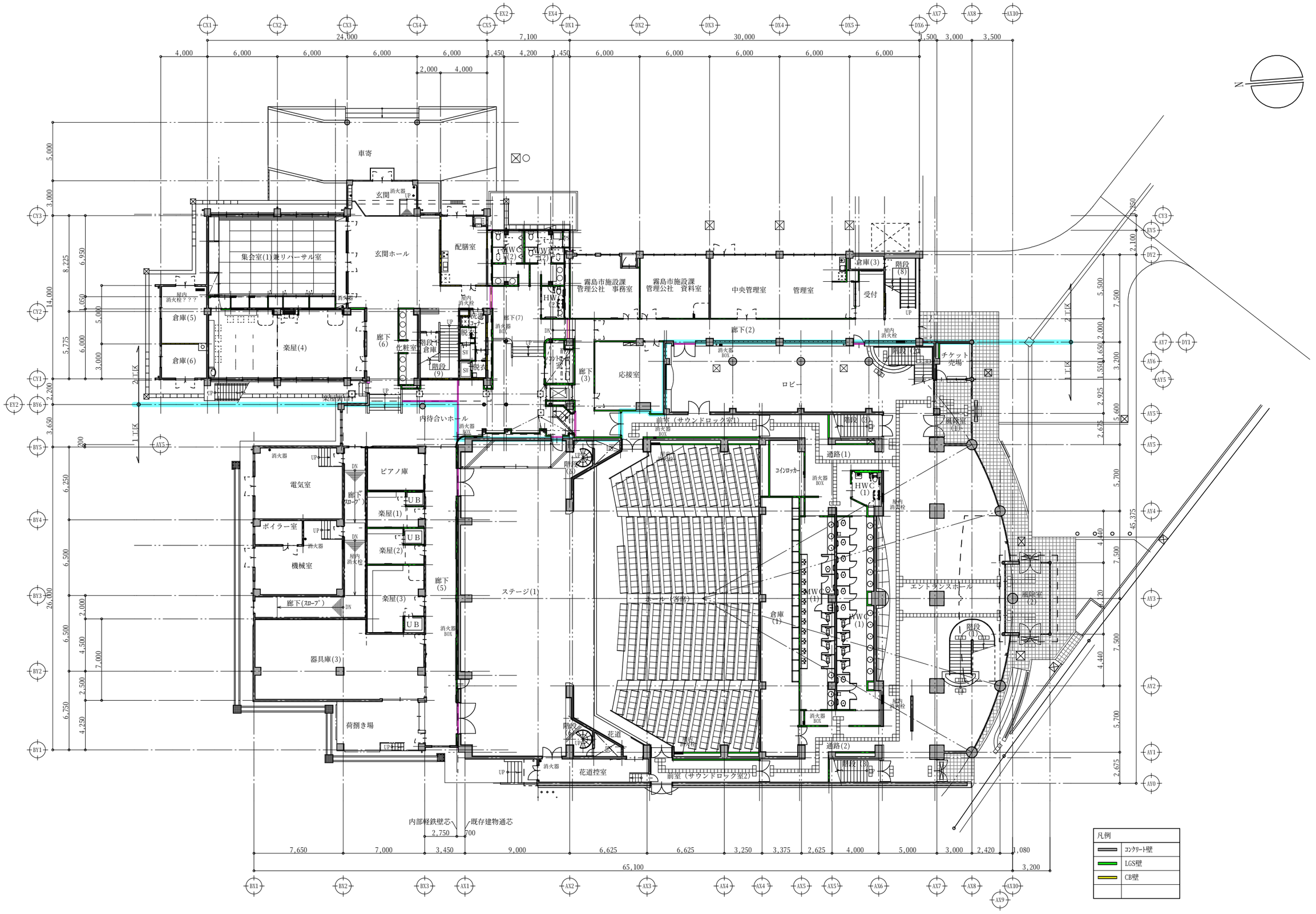
３階 面積求積表		(㎡)
㊵	10.010 × 0.300 × 2	6.006000
㊶	10.010 × 5.790 ÷ 2 × 2	57.957900
㊷	5.272 × 1.068 ÷ 2 × 2 + 5.272 × 0.965 ÷ 2 × 2	10.717976
㊸	4.510 × 2.360	10.643600
㊹	6.030 × 27.030	162.990900
㊺	4.510 × 2.360	10.643600
㊻	31.750 × 5.245 × 2/3	111.019167
ホール棟　３階床面積		369.979143

延床面積 棟別

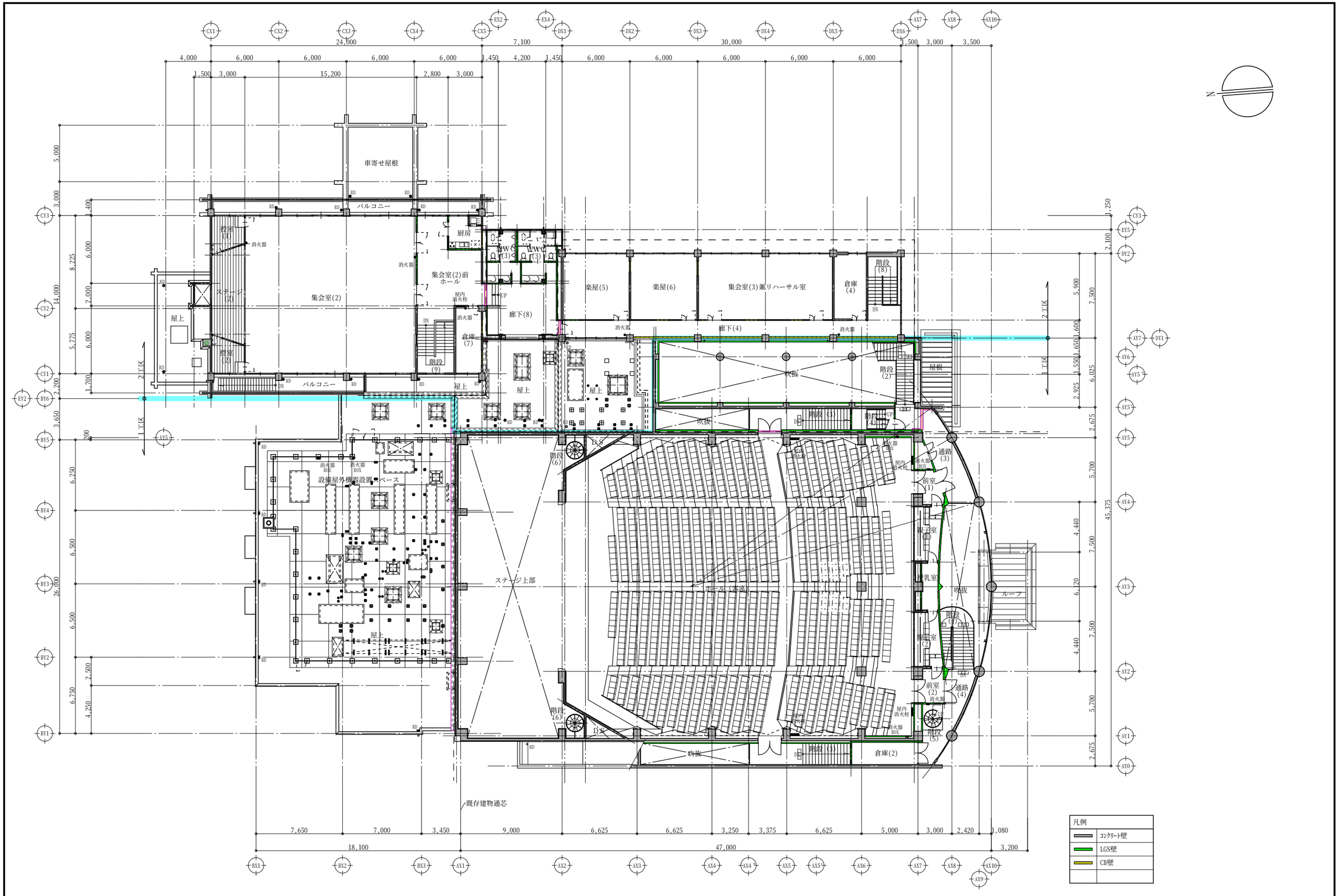
		１階	２階	３階	計	
１工区	ホール棟	1588.63	597.73	369.98	2556.34	3000.91
	楽屋棟	444.57	-	-	444.57	
２工区	管理棟	280.33	225.00	-	505.33	1456.57
	共同利用施設	408.88	336.00	-	744.88	
	内待合ホール	137.49	68.87	-	206.36	
計		2859.90	1227.60	369.98	4457.48	4457.48

着工	・　・	堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選
竣工	・　・	一級建築士事務所　県知事登録第１－３－１６４号	
監理		鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	
施工			

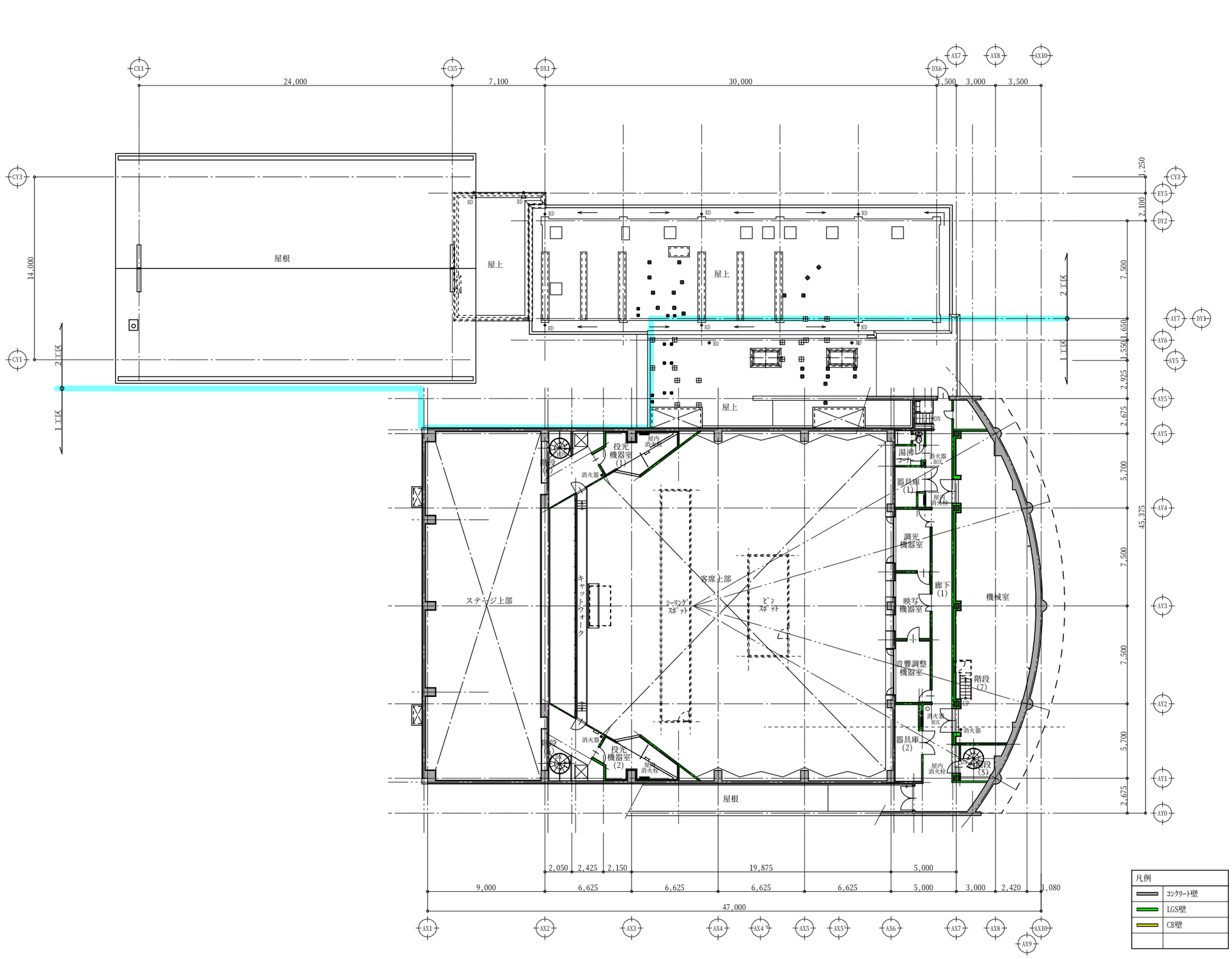
設計年月日	R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
縮尺	1：300(A1) 1：600(A3)	図面名称	(共通)工区別延床面積求積図
図面番号	A－13		



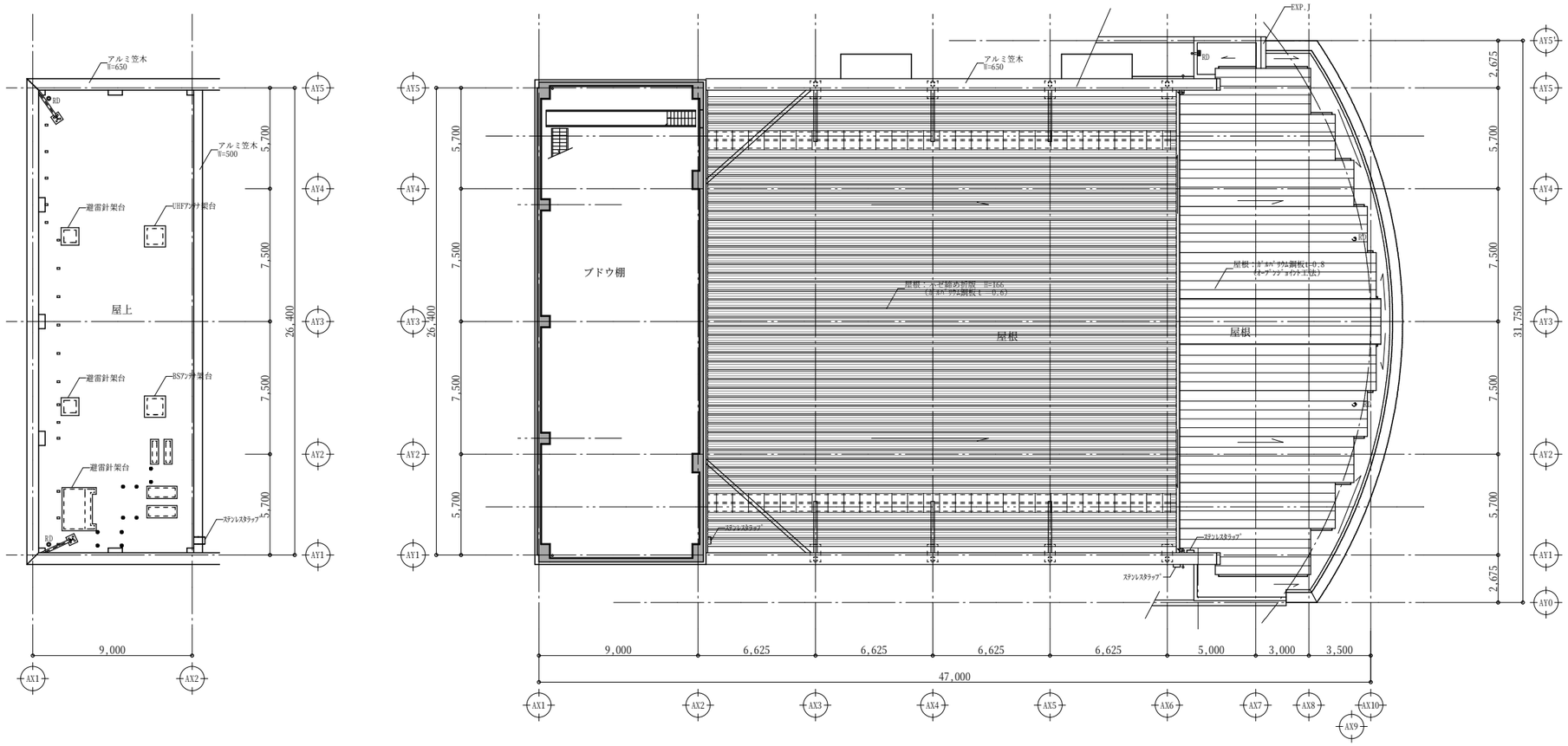
着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－14
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存　１階全体平面図	
監理							
施工							



着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－15
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存　2階全体平面図	
監理							
施工							



着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099－257－1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）	設計図	図面番号 A－16
竣工	・ ・							
監理				縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存　3階全体平面図		
施工								

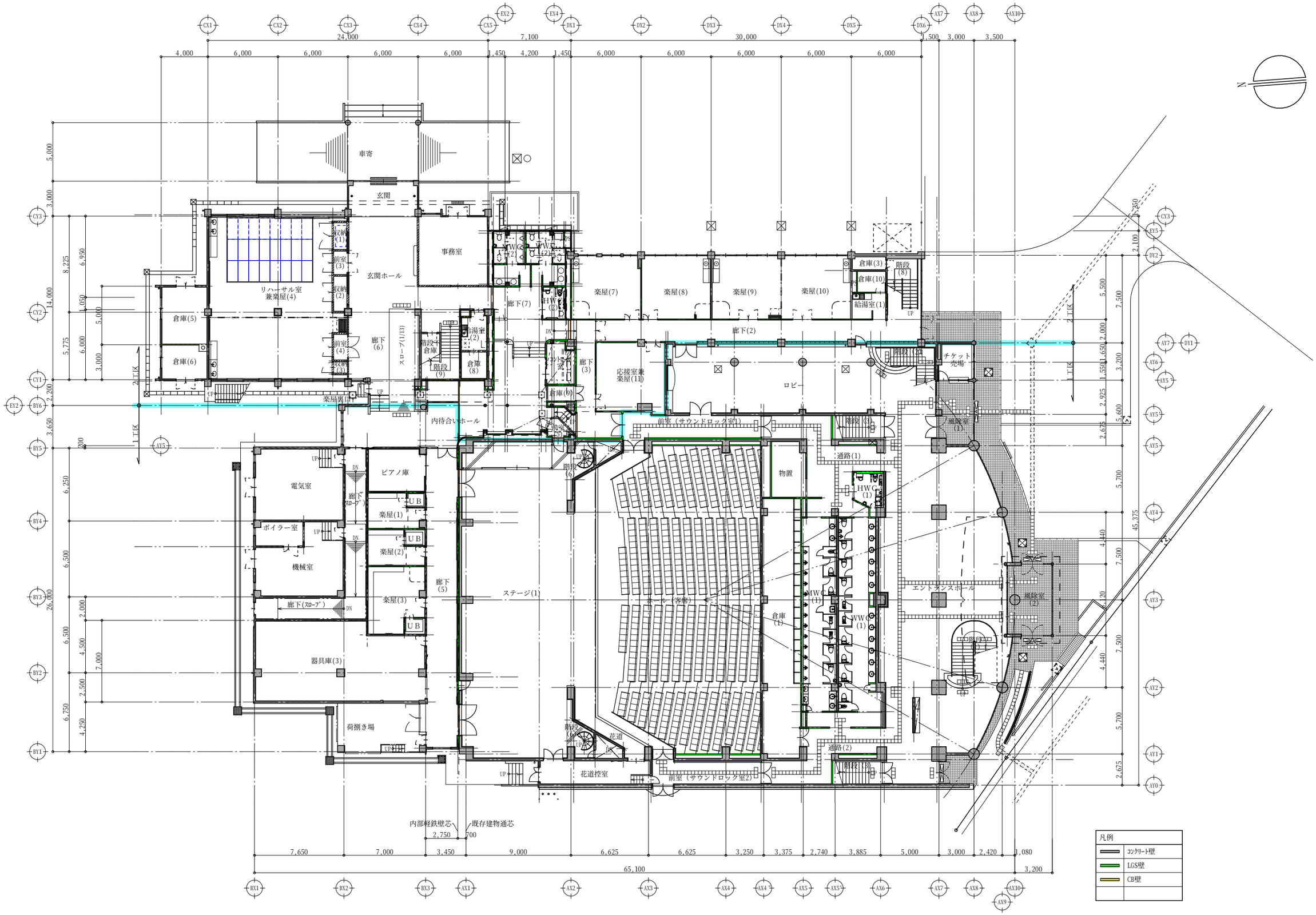


R２階屋根伏図

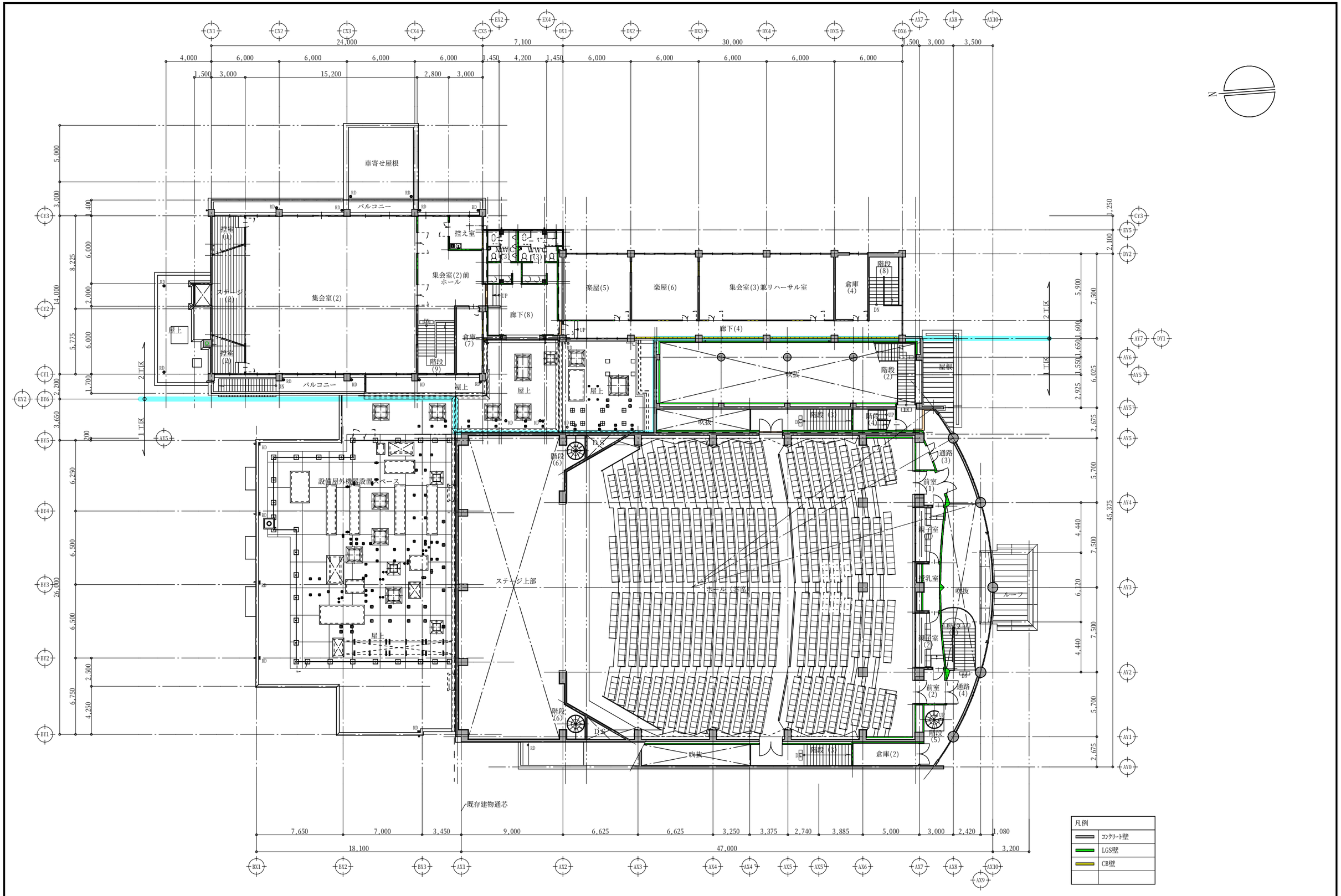
R１階屋根伏図

凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

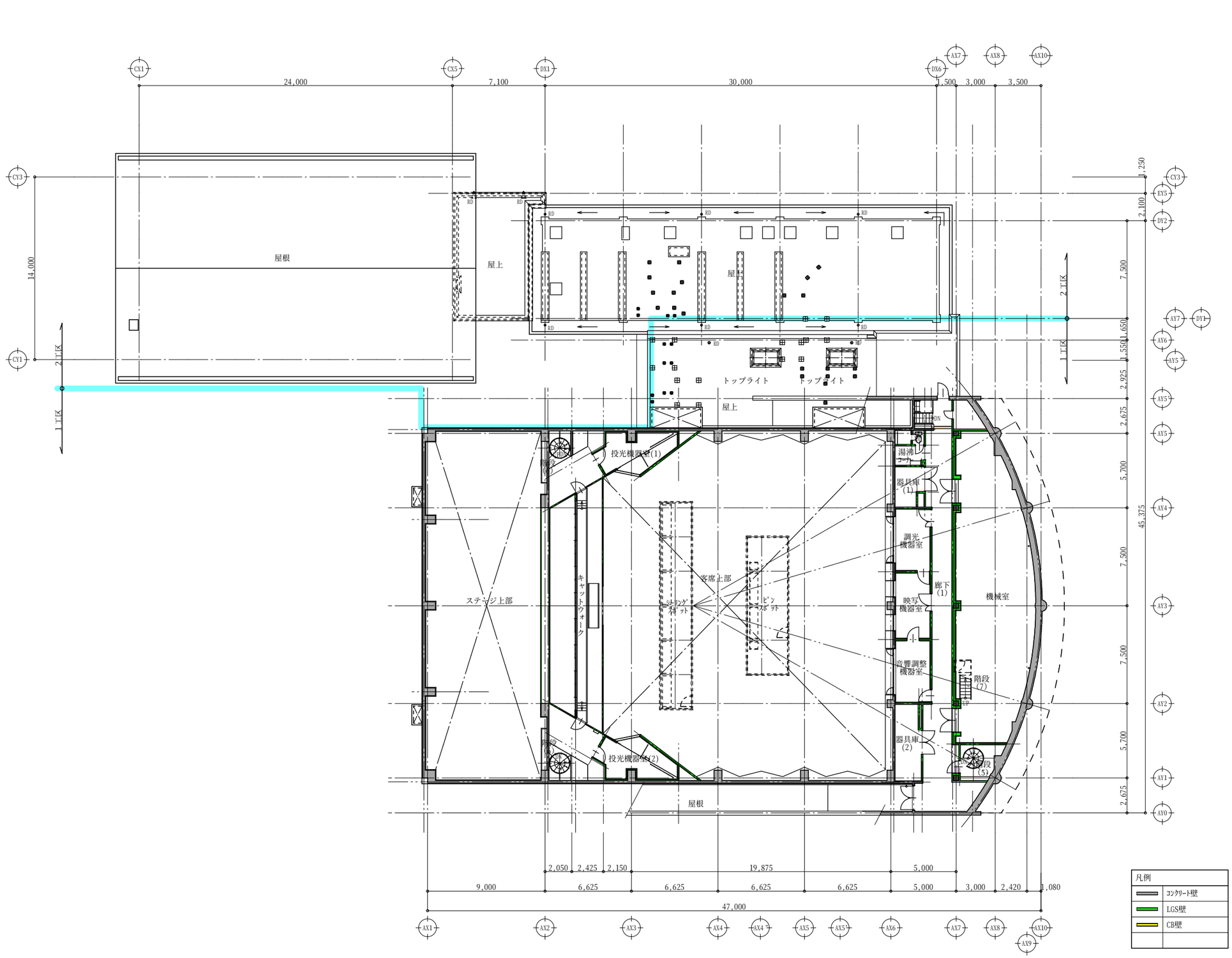
着工	・ ・		堂園設計株式会社	一級建築士登録 第１６０６３６号 外村 選	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
竣工	・ ・		一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号		R7 ・ 2 ・				A－17
監理			鹿児島市真砂本町２１番７号 ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７		縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存 Ｒ１，２階全体平面図		
施工									



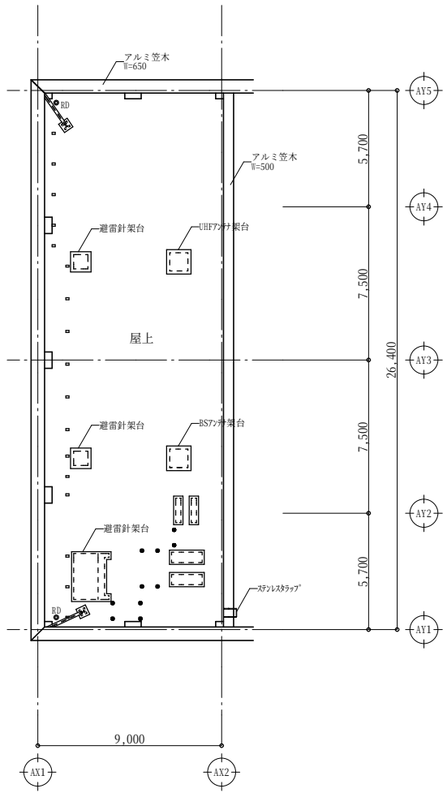
着工	・ ・		堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－18
竣工	・ ・				縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後　１階全体平面図	
監理								
施工								



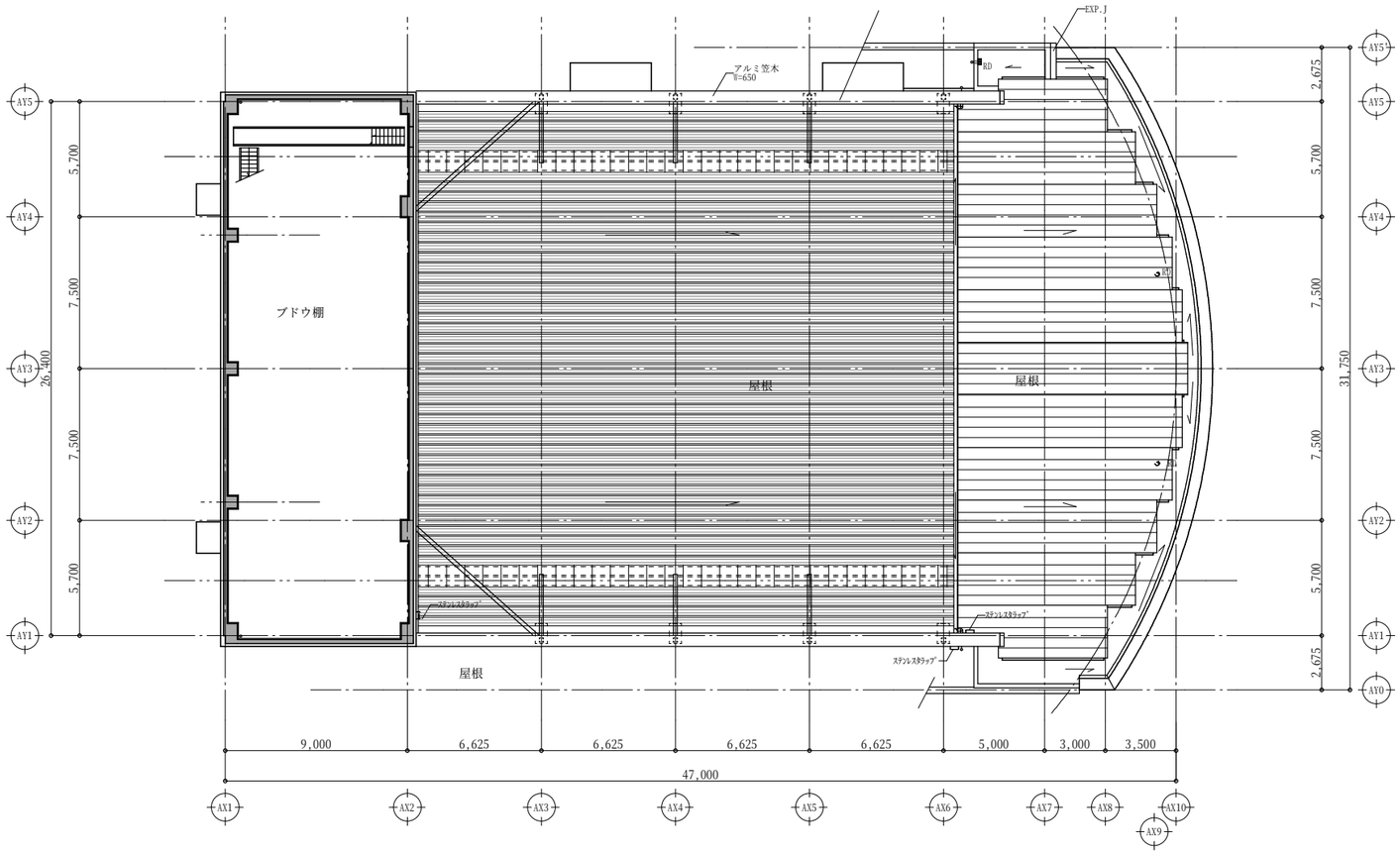
着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－19
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後　2階全体平面図	
監理							
施工							



着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－20
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後　3階全体平面図	
監理							
施工							



R２階屋根伏図



R１階屋根伏図

凡例	
	コンクリート壁
	LGS壁
	CB壁

着工	・ ・		
竣工	・ ・		
監理			
施工			

堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
R7 ・ 2 ・				A－21
縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後　R１，２階全体平面図		

番号	工区	部位	改修前	改修後	備考
1	ホール棟	屋根	屋根:ガルバリウム鋼板t=0.8 ゴムアスルーフィング張	高圧洗浄後(錆部分は錆落し、ケレン処理)高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法 (鋼板ジョイント部は補強テープ張　1.0m/㎡を見込むこと)	500×500程度 2ヶ所
2	ホール棟	屋根	ハゼ締め折板 H=166 ガルバリウム鋼板t=0.6 結露防止材:発砲スチロールt=5.0張	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法 (鋼板ジョイント部は補強テープ張　1.0m/㎡を見込むこと)	
3	ホール棟	パラペット笠木	アルミ笠木 W=650・W=500	既存のまま	
4	ホール棟	パラペット笠木	アルミ笠木 W=200・W=325	既存のまま	
5	ホール棟	パラペット内壁	中空押出成形板t=26㎜（アスベスト含有） 金属粉入り塗料仕上げ 横張りジョイント目地シーリング	高圧洗浄後　エポシキシーラー処理の上、フッソ樹脂塗装 （付着試験（Xカットテープ法等）実施のこと） ジョイント目地シーリング打ち替え(PU-2)共	成形板不良個所は、 監督職員と協議 の上取替とする。
6	ホール棟	軒先	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上　含侵密着型プライマー処理 及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
7	ホール棟	軒裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上　含侵密着型プライマー処理 及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
8	ホール棟	風除室(1)屋根	ガルバリウム鋼板t=0.8(ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系塗膜仕上) ゴムアスルーフィング張 スタイロフォームt=25	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法	
9	ホール棟	風除室(1) 軒裏・丸柱型	アルミパネルt=1.2㎜(裏打ち材ヒル石吹付)	既存のまま	
10	ホール棟	風除室(2)屋根	ガルバリウム鋼板t=0.8(ﾎﾟﾘｴｽﾃﾙ樹脂系塗膜仕上) ゴムアスルーフィング張 スタイロフォームt=25	高圧洗浄後高弾性厚膜アクリルゴム系防錆工法	
11	ホール棟	風除室(2) 軒裏・丸柱型	アルミパネルt=1.2㎜(裏打ち材ヒル石吹付)	既存のまま	
12	ホール棟	外壁	中空押出成形板t=26㎜（アスベスト含有） 金属粉入り塗料仕上げ 横張りジョイント目地シーリング	高圧洗浄後　エポシキシーラー処理の上、フッソ樹脂塗装 （付着試験（Xカットテープ法等）実施のこと） ジョイント目地シーリング打ち替え(PU-2)共	
13	ホール棟	外壁	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含侵密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
14	ホール棟	東側、西側 吹抜・階段部外壁	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含侵密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
15	ホール棟	風除室(1)上部外壁	磁器質50角モザイクタイル貼	高圧洗浄 タイルアンカーピンニングエポキシ樹脂樹脂注入後 シラン系吸水防止材	
16	ホール棟	外部柱型	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含侵密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
17	ホール棟	外部巾木	既存コンクリート部薄塗り仕上げ	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
18	ホール棟	外部巾木	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
19	ホール棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ﾋﾞｶﾗｰﾊﾟｲﾌﾟ125Φ　縦樋:ｽﾃﾝﾚｽﾊﾟｲﾌﾟ75Φ 掴み金物:ステンレス掴み金物 125Φ・75Φ@1,200	硬質塩ビカラーパイプ125Φのみ、ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) ステンレス掴み金物 125Φ・75Φ@1,200 既存品使用	
20	ホール棟	軒 樋	軒樋包み:ステンレス鋼板t=1.5㎜	軒樋包みは既存のまま 押えアングル：錆落し、ケレンの上さび止め塗料塗	L-50×50 L=1,000 45ヶ所
21	ホール棟	タラップ	ST構造管タラップ 溶融亜鉛メッキ処理	既存のまま	
22	ホール棟	西側前室出入口庇: 天端・側面	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄	
23	ホール棟	西側前室出入口庇: 軒裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含侵密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
24	ホール棟	西側花道控室 出入口庇:軒裏	化粧型枠コンクリート打放し FCC吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 含侵密着型プライマー処理及び打ち放しコンクリート表面保護工法仕上げ	
25	ホール棟	外部金属製建具	スチール製・アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
26	ホール棟	外部金属製建具面台	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修	
27	ホール棟	北側空調ダクト屋根	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修	
28	楽屋棟	パラペット笠木	コンクリート打放しの上吹付タイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波状ローラー仕上げ	
29	楽屋棟	外壁	コンクリート打放しの上吹付タイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波状ローラー仕上げ	
30	楽屋棟	荷捌き場 軒裏	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
31	楽屋棟	荷捌き場 梁型軒裏	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
32	楽屋棟	外部巾木	コンクリート打放し H=1,330	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
33	楽屋棟	北側出入口庇: 天端・側面	コンクリート打放し直押え	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
34	楽屋棟	北側出入口庇:軒裏	コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
35	楽屋棟	荷捌き場 階段手摺	ST構造管手摺 溶融亜鉛メッキ処理 笠木・支柱・下弦材・手すり子H=1,000	既存のまま	
36	楽屋棟	ストッパー	ショックレスストッパー L=3,000	既存撤去後カーストッパー新設(本木ゴム工業㈱ カーストッパー D型・中空ﾀｲﾌﾟ CSD-0110黒+黄色ﾗｲﾝ入 同等)	W100×H100×L3,000 (肉厚18)2カ所
37	楽屋棟	外部金属製建具	スチール製・アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
38	楽屋棟	縦 樋	硬質塩ビカラーパイプ100Φ 掴み金物:ステンレス製@1,000内外	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製@1,000内外 既存品使用	
39	楽屋棟	屋上フェンス	目隠しフェンスH=1,500	既存のまま	
40	共同利用 施設棟	屋　根	防水モルタル下地t=40㎜ アスファルトシングル葺（アスベスト含有）	撤去後、モルタル補修の上 環境対応形2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	

番号	工区	部位	改修前	改修後	備考
41	共同利用 施設棟	屋根プレキャスト 飾り	プレキャストコンクリートAPエナメル	撤去後、モルタル補修の上 環境対応形2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	
42	共同利用 施設棟	屋根部煙突	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付	撤去後、ステンレス製カバー、2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	
43	共同利用 施設棟	軒先部	防水モルタル金鏝押えの上アクリル系リシン吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ﾛｰﾗｰ仕上げ	
44	共同利用 施設棟	軒裏部	フレキシルボードt=4.0㎜の上VP塗	既存フレキシブルボード(アスベスト含有)撤去後 FKt=10 の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
45	共同利用 施設棟	バルコニー笠木	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄、下地調整の上特定化学物質無配合1成分形ウレタンX-2工法	
46	共同利用 施設棟	バルコニー軒先部	杉板仮枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
47	共同利用 施設棟	バルコニー軒裏部	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
48	共同利用 施設棟	バルコニー手摺部	笠木:アルミ角パイプ100×50 支柱:角パイプ100×50 横桟:アルミ角パイプ70×30	既存撤去後アルミ製手摺H=1,100 新設 (三協立山㈱ 墜落防止手すり 60型NS 一段手すり子ﾀｲﾌﾟ 同等)	
49	共同利用 施設棟	外壁	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
50	共同利用 施設棟	外壁	ベニヤ型枠(リブ付)コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
51	共同利用 施設棟	車寄パラペット笠木	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄 下地調整の上特定化学物質無配合1成分形ウレタンX-2工法	
52	共同利用 施設棟	車寄パラペット見付	杉板仮枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
53	共同利用 施設棟	車寄梁型 軒裏	杉板仮枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
54	共同利用 施設棟	車寄 軒裏	フレキシルボードt=4.0㎜の上VP塗り	既存フレキシブルボード(アスベスト含有)撤去後 FKt=10 の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
55	共同利用 施設棟	車寄 柱型	杉板仮枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
56	共同利用 施設棟	車寄 外壁	ボーダー磁器質タイル貼	既存撤去後下地補修調整後磁器質ボーダータイル張	
57	共同利用 施設棟	外部梁型・梁 軒裏	ベニヤ型枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
58	共同利用 施設棟	外部柱型	杉板仮枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
59	共同利用 施設棟	外部巾木	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
60	共同利用 施設棟	外部金属製建具面台	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)	
61	共同利用 施設棟	外部金属製建具	アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
62	共同利用 施設棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ビパイプ100ΦVU・75ΦVU 掴み金物:スチール製@1,200内外	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製@1,200内外に取替え	
62-1	共同利用 施設棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ビパイプ100ΦVU・75ΦVU 掴み金物:スチール製@1,200内外	撤去後硬質塩ビパイプVP100Φ　新設	
63	共同利用 施設棟	屋外階段ササラ壁	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
64	共同利用 施設棟	屋外階段踏面	プレコン280×1,580×50	高圧洗浄	
65	内待合 ホール	パラペット笠木	アルミ笠木W=350	既存のまま	
66	内待合 ホール	パラペット見付	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
67	内待合 ホール	外壁	ALC版t=100㎜(挿入筋工法)の上吹付タイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
68	内待合 ホール	外部巾木	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	
69	内待合 ホール	外部金属製建具面台	アルミ製面台	既存のまま	
70	内待合 ホール	外部金属製建具	アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
71	内待合 ホール	縦 樋	縦樋:硬質塩ビカラーパイプ100Φ・75Φ 掴み金物:ステンレス製@1,000内外	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製@1,000内外 既存品使用	
72	管理棟	パラペット内壁	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
73	管理棟	パラペット見付・ 笠木	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
74	管理棟	パラペット軒裏	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
75	管理棟	軒裏	コンクリート打放しの上外装薄塗材E吹付	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
76	管理棟	外部梁型・梁 軒裏	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
77	管理棟	外部柱型	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
78	欠番				
79	管理棟	外壁	コンクリート打放しの上アクリル系吹付けタイル	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
80	管理棟	外部巾木・階段	化粧型枠コンクリート打放し	セメント系塗材(ノロ)の浮き部を除去後 高圧洗浄の上 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上げ	

特記事項

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	工事名称	図面番号
R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	A－22
縮尺 NO.SCALE	図面名称 (共通)工事範囲仕上表①	

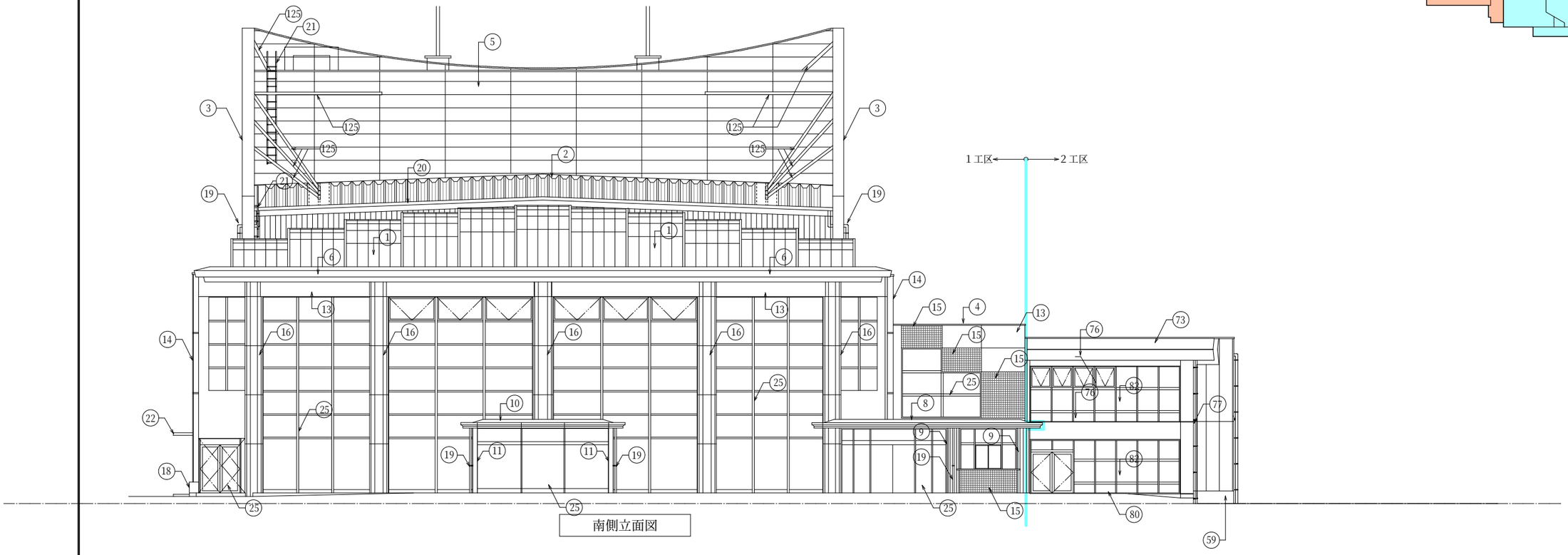
番号	工区	部位	改修前	改修後	備考
81	管理棟	外部金属製建具面台	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄 欠損部改修工法ほか外壁改修	
82	管理棟	外部金属製建具	アルミ製建具	既存シーリング撤去の上清掃再シーリング(MS-2)	
83	管理棟	縦 樋	縦樋:硬質塩ビカラーパイプ75ΦVU 掴み金物:ｽﾃﾝﾚｽ製@1,200内外(すべり止め付)	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製@1,200内外(すべり止め付 既存品使用)	
84	欠番				
85	欠番				
86	ホール棟	東側階段・ 吹抜屋根部	ゴムシート防水(非歩行)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン機械的固定工法 立上り:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン密着メッシュ入り工法	立上り:7%ﾐ笠木有り 非撤去とする。
87	ホール棟	西側階段・ 吹抜屋根部	ゴムシート防水(非歩行)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン機械的固定工法 立上り:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン密着メッシュ入り工法	立上り:7%ﾐ笠木有り 非撤去とする。
88	ホール棟	ロビー吹抜上部 屋根	ゴムシート防水(非歩行)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン機械的固定工法 立上り:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン密着メッシュ入り工法	立上り:7%ﾐ笠木有り 非撤去とする。
89	楽屋棟	屋根	防水用保護材(シルバー2液性1回塗り) ゴムシート防水(S-1工法)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン機械的固定工法 立上り:下地調整の上特定化学物質無配合ウレタン密着メッシュ入り工法	立上り: 既存防水層撤去
90	楽屋棟	フェンス部屋根	コンクリートこて仕上げ(A種)伸縮目地20x100 ゴムシート防水(S-1工法)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタンX-1工法 脱気筒設置 伸縮目地20×100撤去　目地処理) 立上り:下地調整の上特定化学物質無配合ウレタンX-2工法	立上り: 既存防水層撤去
91	共同利用 施設	屋根コンクリート 箱樋	防水モルタル金鏝押え	高圧洗浄 下地調整の上環境対応形2成分反応形アクリルゴム屋根塗膜防水工法	
92	共同利用 施設	機械室屋根	シート防水(非歩行)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン機械的固定工法 立上り:下地調整の上特定化学物質無配合ウレタン密着メッシュ入り工法	立上り: 既存防水層撤去
93	共同利用 施設	玄関・車寄上部屋根	ウレタン塗膜防水	既存平場及び立上り防水層は既存のままとする。 笠 木:高圧洗浄 下地調整の上特定化学物質無配合ウレタンX-2工法	
94	共同利用 施設	バルコニー床	防水モルタル金鏝押え一部ウレタン塗膜防水	平 場:高圧洗浄 下地調整の上特定化学物質無配合ウレタンX-2工法 立上り:高圧洗浄 下地調整の上特定化学物質無配合ウレタンX-2工法	
95	内待合 ホール	屋根	防水用保護材(シルバー2液性1回塗り) ゴムシート防水(S-1工法)	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合ウレタン機械的固定工法 立上り:下地調整の上特定化学物質無配合ウレタン密着メッシュ入り工法	立上り: 既存防水層撤去
96	管理棟	2階屋根部	アクリルゴム系塗膜防水(防水保護材共非歩行用)	平 場:高圧洗浄 アクリルゴム系塗膜防水 (JIS A 6021適合) 立上り:高圧洗浄 アクリルゴム系塗膜防水 (JIS A 6021適合)	
97	管理棟	控え室上部屋根	アクリルゴム系塗膜防水(防水保護材共非歩行用)	平 場:高圧洗浄 アクリルゴム系塗膜防水 (JIS A 6021適合) 立上り:高圧洗浄 アクリルゴム系塗膜防水 (JIS A 6021適合)	
98	欠番				
99	欠番				
100	欠番				
101	ホール棟	東側階段・ 吹抜屋根部	横引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
102	ホール棟	西側階段・ 吹抜屋根部	横引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
103	ホール棟	ロビー吹抜 上部屋根	横引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
104	ホール棟	風除室(1)屋根	縦引き型ドレンステンレス製75Φ	既存のまま	
105	ホール棟	風除室(2)屋根	縦引き型ドレンステンレス製75Φ	既存のまま	
106	楽屋棟	屋根	横引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
107	共同利用 施設	屋根コンクリート 箱樋	横引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
108	共同利用 施設	機械室屋根	縦引き型ドレイン鋳鉄製75Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
109	共同利用 施設	玄関・車寄上部 屋根	縦引き型ドレイン鋳鉄製75Φ	既存のまま	
110	共同利用 施設	バルコニー床	バルコニー中継ドレン鋳鉄製100Φ	ケレンの上タールエポキシ樹脂塗料	
111	内待合 ホール	屋根	横引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
112	内待合 ホール	屋根	縦引き型ドレン鋳鉄製100Φ	改修用縦引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
113	管理棟	2階R階屋根部	縦引き型ドレイン鋳鉄製75Φ	改修用縦引き型ドレン75Φ(70Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
114	管理棟	控え室上部屋根	縦引き型ドレイン鋳鉄製75Φ	改修用縦引き型ドレン75Φ(70Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共	
115	ホール棟	南西側エントランス	FK(7)5.mm目透し張りの上EP塗り	EP-G塗り塗り替え	
116	ホール棟	西側外壁コーナー 下端軒裏	FKt=5.0mm目透し張りの上VP塗り (欠損有り)	FKt=5.0　目透し張り替えの上水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
117	ホール棟	北側外壁ﾀﾞｸﾄｽﾍﾟｰｽ 下端軒裏	FKt=5.0mm目透し張りの上VP塗り(一部欠損)	FKt=5.0　目透し張り替えの上水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
118	ホール棟	東側外壁ﾀﾞｸﾄｽﾍﾟｰｽ 下端軒裏	FKt=5.0mm目透し張りの上VP塗り(一部欠損)	FKt=5.0　目透し張り替えの上水系1液反応硬化形艶消し塗料仕上げ	
119	欠番				
120	楽屋棟	オーニングテント	-	電動オーニングテント (ﾛｰﾙｵｰﾆﾝｸﾞｴﾙﾊﾞｰﾈﾆｭｰｽｰﾊﾟｰﾏｷｼﾏﾑｽﾀﾝﾀﾞｰﾄﾞﾀｲﾌﾟ:BXﾃﾝﾊﾟﾙ同等品程度)	W7,000×D2,000 W4,250×D2,000 計2ヶ所

番号	工区	部位	改修前	改修後	備考
121	楽屋棟	RC躯体壁	スチール製シャッター	既存シャッター撤去後 RC腰壁の上ALCt=100 + 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上	
122	共同利用 施設	車寄スロープ	タイル張	既存スロープ撤去後スロープ勾配を変更し、新設 タイル張	
123	共同利用 施設	RC飾り	杉板仮枠コンクリート打放しの上 複層塗材E	撤去後、鉄筋は錆止め塗装後下地調整塗材の上 可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ) さざ波状ローラー仕上げ	
124	共同利用 施設	フェンス扉	UNフェンス H=3,200	既存フェンス扉撤去後アルミフェンス新設 (朝日スチール工業㈱ ユニフェンス UN-H3000-50用 同等)	
125	ホール棟	鉄骨	H-100×200	錆部分は錆落し、ケレンの上DP塗装	
126	共同利用 施設	耐震補強鉄骨部材	-	溶融亜鉛めっき処理	
127	ホール棟	東側外壁	中空押出成形板t=26mm（アスベスト含有） 金属粉入り塗料仕上げ	設備用開口(150Φ×3、100Φ×1)、支持アングル(支給品)取付、アンカーボルト取付	

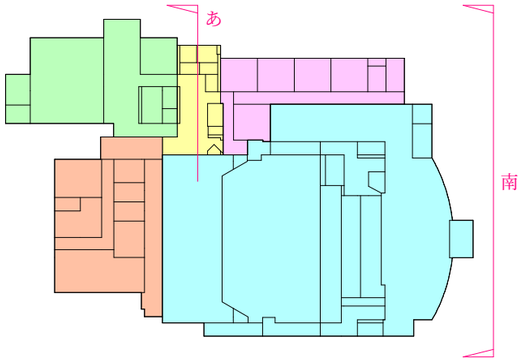
特記事項

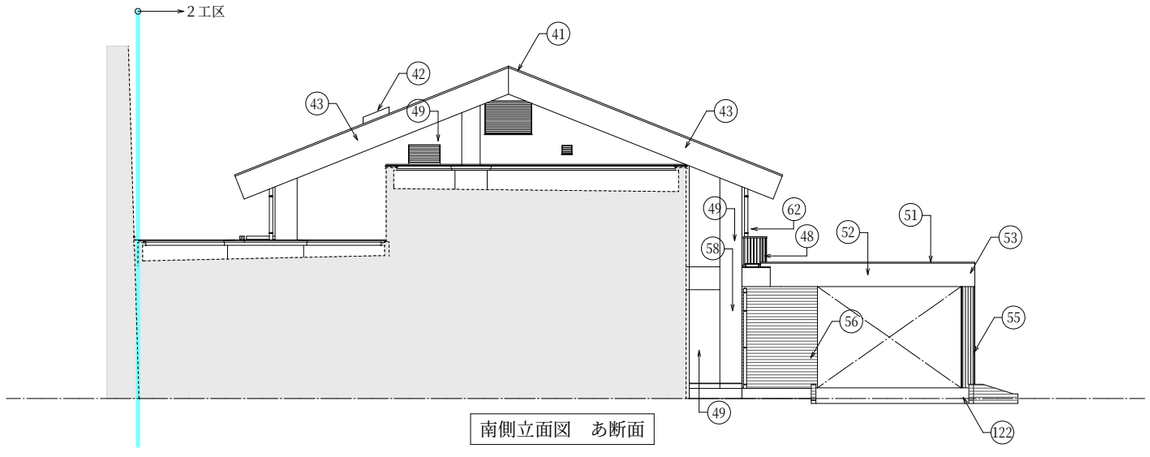
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	R7・2・
縮尺	NO.SCALE
工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）
設計図	
図面名称	(共通)工事範囲仕上表②
図面番号	A−23



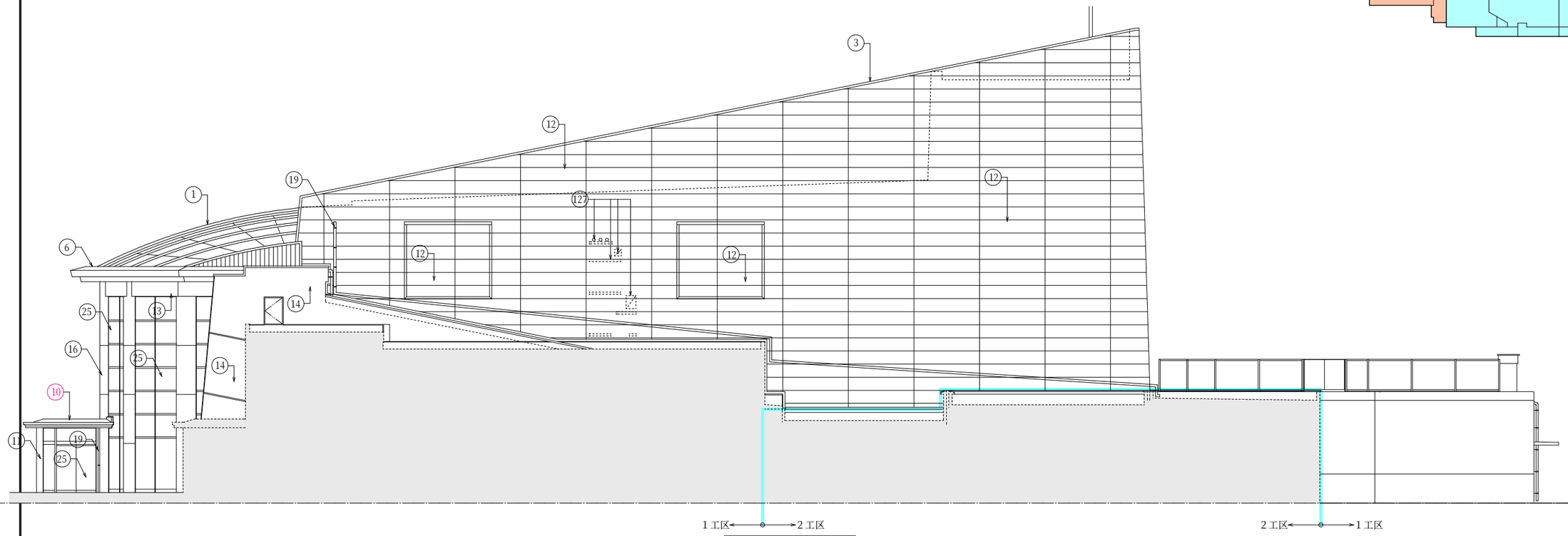
南側立面図



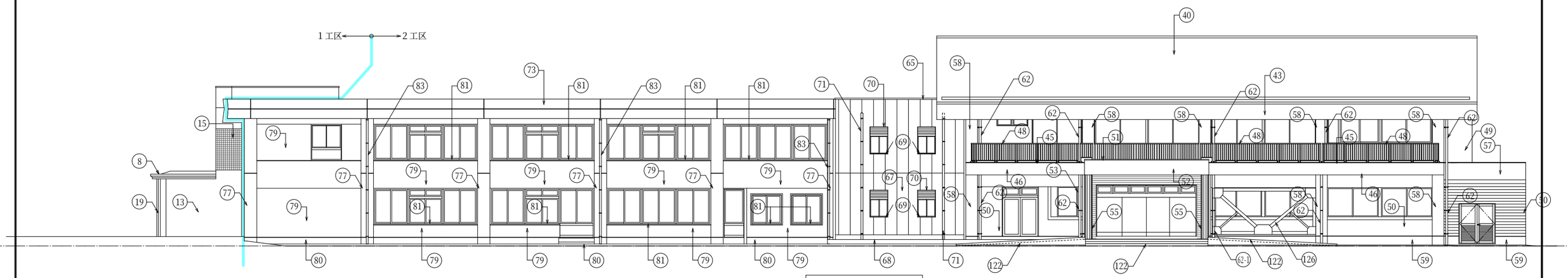


南側立面図　あ断面

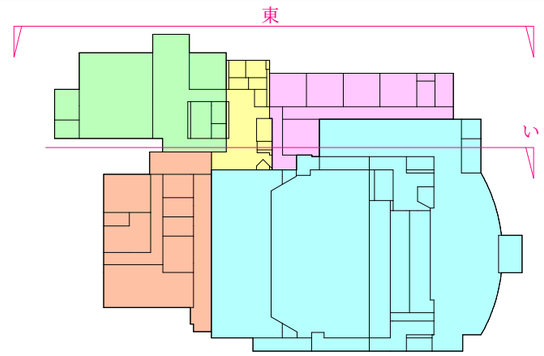
着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－24
竣工	・　・			縮尺 1：100(A1) 1：200(A3)	図面名称	(共通)改修後　南側立面図	
監理							
施工							



東側立面図　い断面

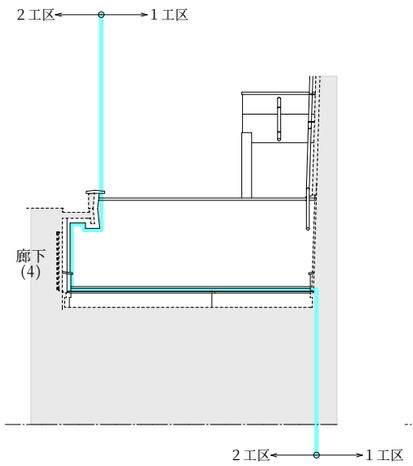


東側立面図

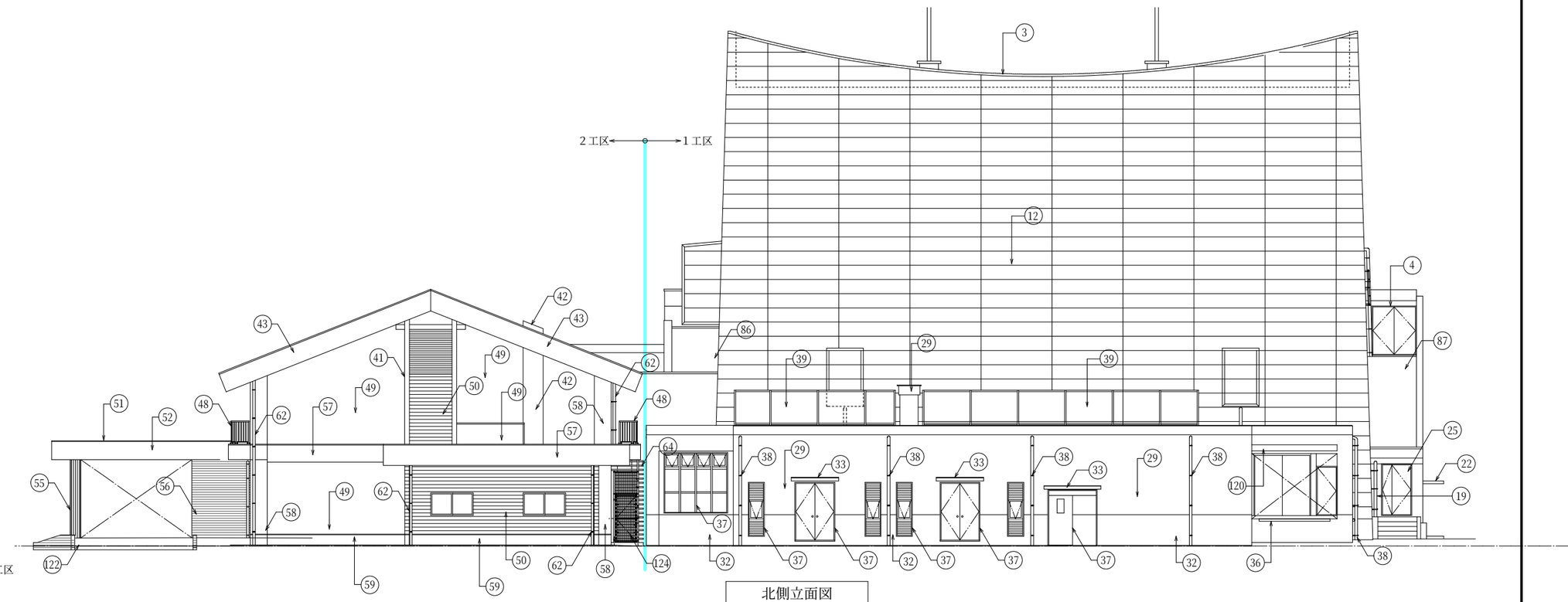


：改修ホール部分を示す。
：改修管理棟部分を示す。
：改修楽屋棟部分を示す。
：改修共同利用施設部分を示す。
：改修内待合ホール部分を示す。

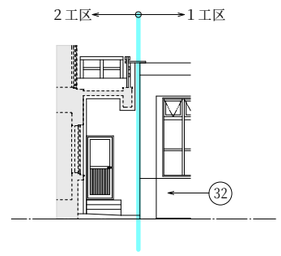
着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－25
竣工	・　・			縮尺 1：100(A1) 1：200(A3)	図面名称	(共通)改修後　東側立面図	
監理							
施工							



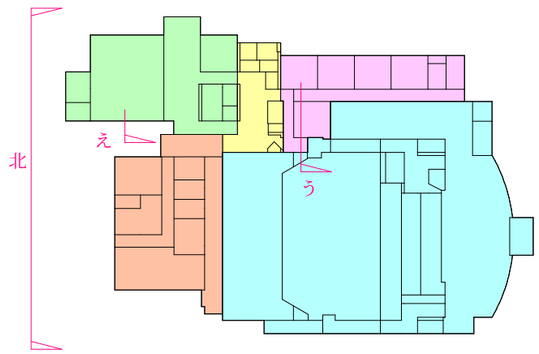
北側立面図　う断面



北側立面図

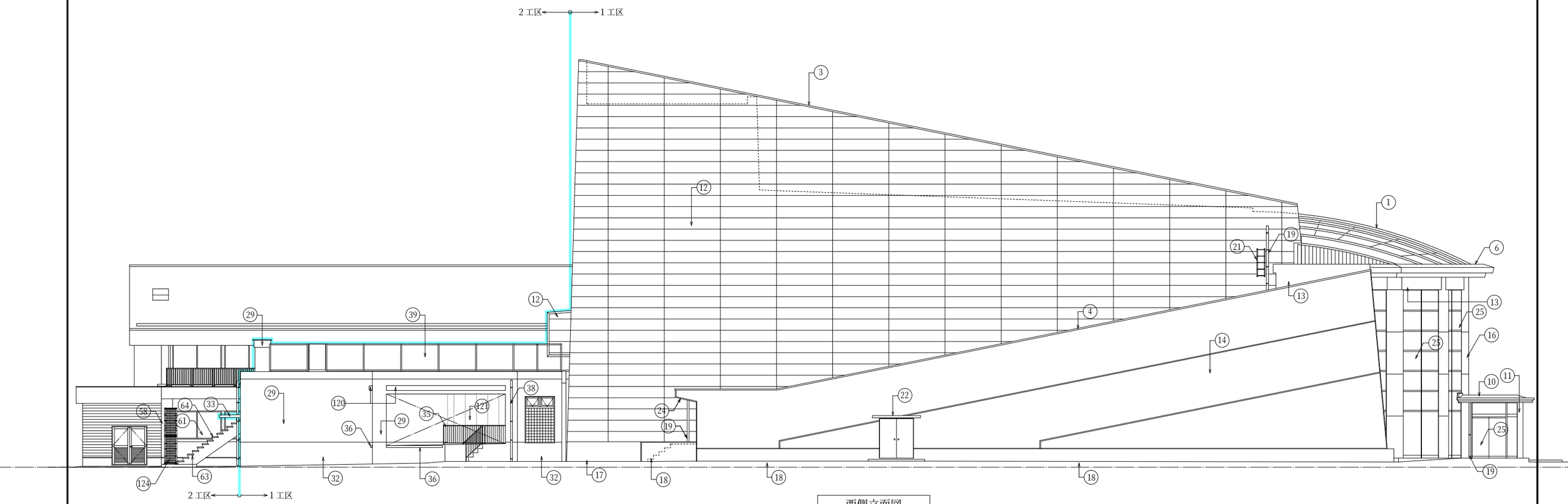


北側立面図　え断面

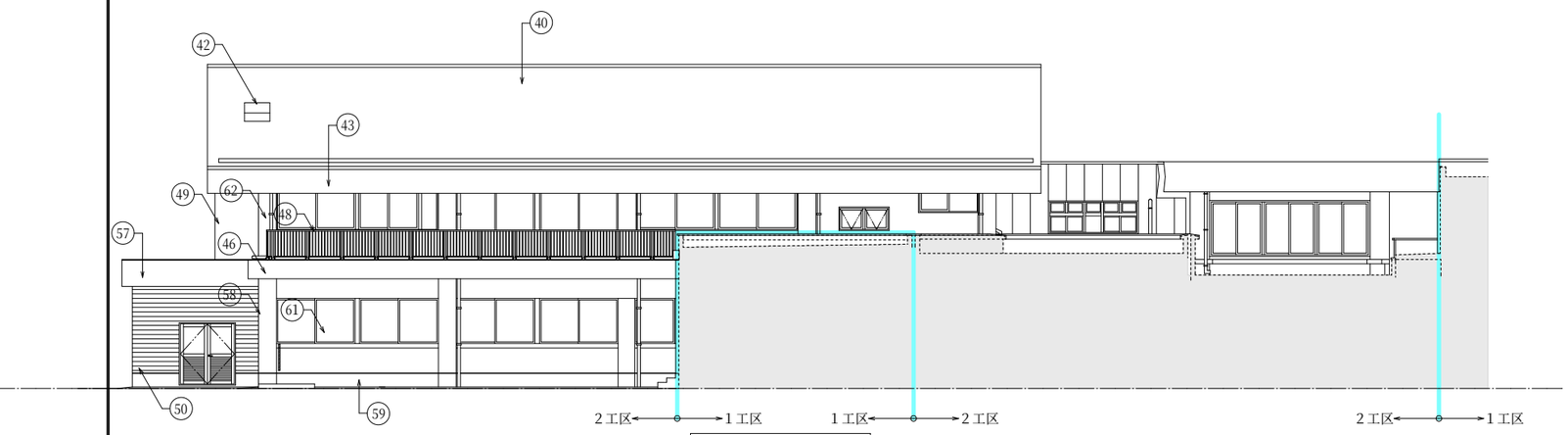


：改修ホール部分を示す。
：改修管理棟部分を示す。
：改修楽屋棟部分を示す。
：改修共同利用施設部分を示す。
：改修内待合ホール部分を示す。

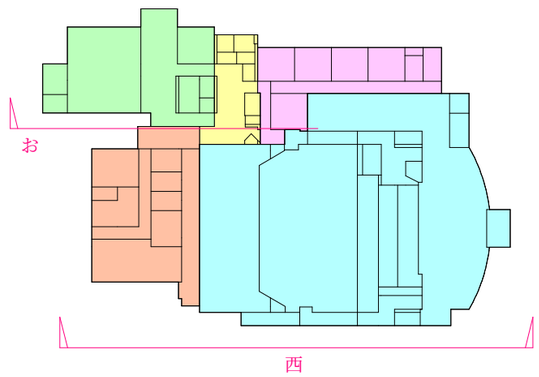
着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・　・			縮尺 1：100(A1) 1：200(A3)	図面名称	(共通)改修後　北側立面図	A－26
監理							
施工							



西側立面図

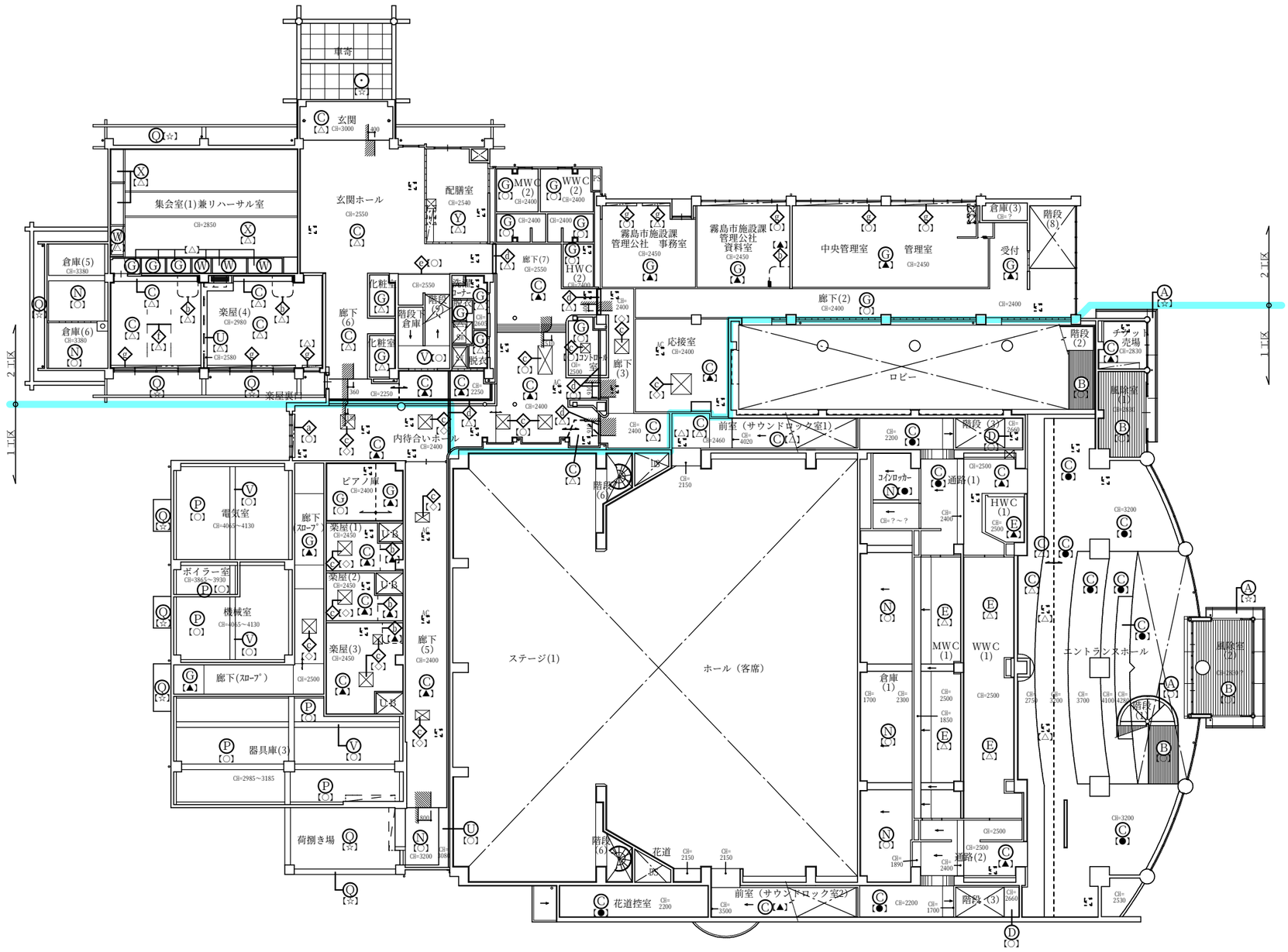


西側立面図　お断面



：改修ホール部分を示す。
：改修管理棟部分を示す。
：改修楽屋棟部分を示す。
：改修共同利用施設部分を示す。
：改修内待合ホール部分を示す。

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－27
竣工	・　・			縮尺 1：100(A1) 1：200(A3)	図面名称	(共通)改修後　西側立面図	
監理							
施工							

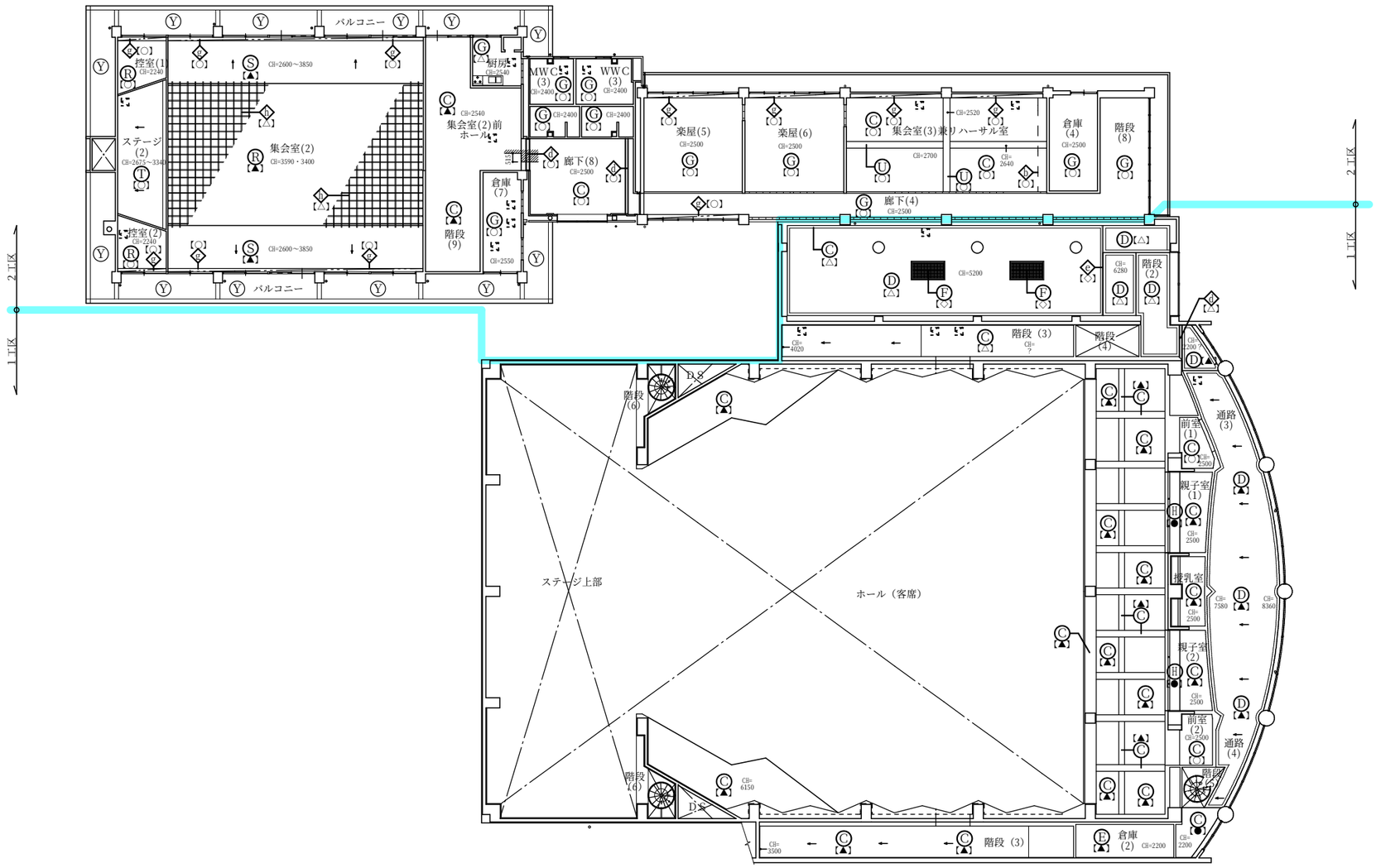


仕上凡例	
Ⓐ	アルミパネルｔ＝1.2（裏打材　ヒル石吹付け）
Ⓑ	アルミスパンドレルｔ＝1.6
Ⓒ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝9.5
Ⓓ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝15.0（キューブ）（リブライン）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝6.0　目透し張　ＥＰ（910×910）
Ⓕ	アクリルルーバー
Ⓖ	化粧石膏ボードｔ＝9.5
Ⓗ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓘ	ＰＢｔ＝9.5+9.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓙ	ＰＢｔ＝12.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓚ	耐火野地板現し
Ⓛ	既存屋根ＡＬＣ，鉄骨梁現し
Ⓜ	化粧型枠コンクリート打放し　ＦＣＣ吹付け
Ⓝ	コンクリート下地　ＥＰ
Ⓞ	グラスウールｔ＝50（32kg／m³）　ガラスクロストンボ止め
Ⓟ	木毛板t=25打込み
Ⓠ	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
Ⓡ	穿孔石膏ボード,ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
Ⓢ	無機質繊維成形板t=9.0 リブ
Ⓣ	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ)
Ⓤ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ
Ⓥ	コンクリート打放し補修
Ⓦ	ラワン合板ｔ＝2.7
Ⓧ	化粧石膏ボードｔ＝9.0（木目柄）
Ⓨ	フレキシブルボードｔ＝4.0　ＶＰ（アスベスト含有）
Ⓩ	
ⓐ	ブラインドボックス（スチール）
ⓑ	天吊りカーテンレール及びカーテン
ⓒ	メタリカルーバー
ⓓ	EXP.J カバー
ⓔ	防煙垂れ壁H=500（網入ｶﾞﾗｽｔ＝6.8ｱﾙﾐ枠）
ⓕ	天吊りハンガーパイプ
ⓖ	カーテンボックス（木製）
ⓗ	木格子：栂45×90@455(タテヨコ)
ⓘ	
ⓙ	
	天井点検口（既設）

着工	・　・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・　・		【●】・・・既存材に塗装
監理			【△】・・・撤去（下地共）
			【▲】・・・仕上材撤去（LGS下地は残す）
施工			【◇】・・・取外し調整の上、再取付
			【☆】・・・外壁改修図面参照

堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
縮尺	1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存１階全体天井伏図
図面番号	A－28		

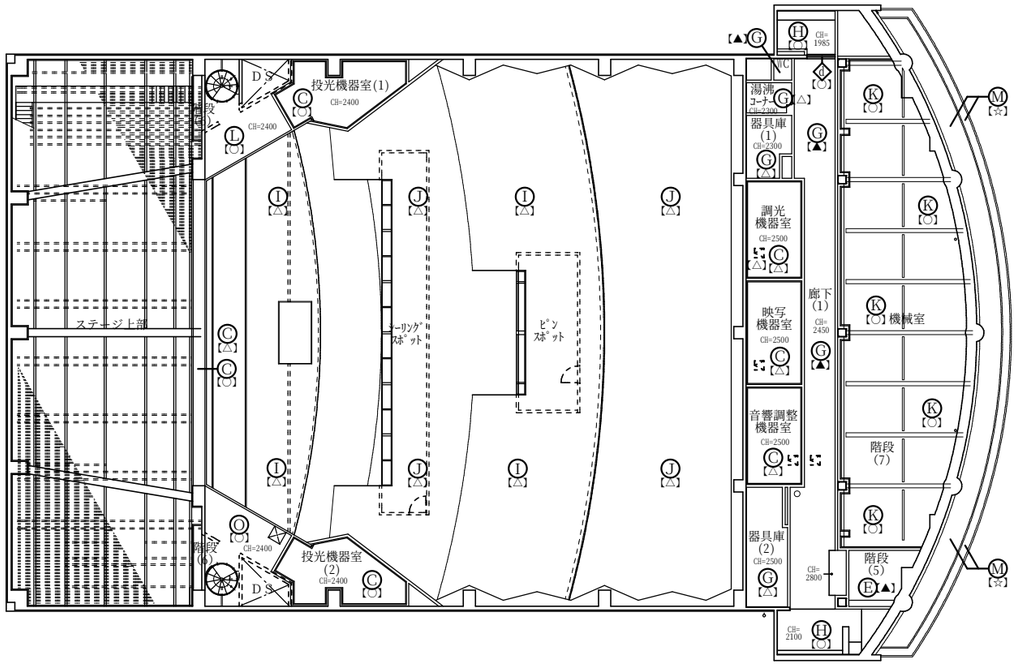


仕上凡例	
Ⓐ	アルミパネルｔ＝1.2（裏打材　ヒル石吹付け）
Ⓑ	アルミスパンドレルｔ＝1.6
Ⓒ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝9.5
Ⓓ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝15.0（キューブ）（リブライン）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝6.0　目透し張　ＥＰ（910×910）
Ⓕ	アクリルルーバー
Ⓖ	化粧石膏ボードｔ＝9.5
Ⓗ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓘ	ＰＢｔ＝9.5+9.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓙ	ＰＢｔ＝12.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓚ	耐火野地板現し
Ⓛ	既存屋根ＡＬＣ，鉄骨梁現し
Ⓜ	化粧型枠コンクリート打放し　ＦＣＣ吹付け
Ⓝ	コンクリート下地　ＥＰ
Ⓞ	グラスウールｔ＝50（32kg／m³）　ガラスクロストンボ止め
Ⓟ	木毛板t=25打込み
Ⓠ	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
Ⓡ	穿孔石膏ボード,ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
Ⓢ	無機質繊維成形板t=9.0 リブ
Ⓣ	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ)
Ⓤ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ
Ⓥ	コンクリート打放し補修
Ⓦ	ラワン合板ｔ＝2.7
Ⓧ	化粧石膏ボードｔ＝9.0（木目柄）
Ⓨ	フレキシブルボードｔ＝4.0　ＶＰ（アスベスト含有）
Ⓩ	
ⓐ	ブラインドボックス（スチール）
ⓑ	天吊りカーテンレール及びカーテン
ⓒ	メタリカルーバー
ⓓ	EXP.J カバー
ⓔ	防煙垂れ壁H=500（網入ｶﾞﾗｽｔ＝6.87ﾐﾘ枠）
ⓕ	天吊りハンガーパイプ
ⓖ	カーテンボックス（木製）
ⓗ	木格子：栂45×90@455(タテヨコ)
ⓘ	
ⓙ	
	天井点検口（既設）

着工	・　・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・　・		【●】・・・既存材に塗装
監理			【△】・・・撤去（下地共）
施工			【▲】・・・仕上材撤去（LGS下地は残す）
			【◇】・・・取外し調整の上、再取付
			【☆】・・・外壁改修図面参照

堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A－29
縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存２階全体天井伏図	

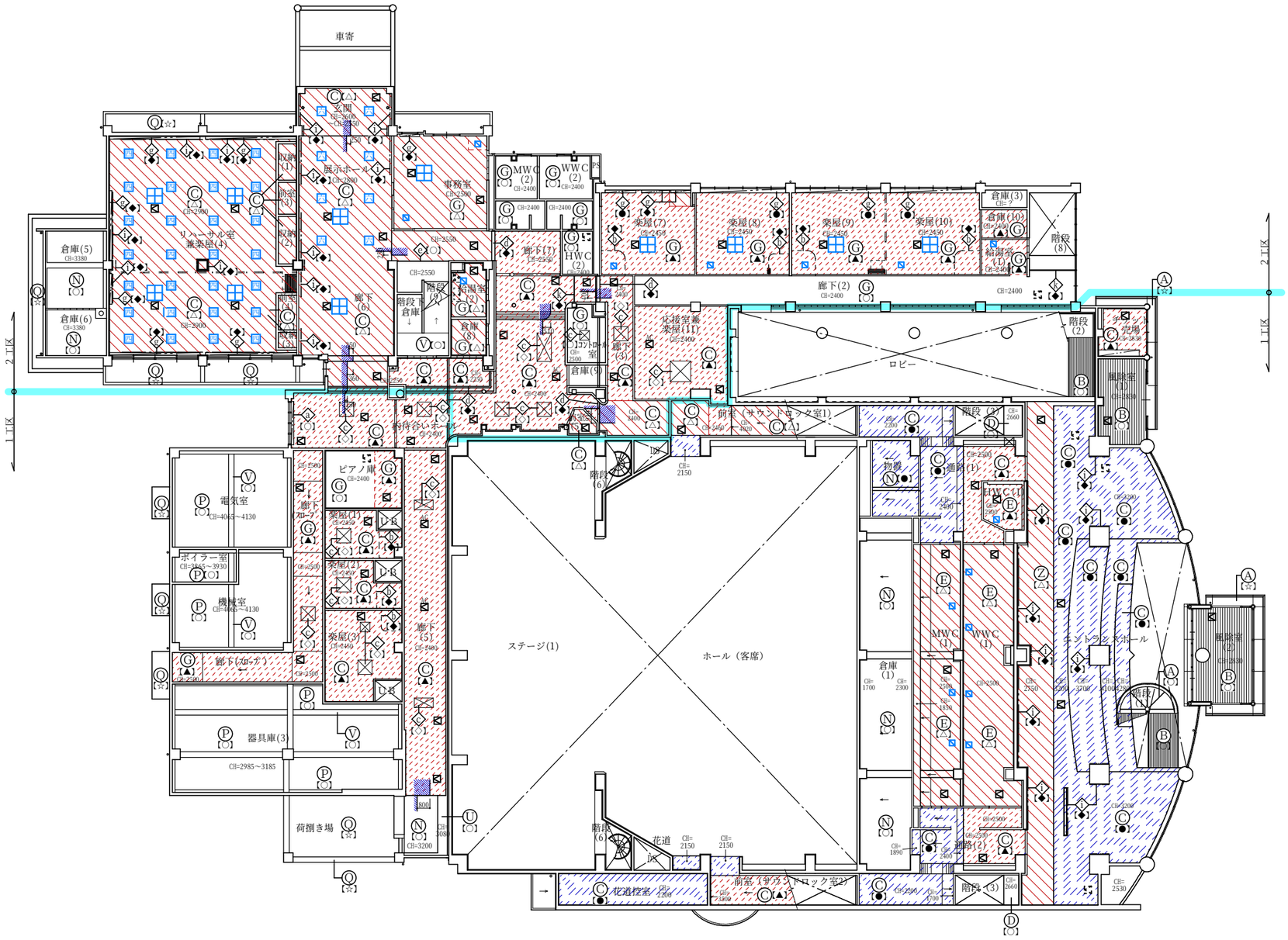


仕上凡例	
Ⓐ	アルミパネルｔ＝1.2（裏打材　ヒル石吹付け）
Ⓑ	アルミスパンドレルｔ＝1.6
Ⓒ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝9.5
Ⓓ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝15.0（キューブ）（リブライン）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝6.0　目透し張　ＥＰ（910×910）
Ⓕ	アクリルルーバー
Ⓖ	化粧石膏ボードｔ＝9.5
Ⓗ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓘ	ＰＢｔ＝9.5+9.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓙ	ＰＢｔ＝12.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓚ	耐火野地板現し
Ⓛ	既存屋根ＡＬＣ，鉄骨梁現し
Ⓜ	化粧型枠コンクリート打放し　ＦＣＣ吹付け
Ⓝ	コンクリート下地　ＥＰ
Ⓞ	グラスウールｔ＝50（32kg／m^3）　ガラスクロストンボ止め
Ⓟ	木毛板t=25打込み
Ⓠ	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
Ⓡ	穿孔石膏ボード,ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
Ⓢ	無機質繊維成形板t=9.0 リブ
Ⓣ	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ)
Ⓤ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ
Ⓥ	コンクリート打放し補修
Ⓦ	ラワン合板ｔ＝2.7
Ⓧ	化粧石膏ボードｔ＝9.0（木目柄）
Ⓨ	フレキシブルボードｔ＝4.0　ＶＰ（アスベスト含有）
Ⓩ	
ⓐ	ブラインドボックス（スチール）
ⓑ	天吊りカーテンレール及びカーテン
ⓒ	メタリカルーバー
ⓓ	EXP.J カバー
ⓔ	防煙垂れ壁H=500（網入ｶﾞﾗｽｔ＝6.8ｱﾙﾐ枠）
ⓕ	天吊りハンガーパイプ
ⓖ	カーテンボックス（木製）
ⓗ	木格子：桧45×90@455(タテヨコ)
ⓘ	
ⓙ	
	天井点検口（既設）

着工	・　・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・　・		【●】・・・既存材に塗装
監理			【△】・・・撤去（下地共）
			【▲】・・・仕上材撤去（LGS下地は残す）
施工			【◇】・・・取外し調整の上、再取付
			【☆】・・・外壁改修図面参照

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	縮尺	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・	1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存３階全体天井伏図	A－30

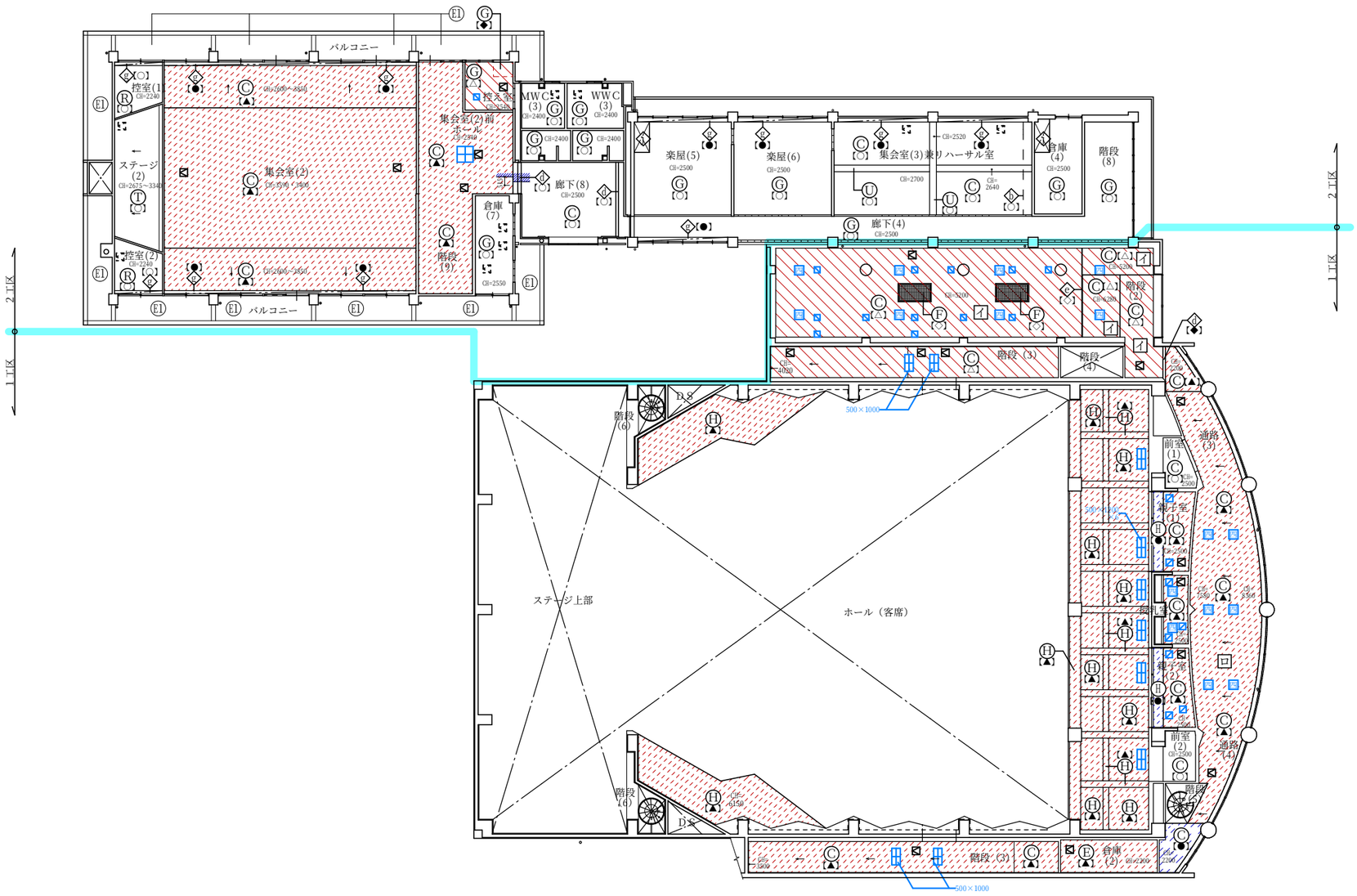


仕上凡例	
Ⓐ	アルミパネルｔ＝1.2（裏打材　ヒル石吹付け）
Ⓑ	アルミスパンドレルｔ＝1.6
Ⓒ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝9.0
Ⓓ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝15.0（キューブ）（リブライン）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝6.0　目透し張　ＥＰ（910×910）
Ⓔ'	ケイカル板ｔ＝10.0　　ＥＰ
Ⓕ	アクリルルーバー
Ⓖ	化粧石膏ボードｔ＝9.5
Ⓗ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓘ	ＰＢｔ＝9.5+9.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓙ	ＰＢｔ＝12.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓚ	耐火野地板現し
Ⓛ	既存屋根ＡＬＣ，鉄骨梁現し
Ⓜ	化粧型枠コンクリート打放し　ＦＣＣ吹付け
Ⓝ	コンクリート下地　ＥＰ
Ⓞ	グラスウールｔ＝50（32kg／m³）　ガラスクロストンボ止め
Ⓟ	木毛板t=25打込み
Ⓠ	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
Ⓡ	穿孔石膏ボード,ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
Ⓢ	無機質繊維成形板t=9.0 リブ
Ⓣ	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ)
Ⓤ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ
Ⓥ	コンクリート打放し補修
Ⓦ	ラワン合板ｔ＝2.7
Ⓧ	化粧石膏ボードｔ＝9.0（木目柄）
Ⓨ	準構造化天井用下地 ＰＢｔ＝12.5+12.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓩ	GB-Rt=12.5+木目調ｼｰﾄ(不燃)貼
ⓐ	ブラインドボックス（スチール）
ⓑ	天吊りカーテンレール及びカーテン
ⓒ	メタリカルーバー
ⓓ	EXP.J カバー
ⓔ	防煙垂れ壁H=500（網入ｶﾞﾗｽｔ＝6.8ｱﾙﾐ枠）
ⓕ	天吊りハンガーパイプ
ⓖ	カーテンボックス（木製）
ⓗ	木格子：栂45×90@455(タテヨコ)
ⓘ	ピクチャーレール
ⓙ	一時撤去再取付け
ⓚ	防煙垂れ壁H=500垂壁(不燃シートテンションタイプ)
イ	既存LGS天井下地撤去後、LGS天井下地及び脱落防止金物新設
ロ	既存LGS天井下地に脱落防止金物取付
	天井点検口（既設のまま）
	天井点検口 450角（新設）
	設備用開口補強 950角（新設）
	設備用開口補強 ※×※(ｻｲｽﾞは図中)（新設）
	設備用開口補強 400角（新設）
	設備用開口補強 350角（新設）
	設備用開口補強 500角（新設）
450 600	設備用開口補強 450角・600角（新設）

着工	・　・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・　・		【●】・・・既存材に塗装
監理			【△】・・・仕上材貼替（LGS下地新設）
			【▲】・・・仕上材貼替（LGS下地は既存利用）
施工			【◇】・・・取外し調整の上、再取付
			【☆】・・・外壁改修図面参照
			【◆】・・・新設

堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
R7・2・				A－31
縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後１階全体天井伏図		



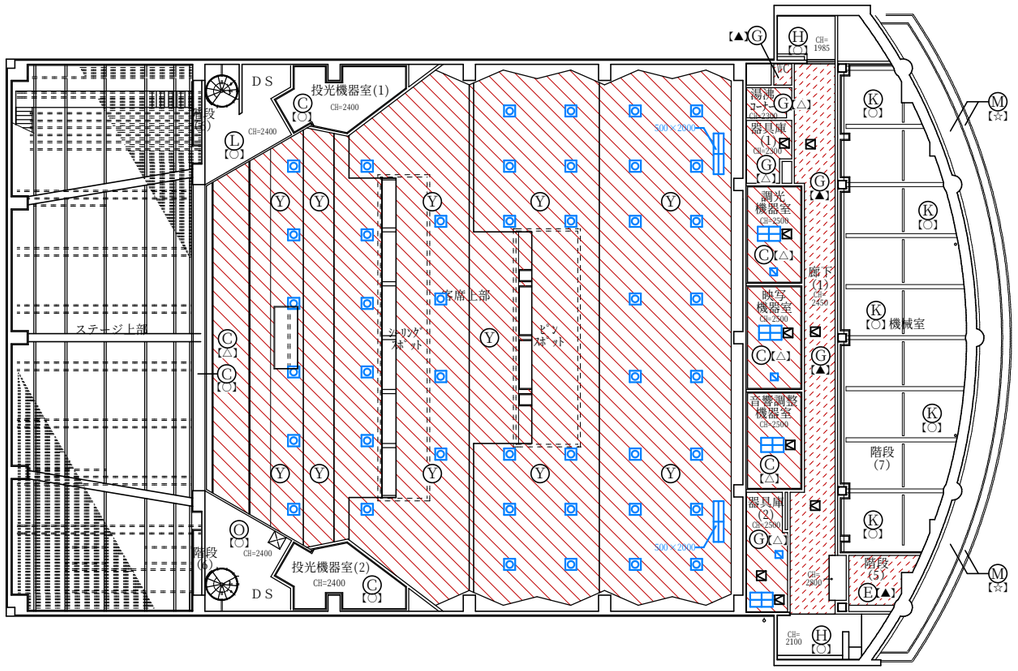
仕上凡例	
Ⓐ	アルミパネルｔ＝1.2（裏打材　ヒル石吹付け）
Ⓑ	アルミスパンドレルｔ＝1.6
Ⓒ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝9.0
Ⓓ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝15.0（キューブ）（リブライン）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝6.0　目透し張　ＥＰ（910×910）
Ⓔ1	ケイカル板ｔ＝10.0　　ＥＰ
Ⓕ	アクリルルーバー
Ⓖ	化粧石膏ボードｔ＝9.5
Ⓗ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓘ	ＰＢｔ＝9.5+9.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓙ	ＰＢｔ＝12.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓚ	耐火野地板現し
Ⓛ	既存屋根ＡＬＣ，鉄骨梁現し
Ⓜ	化粧型枠コンクリート打放し　ＦＣＣ吹付け
Ⓝ	コンクリート下地　ＥＰ
Ⓞ	グラスウールｔ＝50（32kg／m³）　ガラスクロストンボ止め
Ⓟ	木毛板t=25打込み
Ⓠ	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
Ⓡ	穿孔石膏ボード,ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
Ⓢ	無機質繊維成形板t=9.0 リブ
Ⓣ	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ)
Ⓤ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ
Ⓥ	コンクリート打放し補修
Ⓦ	ラワン合板ｔ＝2.7
Ⓧ	化粧石膏ボードｔ＝9.0（木目柄）
Ⓨ	準構造化天井用下地 ＰＢｔ＝12.5+12.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓩ	GB-Rt=12.5+木目調ｼｰﾄ(不燃)貼
ⓐ	ブラインドボックス（スチール）
ⓑ	天吊りカーテンレール及びカーテン
ⓒ	メタリカルーバー
ⓓ	EXP.J カバー
ⓔ	防煙垂れ壁H=500（網入ｶﾞﾗｽｔ＝6.8ﾐﾘ枠）
ⓕ	天吊りハンガーパイプ
ⓖ	カーテンボックス（木製）
ⓗ	木格子：栂45×90@455(タテヨコ)
ⓘ	ピクチャーレール
ⓘ	一時撤去再取付け
ⓚ	防煙垂れ壁H=500垂壁(不燃シートテンションタイプ)
イ	既存LGS天井下地撤去後、LGS天井下地及び脱落防止金物新設
ロ	既存LGS天井下地に脱落防止金物取付
	天井点検口（既設のまま）
	天井点検口 450角（新設）
	設備用開口補強 950角（新設）
	設備用開口補強 ※×※(ｻｲｽﾞは図中)（新設）
	設備用開口補強 400角（新設）
	設備用開口補強 350角（新設）
	設備用開口補強 500角（新設）
開	設備用開口補強 450角・600角（新設）

着工	・　・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・　・		【●】・・・既存材に塗装
監理			【△】・・・仕上材貼替（LGS下地新設）
			【▲】・・・仕上材貼替（LGS下地は既存利用）
施工			【◇】・・・取外し調整の上、再取付
			【☆】・・・外壁改修図面参照
			【◆】・・・新設

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A－32
縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後２階全体天井伏図	



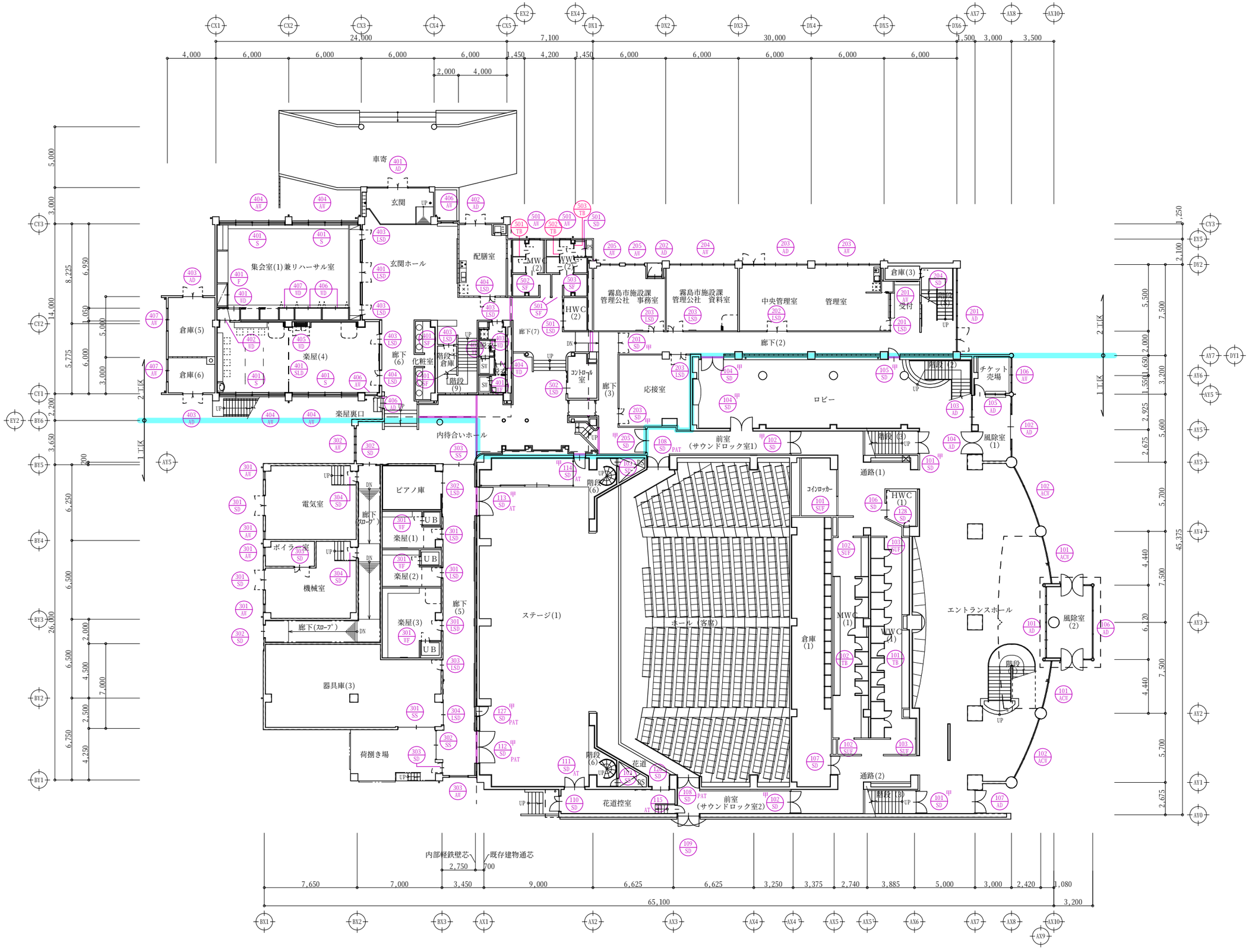
仕上凡例	
Ⓐ	アルミパネルｔ＝1.2（裏打材　ヒル石吹付け）
Ⓑ	アルミスパンドレルｔ＝1.6
Ⓒ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝9.0
Ⓓ	ロックウール化粧吸音板ｔ＝15.0（キューブ）（リブライン）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝6.0　目透し張　ＥＰ（910×910）
Ⓔ	ケイカル板ｔ＝10.0　　ＥＰ
Ⓕ	アクリルルーバー
Ⓖ	化粧石膏ボードｔ＝9.5
Ⓗ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓘ	ＰＢｔ＝9.5+9.5+9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓙ	ＰＢｔ＝12.5＋9.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓚ	耐火野地板現し
Ⓛ	既存屋根ＡＬＣ，鉄骨梁現し
Ⓜ	化粧型枠コンクリート打放し　ＦＣＣ吹付け
Ⓝ	コンクリート下地　ＥＰ
Ⓞ	グラスウールｔ＝50（32kg／m³）　ガラスクロストンボ止め
Ⓟ	木毛板t=25打込み
Ⓠ	コンクリート打放しの上アクリル系リシン吹付け
Ⓡ	穿孔石膏ボード,ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP
Ⓢ	無機質繊維成形板t=9.0 リブ
Ⓣ	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ)
Ⓤ	ＰＢｔ＝9.5　ＥＰ
Ⓥ	コンクリート打放し補修
Ⓦ	ラワン合板ｔ＝2.7
Ⓧ	化粧石膏ボードｔ＝9.0（木目柄）
Ⓨ	準構造化天井用下地 ＰＢｔ＝12.5＋12.5　ＥＰ（継目処理工法）
Ⓩ	GB-Rt=12.5+木目調ｼｰﾄ(不燃)貼
ⓐ	ブラインドボックス（スチール）
ⓑ	天吊りカーテンレール及びカーテン
ⓒ	メタリカルーバー
ⓓ	EXP.J カバー
ⓔ	防煙垂れ壁H=500（網入ｶﾞﾗｽｔ＝6.8ｱﾙﾐ枠）
ⓕ	天吊りハンガーパイプ
ⓖ	カーテンボックス（木製）
ⓗ	木格子：栂45×90@455(タテヨコ)
ⓘ	ピクチャーレール
ⓙ	一時撤去再取付け
ⓚ	防煙垂れ壁H=500垂壁(不燃シートテンションタイプ)
イ	既存LGS天井下地撤去後、LGS天井下地及び脱落防止金物新設
ロ	既存LGS天井下地に脱落防止金物取付
	天井点検口（既設のまま）
	天井点検口 450角（新設）
	設備用開口補強 950角（新設）
	設備用開口補強 ※×※(ｻｲｽﾞは図中)（新設）
	設備用開口補強 400角（新設）
	設備用開口補強 350角（新設）
	設備用開口補強 500角（新設）
内 外	設備用開口補強 450角・600角（新設）

凡例	【○】・・・既存のまま	【◆】・・・新設	
	【●】・・・既存材に塗装		
	【△】・・・仕上材貼替（LGS下地新設）		
	【▲】・・・仕上材貼替（LGS下地は既存利用）		
	【◇】・・・取外し調整の上、再取付		
	【☆】・・・外壁改修図面参照		

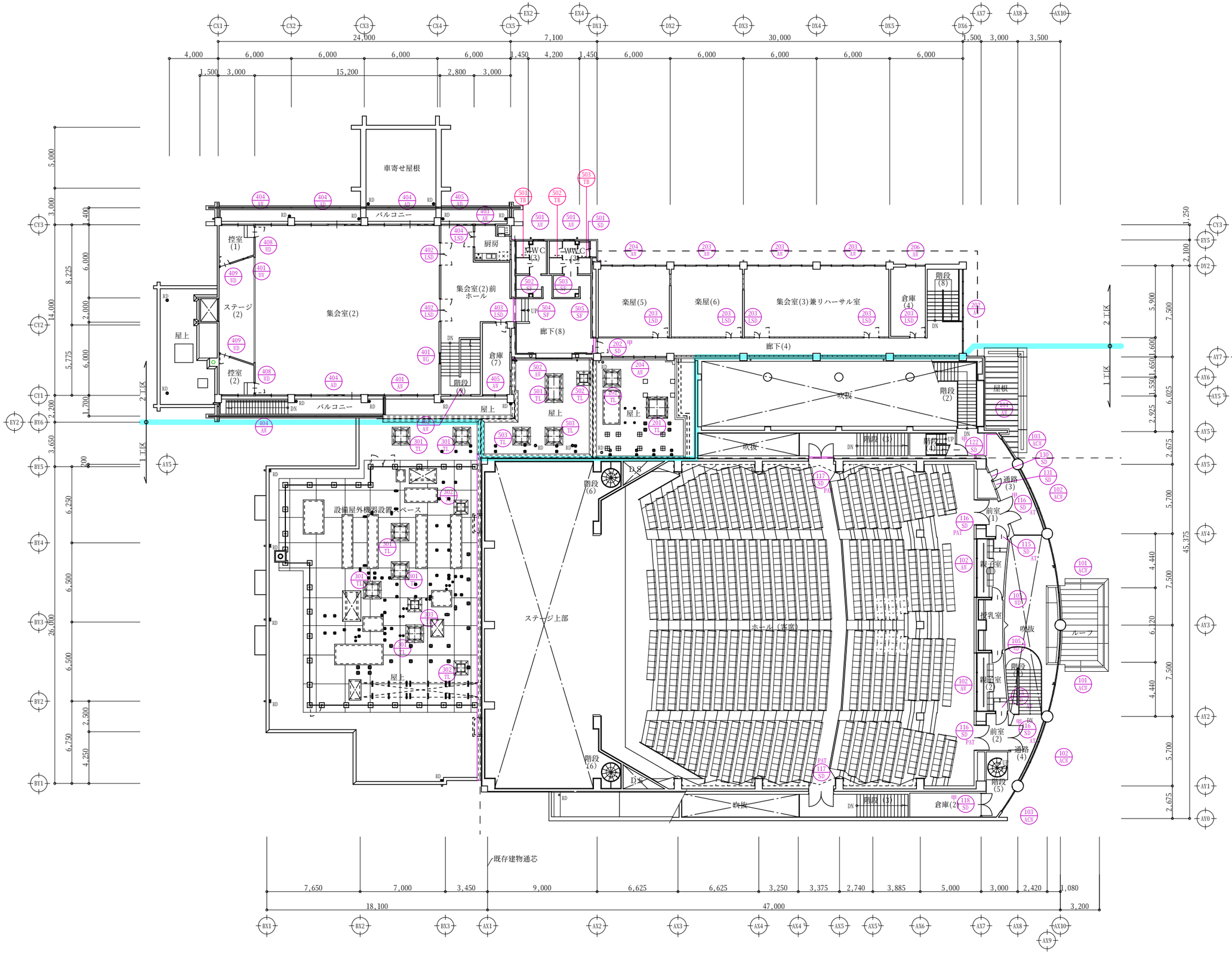
着工　・　・
竣工　・　・
監理
施工

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

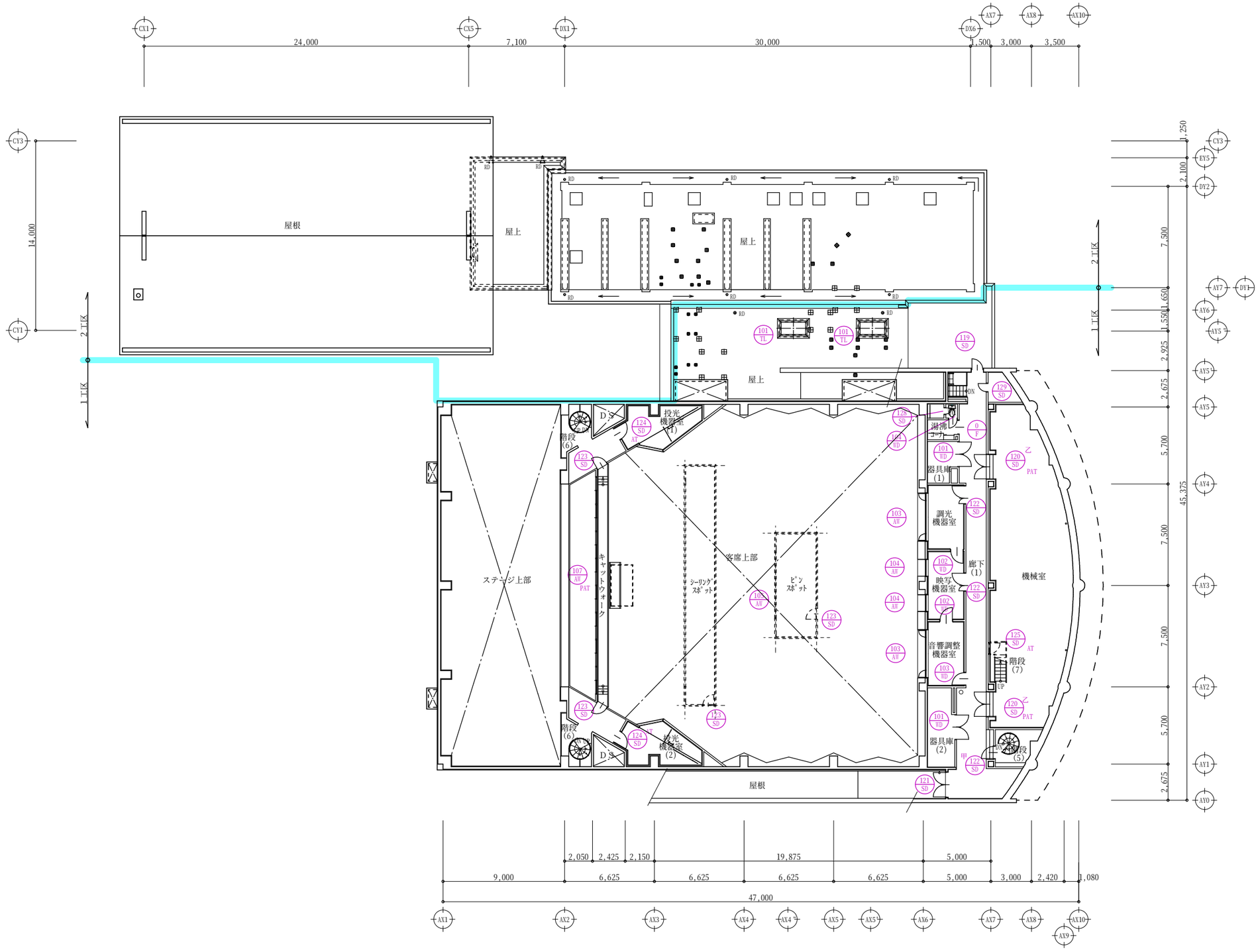
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
R7・２・				A－33
縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後３階天井伏図		



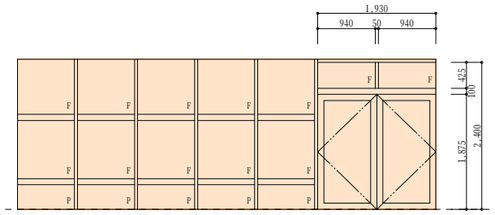
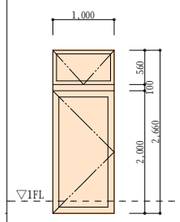
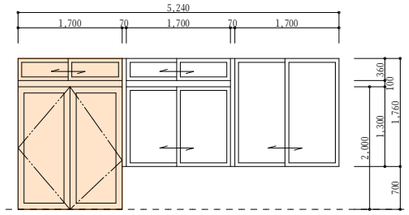
着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存１階建具全体平面図	A－34
監理							
施工							

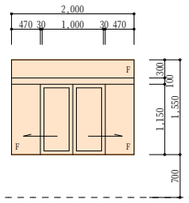
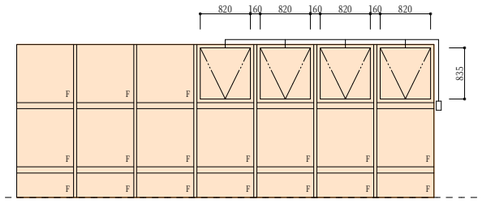
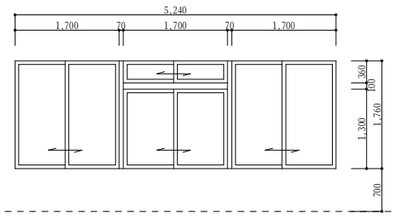
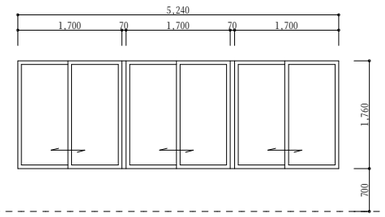
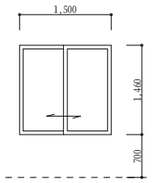
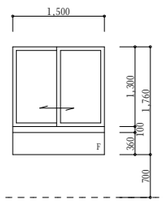


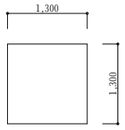
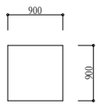
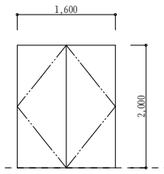
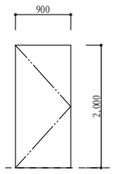
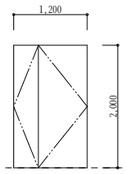
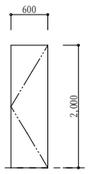
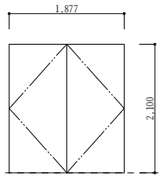
着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－35
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存2階建具全体平面図	
監理							
施工							

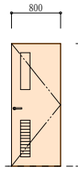
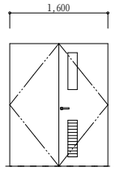
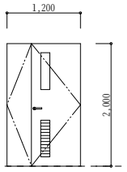


着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第16063 6号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－36
竣工	・ ・			縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)既存3階建具全体平面図	
監理							
施工							

符号	【△】AD-201 1階 階段(8) 1ヶ所	【△】AD-202 1階 管理公社事務室 1ヶ所	【▲】AD-203 1階 管理室 1ヶ所	
姿図				
形式	FIX窓付両開きドア 100	外倒し窓付片開きドア	引違い窓付両開きドア	
材料 仕上	ドア部：アルミ シルバー、その他：スチール	アルミ シルバー	アルミ シルバー	
硝子	ドア部：透明ガラス（ア）６．０㎜			
備考				

符号	【△】AW－201 1階 管理室 1ヶ所	【▲】AW－202 2階 階段(8) 1ヶ所	【○】AW－203 1階 管理室 2階 リハーサル室、楽屋(6) 4ヶ所	【○】AW－204 1階 管理公社資料室 2階 楽屋(5)、廊下(4) 3ヶ所	【○】AW－205 1階 事務室 2ヶ所	【○】AW－206 2階 倉庫(4) 1ヶ所
姿図						
形式	両袖ＦＩＸ中央引分け窓 70	ランマ外倒し窓付FIX窓 70	3連引違い窓	3連引違い窓	引違い窓	FIX窓付引違い窓
材料 仕上	アルミ シルバー	排煙窓部：アルミ シルバー、その他：スチール	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー
硝子	透明ガラス（ア）３．０㎜	排煙窓部：網入透明ガラス（ア）６．８㎜				
備考		排煙オペレーター				

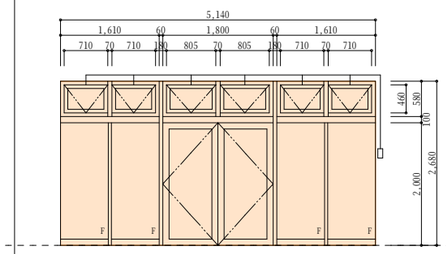
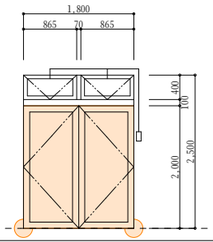
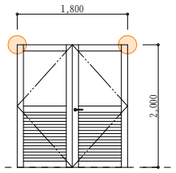
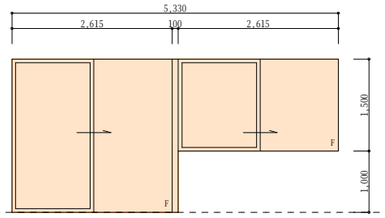
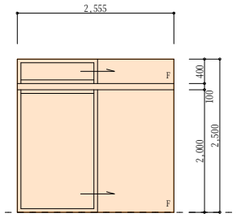
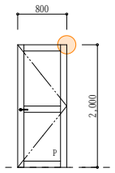
符号	【◇】TL－201 屋上 1ヶ所	【◇】TL－202 屋上 1ヶ所		【○】SD－201 1階 廊下(2) 1ヶ所	【○】SD－202 2階 廊下(4) 1ヶ所	【○】SD－203 1階 応接室兼楽屋(11) 1ヶ所	【○】SD－204 1階 倉庫(3) 1ヶ所	【●】SD－205 1階 廊下(3) 1ヶ所	
姿図				※特定防火設備 	※特定防火設備 	※特定防火設備 		※特定防火設備 	
形式	排煙採光天窓	排煙採光天窓		両開き戸 170	片開き戸 220	親子開き戸 170	片開き戸	両開き戸 170	
材料 仕上				化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板		スチール	
硝子	アクリルドーム	アクリルドーム							
備考	オペレーター	オペレーター							

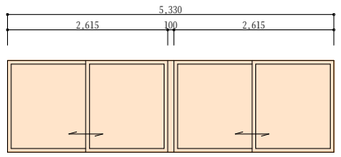
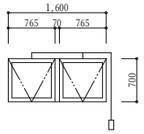
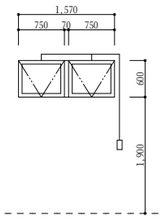
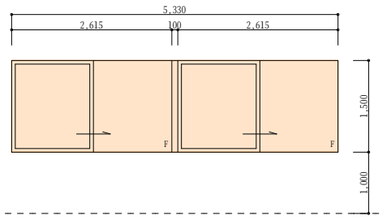
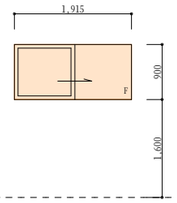
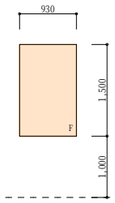
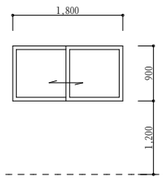
符号	【△】LSD－201 1階 管理室 1ヶ所	【○】LSD－202 1階 管理室 1ヶ所	【○】LSD－203 1階 事務、資料、応接室 2階 倉庫、楽屋、リハ室 8ヶ所
姿図			
形式	片開き戸 135	両開き戸 135	親子開き戸 135
材料 仕上	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板
硝子	型板ガラス（ア）４．０㎜	型板ガラス（ア）４．０㎜	型板ガラス（ア）４．０㎜
備考			２階リハーサル室の２ヶ所のみ防音ドア

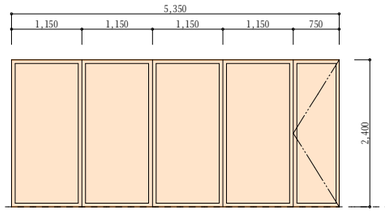
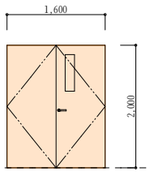
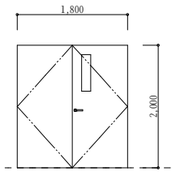
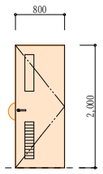
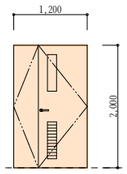
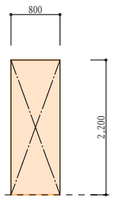
着工	・ ・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・ ・		【●】・・・既存を美装（塗装又は貼替等）
監理			【△】・・・撤去（枠共）
施工			【▲】・・・撤去（枠以外又は一部）
			【◇】・・・既存を補修、又は部品交換

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号 ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録 第１６０６３６号 外村 選

設計年月日	縮尺	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	図面番号
R7・2・	1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共通)既存建具表（管理棟）	A－37

符号	【△】 AD-401 1階 玄関 1ヶ所	【▲】【◇】 AD-402 1階 配膳室 1ヶ所	【◇】 AD-403 1階 空調機械室、ボイラー室 2ヶ所	【▲】 AD-404 2階 集会室（２） 3ヶ所	【▲】 AD-405 2階 集会室(2)前ホール 1ヶ所	【◇】 AD-406 1階 廊下(6) 1ヶ所	
姿図							
形式	ランマ外倒し窓付両開きドア 70	ランマ外倒し窓付両開きドア 70	両開きドア	片引き窓付片引き戸	片引き戸	片開きドア	
材料 仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー					
硝子	排煙窓部：透明ガラス（ア）３．０㎜	型板ガラス（ア）4.0 ﾗﾝﾏ部：透明ガラス（ア）3.0				網入型板（ア）６．８㎜	
備考	排煙オペレーター（SL-80）	排煙オペレーター（SL-250）					

符号	【▲】 AW－401 2階 集会室（２） 1ヶ所	【○】 AW－402 2階 階段(9) 1ヶ所	【○】 AW－403 2階 厨房 1ヶ所	【▲】 AW－404 1階 集会室(1),楽屋(4) 2階 集会室(2), 6ヶ所	【▲】 AW－405 2階 倉庫（7） 1ヶ所	【▲】 AW－406 1階 玄関、楽屋(4) 2ヶ所	【○】 AW－407 1階 倉庫(5)(6) 2ヶ所
姿図							
形式	２連引違窓 70	外倒し窓 70	外倒し窓 70	２連片引き窓 70	片引き窓	FIX窓	引違い窓
材料 仕上	アルミ シルバー	アルミ シルバー	アルミ シルバー				
硝子	透明ガラス（ア）５．０㎜	型板ガラス（ア）４．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜				
備考		排煙オペレーター（SL-250）	排煙オペレーター（SL-80）				

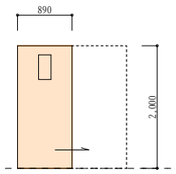
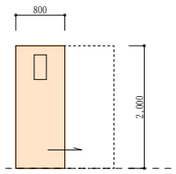
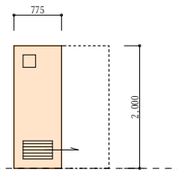
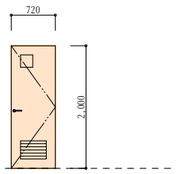
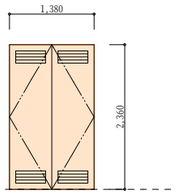
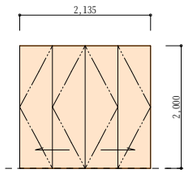
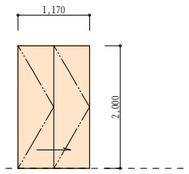
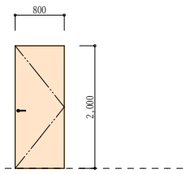
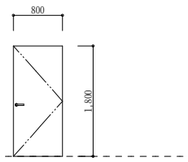
符号	【△】 SLD－401 1階 楽屋（４） 1ヶ所	【△】 LSD－401 1階 集会室(1) 1ヶ所	【○】 LSD－402 2階 集会室(2) 2ヶ所	【○】【△】【◇】 LSD－403 1階 集会室 1階 楽屋、脱衣 1，2階 倉庫 6ヶ所	【○】【△】 LSD－404 1階 楽屋、配膳 2階 厨房 3ヶ所	【△】 SF－401 1階 化粧室 2ヶ所		
姿図								
形式	スライディングドア パネル５０	両開き戸 215	両開き戸 245	片開き戸 215	親子開き戸 240	三方枠		
材料 仕上	アルミ アルマイト処理 パネル表面クロス仕上	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	スチールOP		
硝子		型板ガラス（ア）２．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜			
備考				ガラリは1，2階の倉庫、脱衣のみ	ガラリは配膳、厨房のみ			

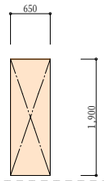
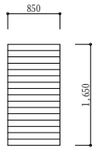
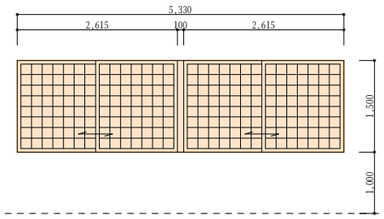
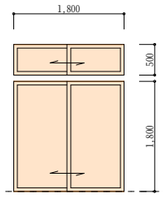
符号	
姿図	
形式	
材料 仕上	
硝子	
備考	

着工	・ ・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・ ・		【●】・・・既存を美装（塗装又は貼替等）
監理			【△】・・・撤去（枠共）
施工			【▲】・・・撤去（枠以外又は一部）
			【◇】・・・既存を補修、又は部品交換

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号 ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録 第１６０６３６号 外村 選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	図面番号
R7・2・			A－38
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共通)既存建具表（共同利用施設①）	

符号	【△】 WD－401 1階 集会室（1） 1ヶ所	【△】 WD－402 1階 楽屋（4） 1ヶ所	【△】 WD－403 1階 脱衣 1ヶ所	【△】 WD－404 1階 脱衣 1ヶ所	【△】 WD－405 1階 楽屋（4） 1ヶ所	【△】 WD－406 1階 集会室（1） 2ヶ所	【△】 WD－407 1階 集会室（1） 1ヶ所	【▲】 WD－408 2階 控室(1)(2) 2ヶ所	【○】 WD－409 2階 控室(1)(2) 2ヶ所
姿図 ▽FL									
形式	片引込みドア 40	片引込みドア 40	片引込みドア 40	片開き戸 40	両開き戸 40	4枚フラッシュ折戸 33	2枚フラッシュ折戸 33	片開き戸 36	片開き戸 36
材料 仕上	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	ポリ合板フラッシュ	メラミン合板 片面：ラワン合板	木製 クロス貼 片面：ラワン合板	木製 クロス貼 片面：ラワン合板	メラミン合板	メラミン合板
硝子	型板ガラス（ア）２．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜	型板ガラス（ア）２．０㎜					
備考									

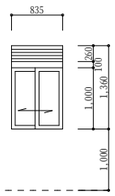
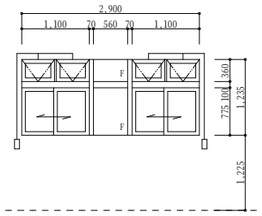
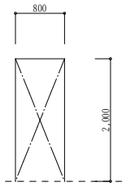
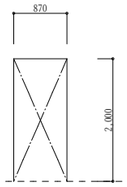
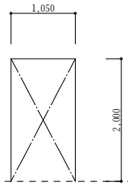
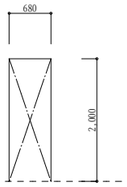
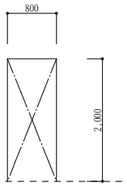
符号	【△】 WF－401 1階 脱衣 2ヶ所	【△】 WG－401 2階 集会室(2) 1ヶ所	【○】 WW－401 2階 控室(1) 1ヶ所	【△】 S－401 1階 集会室(1),楽屋(4) 4ヶ所	【△】 F－401 1階 集会室(1) 1ヶ所				
姿図 ▽FL									
形式	四方枠	ガラリ	FIX窓	２連引違い障子 70	引違い戸襖				
材料 仕上	木製	木製	木製						
硝子									
備考									

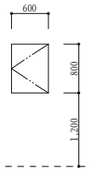
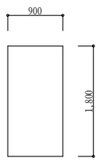
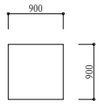
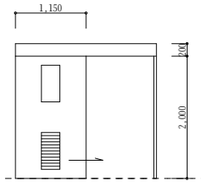
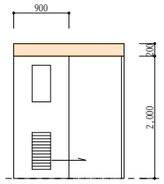
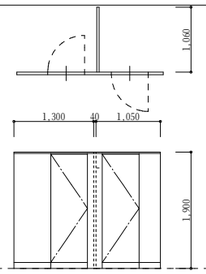
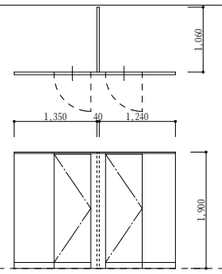
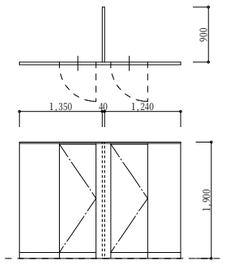
符号	
姿図 ▽FL	
形式	
材料 仕上	
硝子	
備考	
符号	
姿図 ▽FL	
形式	
材料 仕上	
硝子	
備考	

着工	・ ・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・ ・		【●】・・・既存を美装（塗装又は貼替等）
監理			【△】・・・撤去（枠共）
施工			【▲】・・・撤去（枠以外又は一部）
			【◇】・・・既存を補修、又は部品交換

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号 ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録 第１６０６３６号 外村 選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	図面番号
R7・2・			A－39
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共通)既存建具表（共同利用施設②）	

符号	【○】AW－501　1，2階　WC　4ヶ所	【○】AW－502　2階　廊下(8)　1ヶ所		【●】SF－501　1階　WC　2ヶ所	【●】SF－502　1，2階　WC　2ヶ所	【●】SF－503　1，2階　WC　2ヶ所	【●】SF－504　2階　WC　1ヶ所	【●】SF－505　2階　WC　1ヶ所
姿図 ▽FL								
形式	ガラリ付引違い窓　70	外倒し窓付ＦＩＸ引違い窓　70		三方枠	三方枠	三方枠	三方枠	三方枠
材料 仕上	アルミ　シルバー	アルミ　シルバー		スチールOP	スチールOP	スチールOP	スチールOP	スチールOP
硝子	網入型板（ア）６．８㎜	網入型板（ア）６．８㎜						
備考		排煙オペレーター（SL-80）						

符号	【●】SD－501　1，2階　PS　2ヶ所	【○】TL－501　屋上　1ヶ所	【◇】TL－502　屋上　1ヶ所	【◇】TL－503　屋上　2ヶ所	【◇】LSD－501　1階　HWC（2）　1ヶ所	【◇】LSD－502　1階　ｺﾝﾄﾛｰﾙ室　1ヶ所	【◇】TB－501　MWC(2)(3)　2ヶ所	【◇】TB－502　WWC(2)(3)　2ヶ所	【◇】TB－503　WWC(2)(3)　2ヶ所
姿図 ▽FL									
形式	片開き戸	採光天窓	排煙採光天窓	排煙採光天窓	電動式片引戸　151	半自動閉鎖装置付引戸　154	トイレブース(巾木タイプ)　40	トイレブース(巾木タイプ)　40	トイレブース(巾木タイプ)　40
材料 仕上	スチールｔ＝1.6㎜　片面ﾌﾗｯｼｭ OP				化粧軽量鋼鈑(t=0.8ﾌﾗｯｼｭ)	化粧軽量鋼鈑(t=0.8ﾌﾗｯｼｭ)	化粧軽量鋼鈑	化粧軽量鋼鈑	化粧軽量鋼鈑
硝子		ポリカドーム	アクリルドーム	アクリルドーム	型板（ア）２．０㎜	型板（ア）２．０㎜			
備考			オペレーター	オペレーター					

符号	
姿図 ▽FL	
形式	
材料 仕上	
硝子	
備考	
符号	
姿図 ▽FL	
形式	
材料 仕上	
硝子	
備考	

着工	・　・	凡例	【○】・・・既存のまま
竣工	・　・		【●】・・・既存を美装（塗装又は貼替等）
監理			【△】・・・撤去（枠共）
施工			【▲】・・・撤去（枠以外又は一部）
			【◇】・・・既存を補修、又は部品交換

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

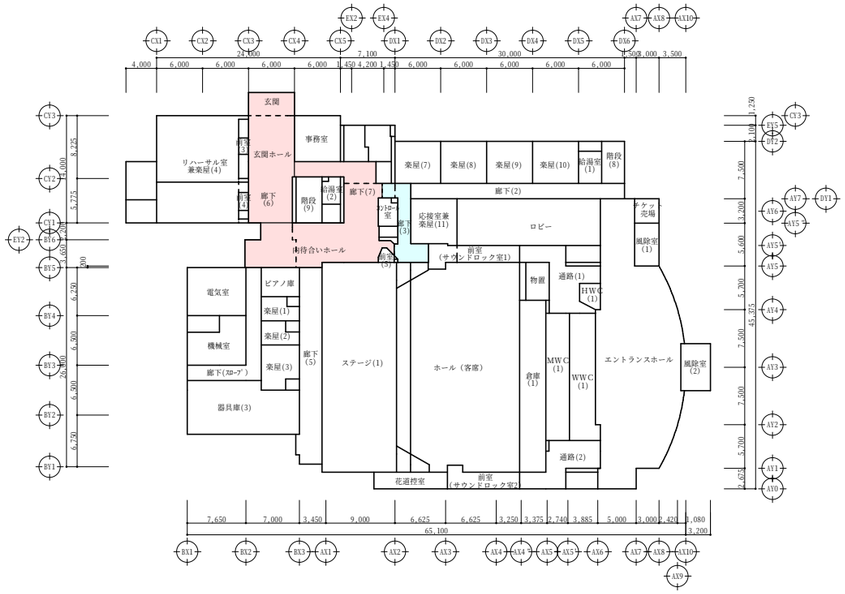
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A－40
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共通)既存建具表（内待合ホール）	

	室　名	床面積　(㎡)	必要採光面積(㎡)	採光補正係数	有効採光面積(㎡)		判定	必要換気面積(㎡)	有効換気面積(㎡)		判定	必要排煙面積(㎡)	有効排煙面積(㎡)		判定
1	風除室（1）	17.78	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.35	告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	風除室（2）	23.56	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.47	告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	チケット売場	10.16	1/20 0.50	— —	AW-106	1.23×（1.10+0.515）=1.98645 0.725×（1.10+0.515）×2=2.34175	4.32	OK	1/20 0.50	AW-106	0.615×1.10=0.6765	0.67	OK	1/50 0.20	告示1436号1項四号ニ-(4)		OK
	ロビー	114.53	1/20 5.72	— —				OK	1/20 5.72		機械換気による		OK	1/50 2.29	TL-101 ×2	1.288（ﾒｰｶｰ資料）×2=2.576	2.57	OK
	エントランスホール	373.17	1/20 18.65	— —				OK	1/20 18.65		機械換気による		OK	1/50 7.46	ACW-101×2	（2.165+2.17+2.165）×1.0 ×2	13.00	OK
	ホール（客席）	786.27	1/20 39.31	— —		採光無窓　非常用照明設置		OK	1/20 39.31		機械換気による		OK	1/50 15.72		機械排煙による		OK
	ステージ（幕下）	39.47												1/50 0.78		機械排煙による		OK
	ステージ(1)	266.46												1/50 5.32		機械排煙による		OK
	通路(1)	46.89	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.93		機械排煙による		OK
	通路(2)	30.50	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.61		機械排煙による		OK
	前室（ﾀｳﾝﾄﾞﾛｯｸ室１）	28.53	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.57		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	前室（ﾀｳﾝﾄﾞﾛｯｸ室２）	22.30	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.44		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	花道控室	20.82	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.41		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	倉庫(3)	3.90	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.07		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	給湯室(1)	6.90	— —	— —	—	—	—	1/20 0.34			機械換気による		OK	1/50 0.13		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	倉庫(10)	5.70	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.11		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	楽屋(10)	33.00	1/20 1.65	— —	AW-203	1.70×1.76×2=5.984 1.70×（1.30+0.36）=2.822	8.80	OK	1/20 1.65	AW-203	0.85×1.76×2=2.992 0.85×（1.30+0.36）=1.411	4.40	OK	1/50 0.66	AW-203	0.85×0.46×2=0.782	0.78	OK
	楽屋(9)	33.00	1/20 1.65	— —	AD-203	1.70×1.76×3=8.976	8.97	OK	1/20 1.65	AD-203	0.85×1.76×3=4.488	4.48	OK	1/50 0.66	AD-203	0.85×0.46×3=1.173	1.17	OK
	楽屋(8)	33.00	1/20 1.65	— —	AW-204	1.70×1.76×3=8.976	8.97	OK	1/20 1.65	AW-204	0.85×1.76×3=4.488	4.48	OK	1/50 0.66	AW-204	0.85×0.46×3=1.173	1.17	OK
	楽屋(7)	33.00	1/20 1.65	— —	AW-205 ×2 AW-1	1.50×1.46×2=4.38 1.00×1.76=1.76	6.14	OK	1/20 1.65	AW-205 ×2 AW-1	0.75×1.46×2=2.19 1.00×1.76=1.76	3.95	OK	1/50 0.66	AW-205 ×2 AW-1	0.75×0.16×2=0.24 1.00×0.46=0.46	0.70	OK
	1階 廊下(2)階段(8) 2階 廊下(4)階段(8)	72.30 65.70 138.00	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 2.76	AW-2 AW-204	0.92×0.85×3=2.346 0.85×0.46×3=1.173	3.51	OK
	応接室兼楽屋(11)	35.70	1/20 1.78	— —	TL-201	1.20×1.20×3=4.32	4.32	OK	1/20 1.78		機械換気による		OK	1/50 0.71	TL-201	1.47（ﾒｰｶｰ資料）=1.47	1.47	OK
	楽屋（1）	13.65	1/20 0.68	— —	TL-301	0.83×0.83×3=2.0667	2.06	OK	1/20 0.68		機械換気による		OK	1/50 0.27	TL-301	0.61（ﾒｰｶｰ資料）=0.61	0.61	OK
	楽屋（2）	13.12	1/20 0.65	— —	TL-301	0.83×0.83×3=2.0667	2.06	OK	1/20 0.65		機械換気による		OK	1/50 0.26	TL-301	0.61（ﾒｰｶｰ資料）=0.61	0.61	OK
	楽屋（3）	26.84	1/20 1.34	— —	TL-301 TL-303	0.83×0.83×3=2.0667 0.54×0.54×3=0.874	2.94	OK	1/20 1.34		機械換気による		OK	1/50 0.53	TL-301 TL-303	0.61（ﾒｰｶｰ資料）=0.61 0.23（ﾒｰｶｰ資料）=0.23	0.84	OK
	廊下（スロープ）	44.80	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.89	TL-301 SD-302	0.61（ﾒｰｶｰ資料）=0.61 0.95×0.40=0.38	0.99	OK
	ピアノ庫	19.00	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.38		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	電気室	47.81	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.95		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	機械室	40.48	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.81		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	器具庫(3)	96.30	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 1.92		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	廊下（5）	77.09	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 1.54		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	廊下（3） 廊下(7)（内待合ホール） 内待合ホール（内待合ホール）	23.78 3.13 0.99 27.90	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.56	TL-202	0.61（ﾒｰｶｰ資料）=0.61	0.61	OK
	内待合ホール（楽屋棟） 内待合ホール（共同利用施設） 内待合ホール廊下(7)（内待合ホール） 玄関ホール廊下(6)（共同利用施設）	36.86 22.88 72.50 115.11 247.37	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 4.94	AW-302 TL-301 ×2 TL-503 ×2 AD-2 AW-6	0.60×0.565×4=1.356 0.61（ﾒｰｶｰ資料）×2=1.22 0.61（ﾒｰｶｰ資料）×2=1.22 0.79×0.40×6=1.896 0.90×0.45=0.405	6.07	OK
	事務室	36.00	1/20 1.80	— —	AD-402	0.865×0.40×2=0.692 1.80×2.00=3.60	4.29	OK	1/20 1.80	AD-402	0.865×0.40×2=0.692 0.90×2.00=1.80	2.49	OK	1/50 0.72	AD-402 AW-6	0.865×0.40×2=0.692 0.90×0.50=0.45	1.14	OK
	リハーサル室（上）	94.03	1/20 4.70	— —	AW-5 ×2	2.60×1.50×2×2=15.60	15.60	OK	1/20 4.70	AW-5 ×2	1.30×1.50×2×2=7.80	7.80	OK	1/50 1.88	AW-10	0.85×0.43×6=2.129	2.12	OK
	リハーサル室（下）	59.38	1/20 2.96	— —	AW-5 ×2	2.60×1.50×2×2=15.60	15.60	OK	1/20 2.96	AW-5 ×2	1.30×1.50×2×2=7.80	7.80	OK	1/50 1.18	AW-4 ×2	1.30×0.43×2×2=2.236	2.23	OK
	前室(3)	2.79	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.05		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	前室(4)	3.05	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.06		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	給湯室(2)	8.04	— —	— —				1/20 0.40			機械換気による		OK	1/50 0.16		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	倉庫（8）	5.84	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.11		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	コントロール室	8.86	1/20 0.44	— —	TL-502	0.54×0.54×3=0.874	0.87	OK	1/20 0.44		機械換気による		OK	1/50 0.17	TL-502	0.26（ﾒｰｶｰ資料）=0.26	0.26	OK
	倉庫(9)	3.51	— —	— —	—	—	—	— —	—	—	—	1/50 0.07		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK

着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号　外村　選
竣工	・ ・		
監理			
施工			

設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
縮尺	NO.SCALE	図面名称	(共通)法チェック表①
図面番号	A－41		

	室　名	床面積　(㎡)	必要採光面積（㎡）	採光補正係数		有効採光面積（㎡）			判定	必要換気面積（㎡）	有効換気面積（㎡）			判定	必要排煙面積（㎡）	有効排煙面積（㎡）			判定
2	前室(1)	7.55		—	—			—	—						1/50　0.15		機械排煙による		OK
	前室(2)	8.42		—	—	—	—	—	—						1/50　0.16		機械排煙による		OK
	親子室（1）	11.74	1/20　0.58	—	—		採光無窓　非常用照明設置		OK	1/20　0.58		機械換気による		OK	1/50　0.23		機械排煙による		OK
	親子室（2）	11.74	1/20　0.58	—	—		採光無窓　非常用照明設置		OK	1/20　0.58		機械換気による		OK	1/50　0.23		機械排煙による		OK
	授乳室	9.30	1/20　0.46	—	—		採光無窓　非常用照明設置		OK	1/20　0.46		機械換気による		OK	1/50　0.18		機械排煙による		OK
	倉庫(2)	12.87	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.25		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	倉庫（4）	17.70	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.35		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	集会室（3） 兼リハーサル室	70.80	1/20　3.54	—	—	AW-203　×2	1.70×1.76×2　×2=11.968 1.70×（1.30+0.36）×2=5.644	17.61	OK	1/20　3.54	AW-203　×2	0.85×1.76×2　×2=5.984 0.85×（1.30+0.36）×2=2.822	8.80	OK	1/50　1.40	AW-203　×2	0.85×0.46×2　×2=1.564	1.56	OK
	楽屋（5）	35.40	1/20　1.77	—	—	AW-204	1.70×1.76×3=8.976	8.97	OK	1/20　1.77	AW-204	0.85×1.76×3=4.488	4.48	OK	1/50　0.70	AW-204	0.85×0.46×3=1.173	1.17	OK
	楽屋（6）	35.40	1/20　1.77	—	—	AW-203	1.70×1.76×2=5.984 1.70×（1.30+0.36）=2.822	8.80	OK	1/20　1.77	AW-203	0.85×1.76×2=2.992 0.85×（1.30+0.36）=1.411	4.40	OK	1/50　0.70	AW-203	0.85×0.46×3=1.173	0.78	OK
	集会室(2)前ホール 階段(9)	37.40 20.40	57.80	—　—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　1.15	AW-402 AD-4	0.765×0.70×2=0.918 1.20×0.40×2=0.96	1.87	OK
	控え室	9.00	1/20　0.45	—	—	AW-403	0.75×0.60×2=0.90	0.90	OK	1/20　0.45	AW-403	0.75×0.60×2=0.90	0.90	OK	1/50　0.18	AW-403	0.75×0.60×2=0.90	0.90	OK
	倉庫（7）	14.40	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.28		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	集会室（2）	212.80	1/20　10.64	—	—	AD-3　×3	（2.60×2.50+2.60×1.50）×3=31.20	0.00	OK	1/20　10.64	AD-3　×3	（1.30×2.50+1.30×1.50）×3=15.60		OK	1/50　4.25	AD-3　×3 AW-5 AW-5(半)×2	（1.30×0.40+1.30×0.40）×3=3.12 1.30×0.40×2=1.04 1.30×0.40×2=1.04	5.20	OK
	ステージ(2)	24.00	1/20　1.20	—	—					1/20　1.20					1/50　0.48				
	控室(1)	9.00	1/20　0.45	—	—					1/20　0.45					1/50　0.18	AW-5(半)	1.30×0.40=0.52	0.52	OK
	控室(2)	9.00	1/20　0.45	—	—					1/20　0.45					1/50　0.18	AW-5(半)	1.30×0.40=0.52	0.52	OK
	廊下（内待合）	32.33	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.64	AW-502	0.535×0.36×4=0.7704	0.77	OK
3	映写機器室	14.95	1/20　0.74	—	—		採光無窓　非常用照明設置		OK			機械換気による		OK	1/50　0.29		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	調光機器室	14.08	1/20　0.70	—	—		採光無窓　非常用照明設置		OK			機械換気による		OK	1/50　0.28		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	音響調整機器室	14.08	1/20　0.70	—	—		採光無窓　非常用照明設置		OK			機械換気による		OK	1/50　0.28		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	器具庫(1)	6.88	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.13		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	器具庫(2)	12.53	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.25		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	機械室	139.17	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　2.78		告示1436号1項四号ニ-(1)		OK
	湯沸	3.80	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　0.07		告示1436号1項四号ニ-(2)		OK
	廊下（1）	72.55	—　—	—	—	—	—	—	—	—　—	—	—	—	—	1/50　1.45		機械排煙による		OK



消防無窓の判定

1階

延床面積　2,859.90 ㎡
必要面積　95.33 ㎡（2,859.90 ㎡ / 30）

有効面積の算定

ACW-101×2	(2.165+1.64)×(2.48-0.16)×2	= 17.655	(既存のまま)
ACW-102×2	(1.70+1.705+1.70)×(2.48-0.16)×2	= 23.687	(既存のまま)
AD-107	1.81×2.20	= 3.982	(既存のまま)
AD-1	1.90×1.85 + 0.90×0.90×5	= 7.565	(改修)
AW-1	1.00×1.76	= 1.760	(改修)
AD-203	(0.85+0.85)×1.76 + 0.85×1.30	= 4.097	(改修)
AW-203	(0.85+0.85)×1.76 + 0.85×1.30	= 4.097	(既存のまま)
AW-204	0.85×1.76×3	= 4.488	(既存のまま)
AW-205 ×2	0.75×1.46×2	= 2.190	(既存のまま)
AD-2	5.00×1.80	= 9.000	(改修)
AD-402	1.80×2.00	= 3.600	(改修)
AD-406	0.80×2.00	= 1.600	(既存のまま)
AW-4　×2	1.30×1.50×2　×2	= 7.800	(改修)
AW-6	0.90×1.50	= 1.350	(改修)
AW-10	1.30×0.95×2	= 2.470	(改修)
	合計	95.341	

95.33 ＜ 95.341　∴OK

2階

延床面積　597.73 ㎡　【ホール棟】
必要面積　19.92 ㎡（597.73 ㎡ / 30）

有効面積の算定

ACW-102×2	(1.70+1.705+1.70)×(0.945+1.0)×2	= 19.840	(既存のまま)
ACW-103	(1.2025+1.2025)×(0.945+1.0)	= 4.677	(既存のまま)
ACW-103'	(0.9375+0.9375)×(0.945+1.0)	= 3.646	(既存のまま)
	合計	28.163	

19.92 ＜ 28.163　∴OK

延床面積　629.87 ㎡　【管理棟・共同利用施設・内待合ホール】
必要面積　20.99 ㎡（629.87 ㎡ / 30）

有効面積の算定

AW-203 ×3	(0.85+0.85)×1.76 + 0.85×1.30 ×3	= 12.291	(既存のまま)
AW-204	0.85×1.76×3	= 4.488	(既存のまま)
AD-3　×3	1.30×2.50 + 1.30×1.50　×3	= 15.600	(改修)
AD-4	1.235×2.00	= 2.470	(改修)
	合計	34.849	

20.99 ＜ 34.849　∴OK

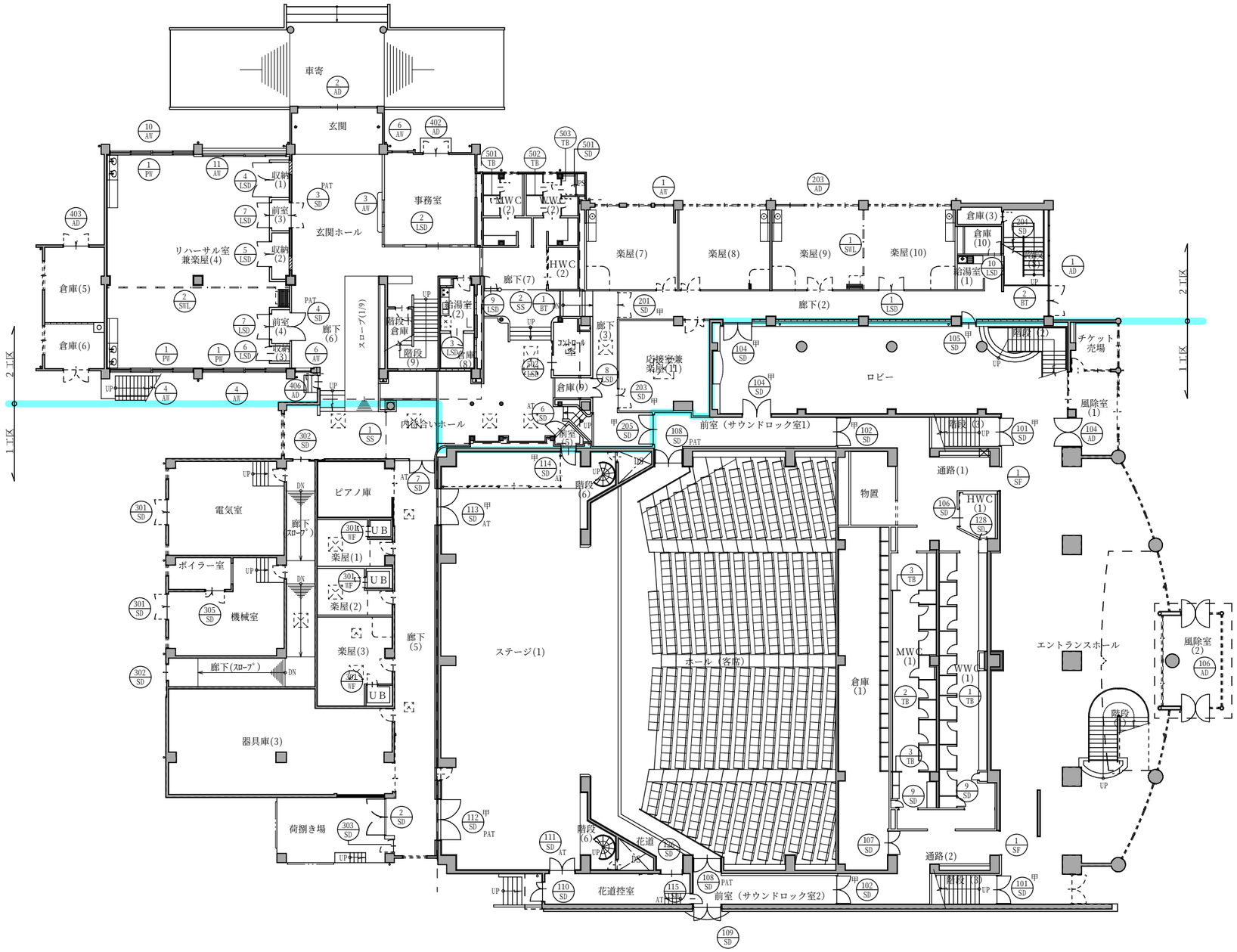
3階

延床面積　369.98 ㎡　【ホール棟】
必要面積　12.33 ㎡（369.98 ㎡ / 30）

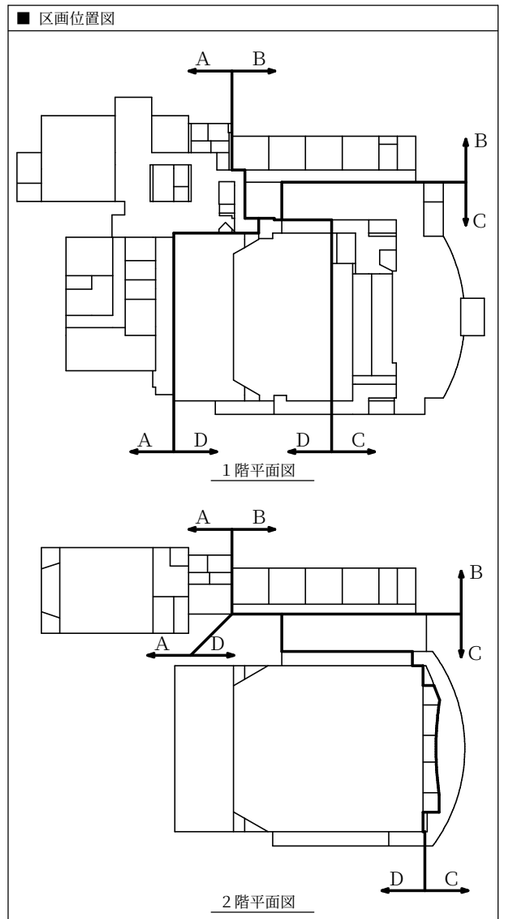
有効面積の算定
有効開口　無し　= 0.000

合計　0.000
12.33 ＞ 0.000　∴NG

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－42
竣工	・　・			縮尺 1：400(A1) 1：800(A3)	図面名称	(共通)法チェック表②	
監理							
施工							



■ 区画位置図



1階平面図

2階平面図

A部分１階：　1,013.22 ㎡
A部分２階：　404.87 ㎡　・・・　計　1,418.09 ㎡

1,418.09 ㎡　＜　1,500　∴OK

B部分１階：　256.93 ㎡
B部分２階：　225.00 ㎡　・・・　計　481.93 ㎡

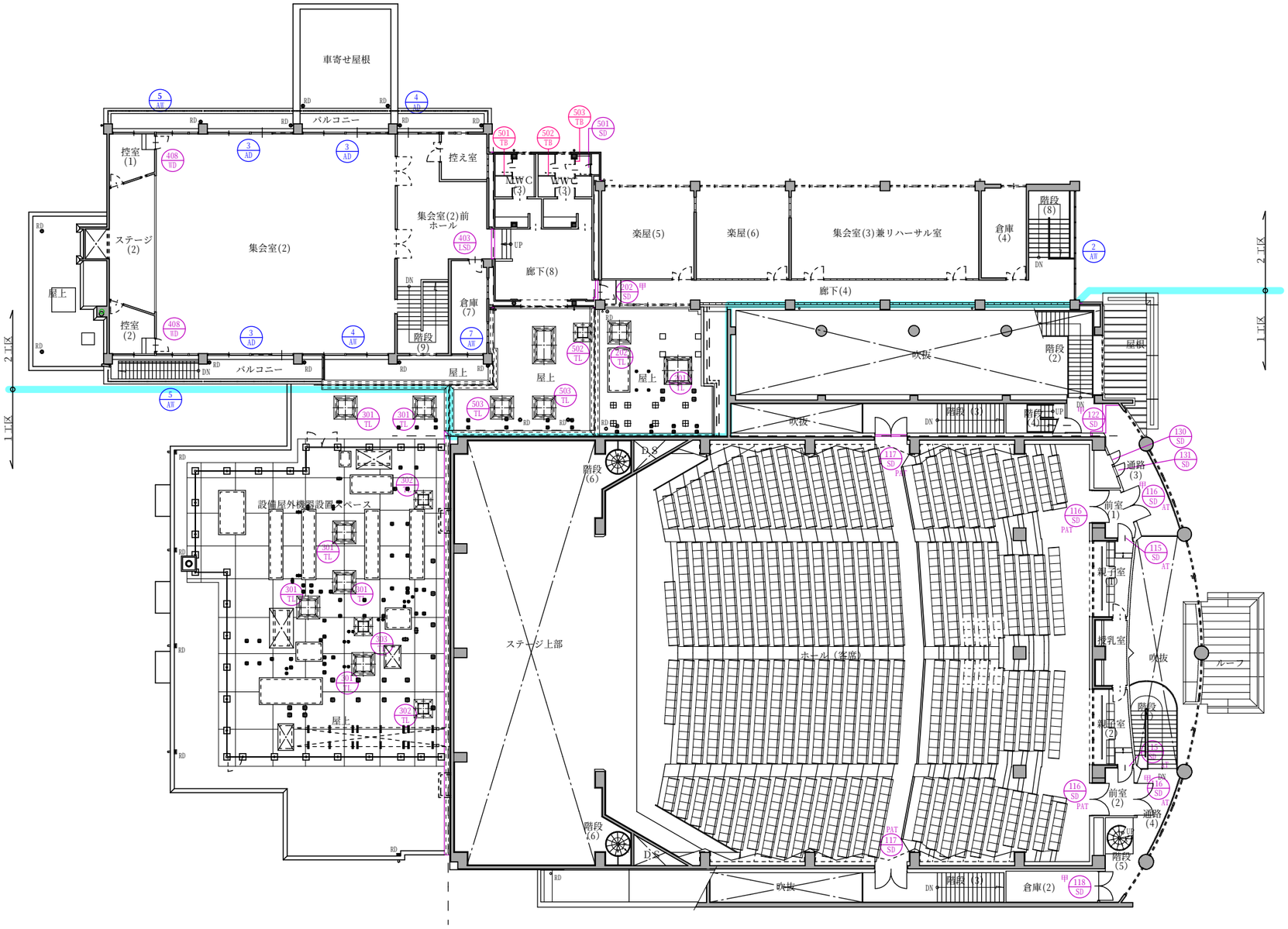
481.93 ㎡　＜　1,500　∴OK

C部分１階：　806.78 ㎡
C部分２階：　177.60 ㎡　・・・　計　984.38 ㎡

984.38 ㎡　＜　1,500　∴OK

D部分１階～３階　劇場等の客席は緩和（建令112条）

着工	・　・		堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・　・		一級建築士事務所	外村　選	R7・2・			A－43
監理			県知事登録第１－３－１６４号		縮尺	図面名称	(共通)改修後１階建具全体平面図	
施工			鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７		1：150(A1) 1：300(A3)			



着工	・ ・		
竣工	・ ・		
監理			
施工			

堂 園 設 計 株 式 会 社

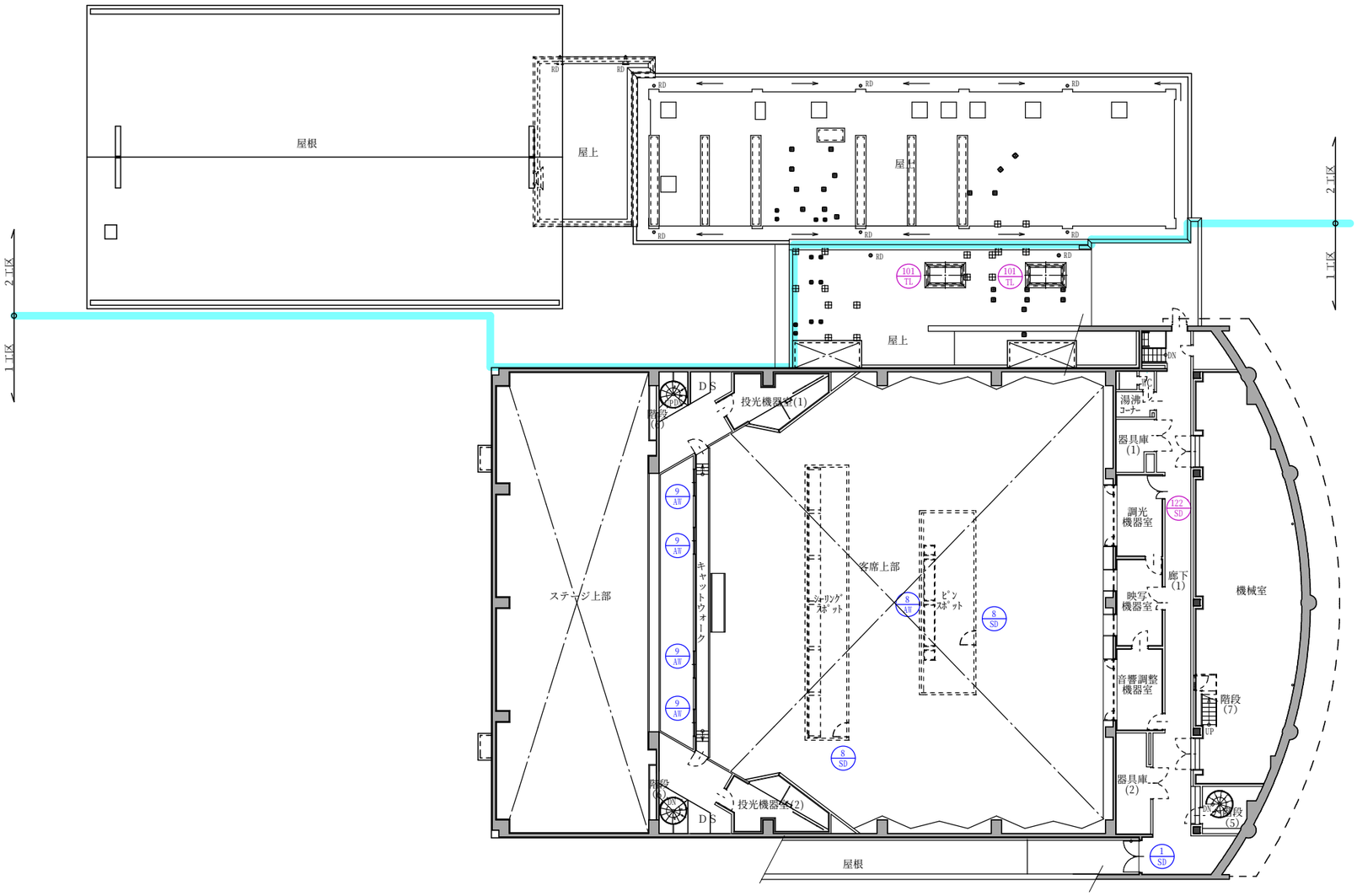
一 級 建 築 士 事 務 所

県知事登録第１－３－１６４号

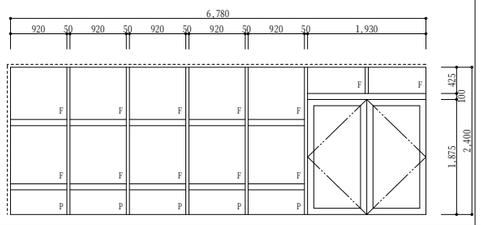
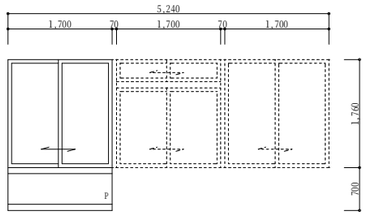
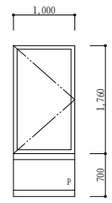
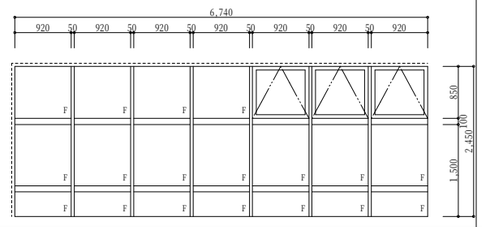
鹿 児 島 市 真 砂 本 町 ２ １ 番 ７ 号　　Ｔ Ｅ Ｌ （代） ０ ９ ９ － ２ ５ ７ － １ １ ７ ７

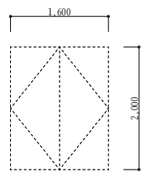
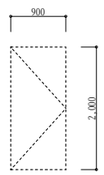
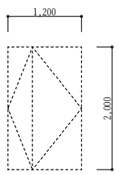
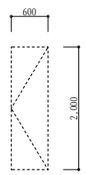
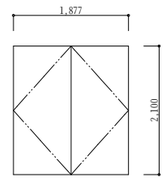
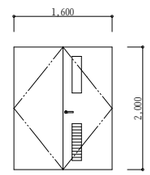
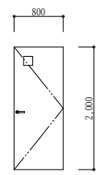
一 級 建 築 士 登 録　第 １ ６ ０ ６ ３ ６ 号　外 村　選

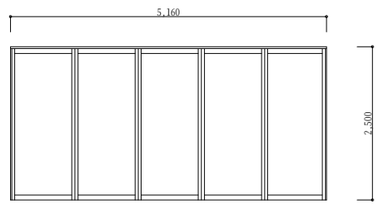
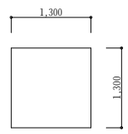
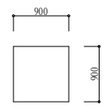
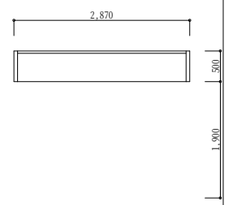
設計年月日	縮尺	工事名称	図面番号
R7 ・ 2 ・	1：150(A1) 1：300(A3)	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設 計 図	A－44
		図面名称：(共通)改修後２階建具全体平面図	



着工	・ ・		堂 園 設 計 株 式 会 社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・ ・							A－45
監理					縮尺 1：150(A1) 1：300(A3)	図面名称	(共通)改修後３階建具全体平面図	
施工								

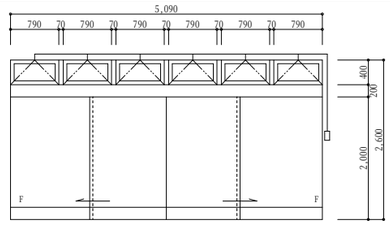
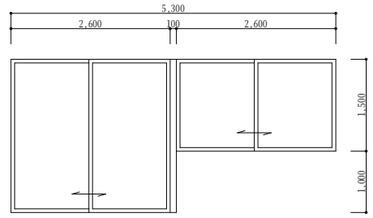
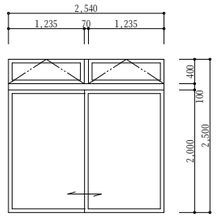
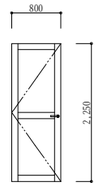
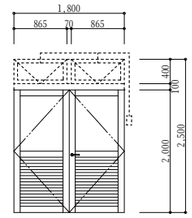
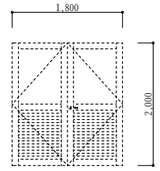
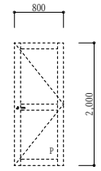
符号	AD－1　1階　廊下(2)　1ヶ所	AD-203　1階　楽屋(9)　1ヶ所	AW－1　1階　楽屋(7)　1ヶ所	AW－2　2階　廊下(4)　1ヶ所		
姿図 ▽FL						
形式 見込	FIX窓付両開きドア	3連引違い窓　※かぶせ工法	片開き窓	FIX窓付突出しドア　※かぶせ工法		
材料 仕上	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)		
金物	シリンダー本締り錠、ステンレス押棒、ＤＣ、フランス落し 附属金物一式	戸車　クレセント 附属金物一式	アルミ水切　ハンドルストッパー 附属金物一式	アルミ水切　オペレーター 附属金物一式		
硝子	強化透明ガラス　5.0㎜ + 飛散防止フィルム100μｍ	強化型板ガラス　4.0㎜	強化型板ガラス　4.0㎜	強化透明ガラス　5.0㎜ + 飛散防止フィルム100μｍ		
備考	アルミ製額縁	アルミ製額縁　網戸　アルミパネルｔ＝3.0	アルミ製額縁　網戸　アルミパネルｔ＝3.0	アルミ製額縁		

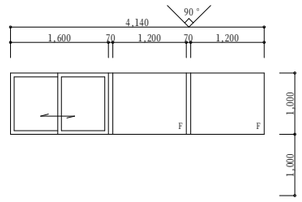
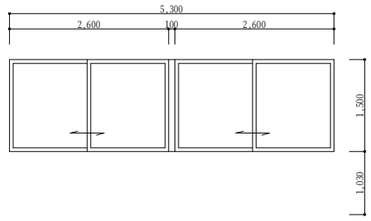
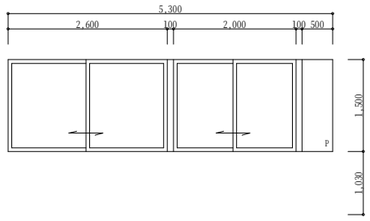
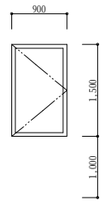
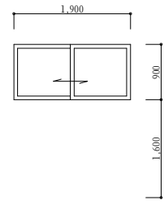
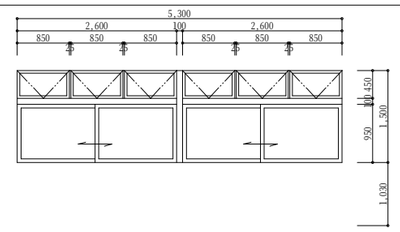
符号	SD－201　1階　廊下(2)　1ヶ所	SD－202　2階　廊下(4)　1ヶ所	SD－203　1階　応接室兼楽屋(11)　1ヶ所	SD－204　1階　倉庫(3)　1ヶ所	SD－205　1階　廊下(3)　1ヶ所		LSD－1　1階　楽屋(10)　1ヶ所	LSD－10　1階　倉庫(10)　1ヶ所	
姿図 ▽FL	※特定防火設備 	※特定防火設備 	※特定防火設備 		※特定防火設備 				
形式 見込	両開き戸　170	片開き戸　220	親子開き戸　170	片開き戸	両開き戸　170		両開き戸　135	片開き戸	
材料 仕上	化粧鋼板	化粧鋼板	化粧鋼板		スチール		化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	
金物							レバーハンドル　ドアチェック　シリンダー錠 ピボットヒンジ　戸当り　付属金物一式	レバーハンドル　シリンダー本締錠　ＤＣ ステンレス丁番　付属金物一式	
硝子							ガラリ	型板ガラス（ア）２．０㎜	
備考	枠部ＳＯＰ塗替	枠部ＳＯＰ塗替	枠部ＳＯＰ塗替	枠部ＳＯＰ塗替	扉・枠部ＳＯＰ塗替				

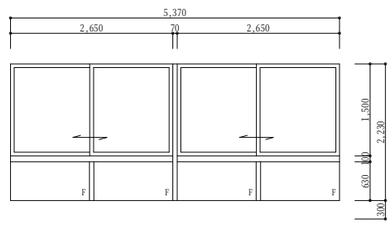
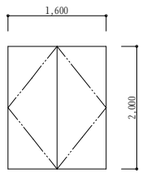
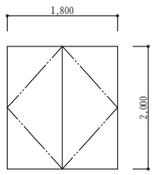
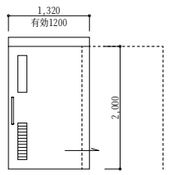
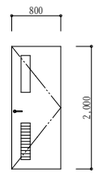
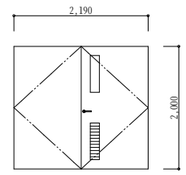
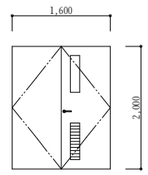
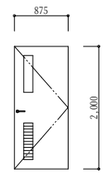
符号	SWL－1　1階　楽屋(9)(10)　1ヶ所		TL－201　屋上　1ヶ所	TL－202　屋上　1ヶ所		BT-2　1階　廊下(7)　1ヶ所		
姿図 ▽FL								
形式 見込	スライディングウォール　80		排煙採光天窓	排煙採光天窓		防煙垂壁		
材料 仕上	ｱﾙﾐ押出形材枠　ﾊﾟﾈﾙ部：MDF t=5.5 の上 ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰﾄ貼		ポリカドーム（面体交換）	ポリカドーム（面体交換）		不燃シート		
金物	ハンガーレール，ランナー 付属金物一式		ワイヤー交換、注油等メンテナンス ダンパー（4本）交換	ワイヤー交換、注油等メンテナンス		－		
硝子						－		
備考	小松ｳｫｰﾙ　HS-80MB　同等以上		オペレーター（既存のまま）	オペレーター（既存のまま）		不燃シートテンションタイプ		

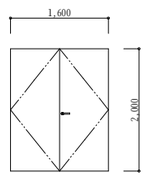
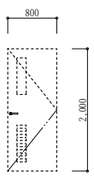
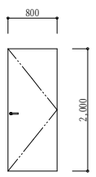
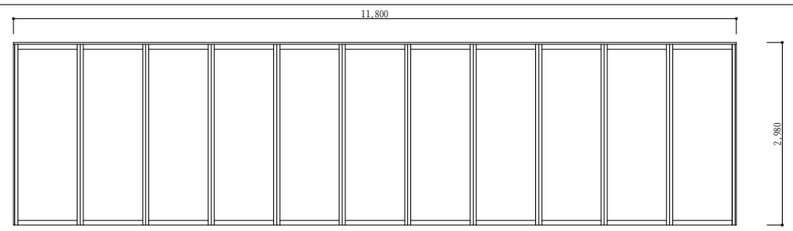
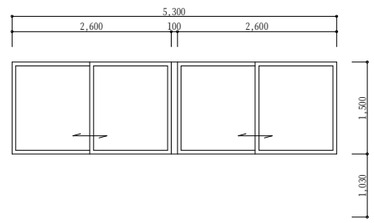
符号		
姿図 ▽FL		
形式 見込		
材料 仕上		
金物		
硝子		
備考		

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－46
竣工	・　・			縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共通)改修建具表（管理棟）	
監理							
施工							

符号	AD-2 1階 玄関 1ヶ所	AD-3 2階 集会室（２） 3ヶ所	AD-4 2階 集会室(2)前ホール 1ヶ所	AD-5 1階 内待合いホール 1ヶ所	AD-402 1階 事務室 1ヶ所	AD-403 1階 倉庫(5) 1ヶ所	AD-406 1階 廊下（6） 1ヶ所
姿図 ▽FL							
形式 見込	排煙窓付自動ドア	引違い窓付掃出しドア（AT） ※かぶせ工法	排煙窓付掃出しドア ※かぶせ工法	片開きドア	ランマ外倒し窓両開きドア ※かぶせ工法 70	両開きドア	片開きドア
材料 仕上	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ シルバー		
金物	シリンダー錠 エンジン装置（電光感知式、安全装置付） 付属金物一式	戸車 クレセント 付属金物一式	戸車 クレセント オペレーター(外倒し) 付属金物一式	レバーハンドル シリンダー本締錠 ＤＣ 付属金物一式	扉の交換 レバーハンドル ＤＣ 丁番 シリンダー本締錠 付属金物一式	ドアチェックの交換	ドアチェックの調整
硝子	フロート強化板ガラスt=5.0 + 飛散防止フィルム100μm	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + Ａ6.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + 飛散防止フィルム100μm	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + Ａ6.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0	強化型板ガラス 4.0mm	強化型板ガラス 4.0mm		
備考	レール：ステンレス加工、アルミ製額縁				アルミパネルｔ＝3.0		

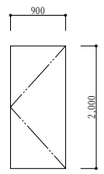
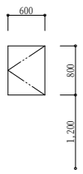
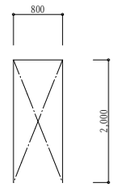
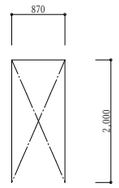
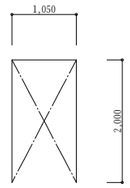
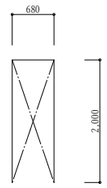
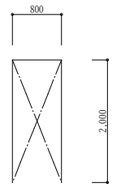
符号	AW-3 1階 事務室 1ヶ所	AW-4 1階 リハーサル室兼楽屋(4) 2階 集会室(2) 3ヶ所	AW-5 2階 集会室(2) 2ヶ所	AW-6 1階 事務室・廊下（6） 2ヶ所	AW-7 2階 倉庫（7） 1ヶ所	AW-10 1階 リハーサル室 1ヶ所
姿図 ▽FL						
形式 見込	FIX窓付引違窓	２連引違窓（AT） ※かぶせ工法 70	Fix袖窓付２連引違窓（AT） ※かぶせ工法 70	片開き窓 ※かぶせ工法	引違窓 ※かぶせ工法	排煙窓付自動ドア
材料 仕上	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)
金物	戸車 クレセント 附属金物一式	戸車 クレセント 附属金物一式	戸車 クレセント 附属金物一式	アルミ水切 ハンドルストッパー 附属金物一式	戸車 クレセント 附属金物一式	戸車 クレセント オペレーター(外倒し) 付属金物一式
硝子	フロート強化板ガラスt=4.0	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + Ａ6.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 +飛散防止フィルム100μm	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + Ａ6.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 +飛散防止フィルム100μm	フロート強化板ガラスt=4.0	強化型板ガラス 4.0mm	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + Ａ6.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 +飛散防止フィルム100μm
備考			アルミパネルｔ＝3.0			アルミ製額縁 網戸

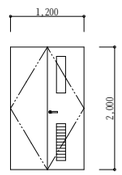
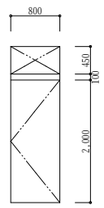
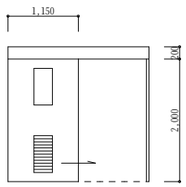
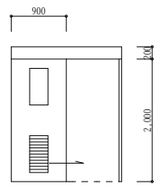
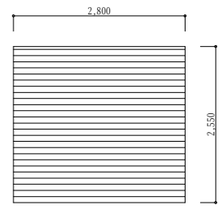
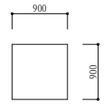
符号	AW-11 1階 リハーサル室 1ヶ所	SD-3 1階 玄関ホール 1ヶ所	SD-4 1階 玄関ホール 1ヶ所	LSD-2 1階 事務室 1ヶ所	LSD-3 1階 倉庫（8） 1ヶ所	LSD-4 1階 リハーサル室 1ヶ所	LSD-5 1階 リハーサル室 1ヶ所	LSD-6 1階 リハーサル室 1ヶ所
姿図 ▽FL								
形式 見込	Fix窓付２連引違窓（AT）	両開き戸 120	両開き戸 120	半自動ハンガー引戸（壁収納型）	片開き戸	両開き戸	両開き戸	片開き戸
材料 仕上	アルミ２次電解着色(高耐候性塗料コート)	スチールｔ＝0.8mm 両面ﾌﾗｯｼｭ(防錆塗装) OP	スチールｔ＝0.8mm 両面ﾌﾗｯｼｭ(防錆塗装) OP	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板
金物	戸車 クレセント 附属金物一式	押棒、フロアヒンジ、フランス落し、戸当り ステンレス三方枠，召合せゴム下枠ステンレス 付属金物一式	押棒、フロアヒンジ、フランス落し、戸当り ステンレス三方枠，召合せゴム下枠ステンレス 付属金物一式	抗菌性引き手（Ｌ＝450） シリンダー錠 戸当りゴム 駆動装置・付属金物一式	レバーハンドル シリンダー本締錠 ＤＣ ステンレス丁番 付属金物一式	レバーハンドル シリンダー本締錠 ＤＣ ステンレス丁番 フランス落し 付属金物一式	レバーハンドル シリンダー本締錠 ＤＣ ステンレス丁番 フランス落し 付属金物一式	レバーハンドル シリンダー本締錠 ＤＣ ステンレス丁番 付属金物一式
硝子	ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 + Ａ6.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=5.0 +飛散防止フィルム100μm			型板ガラス（ア）２．０mm	型板ガラス（ア）２．０mm	型板ガラス（ア）２．０mm	型板ガラス（ア）２．０mm	型板ガラス（ア）２．０mm
備考		扉内グラスウール充填 ＰＡＴ仕様	扉内グラスウール充填 ＰＡＴ仕様	ガラリ	ガラリ	ガラリ	ガラリ	ガラリ

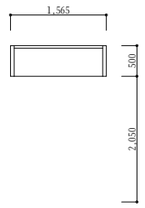
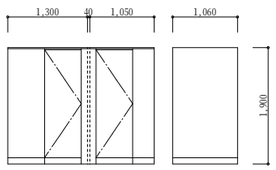
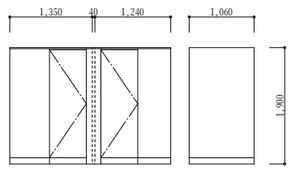
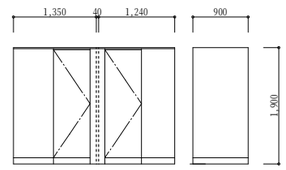
符号	LSD-7 1階 リハーサル室 2ヶ所	LSD－403 2階 倉庫(7) 1ヶ所	WD－408 2階 控室(1)(2) 2ヶ所		SWL－2 1階 リハーサル室 1ヶ所	PW－1 1階 リハーサル室 3ヶ所
姿図 ▽FL						
形式 見込	両開き戸	片開き戸 215	片開き戸 36		スライディングウォール 80	２連引違窓
材料 仕上	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	メラミン合板		ｱﾙﾐ押出形材枠 ﾊﾟﾈﾙ部：MDF t=5.5 の上 ﾎﾟﾘｵﾚﾌｨﾝｼｰﾄ貼	硬質ポリ塩化ビニル樹脂押出形材
金物	レバーハンドル シリンダー本締錠 ＤＣ ステンレス丁番 フランス落し 付属金物一式	錠部（1ヶ所）の調整	レバーハンドル ＤＣ ステンレス丁番 付属金物一式		ハンガーレール，ランナー 付属金物一式	戸車 クレセント 附属金物一式
硝子						ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=3.0 + Ａ12.0 +ﾌﾛｰﾄ板ｶﾞﾗｽt=3.0 + 飛散防止フィルム100μm
備考	下枠ステン、スチール枠（ＯＰ塗） ＡＴ仕様		扉交換		小松ｳｫｰﾙ HS-80WB 同等以上	

着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号 ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録 第１６０６３６号 外村 選
竣工	・ ・		
監理			
施工			

設計年月日	縮尺	工事名称	図面番号
R7 ・ 2 ・	1：50(A1) 1：100(A3)	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	A－47
		図面名称 (共通)改修建具表（共同利用施設）	

符号	SD-6　1階　内待合いホール　1ヶ所		SD－501　1，2階　PS　2ヶ所		SF－501　1階　WC　2ヶ所	SF－502　1，2階　WC　2ヶ所	SF－503　1，2階　WC　2ヶ所	SF－504　2階　WC　1ヶ所	SF－505　2階　WC　1ヶ所
姿図 ▽FL									
形式 見込	片開き戸　100		片開き戸		三方枠	三方枠	三方枠	三方枠	三方枠
材料 仕上	スチールｔ＝0.8㎜　両面ﾌﾗｯｼｭ(防錆塗装) OP		スチールｔ＝1.6㎜　片面ﾌﾗｯｼｭ OP		スチールOP	スチールOP	スチールOP	スチールOP	スチールOP
金物	シリンダー本締り錠、ステン旗丁番、ＤＣ グレモン錠，レバーハンドル、付属金物一式								
硝子									
備考	下枠ステン、スチール枠（ＯＰ塗）　ＡＴ仕様		扉・枠部ＳＯＰ塗替		枠部ＯＰ塗替	枠部ＯＰ塗替	枠部ＯＰ塗替	枠部ＯＰ塗替	枠部ＯＰ塗替

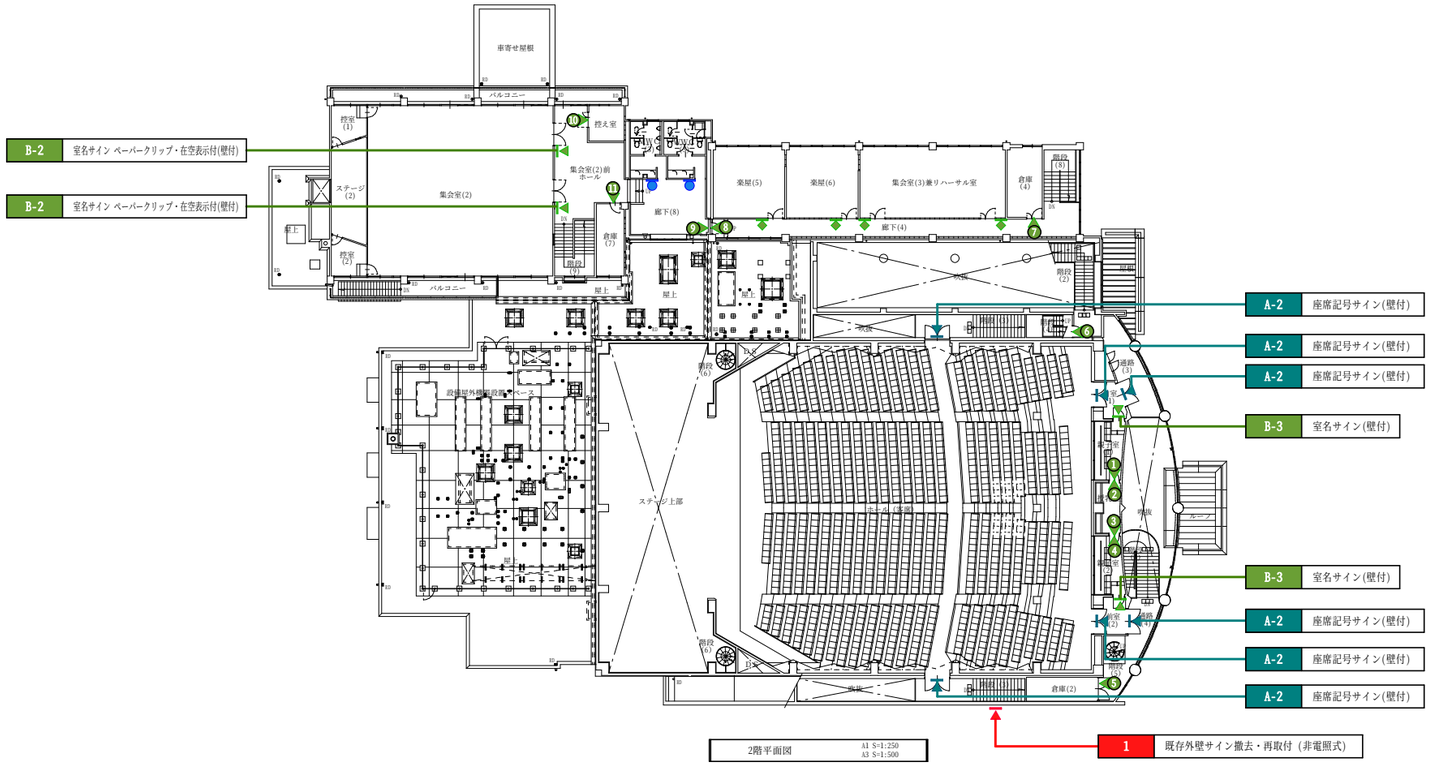
符号	LSD-8　1階　倉庫(9)　1ヶ所	LSD-9　1階　廊下(7)　1ヶ所	LSD－501　1階　HWC（2）　1ヶ所	LSD－502　1階　ｺﾝﾄﾛｰﾙ室　1ヶ所	SS－2　1階　廊下(7)　1ヶ所		TL－502　屋上　1ヶ所	TL－503　屋上　2ヶ所	
姿図 ▽FL									
形式 見込	両開き戸	片開き戸	電動式片引戸　151	半自動閉鎖装置付引戸　154	電動軽量シャッター		排煙採光天窓	排煙採光天窓	
材料 仕上	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼板	化粧軽量鋼鈑(t=0.8ﾌﾗｯｼｭ)	化粧軽量鋼鈑(t=0.8ﾌﾗｯｼｭ)	スチール溶融亜鉛めっき鋼板		ポリカドーム（面体交換）	ポリカドーム（面体交換）	
金物	レバーハンドル　シリンダー本締錠　ＤＣ ステンレス丁番　フランス落し　付属金物一式	レバーハンドル　ＤＣ　ステンレス丁番 付属金物一式	開閉ボタンは一時撤去移動後再取付け	駆動装置の交換	アルミ形材座板　ガイドレール 付属金物一式		ワイヤー交換、注油等メンテナンス	ワイヤー交換、注油等メンテナンス	
硝子	型板ガラス（ア）２．０㎜								
備考	ガラリ						オペレーター（既存のまま）	オペレーター（既存のまま）	

符号	BT-1　1階　廊下(7)　1ヶ所	TB－501　MWC(2)(3)　2ヶ所	TB－502　WWC(2)(3)　2ヶ所	TB－503　WWC(2)(3)　2ヶ所				
姿図 ▽FL								
形式 見込	防煙垂壁	トイレブース	トイレブース	トイレブース				
材料 仕上	不燃シート	化粧軽量鋼鈑	化粧軽量鋼鈑	化粧軽量鋼鈑				
金物	－	－	－	－				
硝子	－	－	－	－				
備考	不燃シートテンションタイプ	一時撤去再取付け	一時撤去再取付け	一時撤去再取付け				

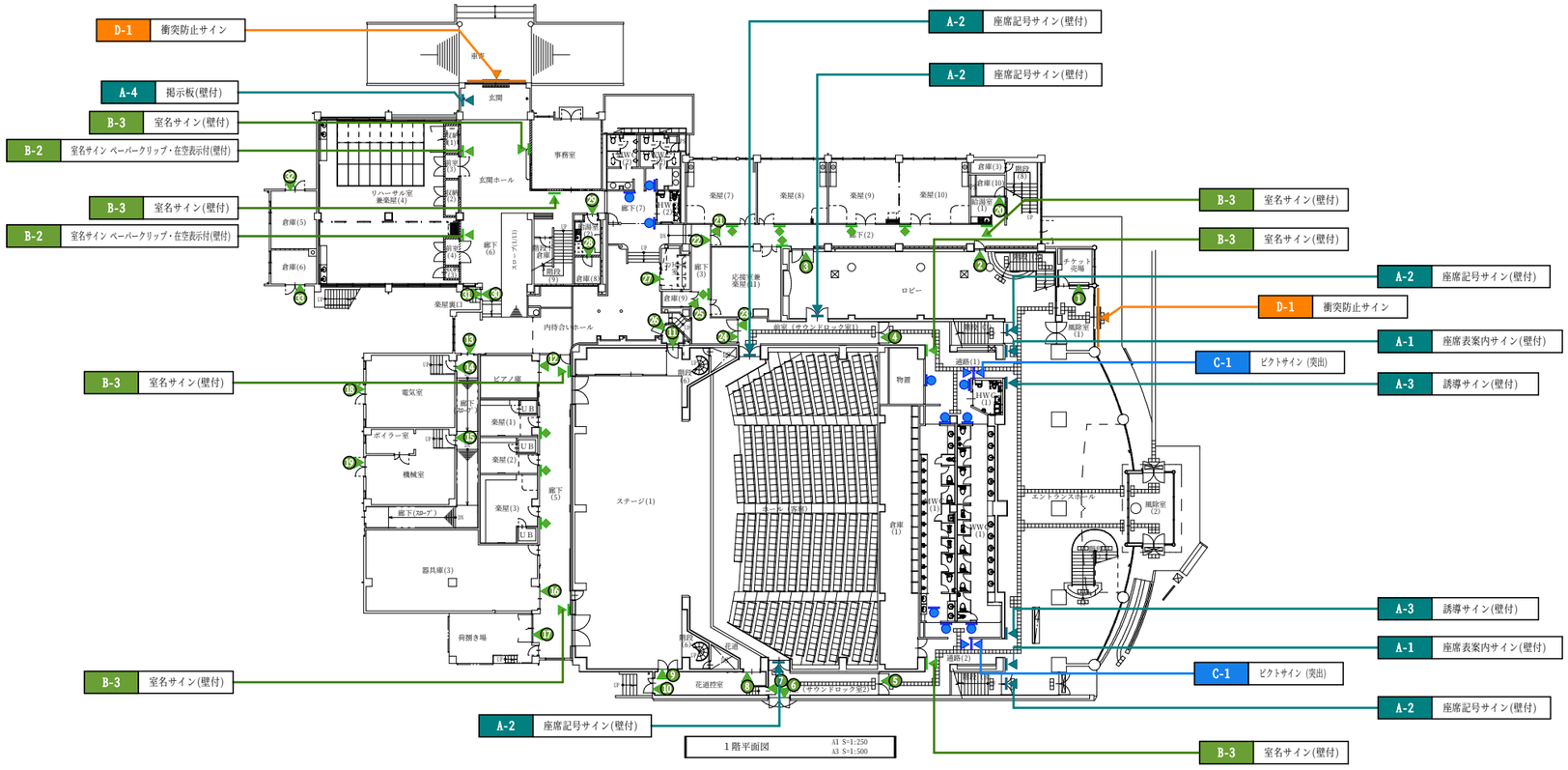
符号									
姿図 ▽FL									
形式 見込									
材料 仕上									
金物									
硝子									
備考									

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－48
竣工	・　・			縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共通)改修建具表（内待合ホール）	
監理							
施工							

区分	記 号	サイン名称	外構	1F					2F					数 量
				1 工区		2 工区			1 工区		2 工区			
			ホール	ホール	楽屋	管理	共同	待合	ホール	楽屋	管理	共同	待合	
外構	1	既存外壁サイン撤去・再取付（非電照式）	1	-	-	-	-	-	-	-	-	-	-	1
案内	A-1	座席表案内サイン(壁付)	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	A-2	座席記号サイン(壁付)	-	5	-	-	-	-	6	-	-	-	-	11
	A-3	誘導サイン(壁付)	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	A-4	掲示板(壁付)	-	-	-	-	1	-	-	-	-	-	-	1
室名	B-1	室名サイン ペーパークリップ付(壁付)	-	-	3	6	-	-	-	-	4	-	-	13
	B-2	室名サイン ペーパークリップ・在空表示付(壁付)	-	-	-	-	2	-	-	-	-	2	-	4
	B-3	室名サイン(壁付)	-	2	2	1	2	-	2	-	-	-	-	9
	B-4	室名サイン　シート(貼付)	-	11	8	5	6	3	6	-	3	2	-	44
ピクト	C-1	ピクトサイン（突出）	-	2	-	-	-	-	-	-	-	-	-	2
	C-2	ピクトサイン(平付)	-	6	-	-	-	3	-	-	-	-	2	11
規制	D-1	衝突防止サイン	-	1	-	-	1	-	-	-	-	-	-	2



2階平面図　A1 S=1:250　A3 S=1:500



1階平面図　A1 S=1:250　A3 S=1:500

= B-1 室名サイン ペーパークリップ付(壁付)

= C-2 ピクトサイン(平付)

= B-4 室名サイン　シート(貼付)

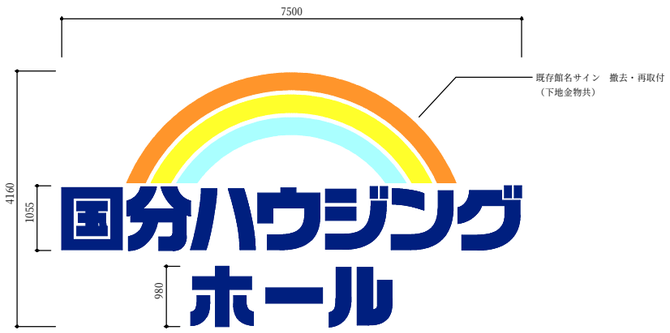
着工	・　・		
竣工	・　・		
監理			
施工			

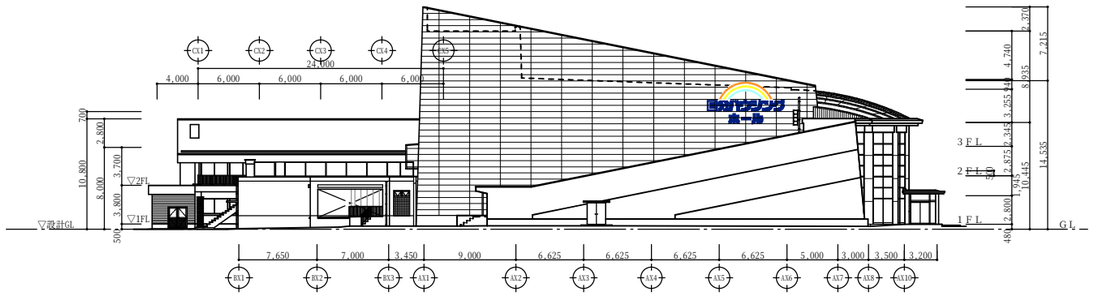
堂 園 設 計 株 式 会 社
一 級 建 築 士 事 務 所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

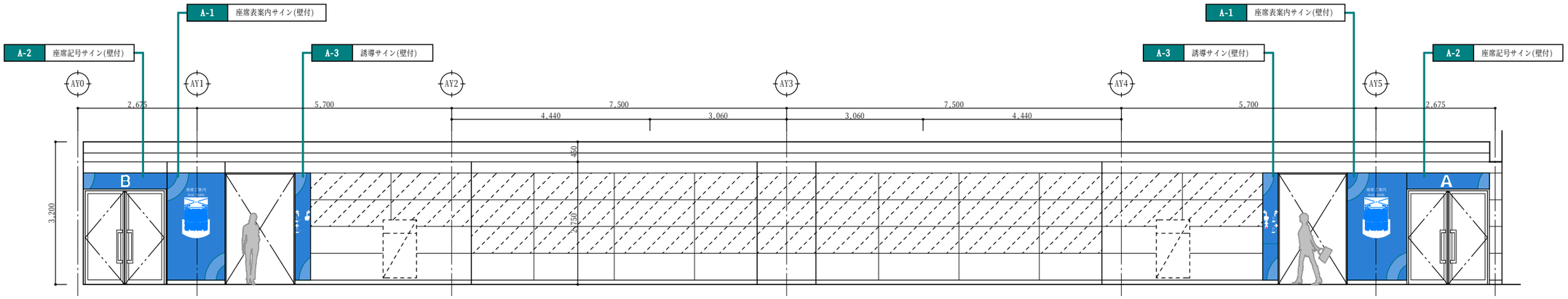
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設 計 図	図面番号
R7 ・ 2 ・			A－49
縮　尺 1：250(A1) 1：500(A3)	図面名称	(共通)サインプロット図	

外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
外構	1	既存外壁サイン撤去・再取付（非電照式）	1	-	-	1	A1 S=1:50 A3 S=1:100



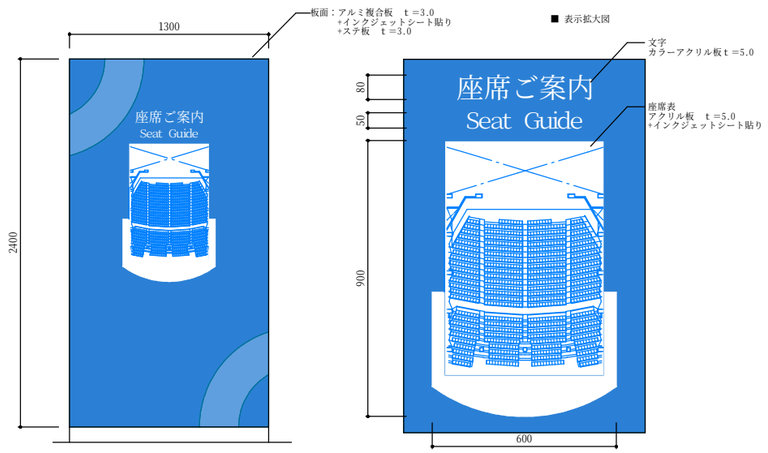


西立面図　A1 S=1:300　A3 S=1:600

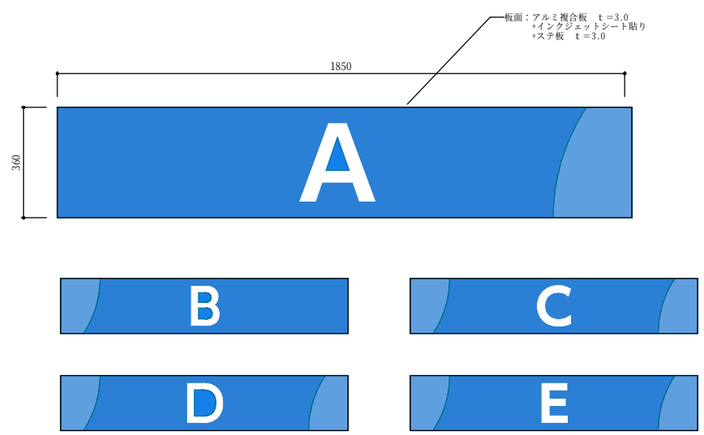


エントランスホール展開図　A1 S=1:50　A3 S=1:100

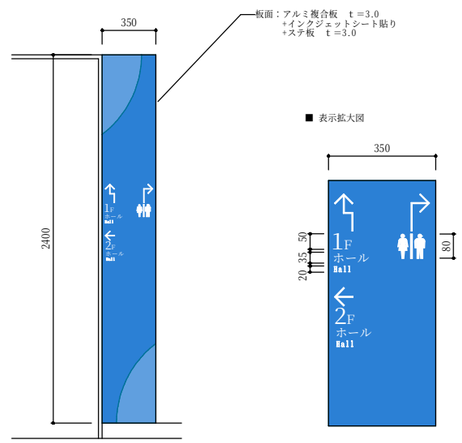
外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
案内	A-1	座席表案内サイン(壁付)	-	2	-	2	A1 S=1:10,1:20 A3 S=1:20,1:40



外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
案内	A-2	座席記号サイン(壁付)	-	5	6	11	A1 S=1:10,1:20 A3 S=1:20,1:40



外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
案内	A-3	誘導サイン(壁付)	-	2	-	2	A1 S=1:10,1:20 A3 S=1:20,1:40

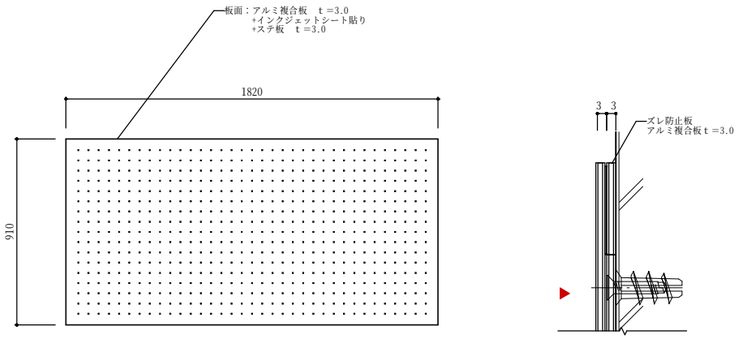


着工	・　・	
竣工	・　・	
監理		
施工		

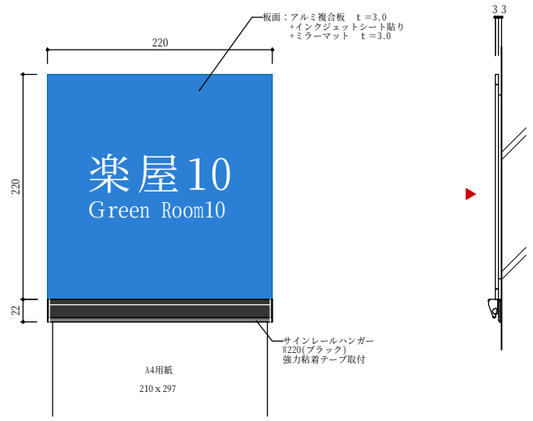
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A－50
縮尺 図示(A1) 図示(A3)	図面名称	(共通)サイン図-1	

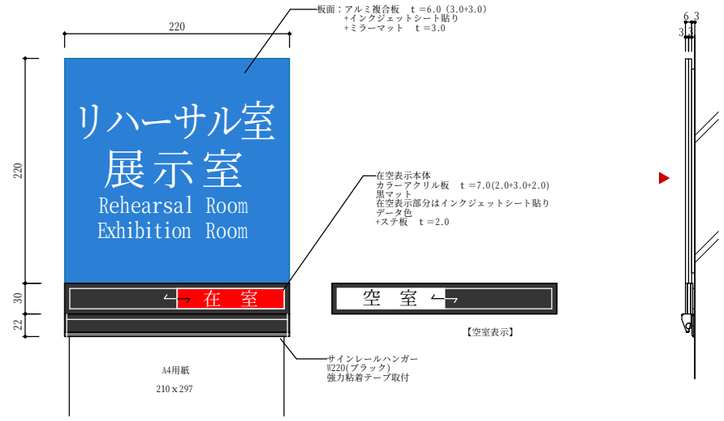
外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
案内	A-4	掲示板(壁付)	-	1	-	1	A1 S=1:15,1:1 A3 S=1:30,1:2



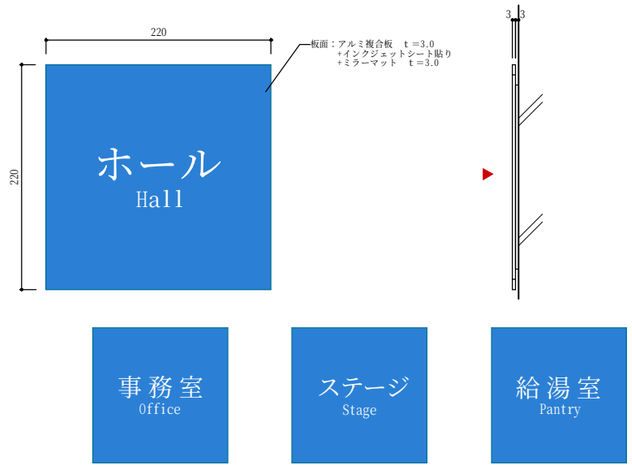
外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
室名	B-1	室名サイン ペーパークリップ付(壁付)	-	9	4	13	A1 S=1:3 A3 S=1:6



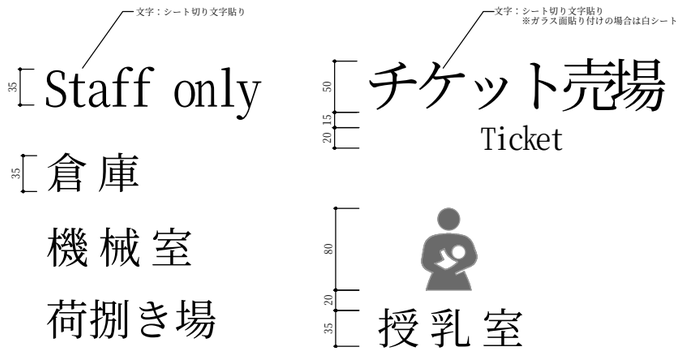
外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
室名	B-2	室名サイン ペーパークリップ・在空表示付(壁付)	-	2	2	4	A1 S=1:3 A3 S=1:6

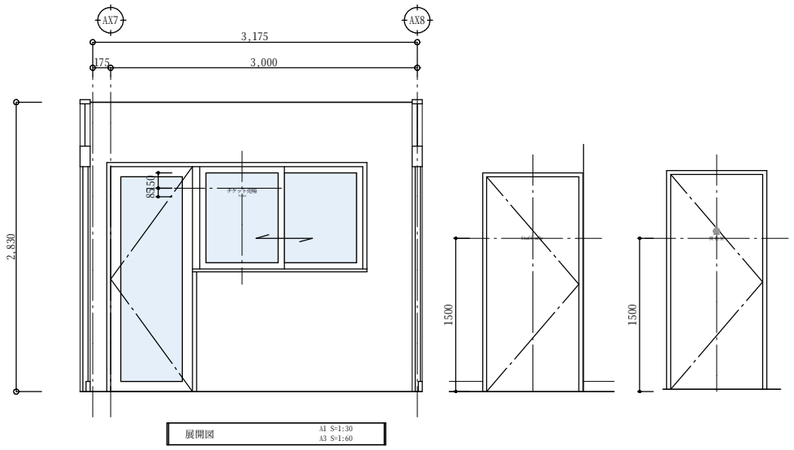


外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
室名	B-3	室名サイン(壁付)	-	7	2	9	A1 S=1:3,1:5 A3 S=1:6,1:10

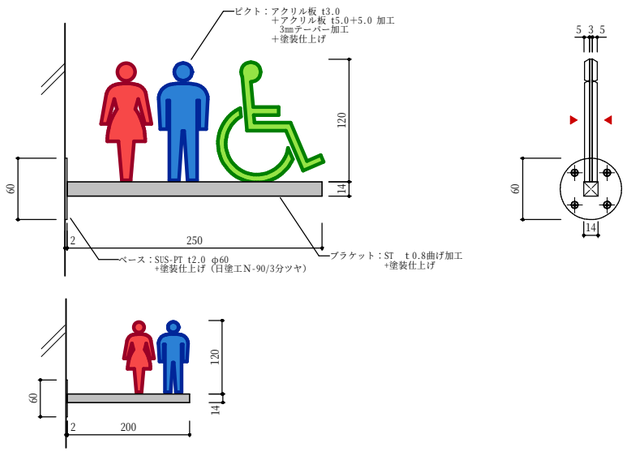


外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
室名	B-4	室名サイン　シート(貼付)	-	33	11	44	A1 S=1:3 A3 S=1:6

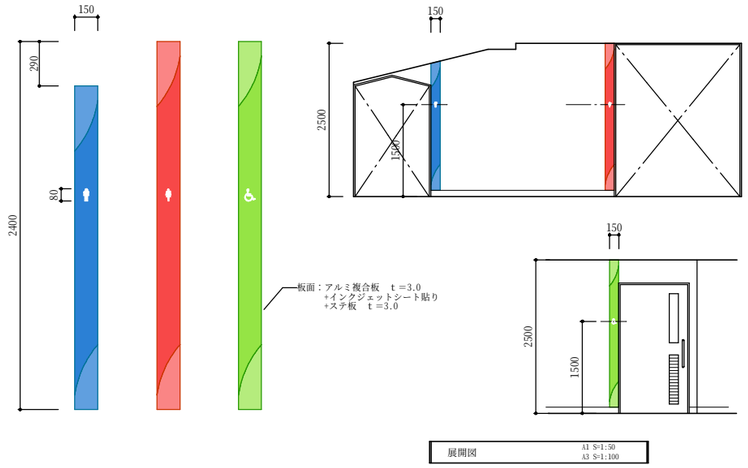




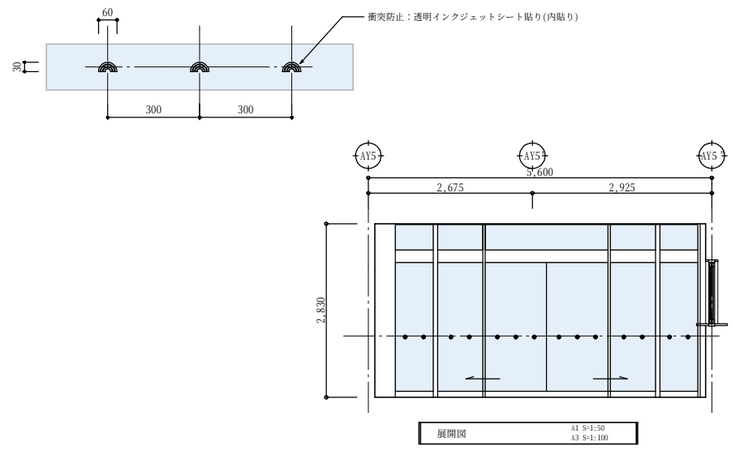
外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
ピクト	C-1	ピクトサイン (突出)	-	2	-	2	A1 S=1:3,1:5 A3 S=1:6,1:10



外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
ピクト	C-2	ピクトサイン(平付)	-	9	2	11	A1 S=1:20 A3 S=1:40



外構	記 号	サイン名称	外構	1F	2F	数 量	Scale
規制	D-1	衝突防止サイン	-	2	-	2	A1 S=1:10 A3 S=1:20



着工	・　・	
竣工	・　・	
監理		
施工		

堂 園 設 計 株 式 会 社
一 級 建 築 士 事 務 所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿 児 島 市 真 砂 本 町 ２ １ 番 ７ 号　　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一 級 建 築 士 登 録　第１６０６３６号
外 村　選

設計年月日	工事名称	設計図	図面番号
R7 ・ 2 ・	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）		A－51
縮　尺 図示(A1) 図示(A3)	図面名称	(共通)サイン図- 2	

■外部仕上表　　※表中 "(00)" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

部位	仕様 既存	仕様 改修後	部位	仕様 既存	仕様 改修後
巾木	コンクリート打放し (80)	セメント系塗材(ノロ)浮き部除去、高圧洗浄後 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上	パラペット見付・笠木	コンクリート打放しの上アクリル系吹付タイル (73)	高圧洗浄、下地調整(RB種)の上可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波ﾛｰﾗｰ仕上
外壁柱	コンクリート打放しの上複層仕上塗材 (77) (79)	下地調整、高圧洗浄後可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上	樋	硬質カラー塩ビパイプΦ75VU　掴み金物ステンレス製@1,200内外(滑り止め付) (83)	ケレンの上DP塗装(シリコン)　掴み金物既存のまま
パラペット	コンクリート打放しの上複層仕上塗材 (73)	下地調整、高圧洗浄後可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上	R D	縦引き型ドレイン鋳鉄製Φ75 (113) (114)	縦引き型ドレイン鉛製ドレインキャップ(アルミ製)共
軒裏	コンクリート打放しの上複層仕上塗材 (75)	下地調整、高圧洗浄後可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上			
屋根	アクリルゴム系塗膜防水 (96)	高圧洗浄後アクリルゴム系塗膜防水			

■(管理棟)内部仕上表(上段:仕上材・下段:下地材)

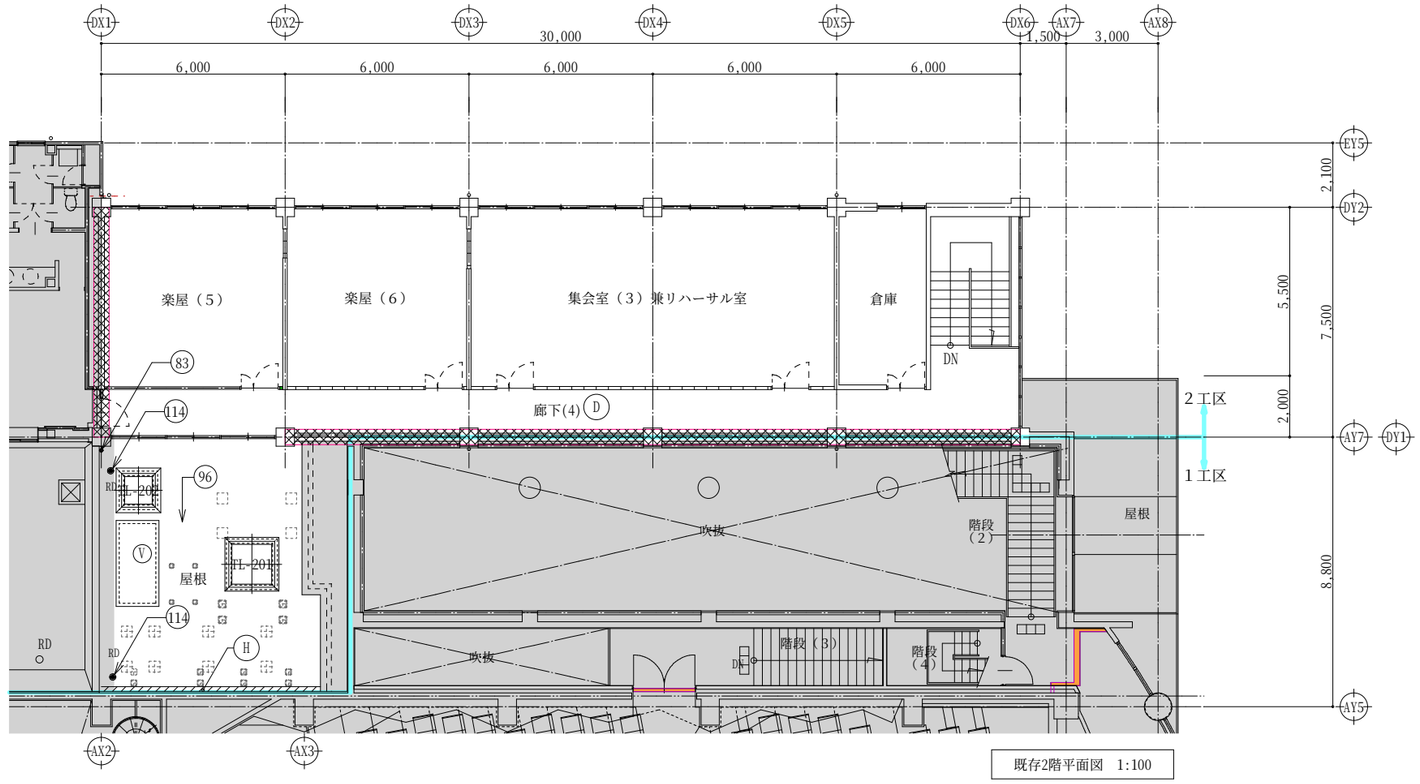
階	室名 既存	室名 改修後	内装制限 / 排煙方式 / 免除根拠	床 既存	床 改修後	巾木 既存	巾木 改修後	壁 既存	壁 改修後	天井 既存	天井 改修後	天井高 既存	天井高 改修後	備考	改修後室名
1	受付	給湯室	— 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G, 化粧FKt=6.0 新設壁：GB-Rt=12.5の上EP-G 既存壁：モルタル 新設壁：LGS	GB-Dt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Dt=9.5 既存のまま	2,400	2,400	コンロ台　流し台　吊戸棚	給湯室
	管理室 中央管理室	楽屋 (9)(10)	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Dt=9.5 既存のまま	2,450	2,450	スライディングウォール カーテンレール　カーテン	楽屋(9)(10)
	霧島市施設課 管理公社 資料室	楽屋(8)	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Dt=9.5 既存のまま	2,450	2,450	洗面カウンター　化粧カウンター カーテンレール　カーテン	楽屋(8)
	霧島市施設課 管理公社 事務室	楽屋(7)	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Dt=9.5 既存のまま	2,450	2,450	洗面カウンター　化粧カウンター カーテンレール　カーテン	楽屋(7)
	応接室	応接室 兼 楽屋(11)	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GR-Rt=9.5+DRt=9.0 既存のまま	2,400	2,400	カーテンレール　カーテン	応接室 兼 楽屋(11)
	廊下(2)	廊下(2)	(準) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,400	2,400		廊下(2)
	廊下(3)	廊下(3)	(準) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Ft=15.0+15.0の上EP GB-Rt=12.5+9.5の上EP LGS	下地補修調整後EP-G (新設壁)GB-Rt=12.5の上EP-G 既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GR-Rt=9.5+DRt=9.0 既存のまま 一部LGS下地共撤去後LGS天井下地	2,400	2,400	EXP.Jクリアランス改修	廊下(3)
	倉庫(3)	倉庫(3)	— 免除 告へ(2)	— コンクリート	既存のまま	—	—	— RC	既存のまま	— RC	既存のまま	2,400	2,400		倉庫(3)
	受付	倉庫(10)	— 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	—	既存撤去 木製巾木SOP H=100	GB-Rt=12.5の上EP モルタル,LGS	既存壁：下地補修調整後EP-G 新設壁：GB-Rt=12.5の上EP-G 既存壁：モルタル,LGS 新設壁：LGS	GB-Dt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Dt=9.5 既存のまま	2,400	2,400		倉庫(10)
2	倉庫(4)	倉庫(4)	— 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	EP モルタル	既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま(一時撤去再取付け)	2,500	2,500	構造スリット	倉庫(4)
	集会室(3) 兼 ﾘﾊｰｻﾙ室	集会室(3) 兼 ﾘﾊｰｻﾙ室	(難) 自然 —	発砲層入長尺シートt=5.5mm コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GWt=50(32kg/m)充填(寒冷紗押え) スラグ石膏板t=12.0の上EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G	GB-Rt=9.5+DRt=9.5, GB-Rt=9.5の上EP LGS	既存のまま	2,700	2,700		集会室(3)兼 リハーサル室
	楽屋(5)	楽屋(5)	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	EP モルタル,LGS	下地補修調整後EP-G	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま(一時撤去再取付け)	2,500	2,500	構造スリット	楽屋(5)
	楽屋(6)	楽屋(6)	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=12.5の上EP LGS,GL工法	下地補修調整後EP-G	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,500	2,500		楽屋(6)
	廊下(4)	廊下(4)	(準) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	EP モルタル	下地補修調整後EP-G	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,500	2,500		廊下
	階段(8)	階段(8)	(準) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	EP モルタル	下地補修調整後EP-G	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,500	2,500		階段

特記事項

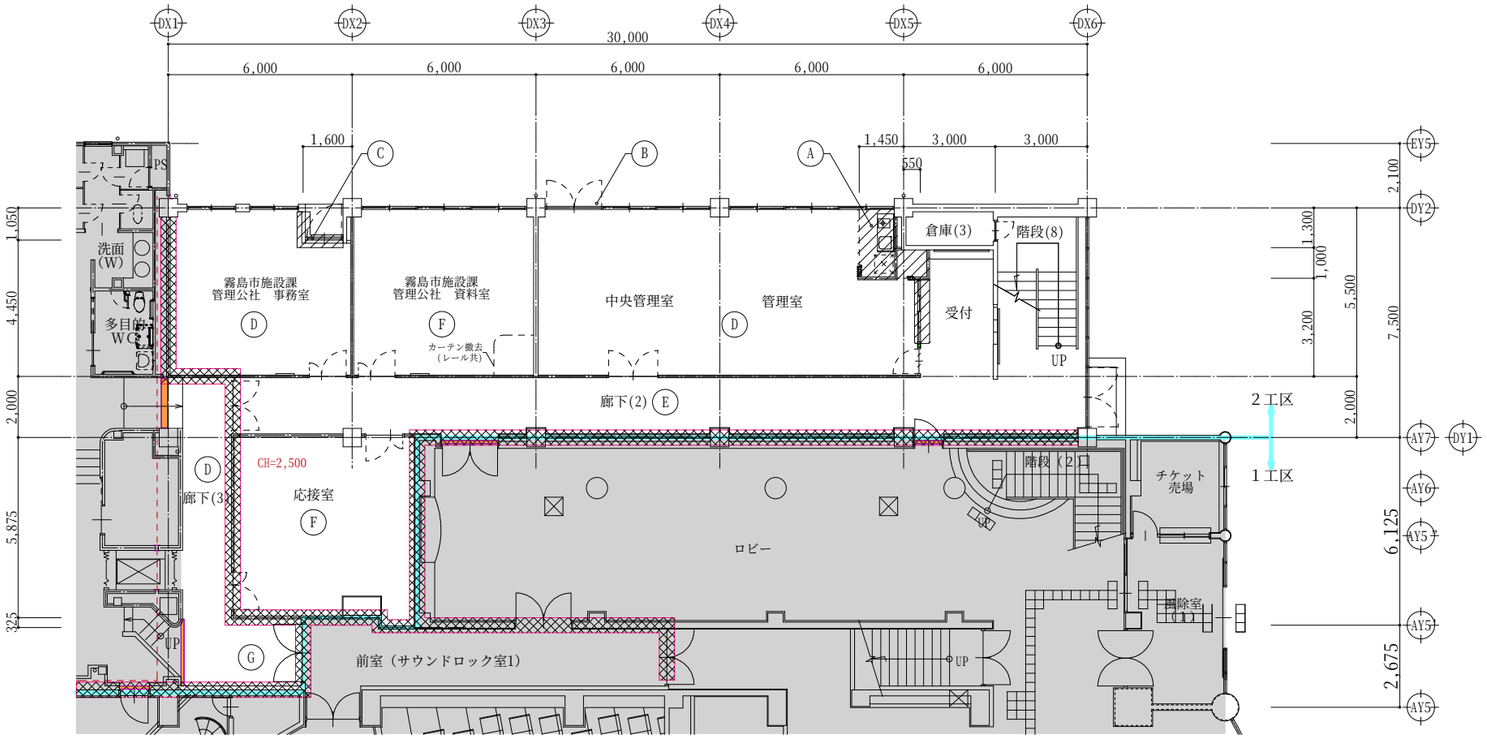
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	工事名称	図面番号
R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	A-52
縮尺 NO.SCALE	図面名称 (管理棟)仕上表	

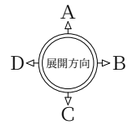
既　存



既存2階平面図　1:100



既存1階平面図　1:100



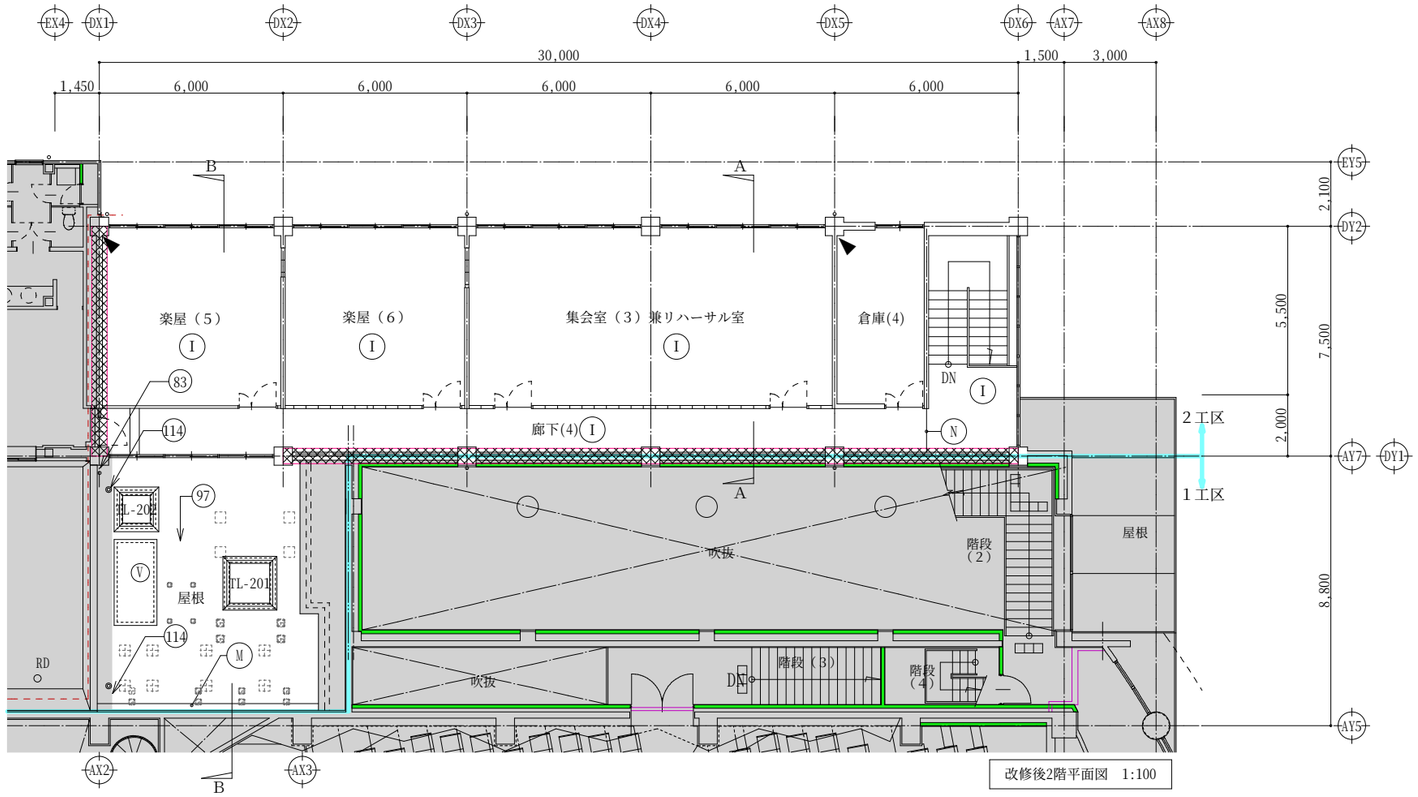
	撤去・解体内容
Ⓐ	LGS下地壁撤去(流し台・建具共)
Ⓑ	既存アルミ製建具撤去
Ⓒ	RC壁t=120・既存アルミ製建具撤去
Ⓓ	床・巾木・天井 仕上げ撤去
Ⓔ	床・巾木 仕上げ撤去
Ⓕ	天井 仕上げ撤去
Ⓖ	天井 仕上げ、LGS下地共撤去
Ⓗ	RCスラブ一部撤去　EXP.Jクリアランス寸法改修
Ⓘ	
Ⓙ	

凡例	
	LGS65壁
	CB壁
	RC壁
	撤去解体部分
	防火区画

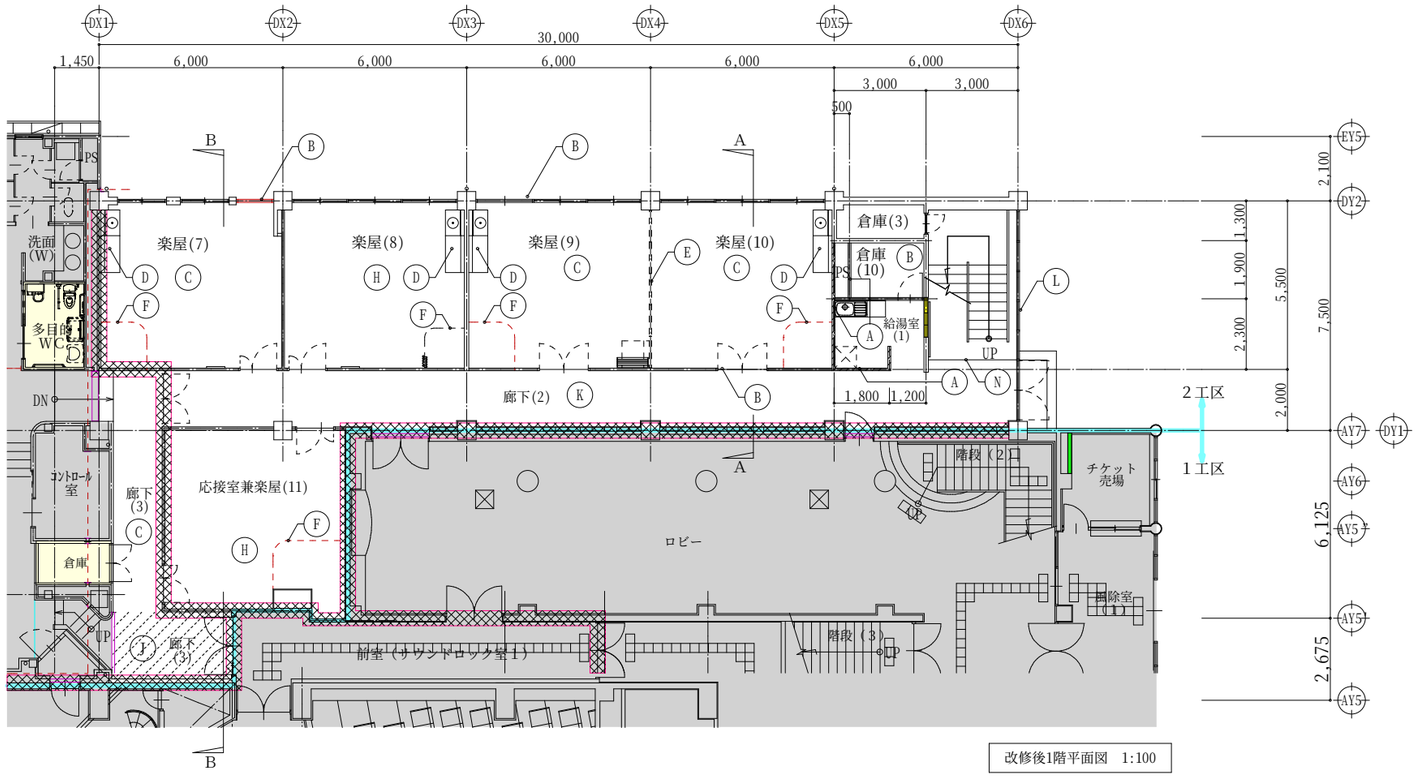
※図中 "㊀㊀" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮　尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-53
				図面名称	(管理棟)既存1・2階平面図	

改修後



改修後2階平面図　1:100



改修後1階平面図　1:100

	改修内容
A	LGS下地壁新設
B	建具新設
C	床・巾木・壁・天井 仕上げ塗替え、張替え
D	洗面カウンター・化粧カウンター新設
E	スライディングウォール新設
F	カーテンレール・カーテン新設
G	カーテン新設
H	壁 仕上げ塗替え・天井 仕上げ張替え
I	壁 仕上げ塗替え
J	(斜線範囲)天井 仕上げ(LGS下地共)張替え
K	床・巾木 仕上げ張替え　壁 塗替え
L	既存建具改修
M	EXP.J　クリアランス寸法改修
N	不燃シート垂壁 新設H=500

凡例	
	新設LGS65壁
	既存LGS65壁
	既存RC壁
▲	構造スリット(W=30 L=2,550)位置を示す。
	防火区画

※図中 ”00” は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

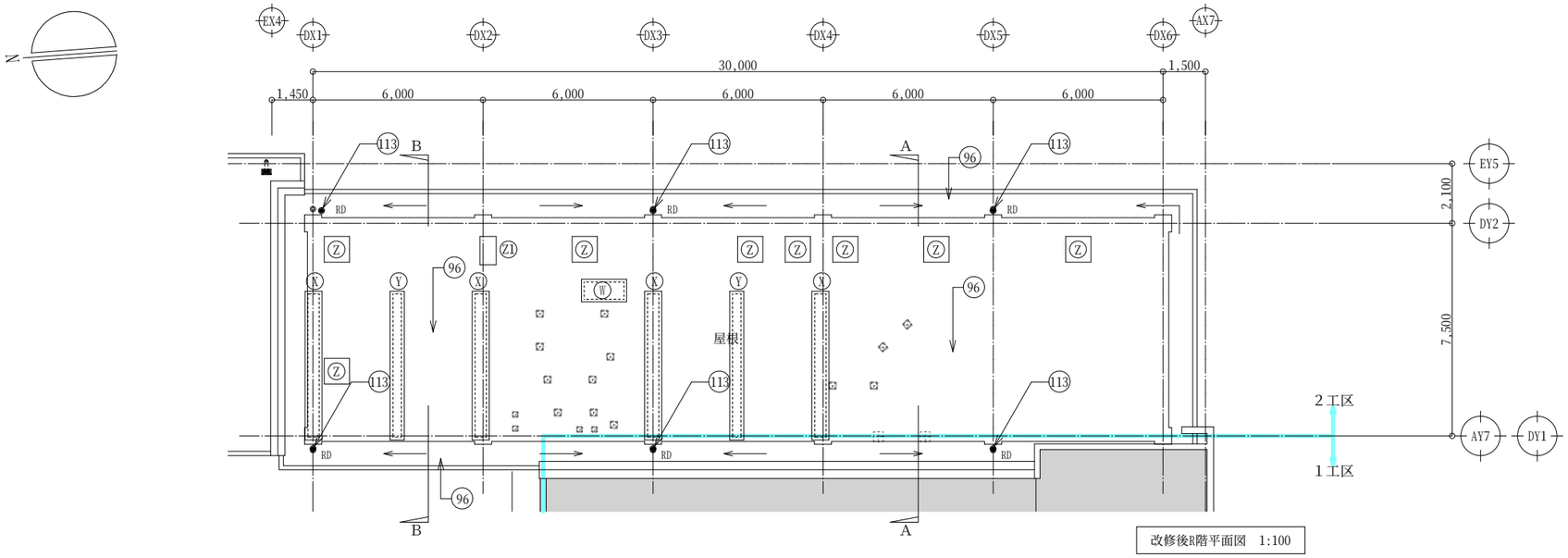
特記事項

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

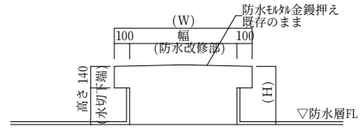
設計年月日	R7・2・
縮尺	A1 1:100 A3 1:200
工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
図面名称	(管理棟)改修後1・2階平面図
図面番号	A-54

改修後



改修後R階平面図　1:100

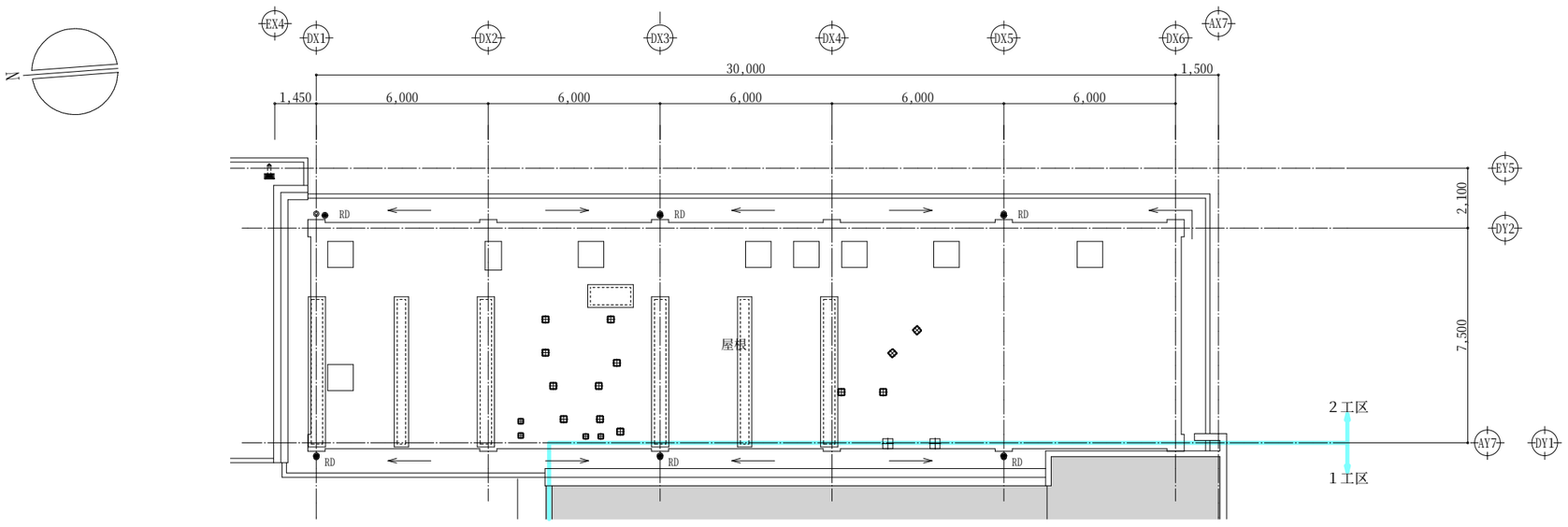
設備架台					
記号	名　称	規格・寸法(防水改修部)			数量
		幅×奥行	高さ	水切下端高さ	
W	設備架台800×1,600	600× 1,400		H=300	1
X	設備架台600×5,250	400× 5,050		H=300	4
Y	設備架台500×5,250	300× 5,050		H=300	2
Z	設備架台890×910	890× 910	H=210		8
Z1	設備架台1,400×2,800	580× 1,000	H=210		1



標準設備ｺﾝｸﾘｰﾄ架台　1:20

※　防水改修は、各防水層の立上り工法による。

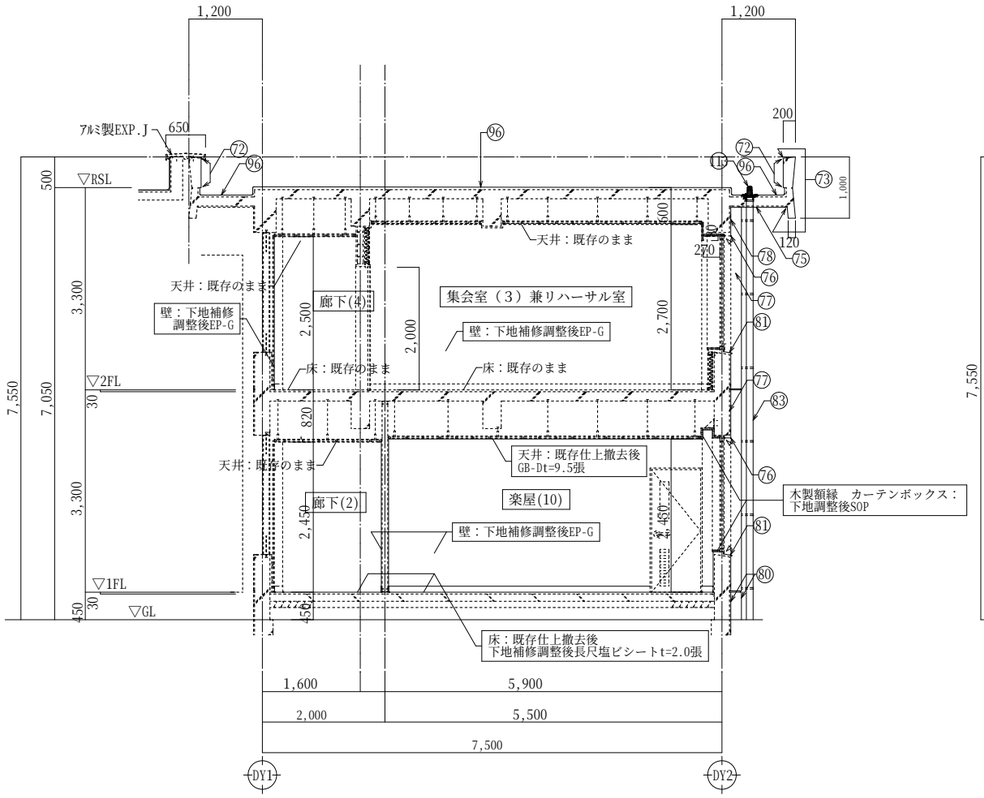
既　存



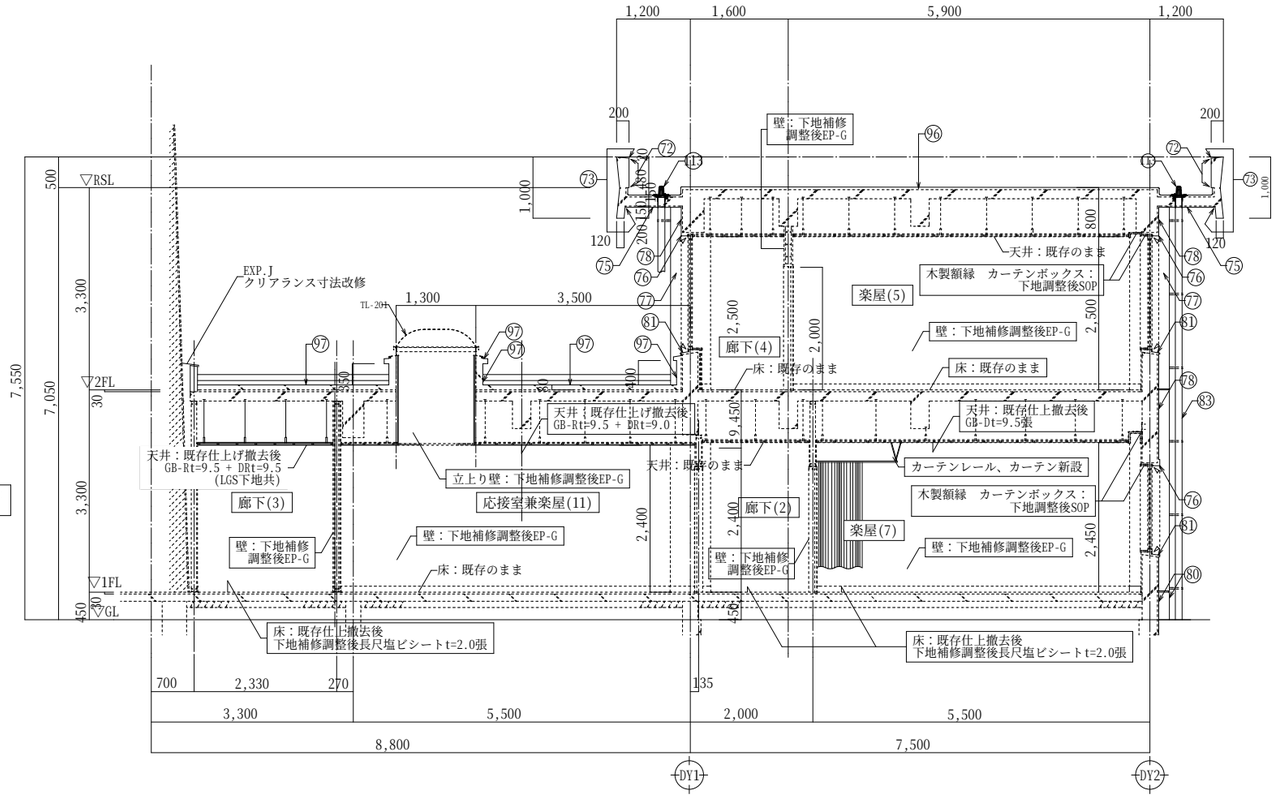
既存R階平面図　1:100

※図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-55
			縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面名称	(管理棟)既存　改修後　R階平面図	



A-A断面詳細図　1:50

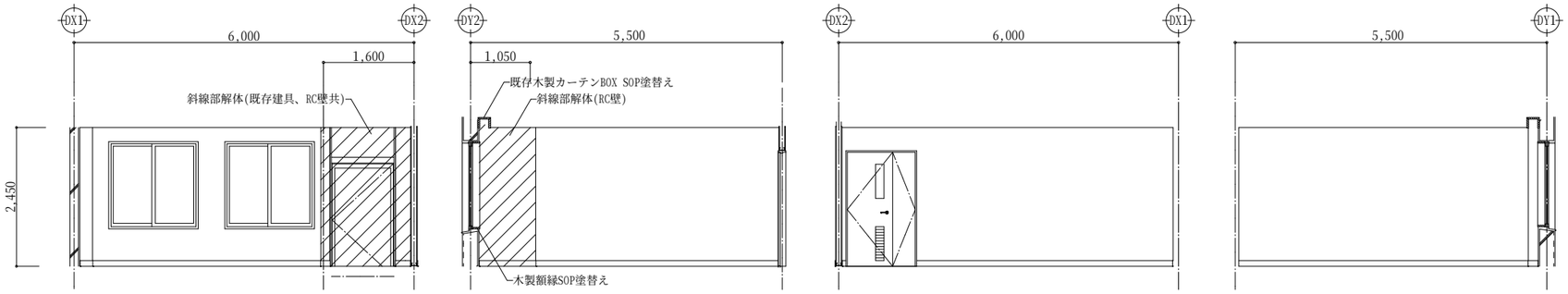


B-B断面詳細図　1:50

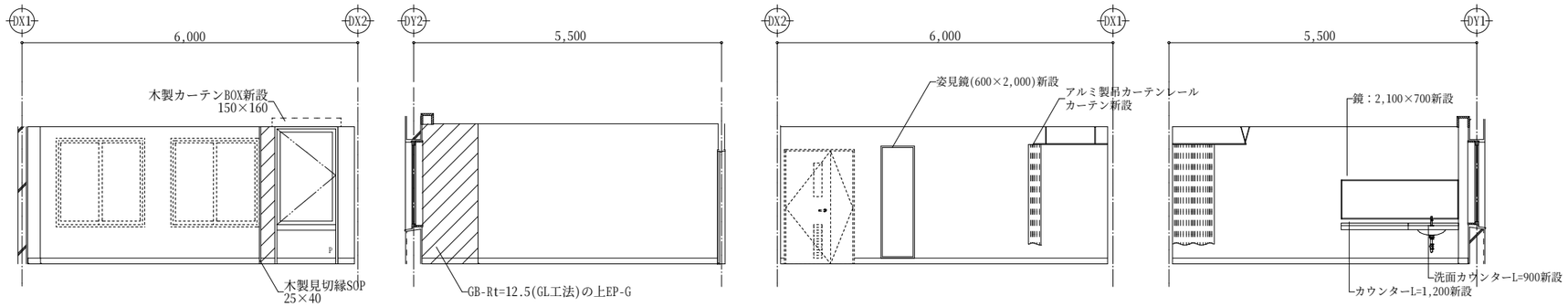
※図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

着工	・　・		堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-56
竣工	・　・							
監理					縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(管理棟)矩計図	
施工								

事務室 → 楽屋(7)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5　※撤去
	改修後	GB-Dt=9.5
備考	既存	
	改修後	洗面・化粧カウンター　鏡 カーテンレール　カーテン　新設

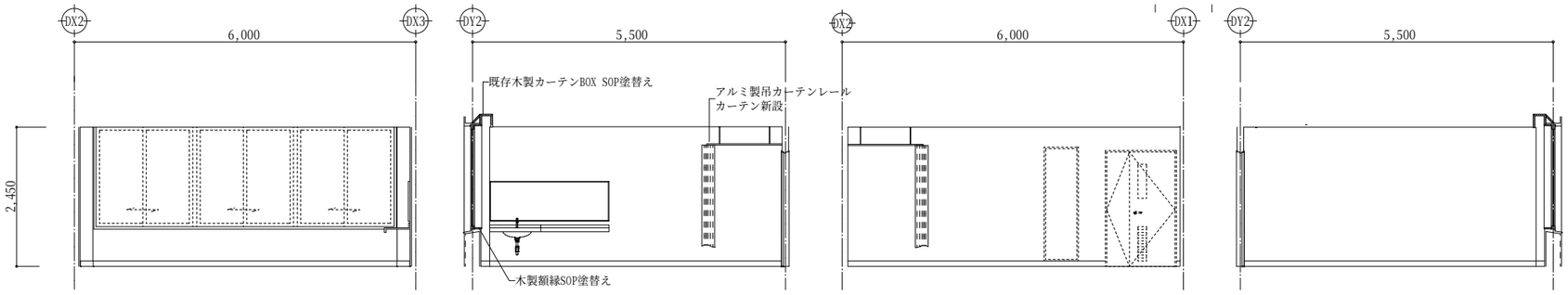


楽屋(7)　(既存)A　(既存)B　(既存)C　(既存)D



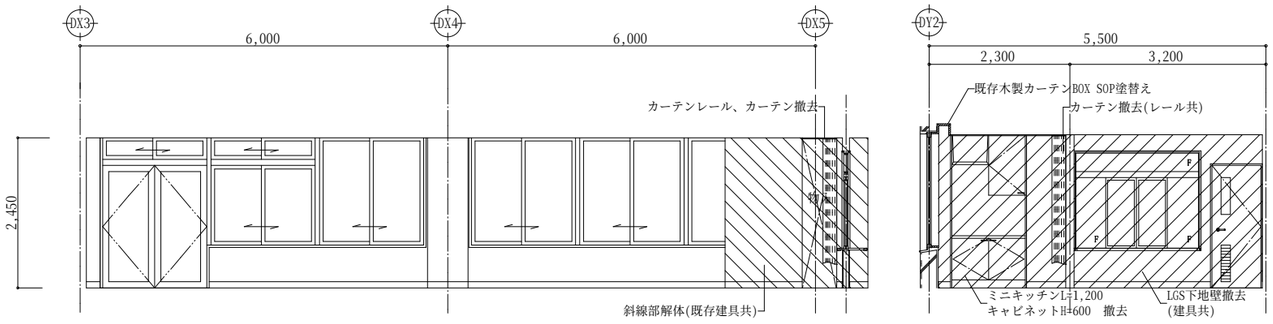
楽屋(7)　(改修後)A　(改修後)B　(改修後)C　(改修後)D

資料室 → 楽屋(8)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5　※撤去
	改修後	GB-Dt=9.5
備考	既存	
	改修後	洗面・化粧カウンター カーテンレール　カーテン　新設



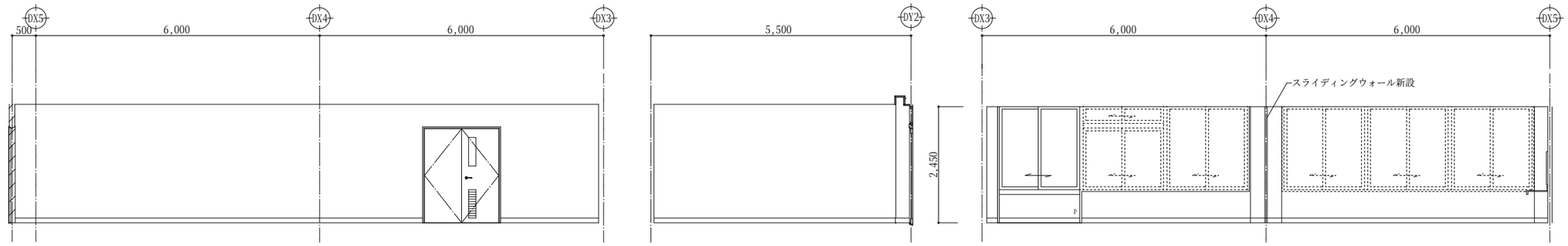
楽屋(8)　(改修後)A　(改修後)B　(改修後)C　(改修後)D

中央管理室 → 楽屋(9)(10)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5　※撤去
	改修後	GB-Dt=9.5
備考	既存	
	改修後	洗面・化粧ｶｳﾝﾀｰ 鏡 ｽﾗｲﾃﾞｨﾝｸﾞｳｫｰﾙ ｶｰﾃﾝﾚｰﾙ ｶｰﾃﾝ 新設

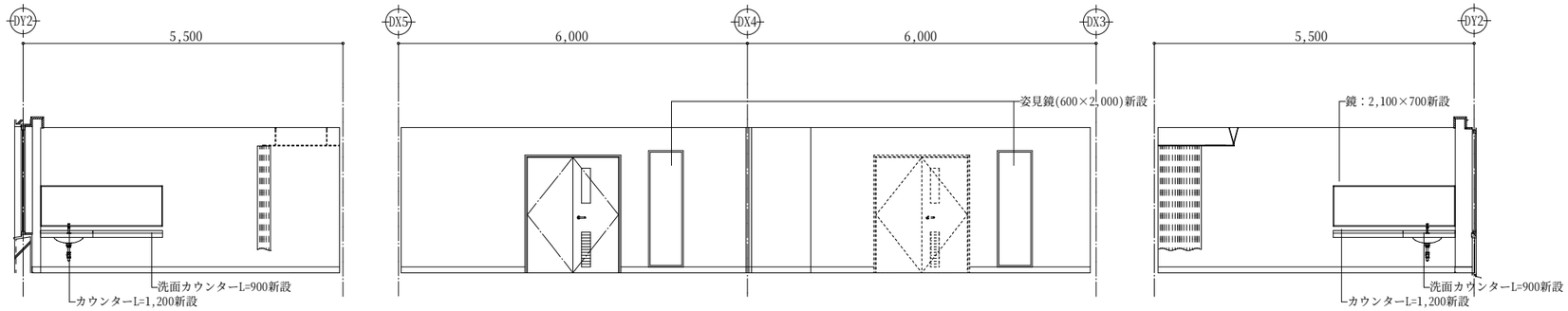


楽屋(9)(10)　(既存)A　(既存)B

着工	・　・		堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-57
竣工	・　・		一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号		縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(管理棟)展開図(1)	
監理			鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７					
施工								

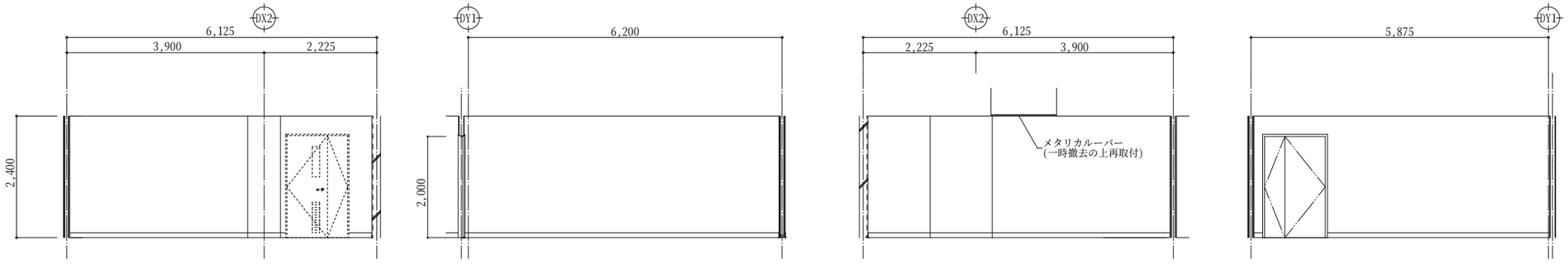


楽屋(9)(10)	(既存)C	(既存)D	(改修後)A



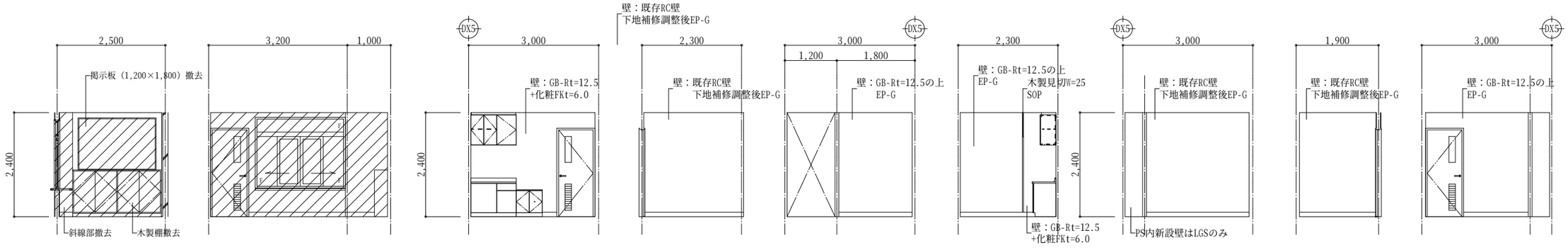
応接室 → 応接室兼楽屋(11)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-R t=9.5 + DR t=9.5　※仕上材撤去
	改修後	GB-R t=9.5 + DR t=9.0
備考	既存	
	改修後	

(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D



受付 → 給湯室,倉庫(10)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※既存壁下地補修
	改修後	EP-G塗替 新設壁：GB-Rt=12.5の上EP-G、化粧FKt=6.0
天井	既存	GB-D t=9.5　※撤去
	改修後	GB-D t=9.5
備考	既存	
	改修後	

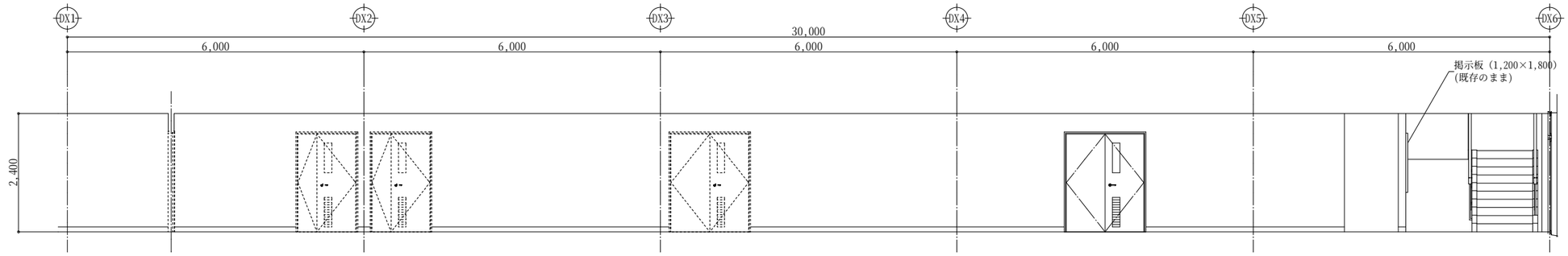
(改修後)A	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D



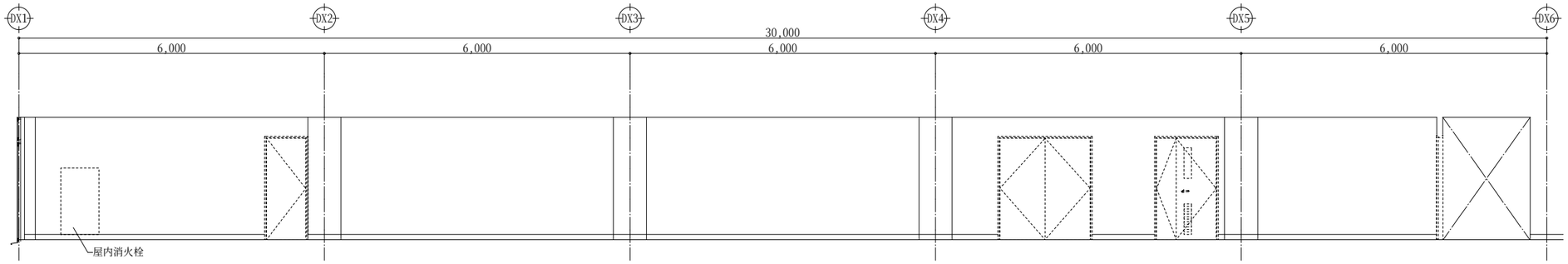
受付→給湯室	(既存受付)A	(既存受付)C	(改修後給湯室(1))A	(改修後給湯室)B	(改修後給湯室)C	(改修後給湯室)D	倉庫(10)A	倉庫(10)B	倉庫(10)C

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-58
竣工	・　・			縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(管理棟)展開図(2)	
監理							
施工							

廊下(2)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	

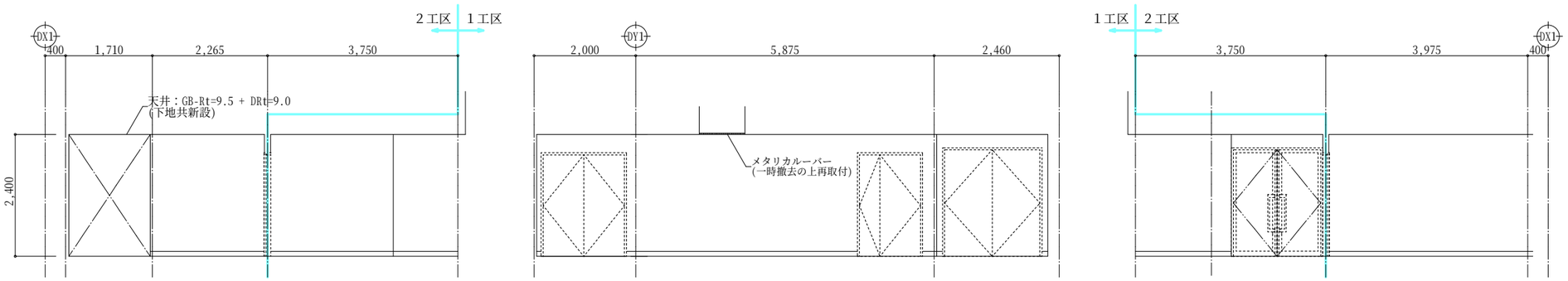


廊下(2)　(改修後)A



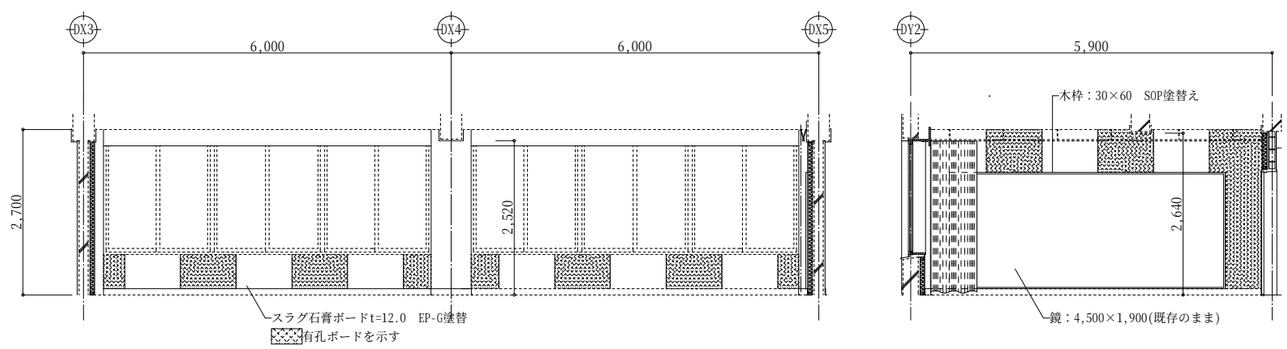
廊下(2)　(改修後)C

廊下(3)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DR t=9.5　※仕上材撤去 一部下地共撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DR t=9.0
備考	既存	
	改修後	※D面は内待合ホール工事



廊下(3)・前室(ｻｳﾝﾄﾞﾛｯｸ(1))　(改修後)A　(改修後)B　(改修後)C

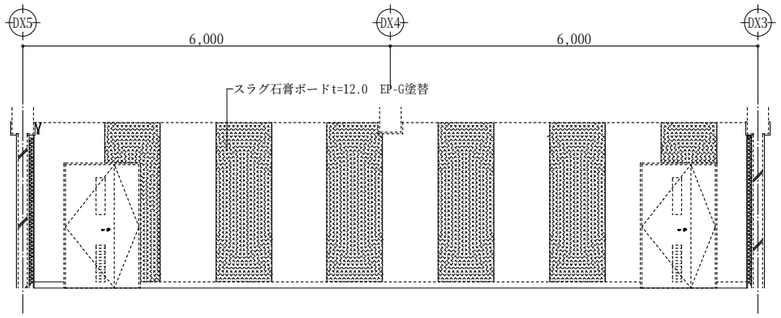
集会室(3)兼リハーサル室【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	EP塗装　※既存壁下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	

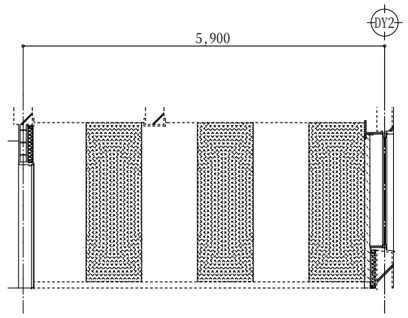


集会室(3)兼リハーサル室　(改修後)A　(改修後)B

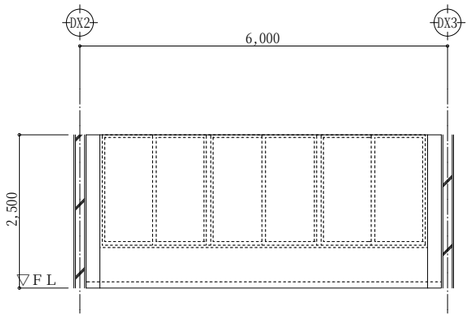
着工	・　・	堂園設計株式会社	一級建築士登録　第16063 6号
竣工	・　・	一級建築士事務所	外村　選
監理		県知事登録第1－3－164号	
施工		鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-59
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(管理棟)展開図(3)	

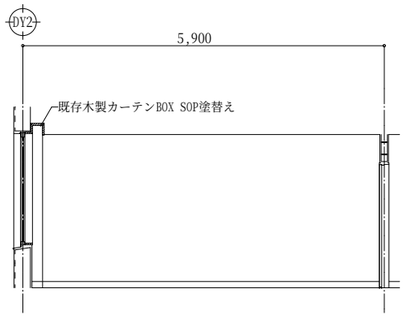


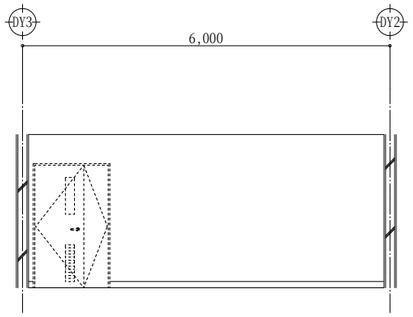


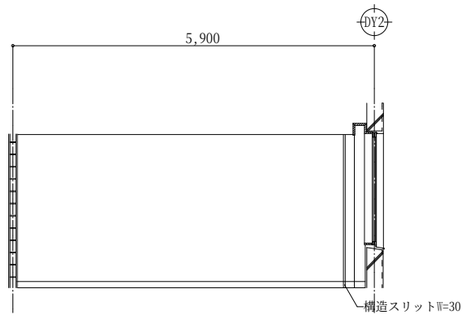
楽屋(5)(6)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	EP塗装　※既存壁下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	



集会室(3)兼リハーサル室	(改修後)C	(改修後)D	(改修後)A

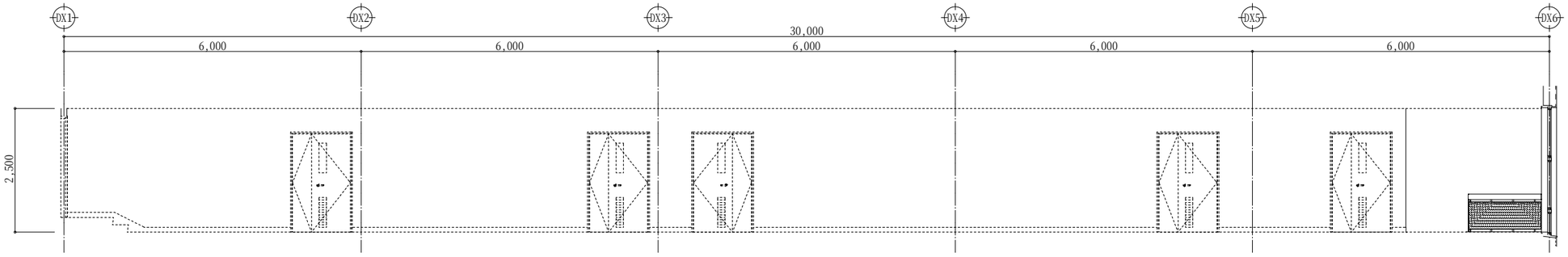




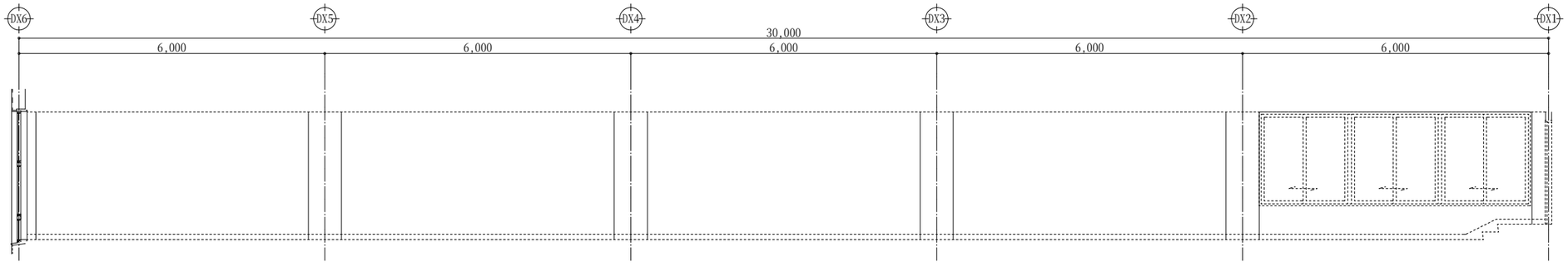


楽屋(5)(6)	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D

廊下(4)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	



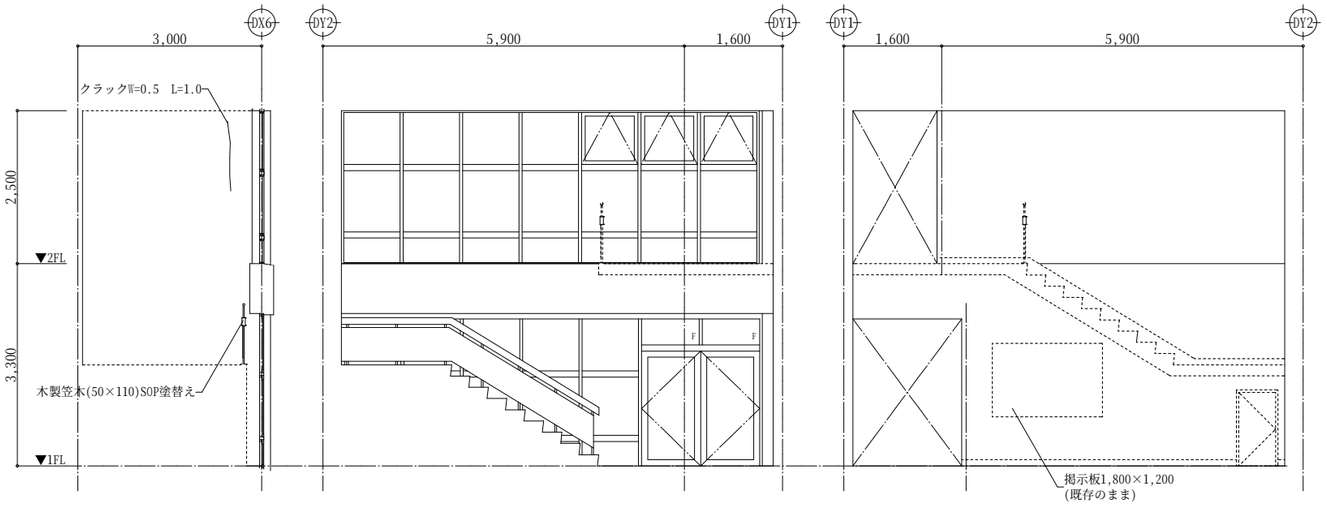
廊下(4)	(改修後)A



受付→倉庫	(改修後)C	(改修後)D

着工	・　・		堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・　・		一級建築士事務所	外村　選	R7・2・			A-60
監理			県知事登録第１－３－１６４号		縮尺	図面名称	(管理棟)展開図(4)	
施工			鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７		1：50(A1) 1：100(A3)			

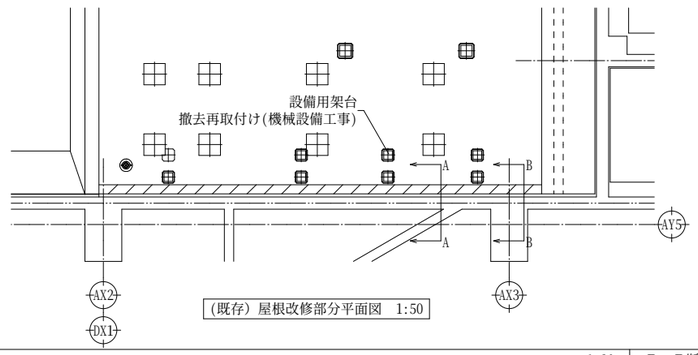
階段(8)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	



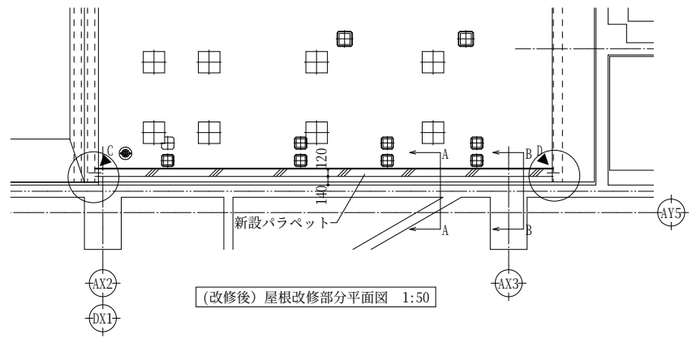
階段(8)	(改修後) A	(改修後) B	(改修後) D

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-61
竣工	・　・						
監理				縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(管理棟)展開図(5)	
施工							

屋根改修部分詳細図(EXP.Jクリアランス寸法改修) 1:50

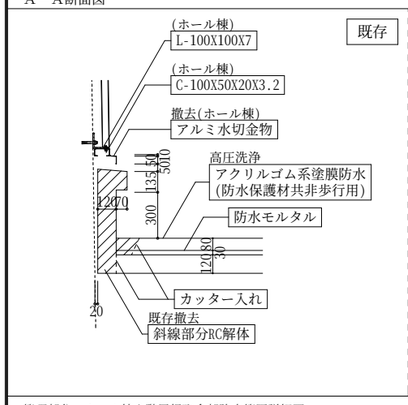


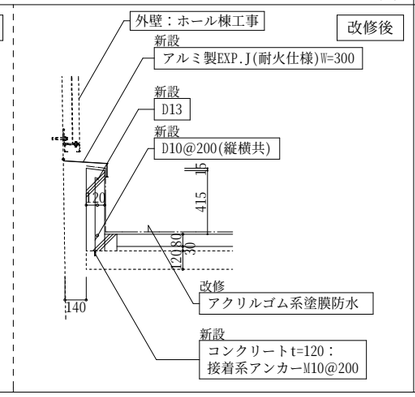
(既存) 屋根改修部分平面図 1:50



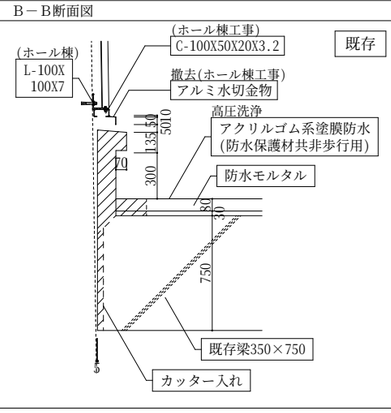
(改修後) 屋根改修部分平面図 1:50

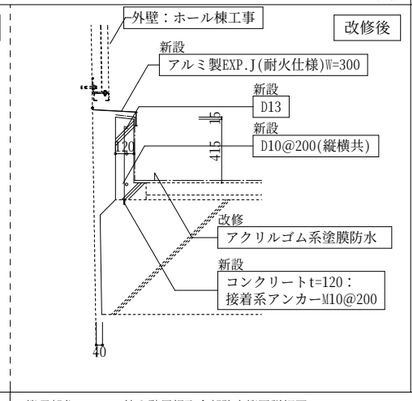
A－A断面図 1:20



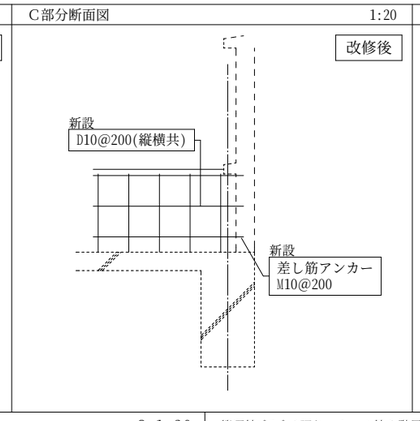


B－B断面図 1:20

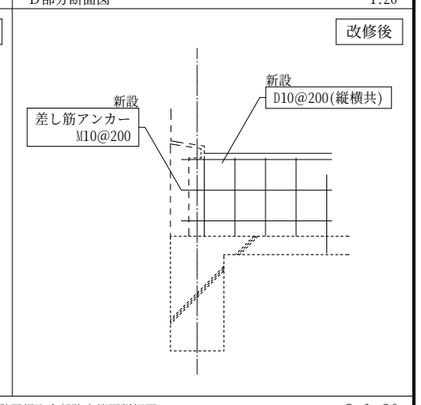




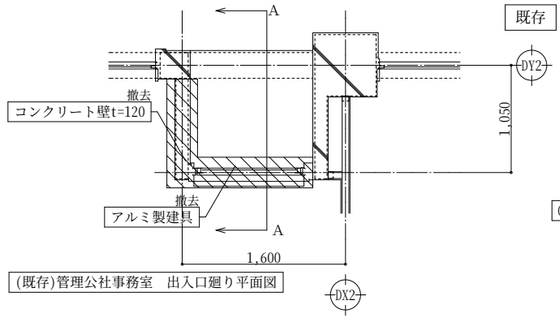
C部分断面図 1:20



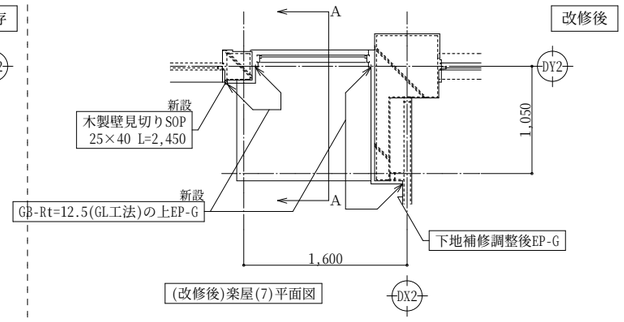
D部分断面図 1:20



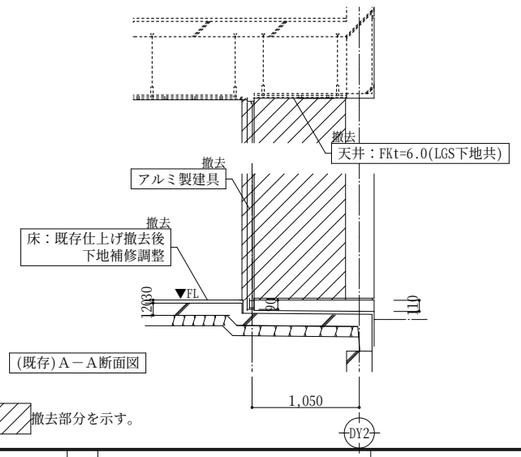
管理部分～ホール棟２階屋根取合部防水範囲詳細図 S=1:30



(既存)管理公社事務室　出入口廻り平面図

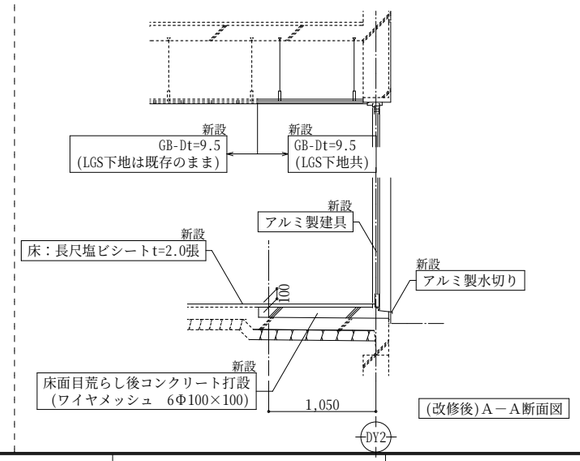


(改修後)楽屋(7)平面図



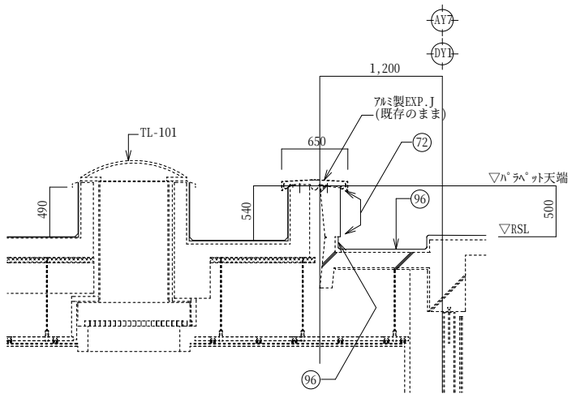
(既存)Ａ－Ａ断面図

撤去部分を示す。

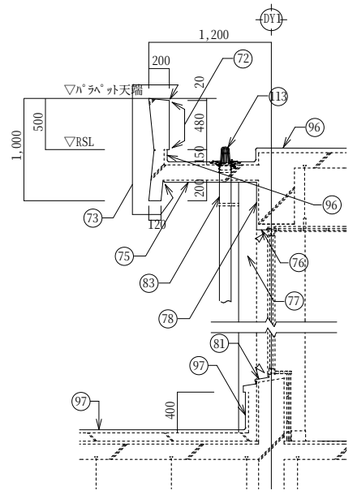


(改修後)Ａ－Ａ断面図

管理部分～ホール棟２階屋根取合部防水範囲詳細図 S=1:30

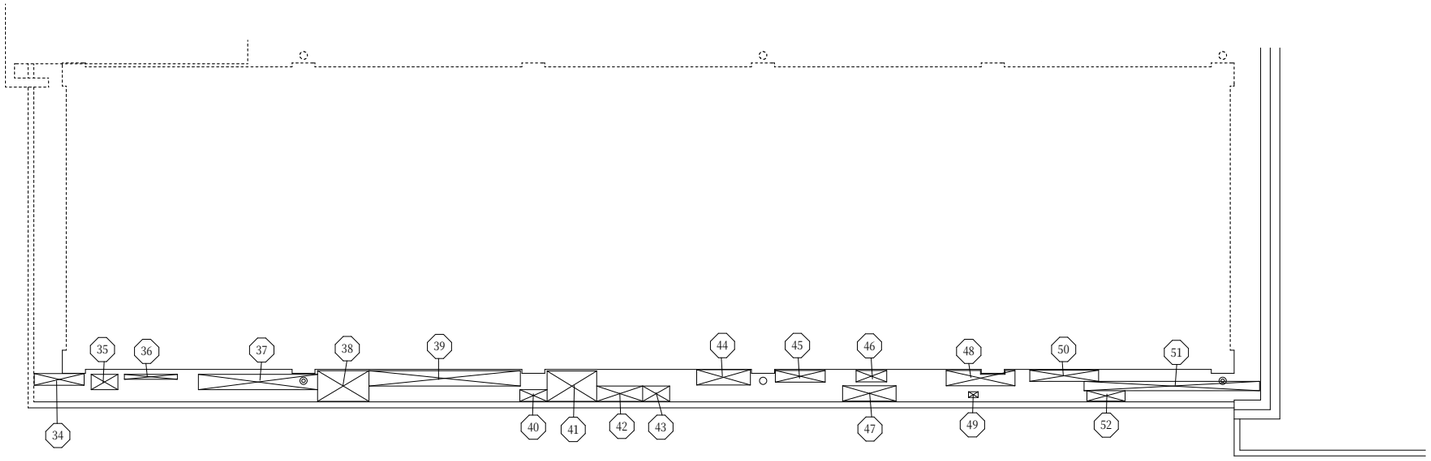


管理棟ﾊﾟﾗﾍﾟｯﾄ廻り～ホール棟１階屋根取合部防水範囲詳細図 S=1:30

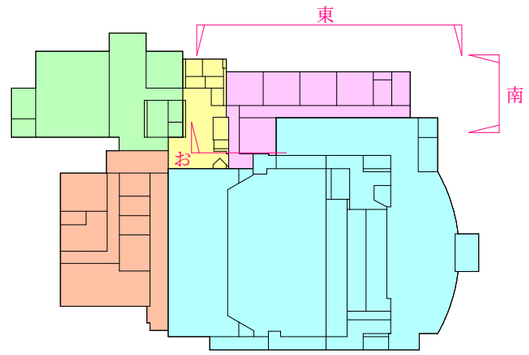


※図中 "㊀" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

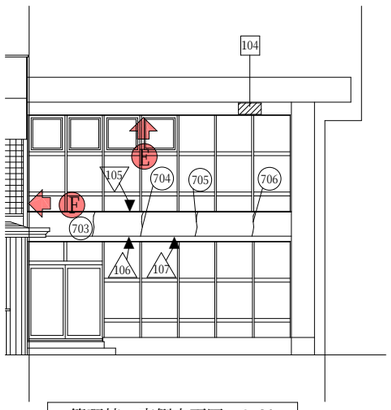
着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-62
竣工	・　・			縮尺 1:50(A1) 1:100(A3)	図面名称	(管理棟)部分詳細図	
監理							
施工							



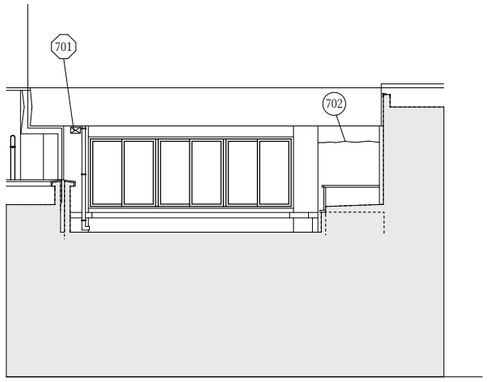
Ⓗ天井伏図　S=1/100



管理棟　東側立面図　1:80



管理棟　南側立面図　1:80



管理棟　西側立面図(お断面)　1:80

補　修　工　法　名（参考）		番号	マーク
イ－１	爆裂部改修工法：爆裂部ポリマーセメントモルタル工法（打放し面）	⊛	
イ－２	欠損部改修工法：欠損部ポリマーセメントモルタル工法（モルタル面）	⊛	
ロ	欠損部改修工法：ポリマーセメントモルタル工法（ハツリ部）	⊛	
ハ－１	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡（一般部）	⊛	
ハ－２	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡（指定部）	⊛	
ハ－３	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法　5本/m（狭幅部）	⊛	
ニ	浮き部改修工法：タイル部分	⊛	
ホ	ひび割れ部改修工法：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法０．２～１．０mm	⊛	

特記事項

堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
R7・２・				A-63
縮尺 A1 1:80 A3 1:160	図面名称	(管理棟)外壁調査図		

イ-1．爆裂部改修ポリマーセメントモルタル充填工法（打放し面）

図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	モルタルカット（m） 計算	モルタルカット（m） 計	脆弱部のはつりさらえ清掃（㎡）	鉄筋の錆落とし（㎡）	防錆材塗布（㎡）	ポリマーセメントモルタル充填（㎡）
34	天井面	0.30	1.30	0.39	（ 0.30 ＋ 1.30 ）× 2	3.20	0.39	0.39	0.39	0.39
35	天井面	0.40	0.70	0.28	（ 0.40 ＋ 0.70 ）× 2	2.20	0.28	0.28	0.28	0.28
36	天井面	0.10	1.50	0.15	（ 0.10 ＋ 1.50 ）× 2	3.20	0.15	0.15	0.15	0.15
37	天井面	0.40	3.30	1.32	（ 0.40 ＋ 3.30 ）× 2	7.40	1.32	1.32	1.32	1.32
38	天井面	0.90	1.40	1.26	（ 0.90 ＋ 1.40 ）× 2	4.60	1.26	1.26	1.26	1.26
39	天井面	0.40	3.90	1.56	（ 0.40 ＋ 3.90 ）× 2	8.60	1.56	1.56	1.56	1.56
40	天井面	0.30	0.80	0.24	（ 0.30 ＋ 0.80 ）× 2	2.20	0.24	0.24	0.24	0.24
41	天井面	0.90	1.30	1.17	（ 0.90 ＋ 1.30 ）× 2	4.40	1.17	1.17	1.17	1.17
42	天井面	0.40	1.20	0.48	（ 0.40 ＋ 1.20 ）× 2	3.20	0.48	0.48	0.48	0.48
43	天井面	0.40	0.70	0.28	（ 0.40 ＋ 0.70 ）× 2	2.20	0.28	0.28	0.28	0.28
44	天井面	0.40	1.40	0.56	（ 0.40 ＋ 1.40 ）× 2	3.60	0.56	0.56	0.56	0.56
45	天井面	0.30	1.30	0.39	（ 0.30 ＋ 1.30 ）× 2	3.20	0.39	0.39	0.39	0.39
46	天井面	0.30	0.80	0.24	（ 0.30 ＋ 0.80 ）× 2	2.20	0.24	0.24	0.24	0.24
47	天井面	0.40	1.40	0.56	（ 0.40 ＋ 1.40 ）× 2	3.60	0.56	0.56	0.56	0.56
48	天井面	0.40	1.80	0.72	（ 0.40 ＋ 1.80 ）× 2	4.40	0.72	0.72	0.72	0.72
49	天井面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 ＋ 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
50	天井面	0.40	1.80	0.72	（ 0.40 ＋ 1.80 ）× 2	4.40	0.72	0.72	0.72	0.72
51	天井面	0.50	0.30	0.15	（ 0.50 ＋ 0.30 ）× 2	1.60	0.15	0.15	0.15	0.15
52	天井面	0.40	1.00	0.40	（ 0.40 ＋ 1.00 ）× 2	2.80	0.40	0.40	0.40	0.40
701	壁面	0.20	0.20	0.04	（ 0.20 ＋ 0.20 ）× 2	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
壁面計					1ヶ所	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
天井面計					19ヶ所	67.60	10.89	10.89	10.89	10.89

ハ-1．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(一般部分)　㎡×16本

図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
7	壁面	0.40	0.40	0.16	× 16	3														
16	壁面	0.55	1.80	0.99	× 16	16														
27	壁面	0.30	0.30	0.09	× 16	2														
29	壁面	0.60	1.50	0.90	× 16	15														
153	壁面	0.25	0.25	0.07	× 16	2														
104	壁面	0.70	0.40	0.28	× 16	5														
壁面計			5ヶ所	0.21		38														
天井面計			0ヶ所	0.00		0														

ハ-2．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(指定部分)　㎡×25本

図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
24	天井面	0.07	1.10	0.08	× 25	2														
106	天井面	0.10	0.10	0.01	× 25	1														
107	天井面	0.30	0.10	0.03	× 25	1														
壁面計			0ヶ所	0.00		0														
天井面計			3ヶ所	0.12		4														

ハ-3．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(狭幅部分)　m×５本

図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(㎡)	採用値(m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(㎡)	採用値(m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	図面番号	部位	W(m)	H(m)	A(㎡)	採用値(m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
3	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1	143	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	186	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1
6	壁面	0.05	1.50	0.08	1.50	× 5	8	144	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1	187	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1
12	壁面	0.10	0.20	0.02	0.20	× 5	1	145	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1	188	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1
15	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1	148	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1	189	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1
17	壁面	0.10	1.90	0.19	1.90	× 5	10	149	壁面	0.60	0.20	0.12	0.60	× 5	3	105	壁面	6.65	0.10	0.67	6.65	× 5	34
21	壁面	0.10	0.60	0.06	0.60	× 5	3	150	壁面	1.75	0.20	0.35	1.75	× 5	9	壁面小計				5ヶ所	7.40		38
22	壁面	0.10	0.20	0.02	0.20	× 5	1	151	壁面	3.50	0.10	0.35	3.50	× 5	18	天井面小計				0ヶ所	0.00		0
23	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1	152	壁面	1.70	0.20	0.34	1.70	× 5	9								
25	壁面	0.10	0.60	0.06	0.60	× 5	3	154	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
26	壁面	0.04	2.50	0.10	2.50	× 5	13	175	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
28	壁面	0.10	1.40	0.14	1.40	× 5	7	176	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1								
30	壁面	0.10	0.30	0.03	0.30	× 5	2	177	壁面	5.40	0.10	0.54	5.40	× 5	27								
31	壁面	0.06	1.50	0.09	1.50	× 5	8	178	壁面	1.30	0.15	0.20	1.30	× 5	7								
32	壁面	0.10	0.30	0.03	0.30	× 5	2	179	壁面	0.40	0.15	0.06	0.40	× 5	2								
33	壁面	0.20	0.60	0.12	0.60	× 5	3	180	壁面	0.85	0.10	0.09	0.85	× 5	5								
138	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	181	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1								
139	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	182	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
140	壁面	0.50	0.10	0.05	0.50	× 5	3	183	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1								
141	壁面	2.15	0.10	0.22	2.15	× 5	11	184	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1								
142	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	185	壁面	0.15	0.50	0.08	0.50	× 5	3								
壁面小計				20ヶ所	15.15		81	壁面小計				20ヶ所	17.70		94	壁面計				45ヶ所	40.25		213
天井面小計				0ヶ所	0.00		0	天井面小計				0ヶ所	0.00		0	天井面計				0ヶ所	0.00		0

ホ．自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法

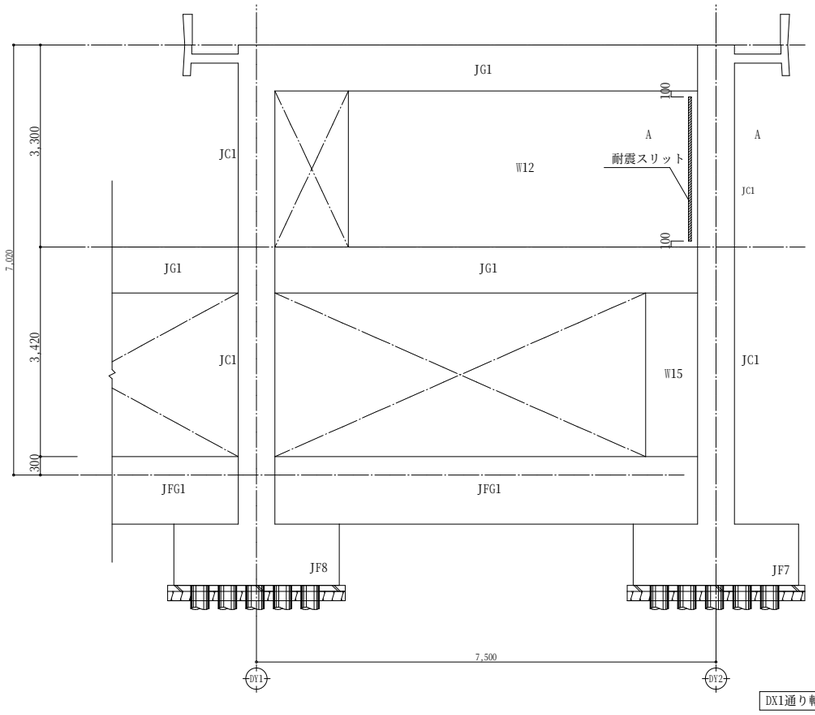
図面番号	部位	長さ（m）	図面番号	部位	長さ（m）	図面番号	部位	長さ（m）
1	壁面	0.50	18	壁面	0.55	702	壁面	1.70
2	壁面	1.10	19	壁面	0.55	703	壁面	0.75
4	壁面	1.10	20	壁面	0.55	704	壁面	0.75
5	壁面	0.30	146	壁面	0.55	705	壁面	0.75
8	壁面	2.10	147	壁面	0.55	706	壁面	0.75
9	壁面	0.55						
10	壁面	0.55						
11	壁面	0.40						
13	壁面	0.55						
14	壁面	0.40						
壁面計					20ヶ所			15.00
天井面計					0ヶ所			0.00

特記事項

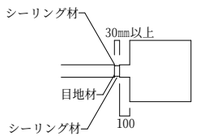
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	工事名称	図面番号
R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	A-64
縮尺 NO.SCALE	図面名称 (管理棟)外壁調査数量表	

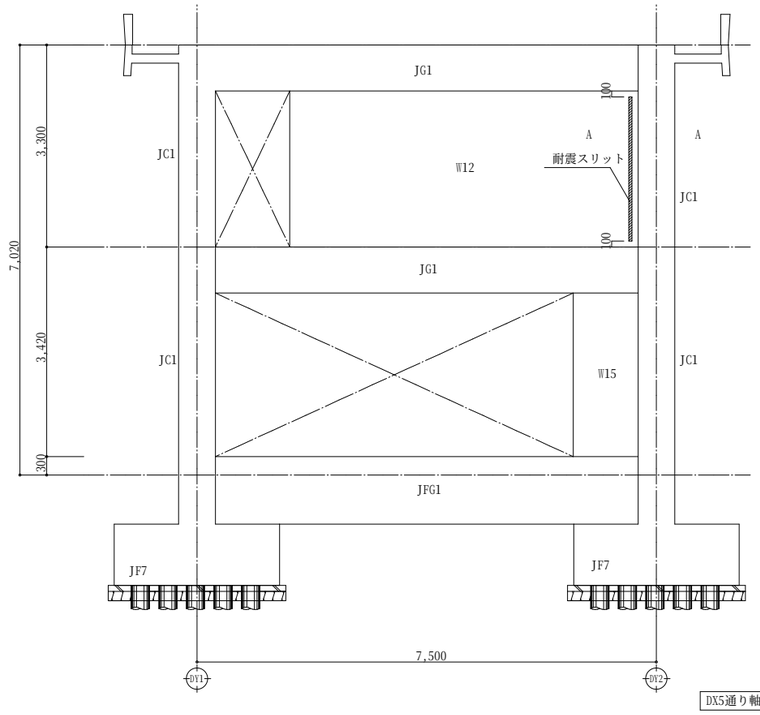
耐震スリット詳細図　　1:30　1:50



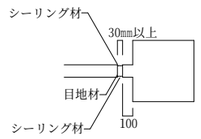
DX1通り軸組図　1:50



A-A断面　耐震スリット詳細図　1:30



DX5通り軸組図　1:50



A-A断面　耐震スリット詳細図　1:30

着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-65
竣工	・　・			縮尺 1：30,50(A1) 1：60,100(A3)	図面名称	(管理棟)耐震スリット詳細図	
監理							
施工							

■外部仕上表

※表中 "(00)" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

部位	仕様 既存	仕様 改修後	部位	仕様 既存	仕様 改修後
巾木	コンクリート打放し (59)	セメント系塗材(ノロ)浮き部除去、高圧洗浄後 下地調整塗材C-2及び無機可とう形塗材(シーラー共)仕上	軒先	防水モルタル金こて押えの上アクリル系リシン吹付 (43)	下地調整、高圧洗浄後可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上
外壁 柱	コンクリート打放しの上複層仕上塗材 (49) (50) タイル張	下地調整、高圧洗浄後可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上 既存仕上げ撤去後、下地補修調整後ボーダータイル張	樋	カラー塩ビパイプΦ100　掴み金物スチール製 (62)	ケレンの上DP塗装(シリコン)　掴み金物ステンレス製へ取替
軒裏	フレキシブルボード(アスベス含有)t=4.0　VP塗装 (44)	既存仕上げ撤去後FKt=10の上水系1液型反応硬化形艶消し塗料仕上	R D	縦引き型ドレイン鋳鉄製Φ75 (107)	縦引き型ドレイン鉛製ドレインキャップ(アルミ製)共
屋根	防水モルタル下地t=40の上アスファルトシングル葺(アスベスト含有) (40)	既存仕上げ材撤去後下地補修調整、2成分反応型アクリルゴム屋根塗膜防水工法 ※アスベスト除去工事の際の外部仕設足場高さは、棟高さ以上とする			
屋根 飾り部	プレキャストコンクリートの上APエナメル (41)	素地調整(RB種)、高圧洗浄後可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上)さざ波ローラー仕上 漏水箇所シーリング処理(屋根取合い部)			

■(共同利用施設)内部仕上表(上段:仕上材・下段:下地材)

階	室名 既存	室名 改修後	内装制限 排煙方式 免除根拠	床 既存	床 改修後	巾木 既存	巾木 改修後	壁 既存	壁 改修後	天井 既存	天井 改修後	天井高 既存	天井高 改修後	備考	室名
1	玄関	玄関	(準) 自然 —	150角タイル貼 モルタル	150角磁器質タイル 既存仕上げ撤去後下地調整	150角磁器質ﾀｲﾙ 框:御影石	—	150角磁器質タイル貼	二丁掛タイル 既存仕上げ撤去後下地調整	GB-Rt=9.0 + 無機質繊維成形板t=12.0 LGS	仕上撤去後GR-Rt=9.5 + DRt=9.0 撤去後 LGS下地新設	3,000	2,800	ピクチャーレール	玄関
	玄関ホール	展示ホール	(準) 自然 — 	長尺塩ビシートt=2.0 モルタル	複層ビニル床タイルt=3.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 木製巾木SOP H=100	EP モルタル + ゾラコート(アスベスト含有)	既存壁：GB-Rt=12.5の上硬質塩ﾋﾞﾀｯｸｼｰﾄ張 新設LGS壁：GB-Rt=12.5の上硬質塩ﾋﾞﾀｯｸｼｰﾄ張 CX3通りLGS壁：GB-Rt=12.5+12.5の上硬質塩ﾋﾞﾀｯｸｼｰﾄ張 既存壁：既存RC+LGS 新設壁：LGS CX3通り新設壁：LGS(GWt=50(24kg/m³)充填)	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GR-Rt=9.5 + DRt=9.0 撤去後 LGS下地新設	2,550	2,800	ピクチャーレール 天井点検口 視覚障碍者用ブロック ※アスベスト(レベル3)処理	玄関ホール
	配膳室	事務室	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	VP、100角タイル RC	既存壁：GB-Rt=12.5(GL工法)+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 新設壁：GB-Rt=12.5+ﾋﾞﾆﾙｸﾛｽ張 既存壁：RC既存のまま(下地調整) 新設壁：LGS	VP LGS + ﾌﾚｷｼﾌﾞﾙﾎﾞｰﾄﾞt=4.0 (ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)	仕上撤去後GB-D(T)t=9.5 撤去後 LGS下地新設	2,540	2,540	天井点検口	事務室
	集会室(1)兼 ﾘﾊｰｻﾙ室	ﾘﾊｰｻﾙ室 兼 楽屋(4)	(難) 自然 —	タタミ敷き ネダホーム	長尺塩ビシートt=2.0張 (置きタタミ24帖)	タタミ寄せ 桟(30×45)	既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	ジュラクサテン吹付,ビニルクロス張 LGS部:GB-Rt=12.5+9.5継目処理	EP-G	GB-Dt=9.5 LGS	仕上撤去後GR-Rt=9.5 + DRt=9.0	2,980	2,900	移動間仕切り　置畳(24帖)　置畳用押え縁 姿見鏡　洗面カウンター　化粧カウンター	ﾘﾊｰｻﾙ室 兼 楽屋(4)
	物入 押入		 	ラワン合板t=5.5 ネダホーム		ラワンt=15 OP H=90		GB-Rt=12.5の上EP LGS部:GB-Rt=9.5継目処理		GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS				カーテンレール　カーテン ピクチャーレール　コーナー保護材	
	床の間 棚		 	フローリング張 ネダホーム		桟(30×45)		ジュラクサテン吹付 LGS部:GB-Rt=9.5継目処理	一部RC壁LGS壁撤去後 ・LGS65(GWt=50(24kg/m³))+GB-R-Ht=9.5+GB-Ft=21(A-2000WI仕様) ・腰壁：LGS65(GWt=50(32kg/m³))+FKt=12.0 ・上部：LGS65(GWt=50(32kg/m³))+有孔ボードt=12.0 ※有孔ボードは開口率20%8Φ-16P	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	撤去後 LGS下地新設			天井点検口	
	ﾌｨｯﾃｨﾝｸﾞﾙｰﾑ (M)(W)		 	長尺塩ビシートt=2.0 ネダホーム	既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100		RC部：GB-Rt=12.5+FKt=6.0の上複層仕上塗材 LGS部：GB-Rt=12.5+9.5の上EP RC　LGS		GB-Dt=9.5 LGS					
	楽屋(4)		 	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート		ラワンt=15 OP H=90		RC部：EP　LGS部：EP RC部:ﾗﾜﾝ合板t=5.5の上ｿﾞﾗｺｰﾄ吹付(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) LGS部:GB-Rt=12.5+9.5の上EP		GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS					
	前室		 	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート		ラワンt=15 OP H=90		RC部：FKt=6.0の上複層仕上塗材 LGS部：GB-Rt=12.5+9.5の上EP RC　LGS		GB-Dt=9.5 LGS		2,400		※アスベスト(レベル3)処理	
	集会室(1) 兼 ﾘﾊｰｻﾙ室	前室(3)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	ジュラクサテン吹付 C面のみビニルクロス張	EP-G LGS + GWt=50(24kg/m³)+GB-R-Ht=9.5+GB-Ft=21(両面)	GB-Dt=9.5	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 撤去後 LGS下地新設	—	2,500		前室(3)
		収納 (1)(2)	(不) 免除 告へ(2)	コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整		既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	LGS部:GB-Rt=9.5+12.5継目処理	EP-G LGS + GB-Rt=12.5	LGS	仕上撤去後GB-D(T)t=9.5 撤去後 LGS下地新設		2,400	収納(1)枕棚	収納 (1)(2)
	楽屋(4)	前室(4)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	RC部：EP　LGS部：EP	EP-G LGS + GWt=50(24kg/m³)+GB-R-Ht=9.5+GB-Ft=21(両面)	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5　底目地	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 撤去後 LGS下地新設	—	2,500		前室(4)
		収納(3)	(不) 免除 告へ(2)	コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整		既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	RC部:ﾗﾜﾝ合板t=5.5の上ｿﾞﾗｺｰﾄ吹付(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有) LGS部:GB-Rt=12.5+9.5の上EP	EP-G LGS + GB-Rt=12.5	LGS	仕上撤去後GB-D(T)t=9.5 撤去後 LGS下地新設	—	2,400	掃除具掛け　枕棚 ※アスベスト(レベル3)処理	収納(3)
	脱衣室 (M)(W)	倉庫(8) 給湯室(2)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	FKRt=6.0の上EP GB-Rt=12.5	EP-G 既存壁部分：UB、在上撤去後下地補修調整 新設LGS部分：GB-Rt=12.5	GB-D(T)t=9.5 LGS	仕上撤去後GB-D(T)t=9.5	2,600	2,400	流し台L=1,050　コンロ台L=600 吊戸棚	倉庫(8) 給湯室
	洗濯 コーナー		 	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100		FKRt=6.0の上EP GB-Rt=12.5		GB-D(T)t=9.5 LGS	撤去後 LGS下地新設	2,600		洗濯機パン 天井点検口	
	倉庫(5)	倉庫(5)	(不) 免除 告へ(2)	- モルタル	既存のまま	モルタル	既存のまま	合成型枠打放しの上EP -	既存のまま	合成型枠打放しの上EP -	既存のまま	3,380	3,380		倉庫(5)
	倉庫(6)	倉庫(6)	(不) 免除 告へ(2)	- モルタル	既存のまま	モルタル	既存のまま	合成型枠打放しの上EP -	既存のまま	合成型枠打放しの上EP -	既存のまま	3,380	3,380	煙突上部を撤去	倉庫(6)

特記事項
※1階 展示ホール 及 び 2階 集会室(2)前ホール　計2ヶ所は施工前にアスベスト定常分析を行うこと。
※屋根面　アスベストシングル葺きは施工前にアスベスト定常分析を行うこと。
※倉庫(6)　壁面　天井面は施工前にアスベスト定常分析を行うこと。

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ(代)０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
縮尺	NO.SCALE	図面名称	(共同利用施設)仕上表(1)
図面番号	A-66		

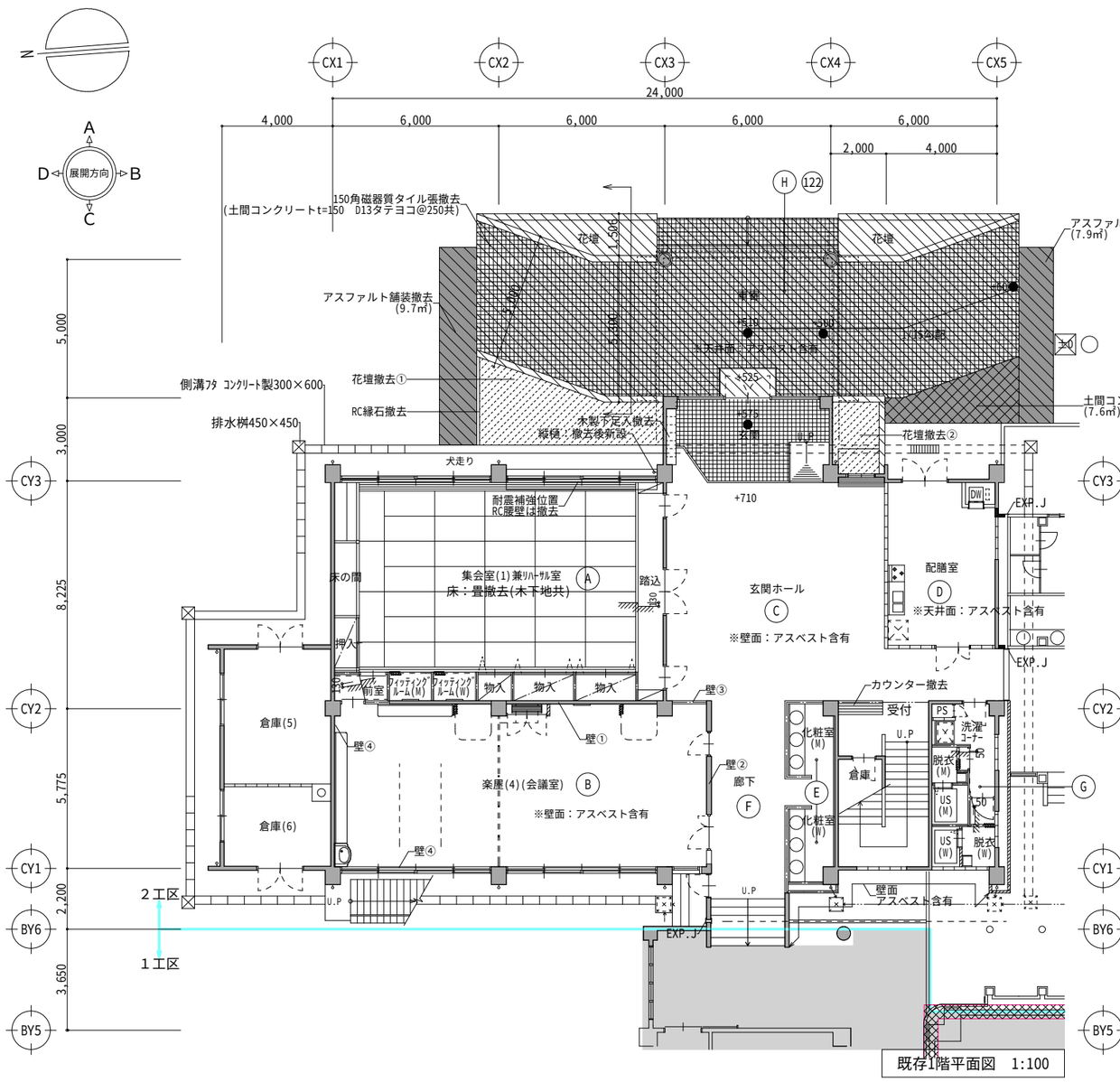
■(共同利用施設)内部仕上表(上段:仕上材・下段:下地材)

階	室名 既存	室名 改修後	内装制限 排煙方式 免除根拠	床 既存	床 改修後	巾木 既存	巾木 改修後	壁 既存	壁 改修後	天井 既存	天井 改修後	天井高 既存	天井高 改修後	備考	
	廊下	廊下(6)	(準) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 モルタル	長尺塩ビシートt=2.0張	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 ﾋﾞﾆﾙ巾木 H=100	吹付タイル,EP LGS部:GB-Rt=9.5継目処理	既存壁:GB-Rt=12.5(GL工法)の上 ﾀﾞｲﾉｯｸｼｰﾄ張 新設LGS壁:GB-Rt=12.5の上ﾀﾞｲﾉｯｸｼｰﾄ張	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0	2,560	2,560	ピクチャーレール スロープ新設	廊下(6)
	化粧室			長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100		FKt=6.0 の上EP LGS+GB-Rt=12.5	既存壁部分:仕上撤去後下地補修調整 新設壁部分:LGS	GB-Dt=9.5 LGS	撤去後 LGS下地新設				
2	ホール	集会室(2) 前 ホール	(準) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ラワンt=15 OP H=90	既存のまま	EP LGS部:GB-Rt=9.5継目処理 モルタル+ゾラコート(アスベスト含有)	下地補修後EP-G LGS部:既存のまま モルタル部:ゾラコート撤去	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 既存のまま	2,540	2,540	天井点検口	集会室(2) 前 ホール
	厨房	控え室	(難) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 ビニル巾木H=100	EP LGS部:GB-Rt=12.5 一部モルタル	EP-G 下地補修調整	GB-Dt=9.5 LGS	撤去後GB-Dt=9.5 撤去後 LGS下地新設	2,540	2,540	DW撤去	控え室
	倉庫(7)	倉庫(7)	— 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	EP LGS部:GB-Rt=12.5捨張 + FKt=6.0	既存のまま 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,550	2,550		倉庫(7)
	集会室(2)	集会室(2)	(難) 自然 —	Pタイル コンクリート	複層ビニル床タイルt=3.0 既存仕上げ撤去後下地調整	ラワンt=15 OP H=90	既存撤去後 ビニル巾木H=100	ゾラコート吹付 A,C面B(CY2～CY3)面:RC+ラワン合板t=5.5 B(CY1～CY2)面D面:LGS+ラワン合板t=5.5	ゾラコート撤去後下地調整補修の上EP-G 既存のまま	穿孔石膏ボード, ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP 無機質繊維成形板t=9.0 リブ 木格子:栂45×90@455(タテヨコ) LGS	撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 木格子は全て撤去 既存のまま	3,400	3,400	天井点検口	集会室(2)
	ステージ(2)	ステージ(2)	(難) 自然 —	化粧合板t=8.0 木下地	既存のまま	ラワンt=15 OP H=90	既存のまま	A,C面:塗装 D面:ビニルクロス張 A,C面:LGS+ラワン合板+ゾラコート D面:モルタル+ラワン合板+ゾラコート	A,C面:既存のまま D面:下地補修調整後ビニルクロス張 A,C面:既存のまま D面:ゾラコート+ビニルクロスのみ撤去	木小巾板t=12.0敷目張(米ヒバ) LGS	既存のまま 既存のまま	2,675 ～ 3,340	2,675 ～ 3,340		ステージ(2)
	控室(1)(2)	控室(1)(2)	(難) 自然 —	化粧合板t=8.0 木下地	既存のまま	ラワンt=15 OP H=90	既存のまま	穿孔ラワン合板t=5.5 目透しOP t=25 無機質繊維吸音材入	既存のまま	穿孔石膏ボード, ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP LGS	既存のまま	2,240	2,240		控室(1)(2)
	階段(9)	階段(9)	(不) 自然 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	モルタル OP	既存のまま	EP モルタル+ゾラコート(アスベスト含有)	下地補修調整後EP-G ゾラコート撤去	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0 既存のまま			塩ビ製手摺34φ(ｱﾙﾐ芯材) 視覚障碍者用ブロック	階段(9)

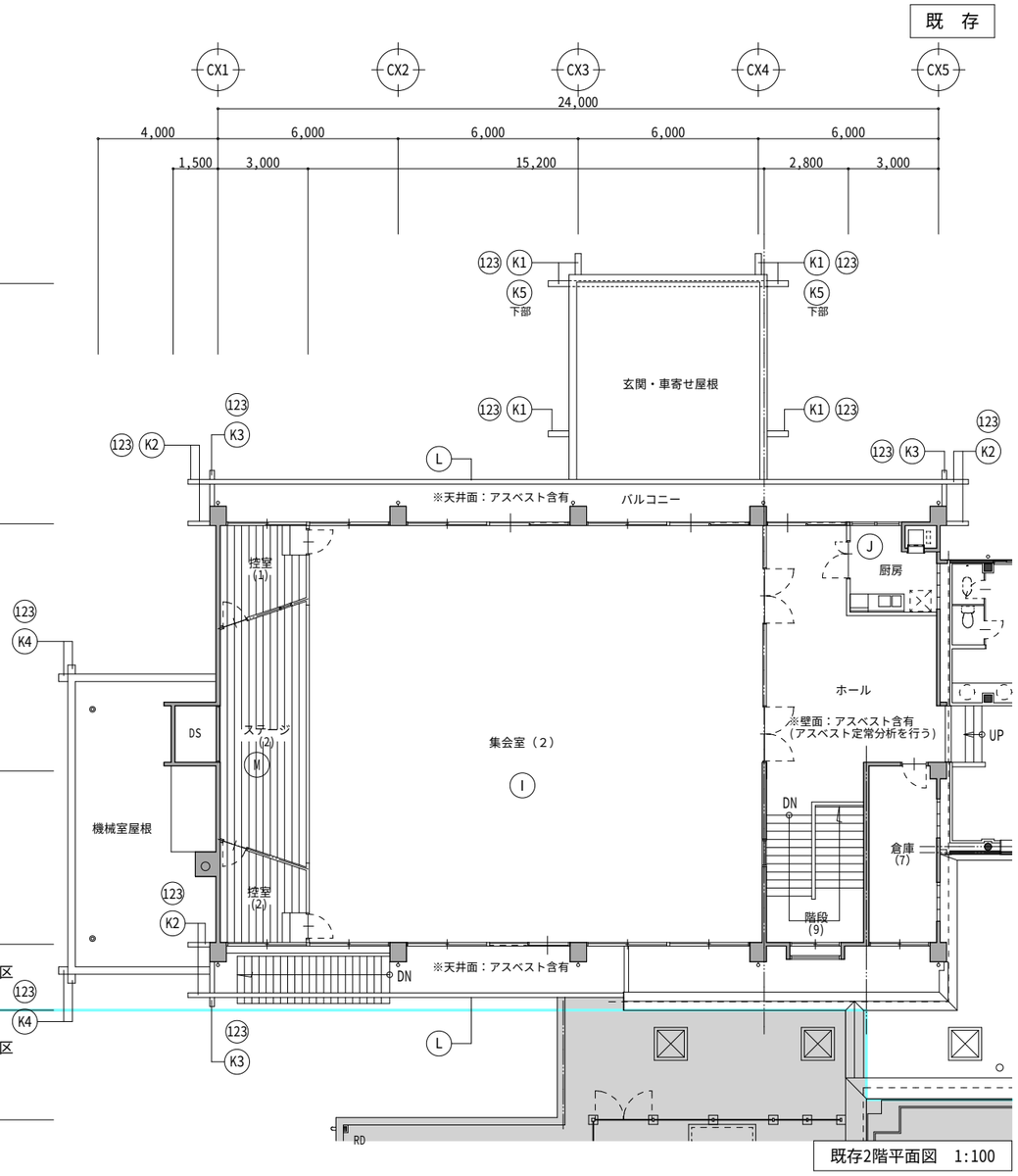
特記事項

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第1-3-164号
鹿児島市真砂本町21番7号　TEL(代)099-257-1177
一級建築士登録　第160636号　外村　選

設計年月日	工事名称	図面番号
R7・2・	R7霧島市民会館大規模改修工事(建築2工区)　設計図	A-67
縮尺 NO.SCALE	図面名称 (共同利用施設)仕上表(2)	



既存1階平面図 1:100

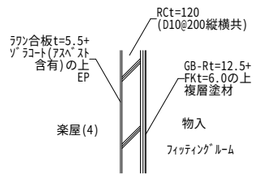


既存2階平面図 1:100

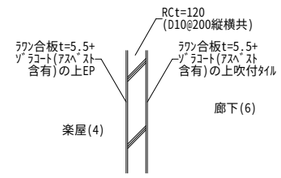
	撤去内容		撤去内容
Ⓐ	内装、家具等は全て撤去。 耐震補強のため、外壁を一部撤去。	Ⓚ	RC飾りを撤去。 K1：290×800 L=800 6ヶ所　K2：290×650 L=700 6ヶ所 K3：290×650 L=300 3ヶ所　K4：200×900 L=300 4ヶ所 K5：240×400 L=400 2ヶ所
Ⓑ	内装、家具等は全て撤去。		
Ⓒ	内装は全て撤去。		
Ⓓ	CB壁、内装、設備機器、ダムウェーターを全て撤去。	Ⓛ	既存アルミ製手摺りを撤去。
Ⓔ	壁、内装、設備機器等は全て撤去。	Ⓜ	正面壁仕上げ撤去。
Ⓕ	内装は全て撤去。階段の一部を撤去。	Ⓝ	プレキャスト飾り撤去。300×250 L=1,750 4ヶ所
Ⓖ	壁、内装、家具、ユニットバス等は全て撤去。	Ⓞ	(施工前にアスベスト定性分析を行うこと。) 煙突撤去(カポスタック(アスベスト含有)撤去
Ⓗ	スロープ、花壇等は全て撤去。	Ⓟ	(施工前にアスベスト定性分析を行うこと。) アスファルトシングル葺き を撤去
Ⓘ	天井格子を撤去。		アスファルト撤去(15.8㎡)
Ⓙ	内装、ダムウェーター(かご内500×500程度)を全て撤去。		土間コンクリートt=120撤去(7.6㎡)

凡 例	
	LGS65壁
	CB壁
	RC壁
	防火区画
	花壇撤去① (RC縁石W=100 L=3,200 つつじH=700)(13.9㎡)
	花壇撤去②(つつじH=700 3.0㎡) RC製 機械基礎撤去 1,450×900 H=300

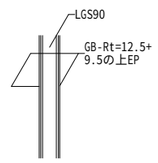
壁①



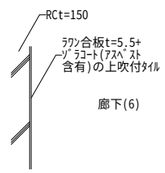
壁②



壁③



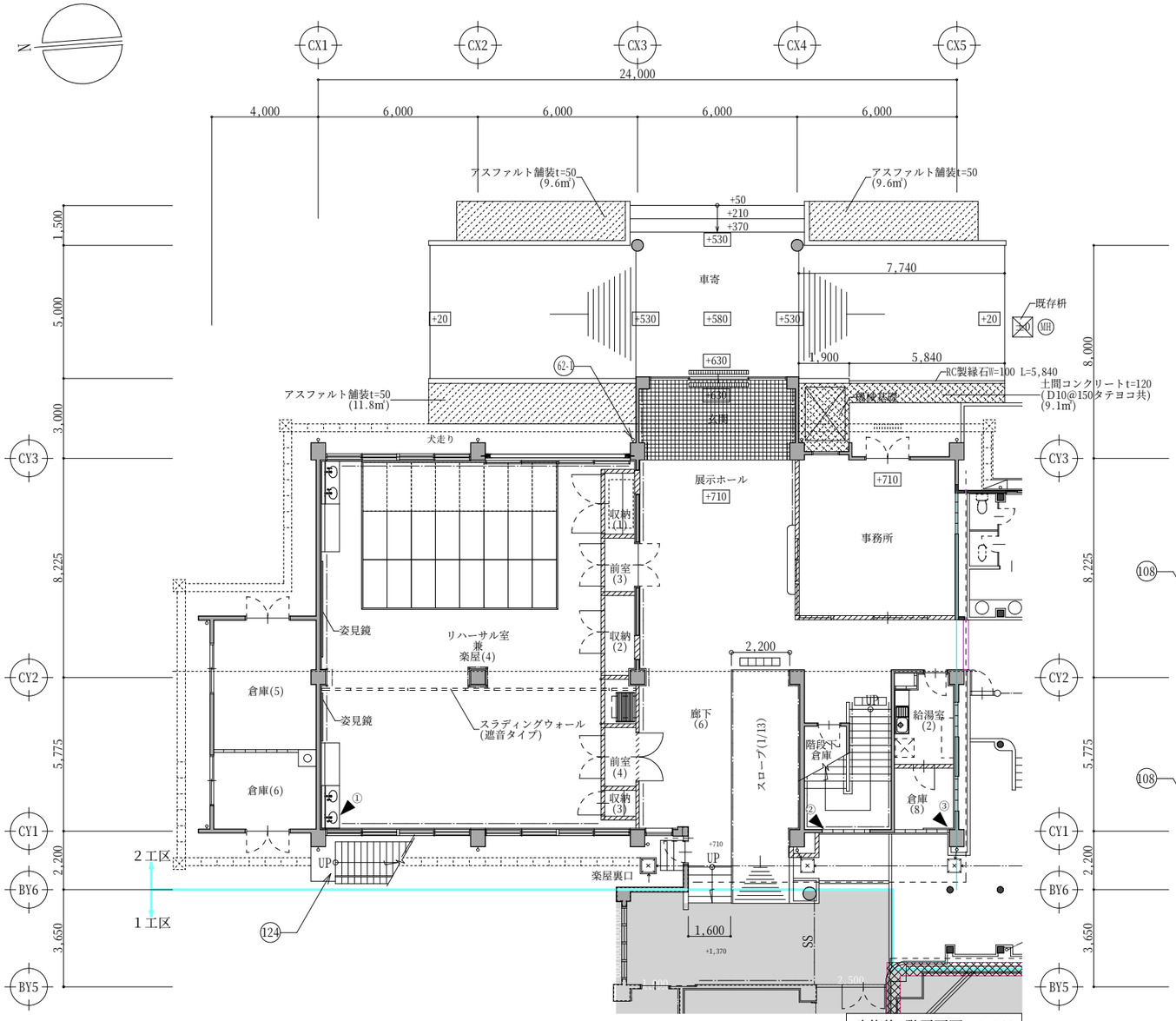
壁④



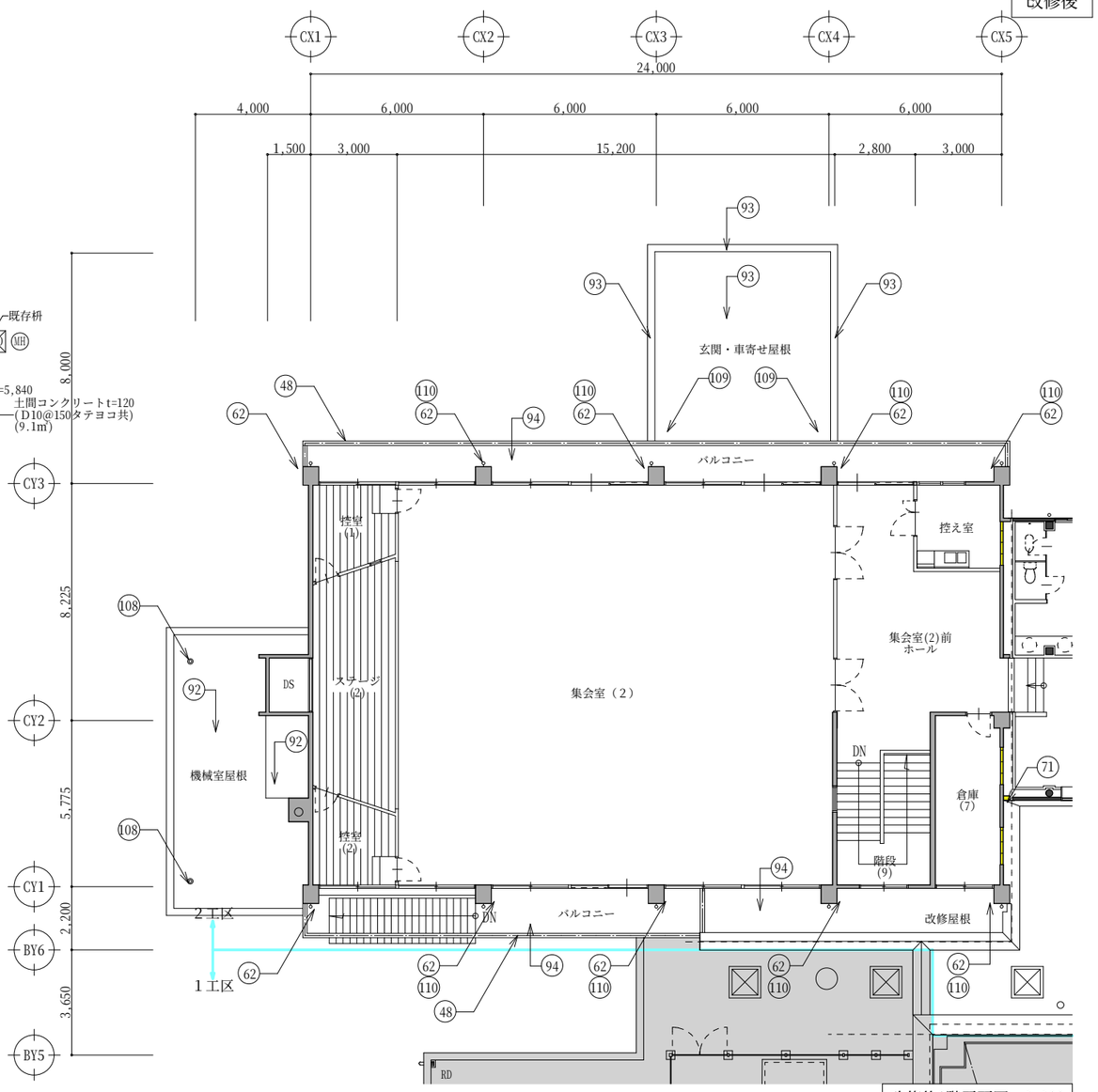
※図中 ”00” は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 選	設計年月日 R7・2・ 縮 尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	図面番号 A-68
				図面名称	(共同利用施設)既存1・2階平面図	

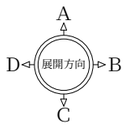
改修後



改修後1階平面図　1:100



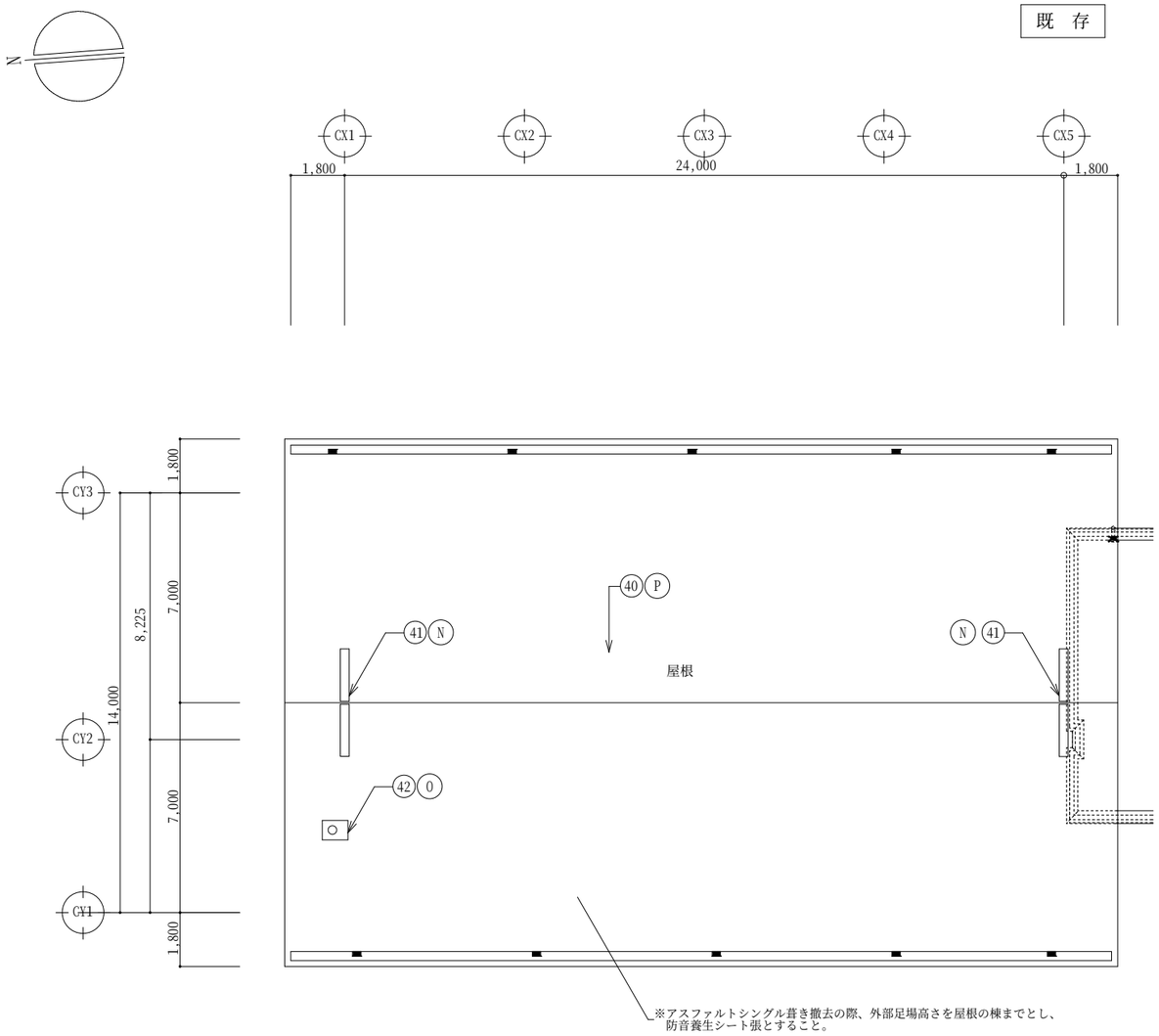
改修後2階平面図　1:100



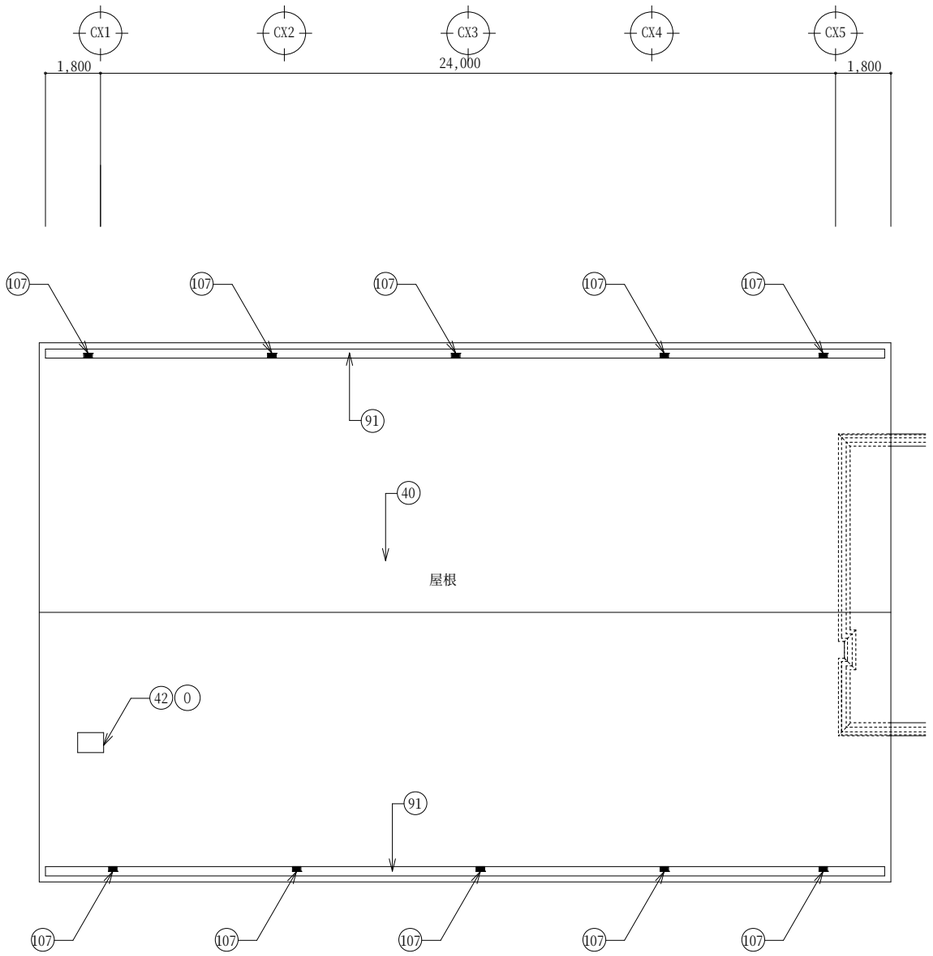
凡例			
	新設LGS65壁	▲①	構造スリット(W=30 L=700)位置を示す。
	新設ピクチャーレール	▲②	構造スリット(W=30 L=710)位置を示す。
●	コーナー保護材(耐衝撃性硬質樹脂)50×50　L=2,500	▲③	構造スリット(W=30 L=520) 位置を示す。
			RC製機械基礎(1,500×2,000　H=300)
	防火区画		

※図中 ”00” は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-69
				図面名称	(共同利用施設)改修後 1・2階平面図	



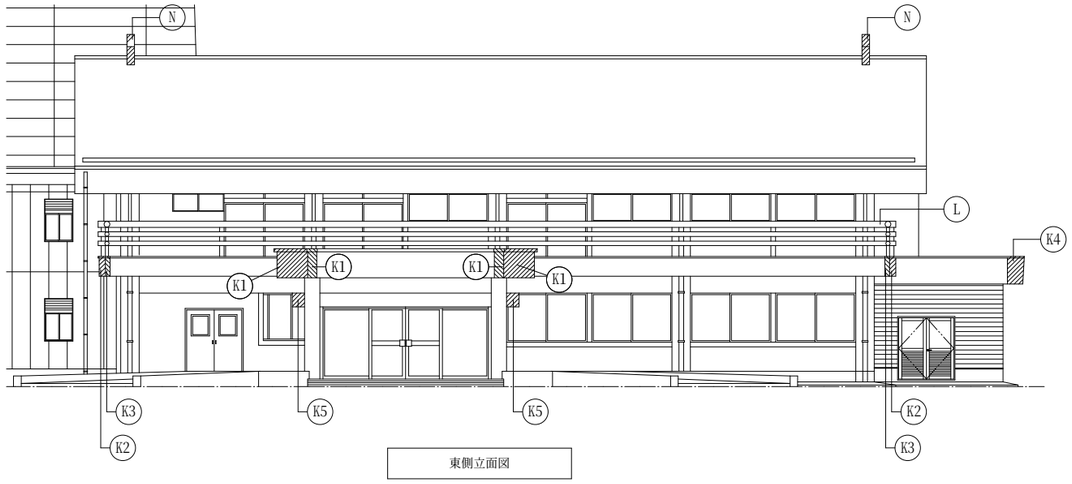
既存屋根伏図 1:100



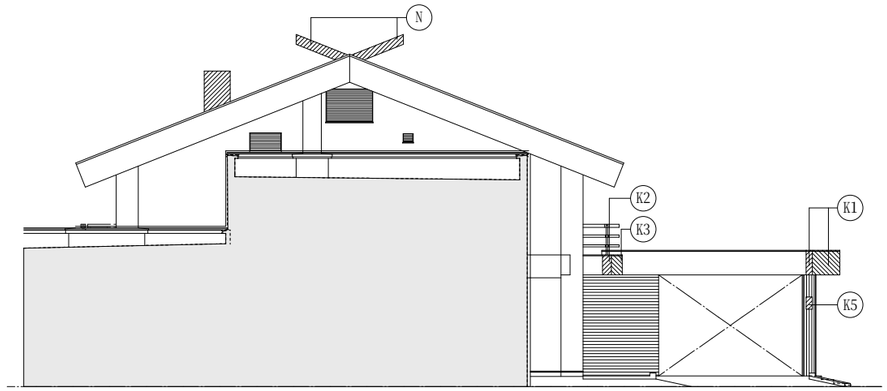
改修後屋根伏図 1:100

※図中 ”00” は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

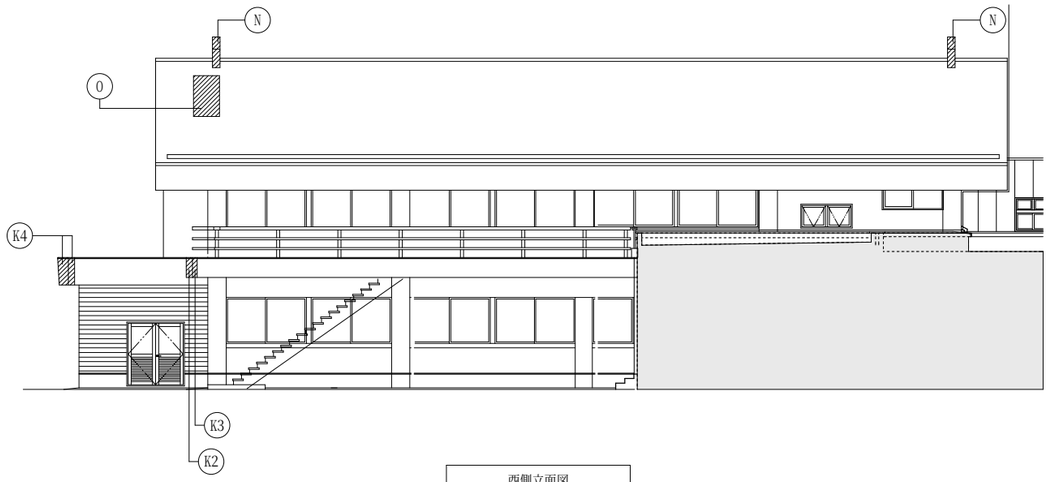
特記事項		堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区） 設計図	図面番号 A-70
				縮尺 A1 1:100 A3 1:200	図面名称	(共同利用施設)既存・改修後 屋根平面図	



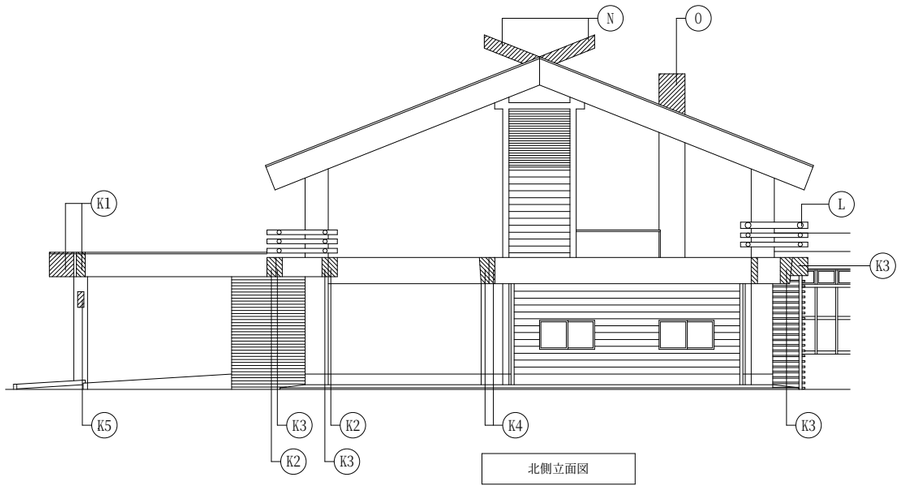
東側立面図



南側立面図



西側立面図



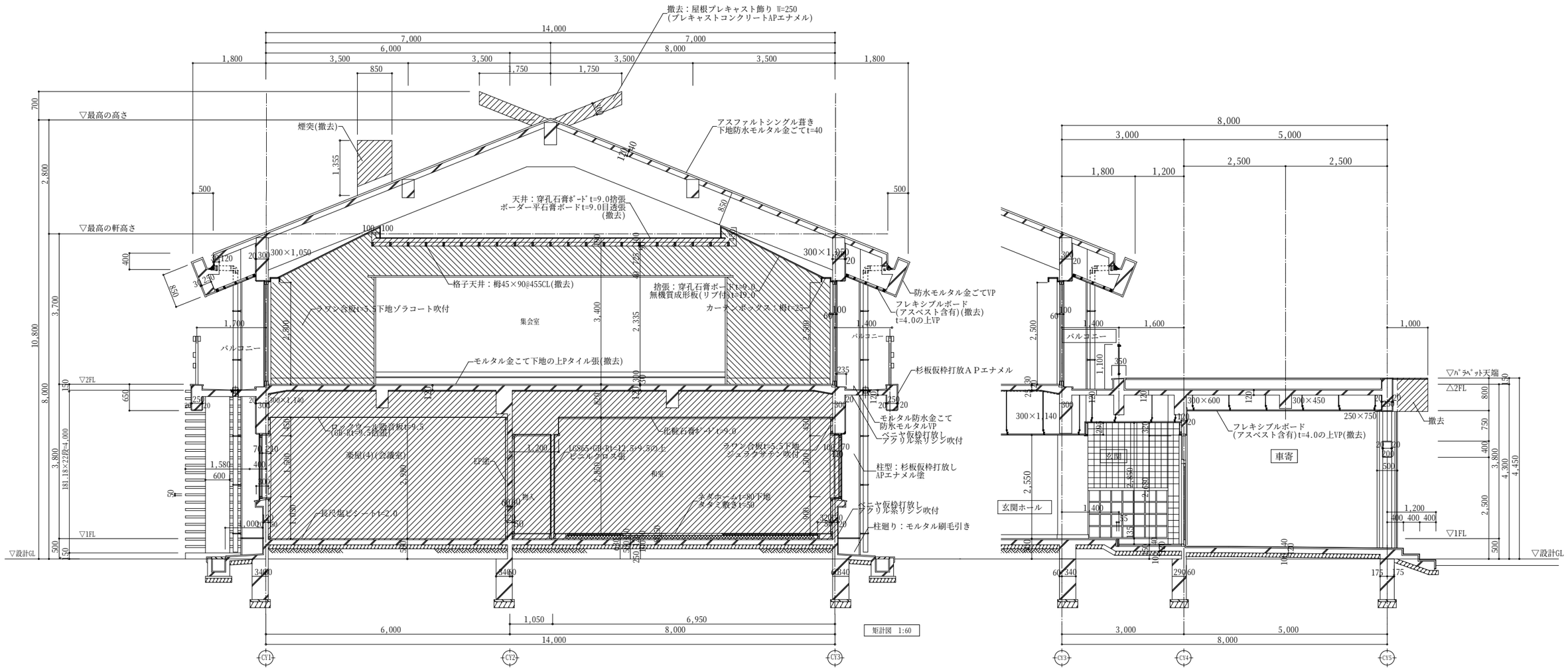
北側立面図

	撤去内容
K	RC飾りを撤去。
	K1：290×800 L=800 6ヶ所　K2：290×650 L=700 6ヶ所 K3：290×650 L=300 3ヶ所　K4：200×900 L=300 4ヶ所 K5：240×400 L=400 2ヶ所
L	既存アルミ製手摺りを撤去。
N	プレキャスト飾り撤去。300×250 L=1,750 4ヶ所
0	煙突撤去(カポスタック(アスベスト含有)撤去後)
	施工前にアスベスト定常分析を行い、 アスベストが含有するか否かの判定を行うこと。

※図中 ”00” は、A-68 (共同利用施設)既存1,2階平面図を参照の事。

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-71
				図面名称	(共同利用施設)既存立面図・解体範囲図	

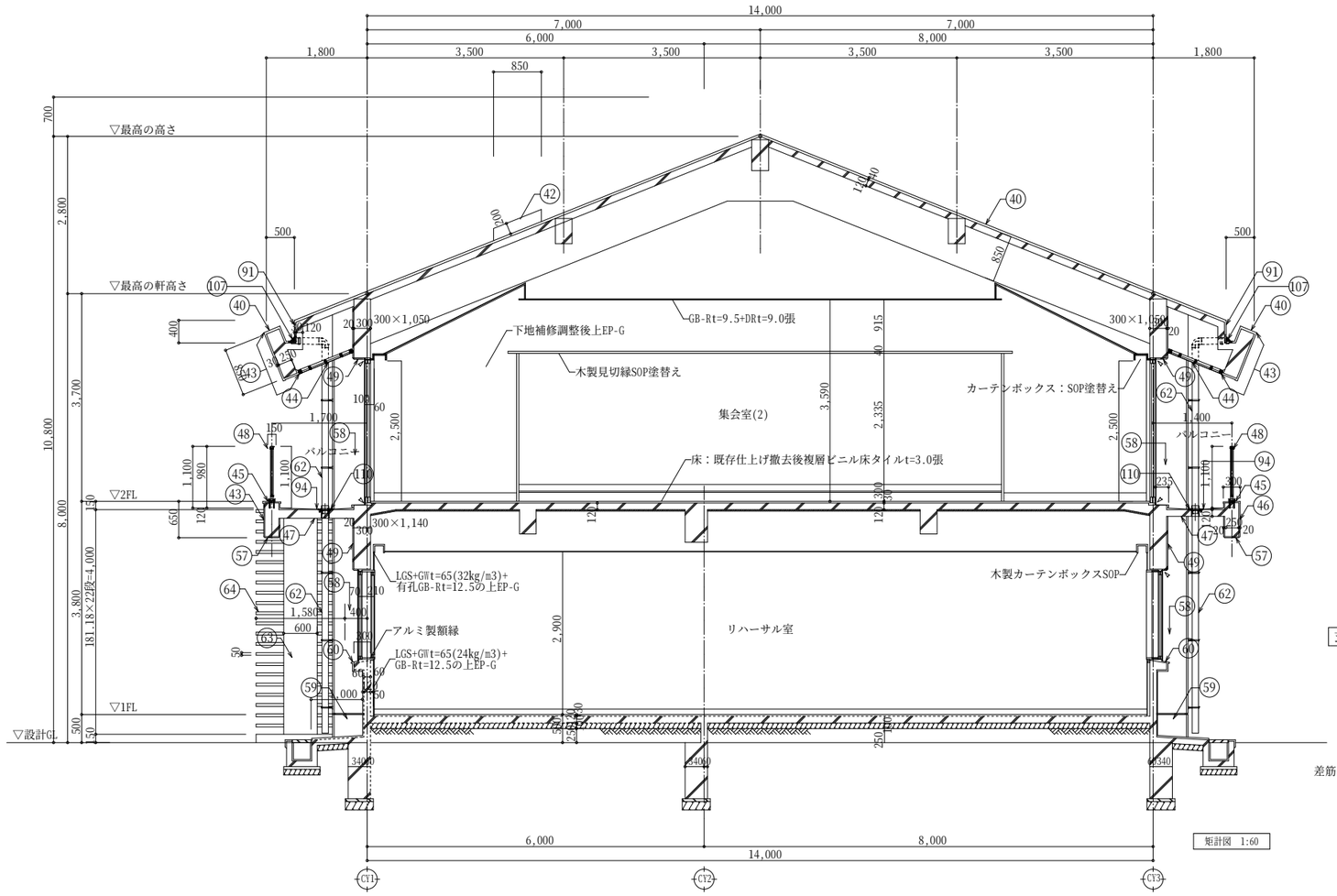
既　存



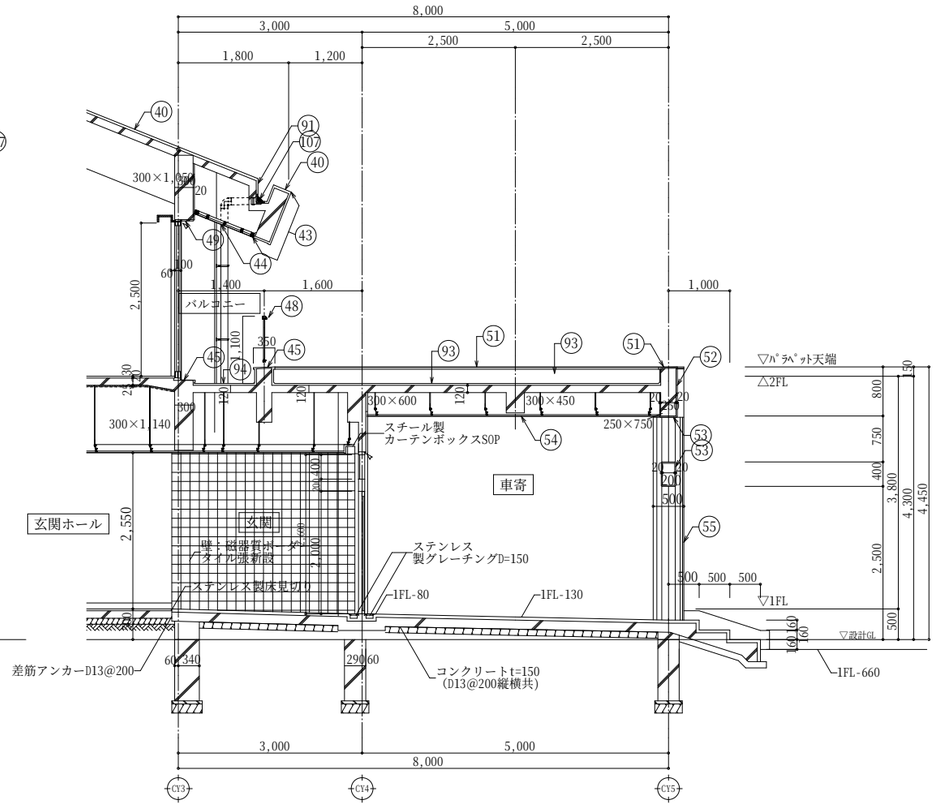
共同利用施設部分車寄矩計図　　S=1/50

着工	・　・		堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修建築工事（２工区）　設計図	図面番号 A-72
竣工	・　・				縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共同利用施設)既存矩計図・断面詳細図	
監理								
施工								

改修後



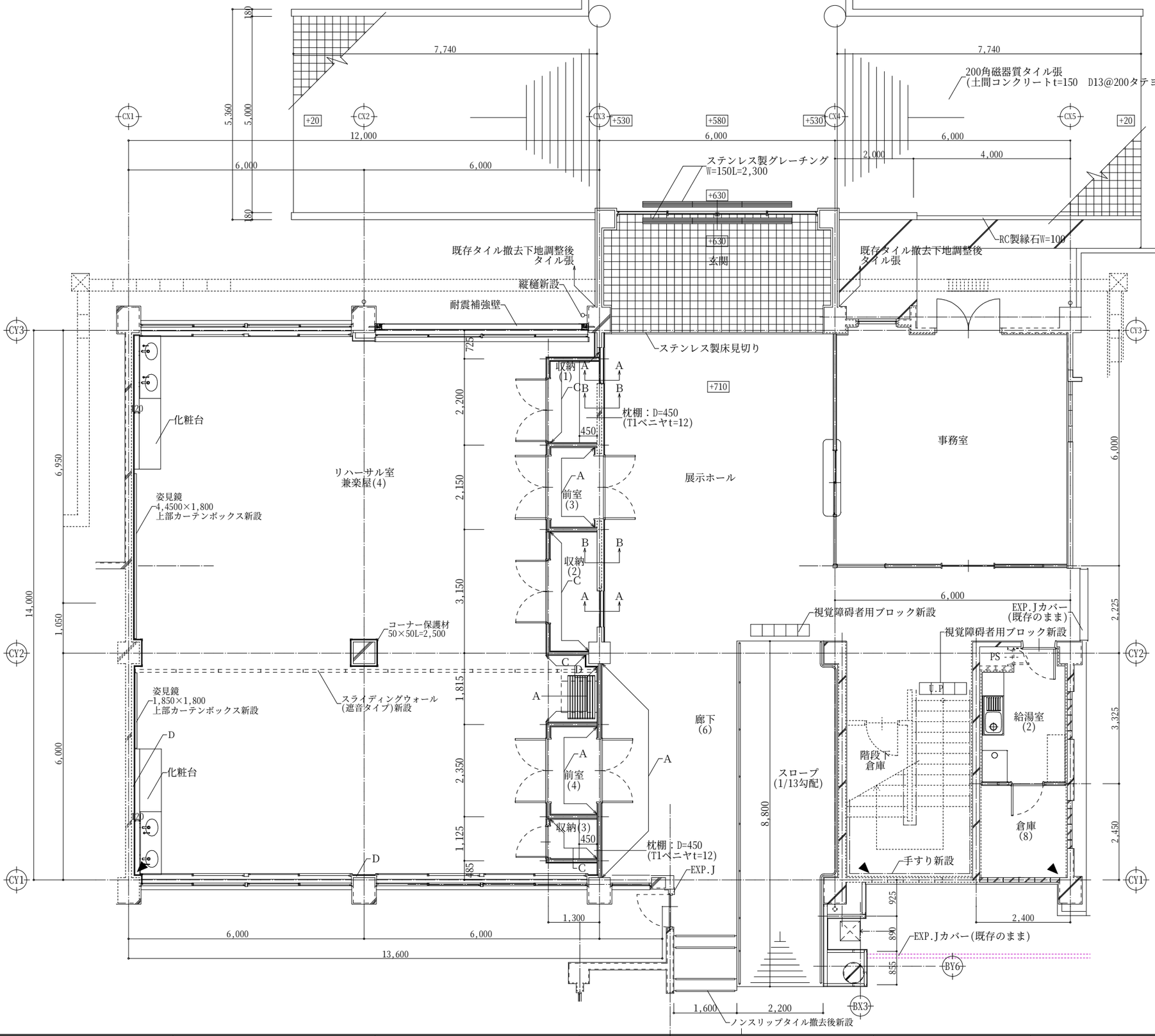
改修後矩計図 1:50



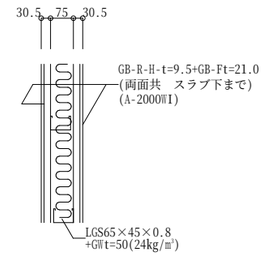
改修後車寄断面詳細図 1:50

※図中 "㊵" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

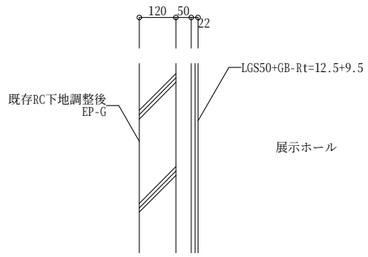
着工	・ ・		堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区） 設計図	図面番号
竣工	・ ・							A-73
監理					縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(共同利用施設)改修後矩計図・断面詳細図	
施工								



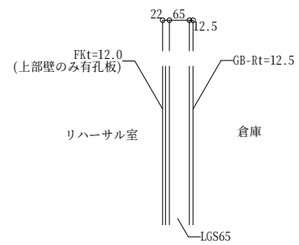
A部詳細図



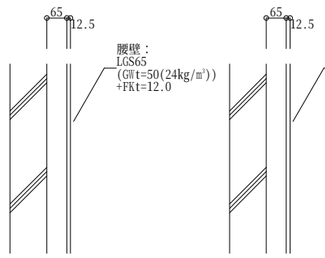
B部詳細図



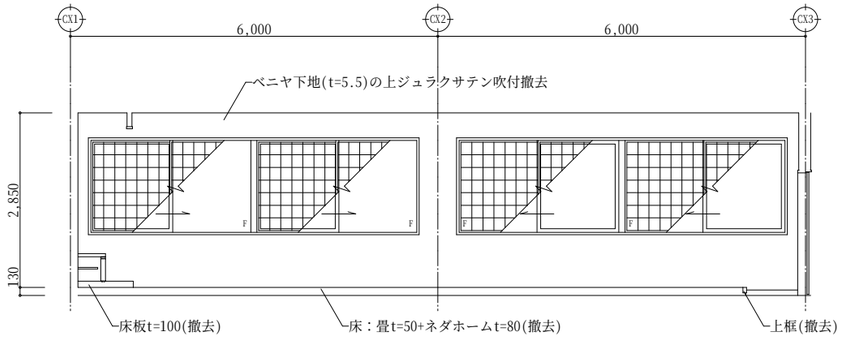
C部詳細図

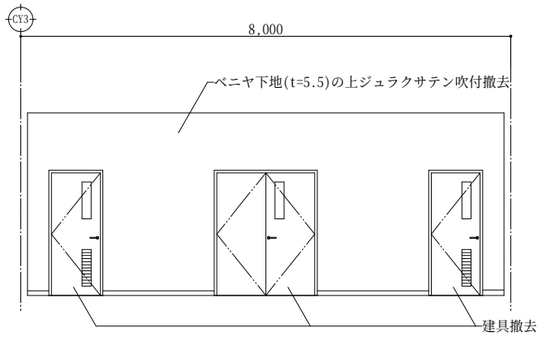


D部詳細図

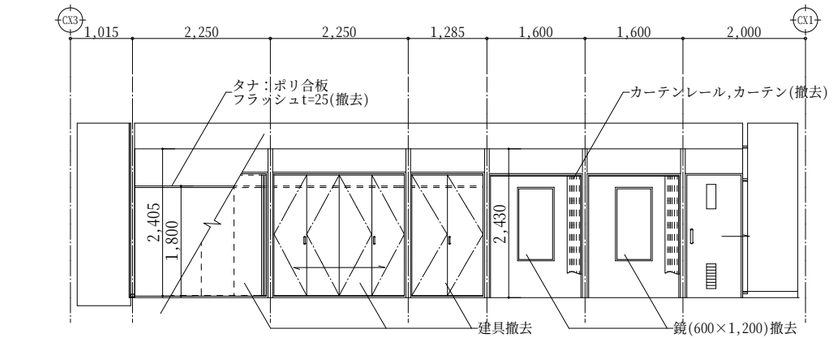


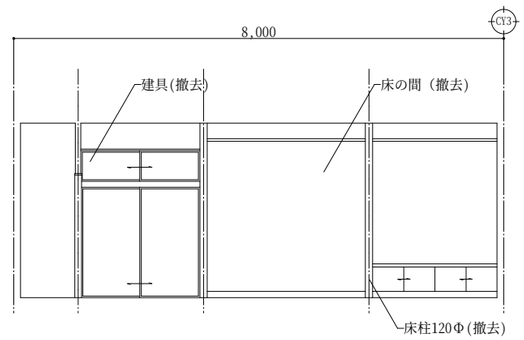
特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮尺 A1 1:50 A3 1:100	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-74
				図面名称	(共同利用施設)改修後平面詳細図	



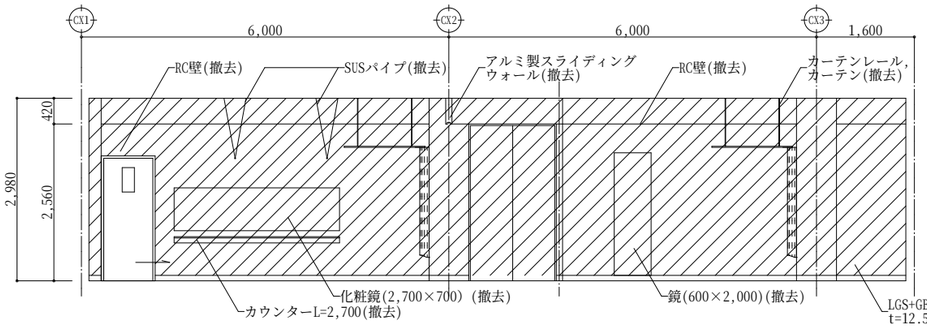


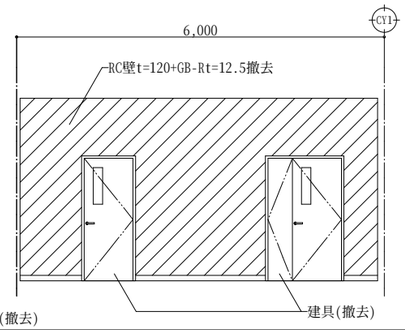
集会室(1)兼リハーサル室	既存A	既存B

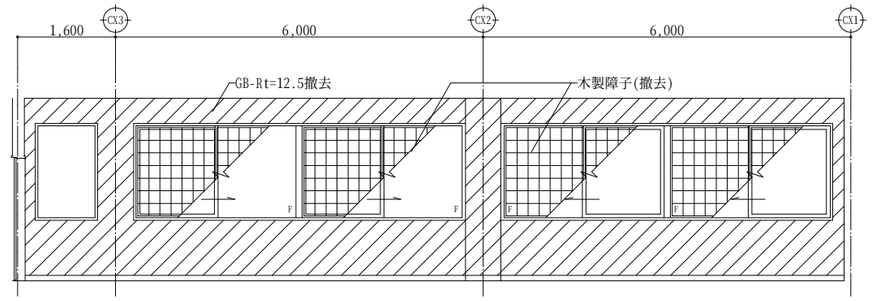




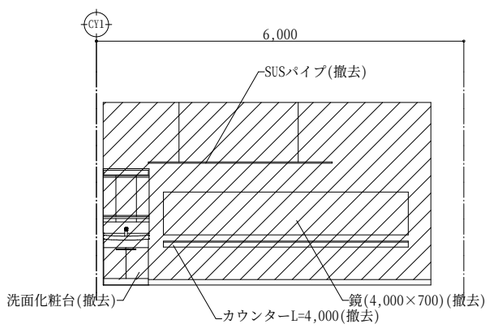
集会室(1)兼リハーサル室	既存C	既存D

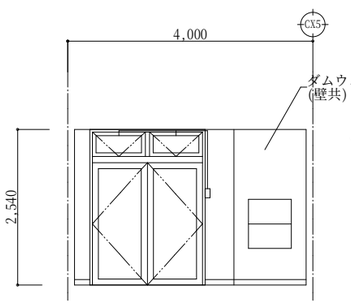


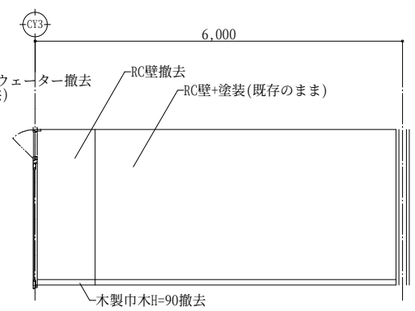


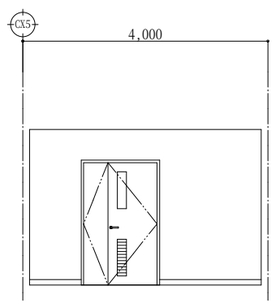


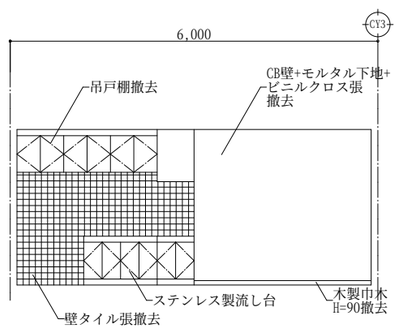
楽屋(4)兼会議室	既存A	既存B	既存C





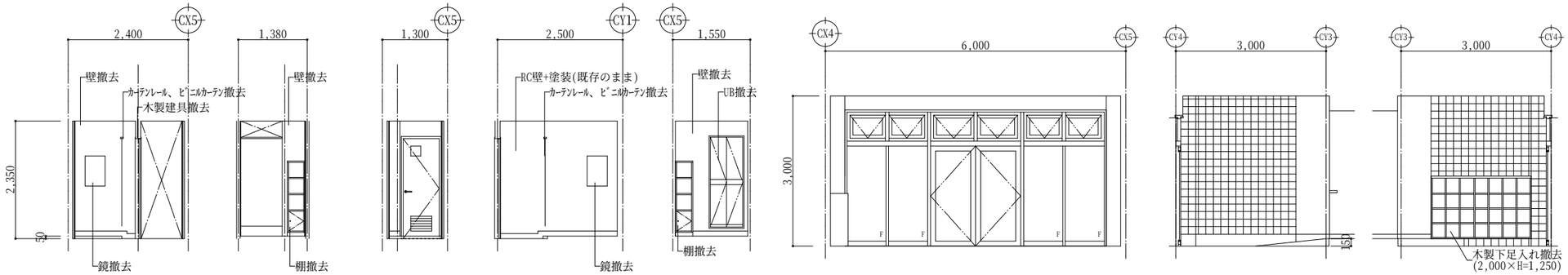




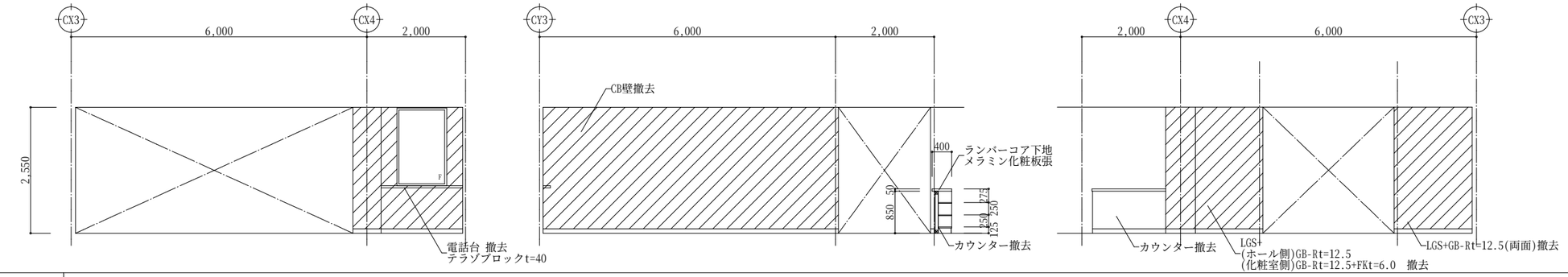


楽屋(4)兼会議室	既存D	配膳室	既存A	既存B	既存C	既存D

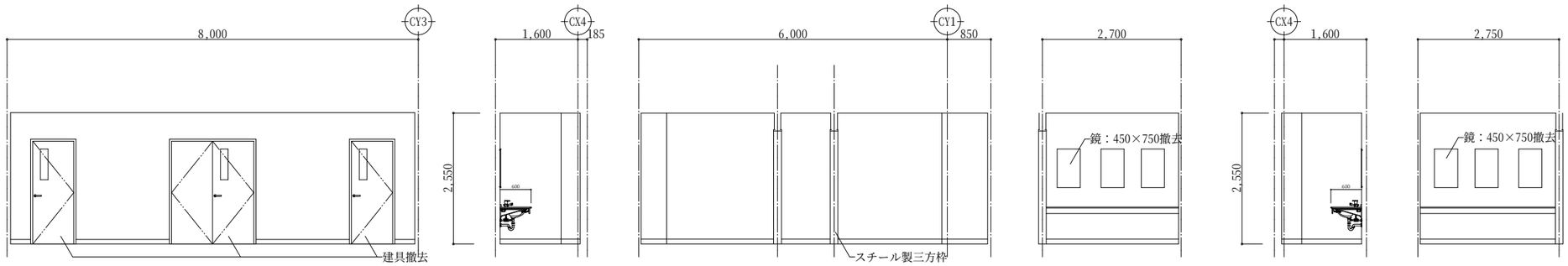
特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-75
			縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面名称	(共同利用施設)既存展開図(1)	



脱衣室(M)	既存A	既存B	脱衣室(W)	既存A	既存B	既存C	玄関ホール	既存A	既存B	既存D



玄関ホール	A	B	C



D	化粧室(M)	A	B	D	化粧室(W)	C	D

備考

■既存アスベスト含有塗装の撤去について

□下記法令等に基づき施工の事。

・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・建築改修工事監理指針 令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・建築物解体工事共通仕様書・同解説 令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・石綿含有廃棄物等処理マニュアル第3版(環境省)
・建築物の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策マニュアル
令和3年3月(令和6年2月改正)
(厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省水・大気環境局大気環境課)
・建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針
(国立研究開発法人建築研究所、日本建築仕上材工業会)
・［新石綿技術指針対応版］石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（建設業労働災害防止協会）
・［令和2年石綿障害予防規則改正対応版］建築物等の解体・改修工事等における石綿障害の予防
（建設業労働災害防止協会）

□作業範囲

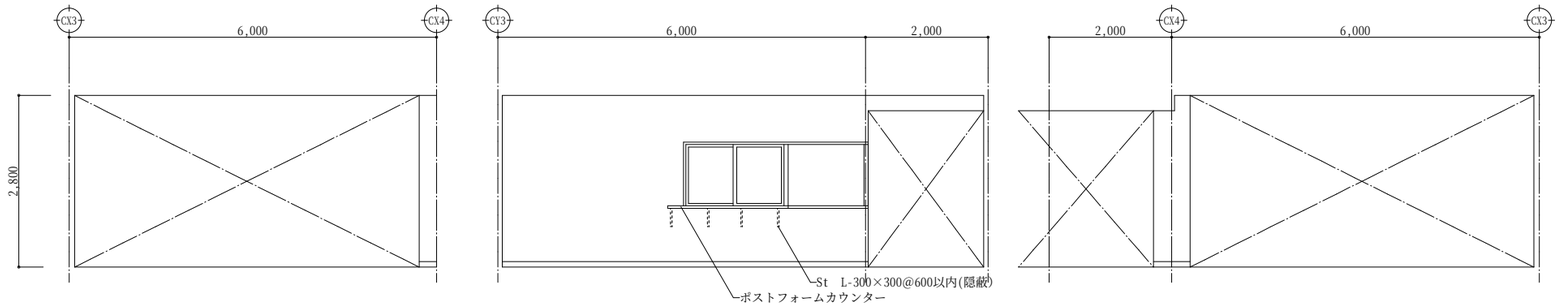
・1階既存集会室(4)兼会議室　壁面塗材
・1階既存玄関ホール　壁面塗材
・1階内待合ホール　壁面塗材
・1階配膳室　天井材
・外部　車寄せ天井材、ベランダ天井材
・2階集会室(2)前ホール　階段室　壁面塗材

※1：レベル3の石綿含有建材相当の措置(集塵機能付ディスクグラインダー工法)を講じ、
適切に処理すること。

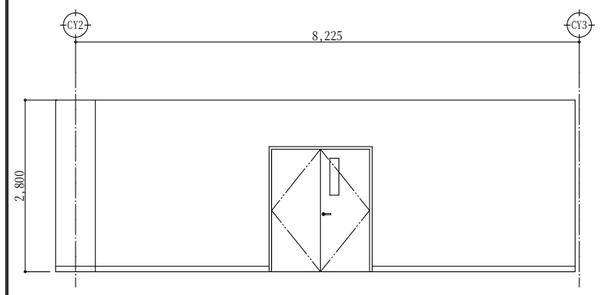
※2：1階玄関ホール　階段　2階集会室(2)前ホールについては、
施工前にアスベスト定性分析(2ヶ所)を行い、アスベストが含有するか否かの判定を行うこと。

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮尺 A1 1:50 A3 1:100	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-76
				図面名称	(共同利用施設)既存展開図(2)	

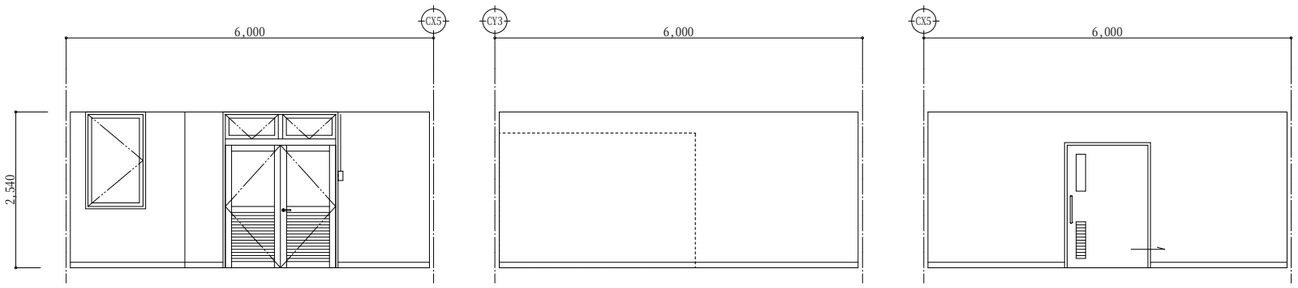
展示ホール		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	複層ビニル床タイルt=3.0
巾木	既存	ラワンt=15　※撤去
	改修後	木製巾木SOP H=100
壁	既存	塗装(アスベスト含有)　※撤去
	改修後	硬質塩ビタックシート張
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5　※撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	
	改修後	ピクチャーレール



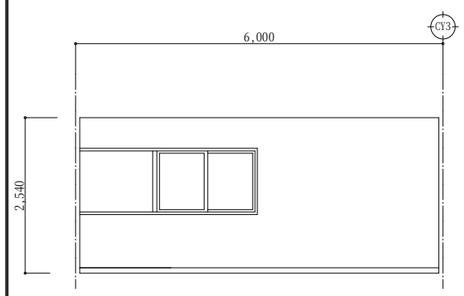
展示ホール　A　B　C



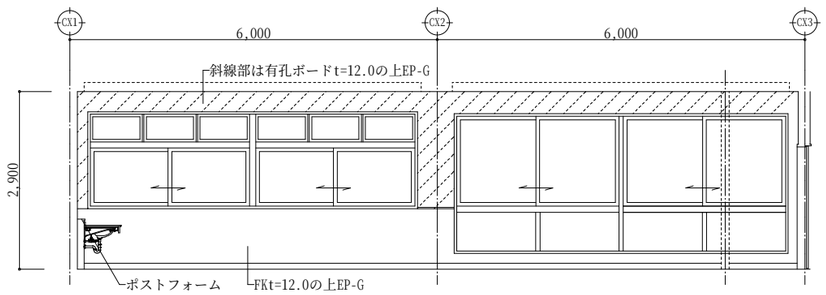
事務室		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ラワンt=15　※撤去
	改修後	ビニル巾木P　H=100
壁	既存	EP塗装　※撤去
	改修後	ビニルクロス張
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5　※撤去
	改修後	GB-D(T)t=9.5
備考	既存	
	改修後	



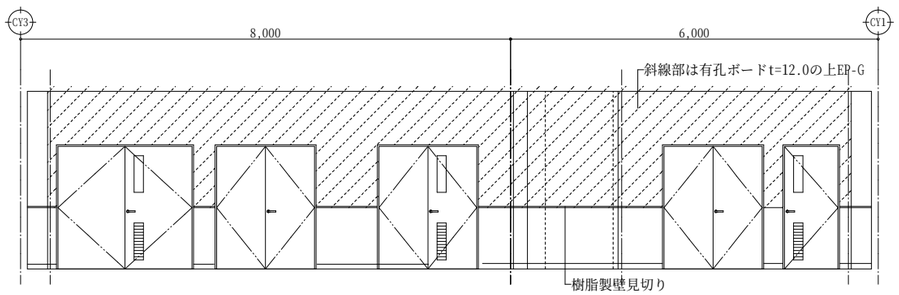
D　事務室　A　B　C

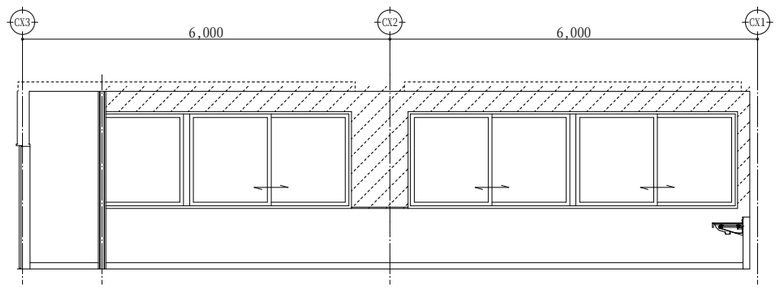


リハーサル室		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0 たたみ敷　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ラワンt=15　※撤去
	改修後	ビニル巾木　H=100
壁	既存	EP塗装 ゾラコート(アスベスト含有)　※撤去
	改修後	EP-G
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5　※撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	
	改修後	ピクチャーレール



事務室　D　リハーサル室　A





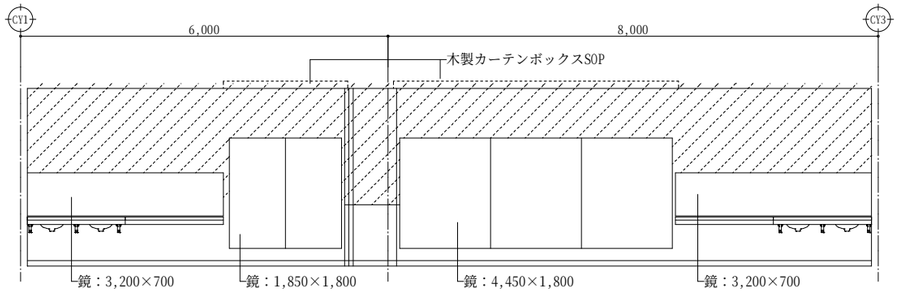
B　C

特記事項

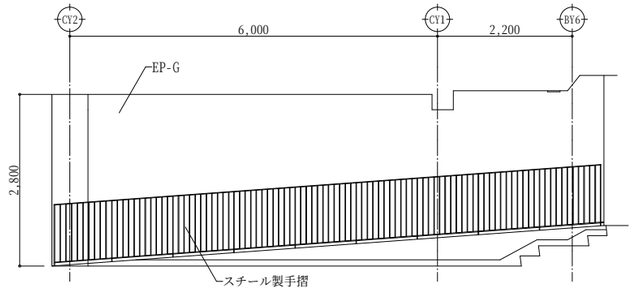
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

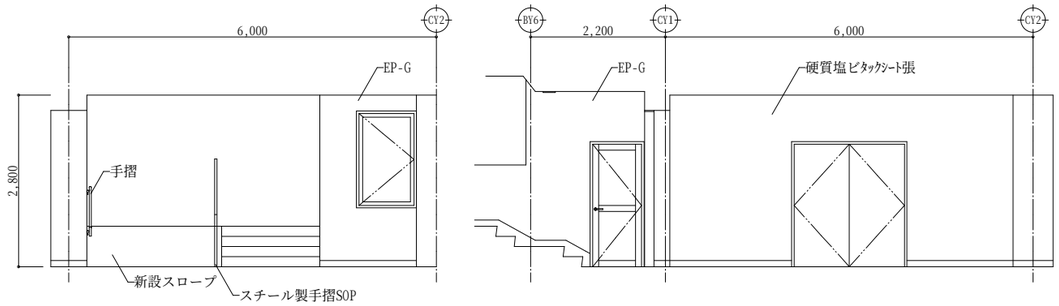
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-77
縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面名称	(共同利用施設)改修後展開図(1)	



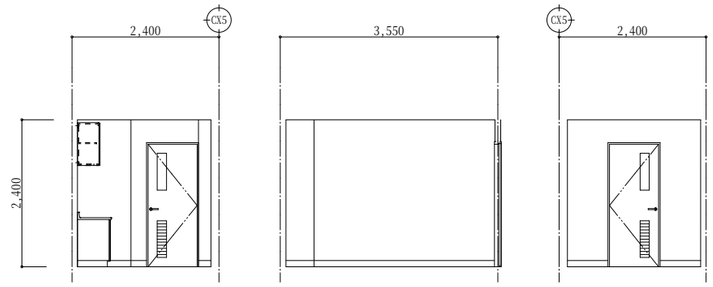
廊下(6)		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ラワンt=15　※撤去
	改修後	ビニル巾木　H=100
壁	既存	塗装(アスベスト含有)　※撤去
	改修後	EP-G、硬質塩ビタックシート張
天井	既存	GB-Rｔ=9.5 + DRt=9.5　※撤去
	改修後	GB-Rｔ=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	
	改修後	ピクチャーレール



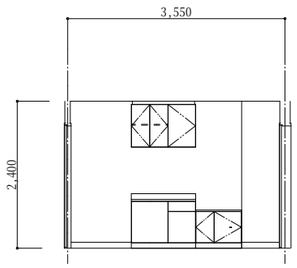
D　廊下(6)　B



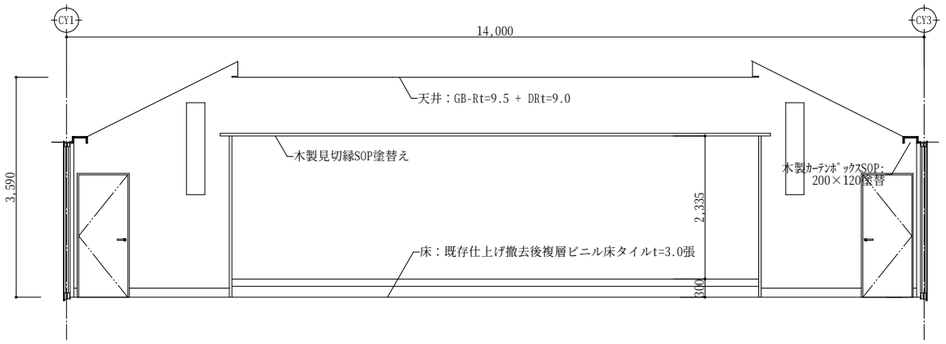
給湯室(2)		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ラワンt=15　※撤去
	改修後	ビニル巾木　H=100
壁	既存	EP塗装　※下地調整
	改修後	EP-G
天井	既存	GB-D(T)t=9.5　※撤去
	改修後	GB-D(T)t=9.5
備考	既存	
	改修後	流し台L=1,050　コンロ台L=750



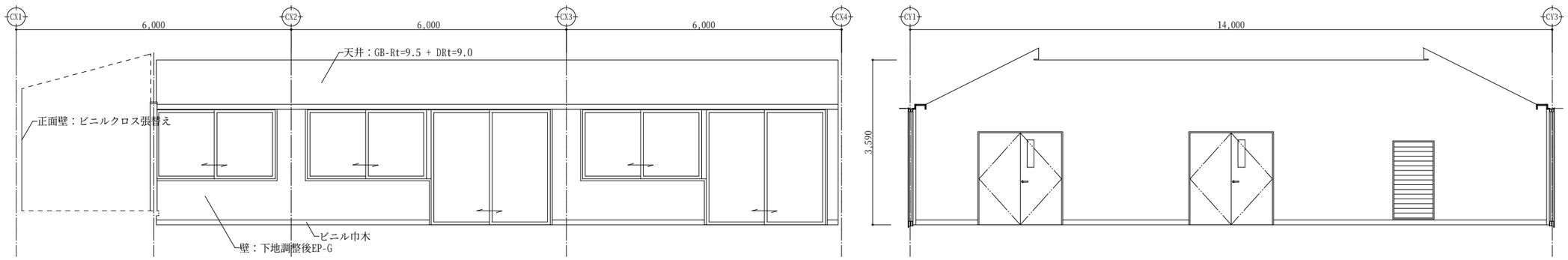
C　D　給湯室(2)　A　B　C



集会室(2)		
床	既存	Pタイル　※撤去下地調整
	改修後	複層ビニル床タイルt=3.0
巾木	既存	ラワンt=15　※撤去
	改修後	ビニル巾木　H=100
壁	既存	ゾラコート吹付(アスベスト含有)※撤去
	改修後	EP-G
天井	既存	穿孔石膏ボード， ボーダー平石GB-Rt=9.0の上EP 無機質繊維成形板t=9.0 リブ　※撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	
	改修後	天井木格子撤去



D　集会室(2)　D



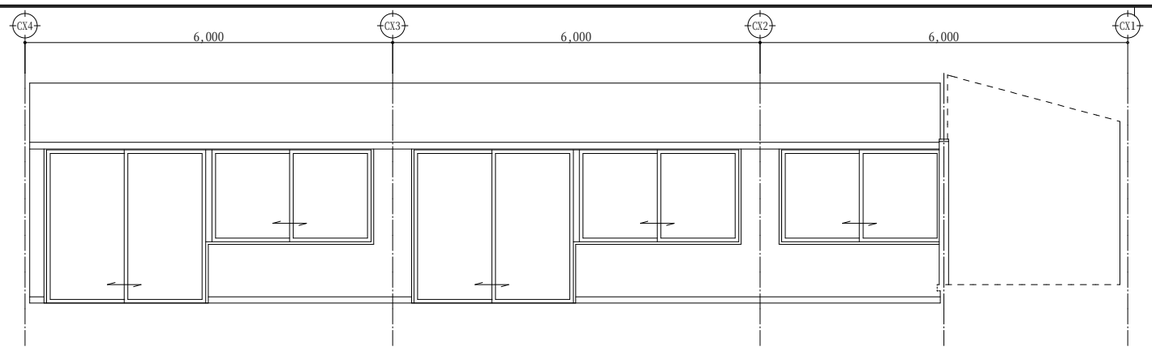
A　B

特記事項

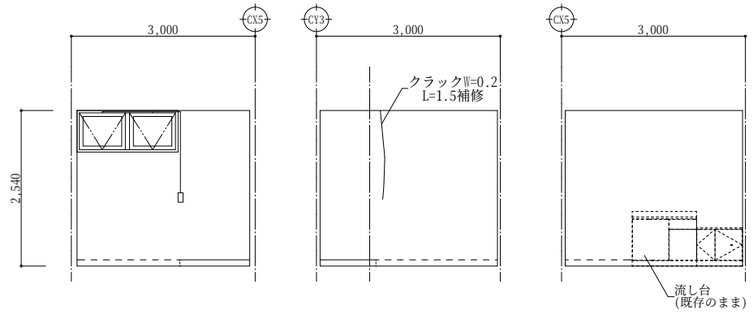
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

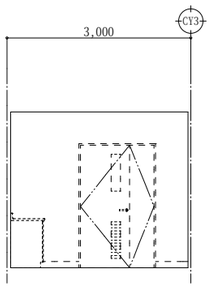
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-78
縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面名称	(共同利用施設)改修後展開図(2)	



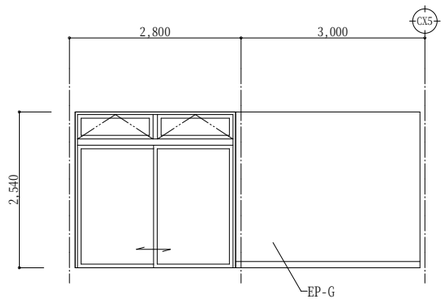
配膳室→控え室			
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0	※撤去
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0新設	
巾木	既存	ラワンt=15	※撤去
	改修後	ビニル巾木 H=100 新設	
壁	既存	EP塗装	
	改修後	下地補修後EP-G	
天井	既存	GB-D t=9.5	※撤去下地共
	改修後	GB-D(T) t=9.5 新設	
備考	既存	DW撤去	
	改修後		

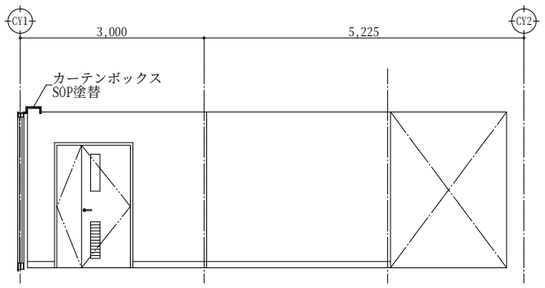


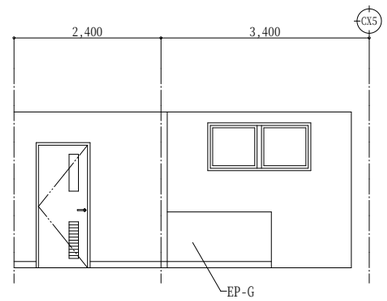
C	控え室	A	B	C



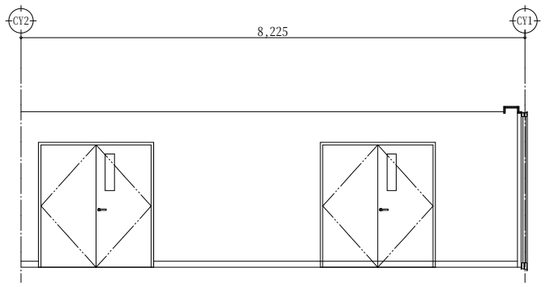
集会室(2)前ホール			
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0	
	改修後	既存のまま	
巾木	既存	ラワンt=15	
	改修後	既存のまま	
壁	既存	EP塗装 ゾラコート(アスベスト含有)	※撤去
	改修後	EP-G	
天井	既存	GB-R t=9.5 + DRt=9.5	※撤去
	改修後	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0張 (LGS下地：既存のまま)	
備考	既存		
	改修後		





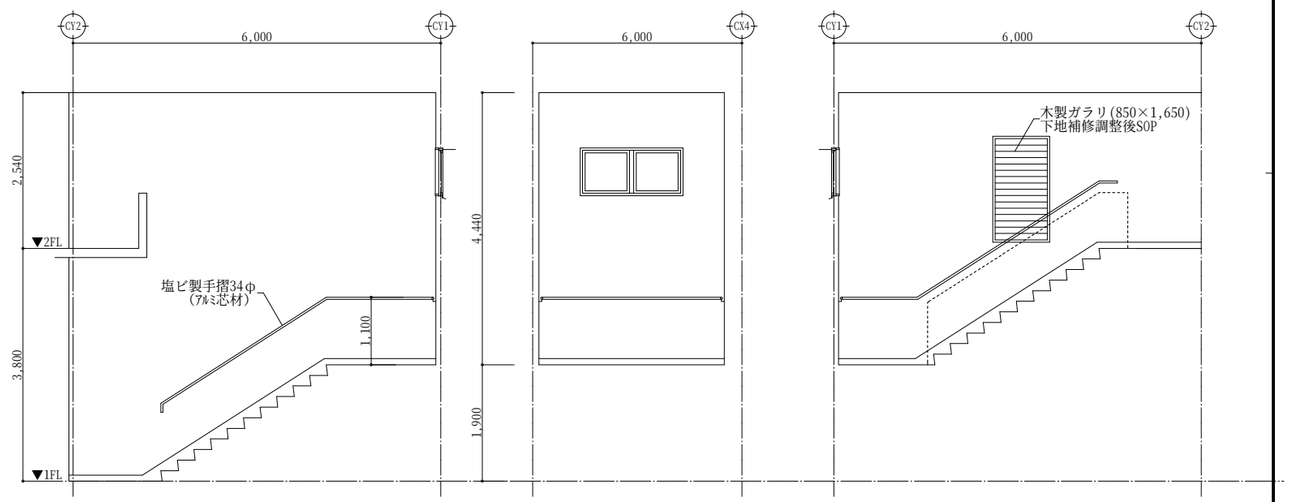


倉庫(8)	D	集会室(2)前ホール	A	B	C



D

階段(9)		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ラワンt=15
	改修後	既存のまま
壁	既存	EP塗装 ゾラコート(アスベスト含有) ※撤去
	改修後	EP-G
天井	既存	GB-R t=9.5 + DRt=9.5
	改修後	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0張 (LGS下地：既存のまま)
備考	既存	
	改修後	塩ビ製手摺34φ（アルミ芯材）



階段(9)	A	C	D

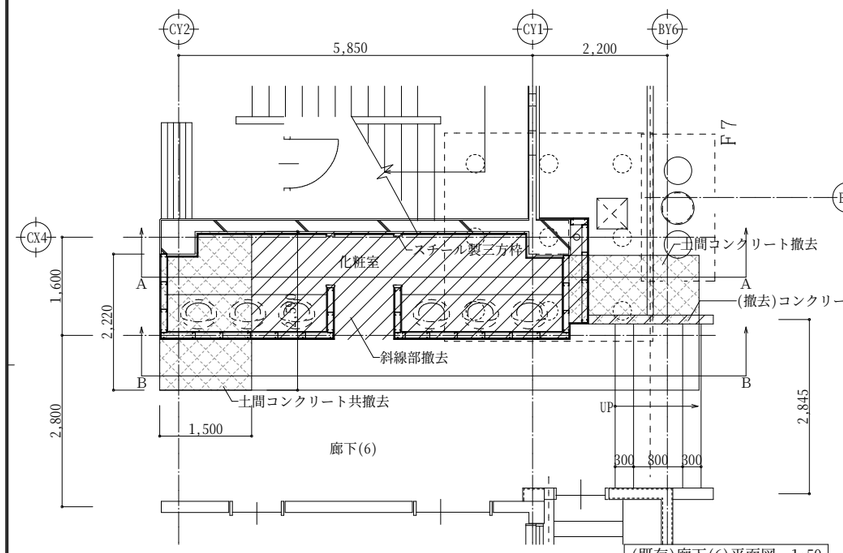
特記事項

堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

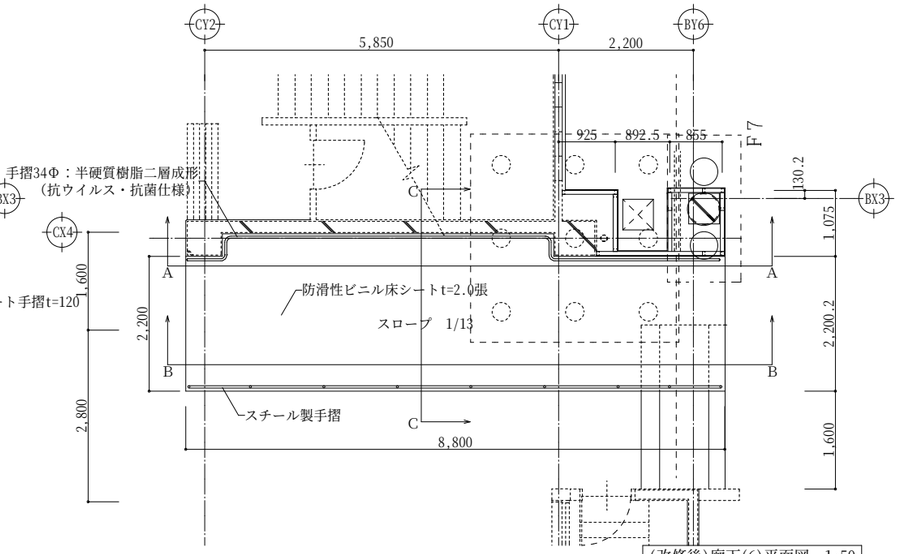
一級建築士登録　第１６０６３６号
外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
R7・2・				A-79
縮尺 A1 1:50 A3 1:100	図面名称	(共同利用施設)改修後展開図(3)		

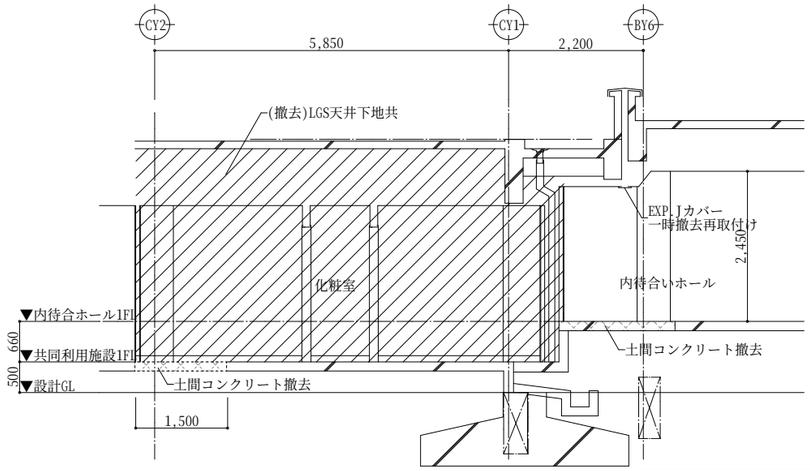
新設スロープ廻り詳細図　S=1:50



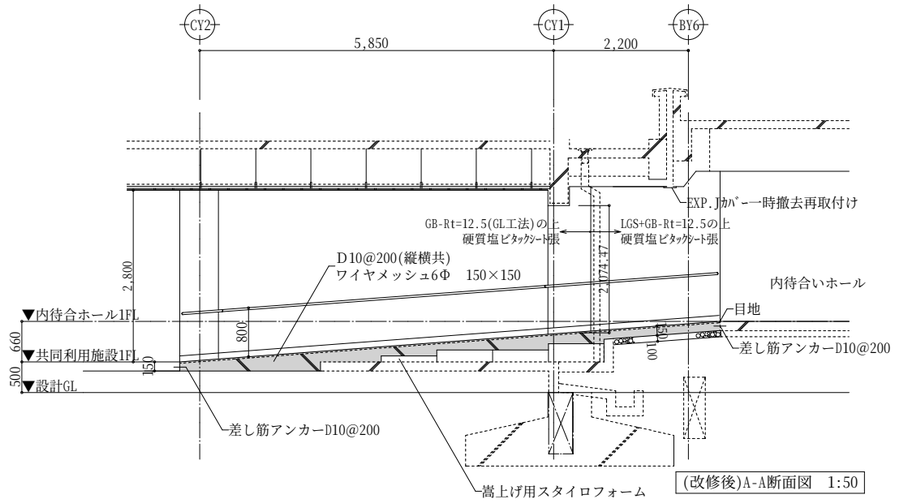
(既存)廊下(6)平面図　1:50



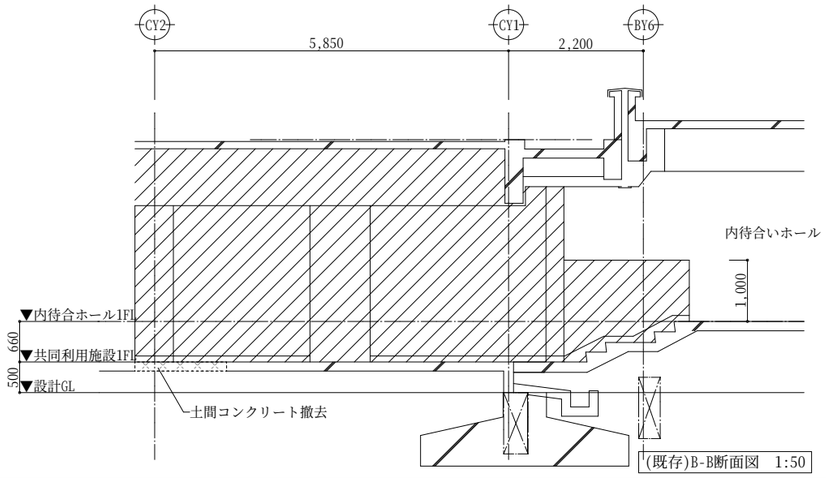
(改修後)廊下(6)平面図　1:50



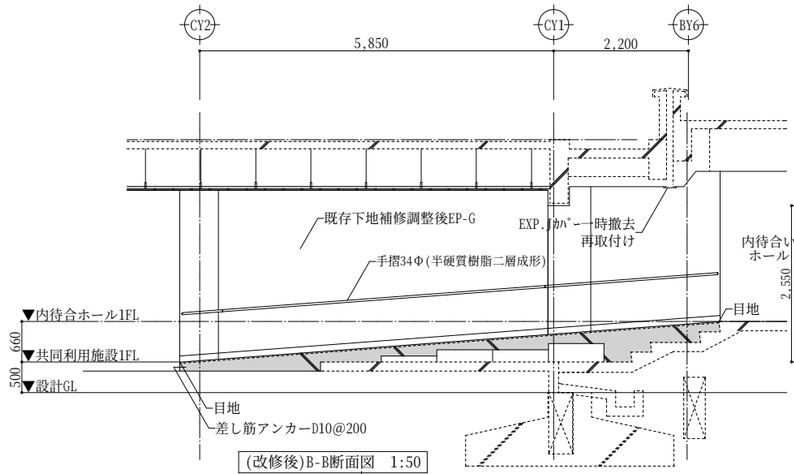
(既存)A-A断面図　1:50



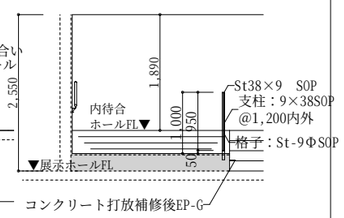
(改修後)A-A断面図　1:50



(既存)B-B断面図　1:50

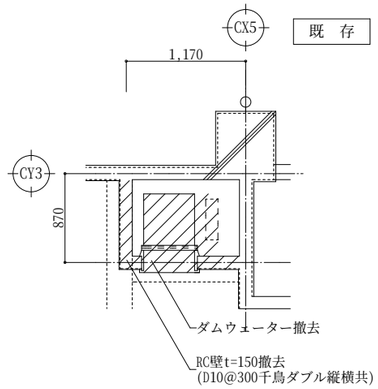


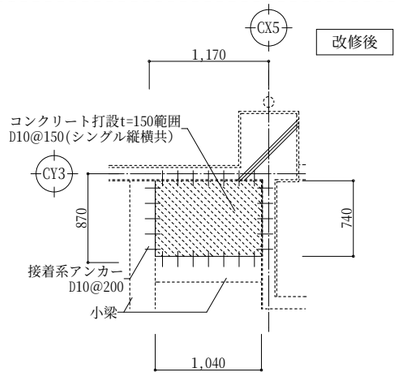
(改修後)B-B断面図　1:50



(改修後)C-C断面図　1:50

(2階)ダムウェーター撤去・床埋め詳細図　S=1:30

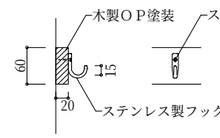




※コンクリート：21N-18-20

(1階)収納(3)　掃除具掛け詳細図　S=1:10,1:5

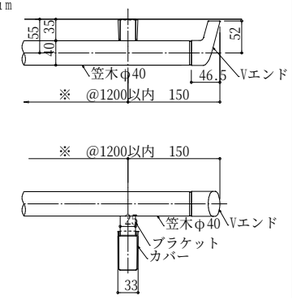
S=1:10



詳細図S=1:5

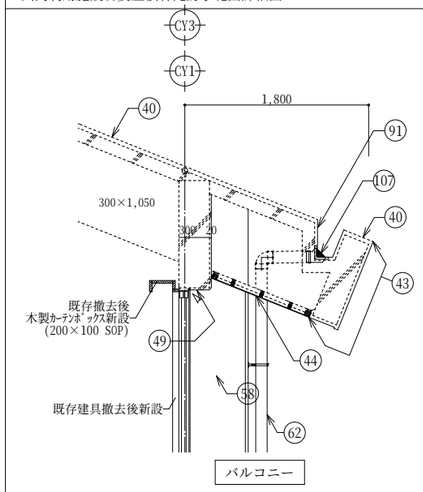
階段手すり詳細図　S=1:5

●室内用ブラケット
アルミニウム押出形材
アルマイト処理　6μm



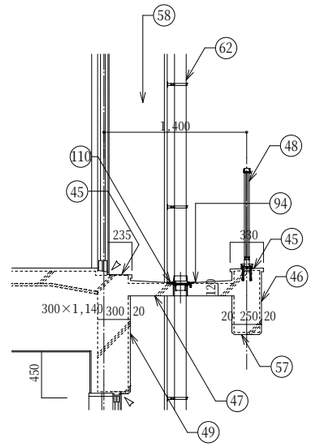
特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所　県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選	設計年月日　R7・2・ 縮尺　A1 1:50 1:30　A3 1:100 1:60	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号　A-80
				図面名称	(共同利用施設)部分詳細図(1)	

共同利用施設切妻屋根軒先防水範囲詳細図　S=1:30

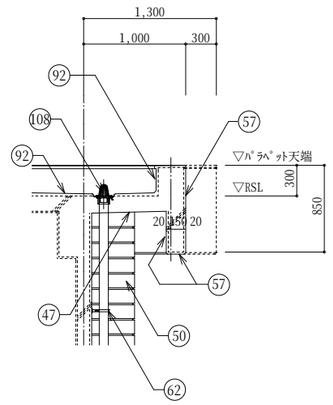


※既存アスファルトシングル葺きは施工前にアスベスト定常分析を行うこと。
※既存アスファルトシングル葺き(アスベスト含有)は
　レベル3の石綿含有建材相当の措置を講じ、適切に処理すること。

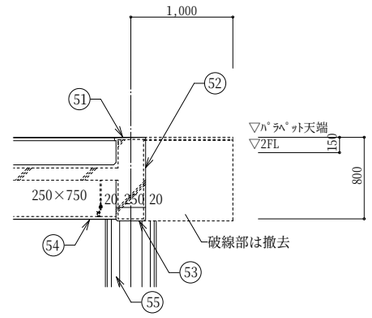
共同利用施設バルコニー防水範囲詳細図　S=1:30



共同利用施設機械室屋根防水範囲詳細図　S=1:30

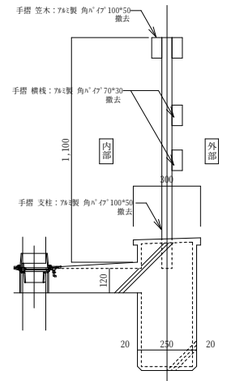


共同利用施設車寄部パラペット防水範囲詳細図　S=1:30

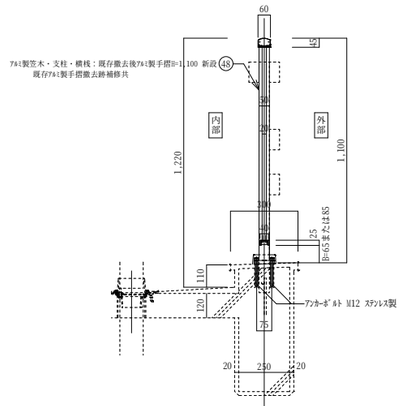


※撤去部　鉄筋は錆止め塗装後下地調整塗材+
　可とう形改修塗材E(耐候形1種仕上げ)さざ波状ローラー仕上げ

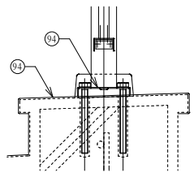
48 共同利用施設バルコニー手摺部詳細図　S=1:15



既存　ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺部断面図　S=1/15



改修　ﾊﾞﾙｺﾆｰ手摺部断面図　S=1/15
芯納まり



新設手摺笠木部防水範囲　S=1/6

94 ﾊﾞﾙｺﾆｰ床(立上り・笠木)：高圧洗浄　下地調整の上
特定化学物質無配合1成分形ｳﾚﾀﾝｽﾀｯｺ工法

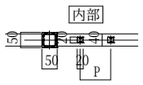
■一段ﾀｲﾌﾟ　手すり子（格子）

■笠木　1:10

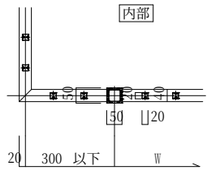
■手すり子　P≦105　1:10

■支柱　ｵｰﾙｱﾙﾐ仕様　1:10

■平面図　1:10

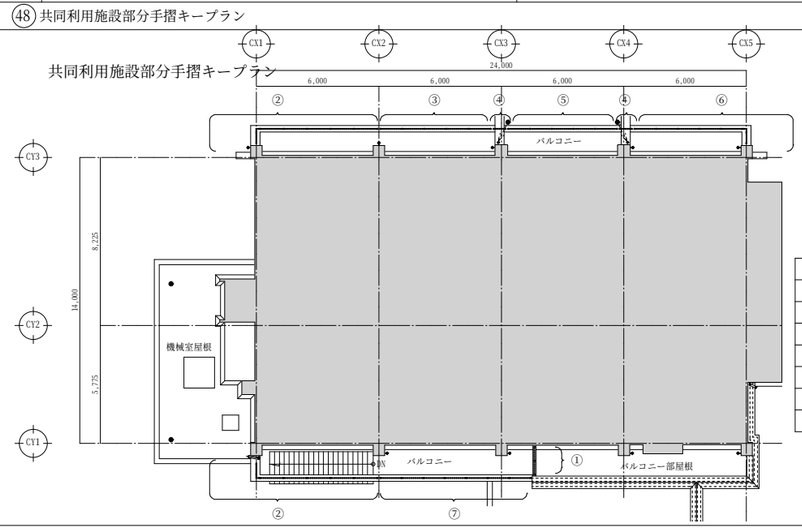


■ｺｰﾅｰ部　横断面詳細図（下弦材部）



48 共同利用施設部分手摺キープラン　S=1:150

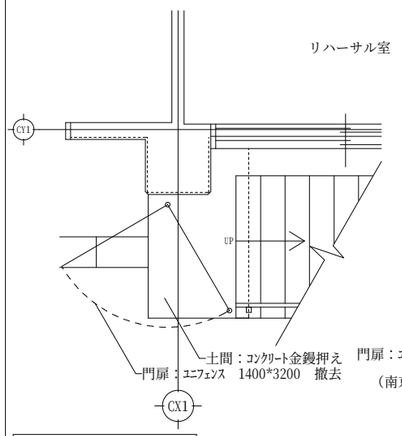
共同利用施設部分手摺キープラン



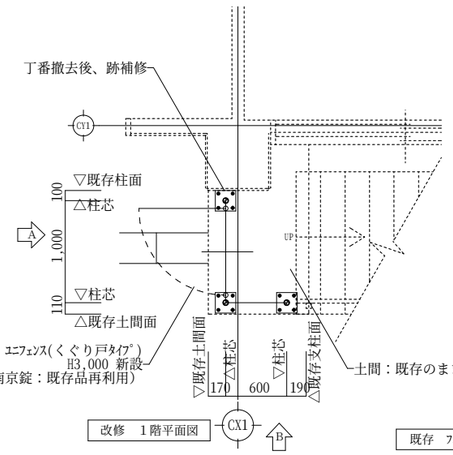
番号	ｱﾙﾐ手すり 長さ（m）	数量
①	1.44	1
②	6.765	2
③	5.475	1
④	0.66	2
⑤	5.38	1
⑥	6.31	1
⑦	7.433	1

※細部寸法は現地実測の事。

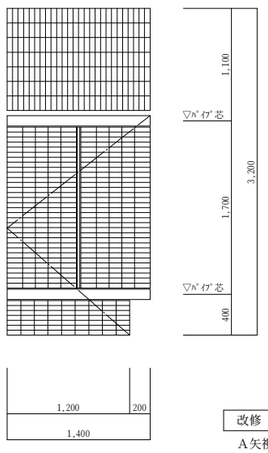
123 共同利用施設部分　外部階段フェンス部詳細図　S=1:30



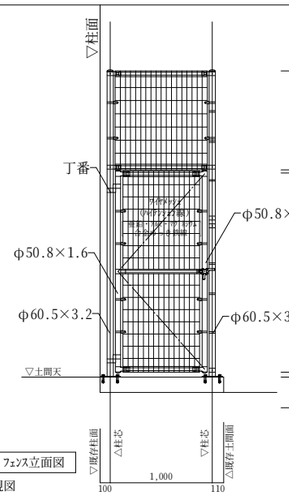
既存　1階平面図



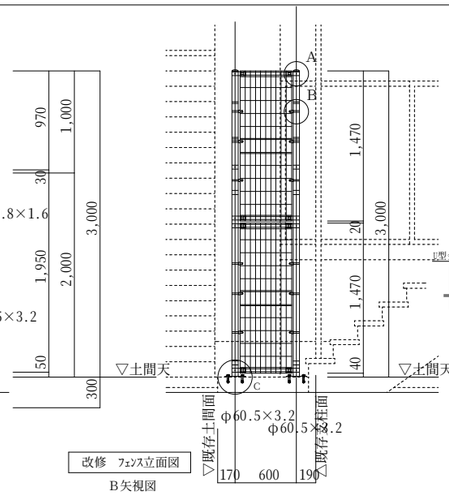
改修　1階平面図



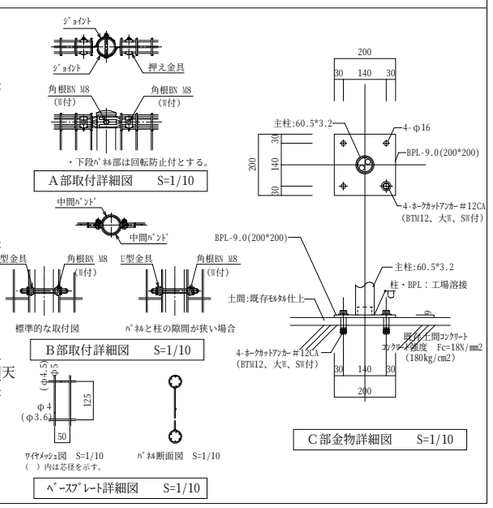
既存　ﾌｪﾝｽ立面図



改修　ﾌｪﾝｽ立面図
A矢視図



改修　ﾌｪﾝｽ立面図
B矢視図



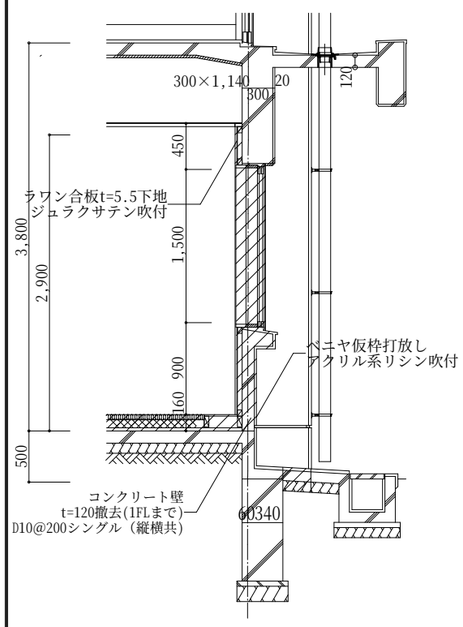
※図中 ”00” は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

着工	・　・		
竣工	・　・		
監理			
施工			

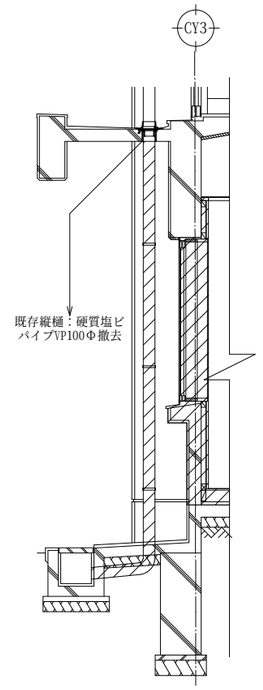
堂 園 設 計 株 式 会 社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-81
縮尺 1:30,15,10,150(A1) 1:60,30,20,300(A3)	図面名称	(共同利用施設)部分詳細図(2)	

耐震補強壁廻り詳細図　S=1:30

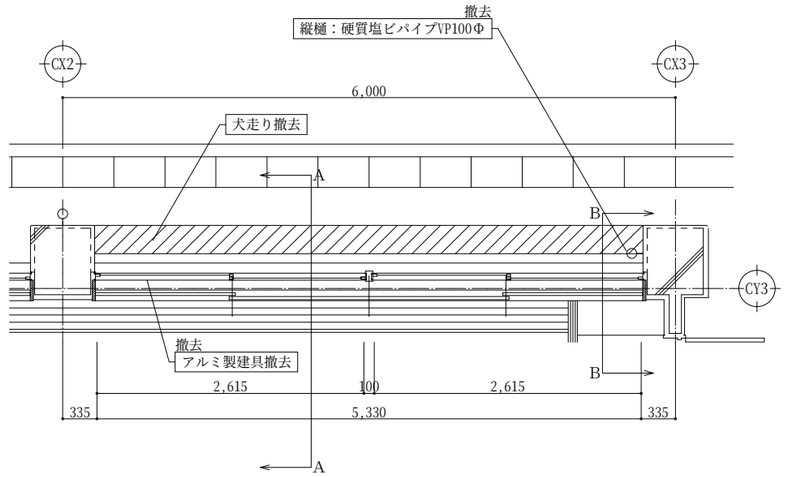


(既存)A-A断面詳細図　1:30



(既存)B-B断面詳細図　1:30

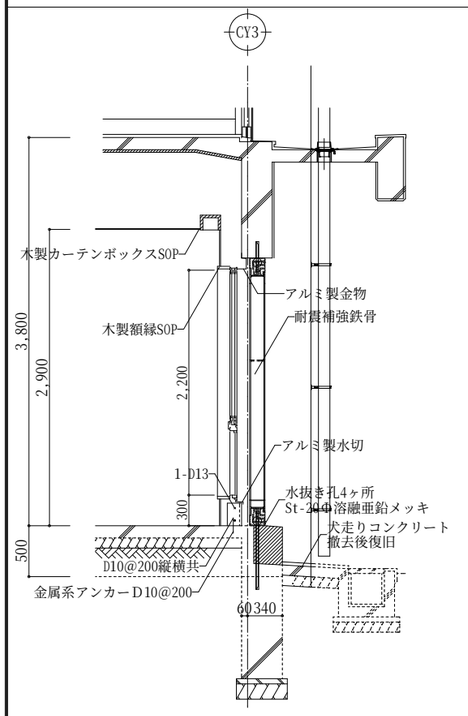
既　存



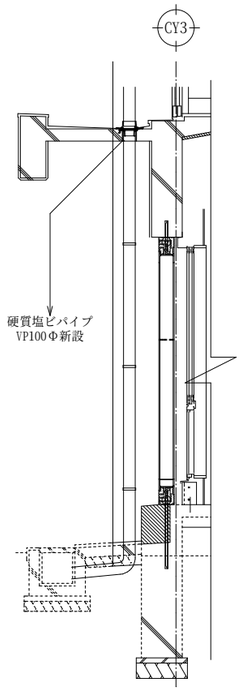
平面詳細図　1:30

撤去部分を示す。

S=1:30

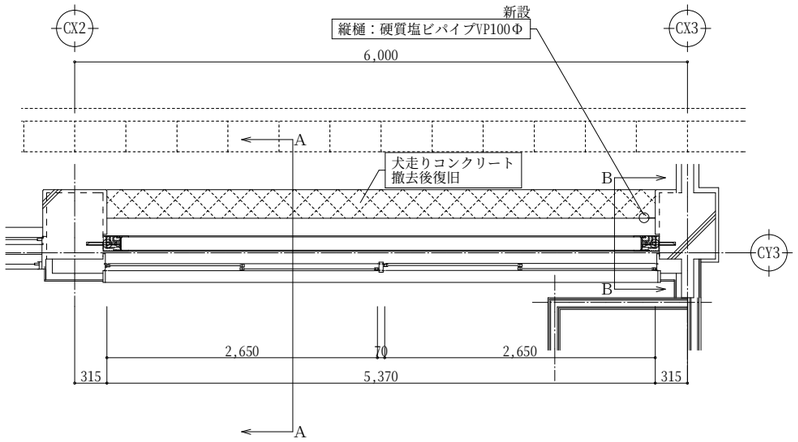


(改修後)A-A面詳細図　1:30



(改修後)B-B面詳細図　1:30

改修後

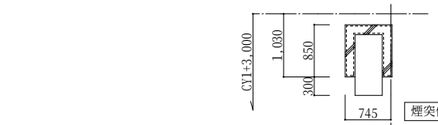


耐震補強壁廻り平面詳細図　1:30

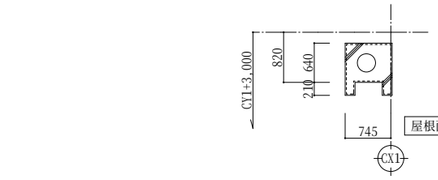
着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-82
竣工	・　・						
監理				縮尺 1：30,10(A1) 1：60,20(A3)	図面名称	(共同利用施設)部分詳細図(3)	
施工							

煙突廻り詳細図

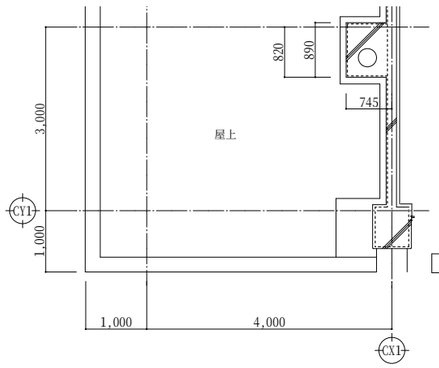
※カポスタック：アスベスト含有材



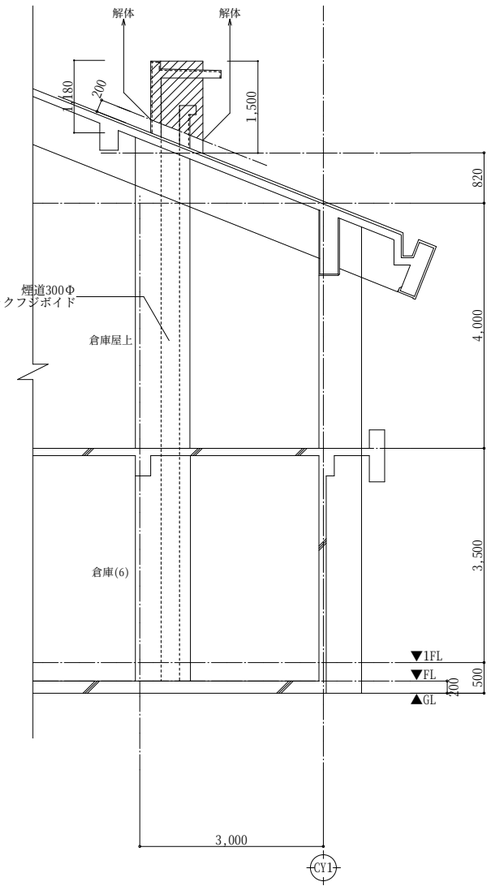
煙突伏図　1:50

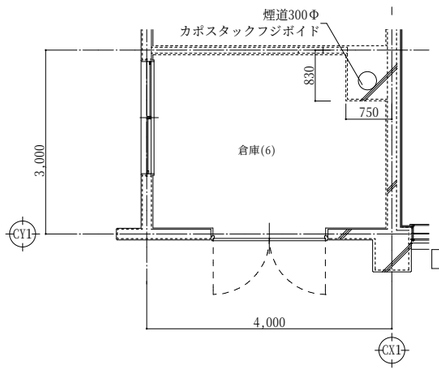


屋根面煙突平面図　1:50

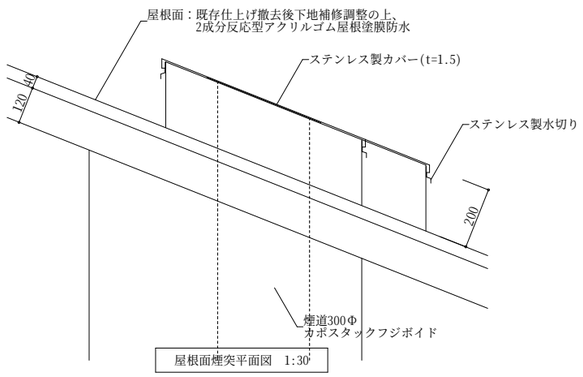


2階煙突平面図　1:50

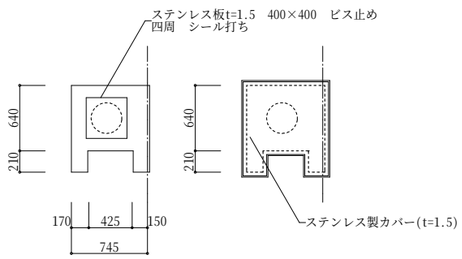




1階煙突平面図　1:50



屋根面煙突平面図　1:30

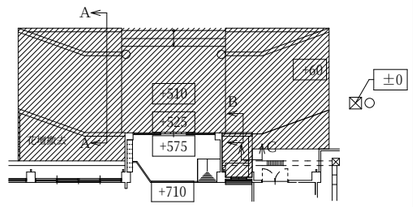


(解体後)煙突平面図　1:30

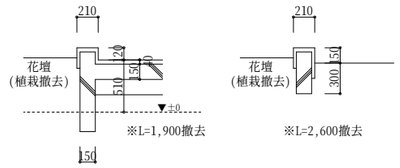
※撤去後鉄筋部は錆止め塗装を施すこと。

車寄せ断面詳細図

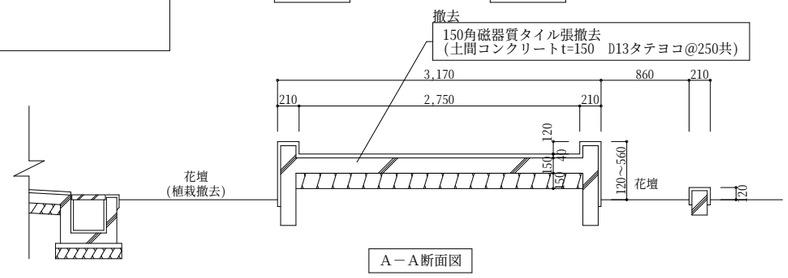
S=1:30



既　存

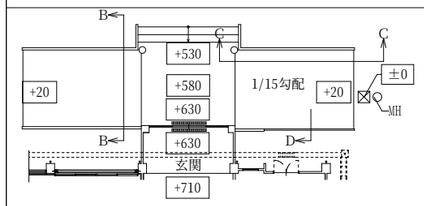


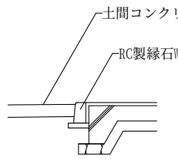
B断面図　　C断面図



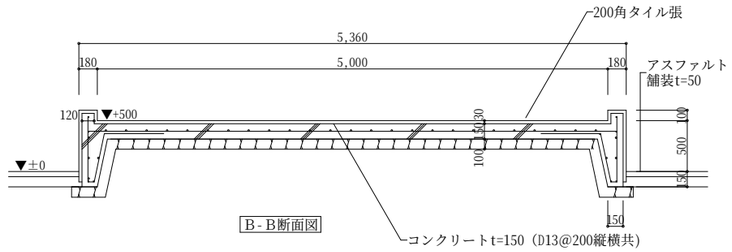
A－A断面図

改修後

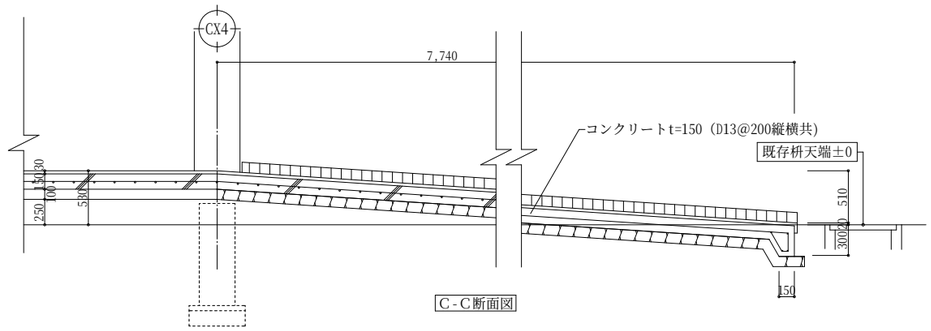




D断面図

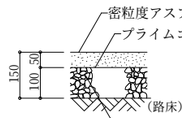


B-B断面図

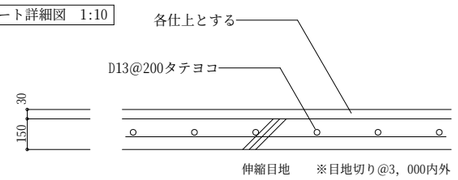


C-C断面図

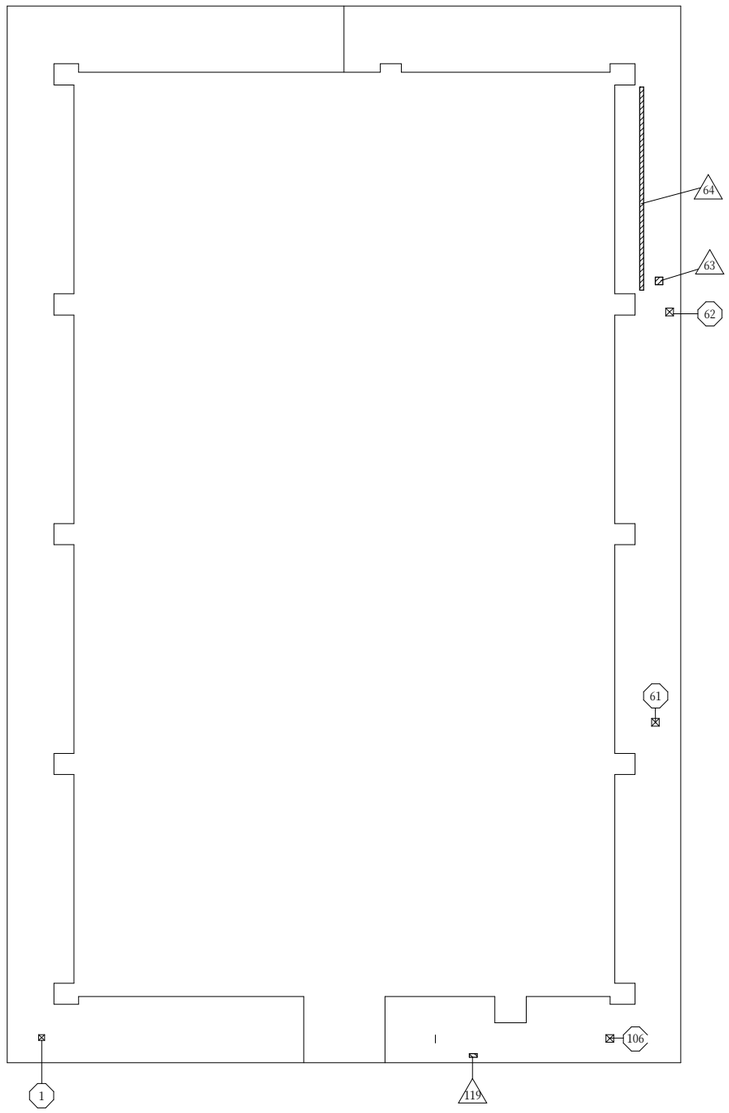
アスファルト舗装詳細図　1:10



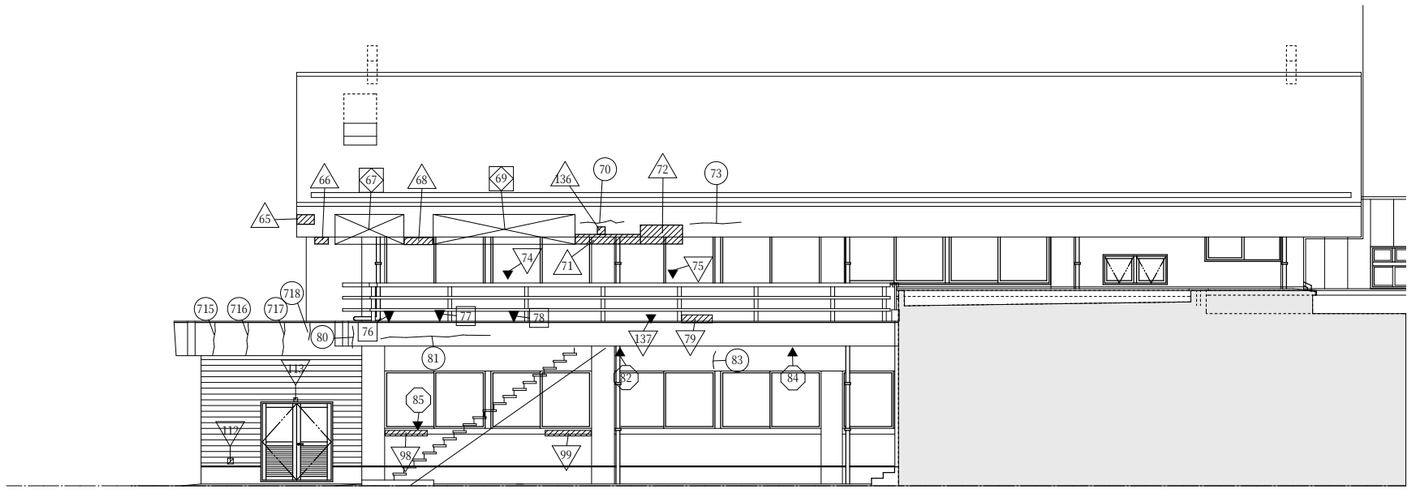
スロープ面コンクリート詳細図　1:10



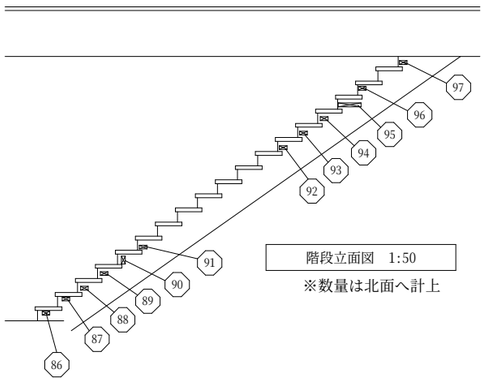
着工	・　・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A-83
竣工	・　・			縮尺 1：30,10(A1) 1：60,20(A3)	図面名称	(共同利用施設)部分詳細図(4)	
監理							
施工							



Ⓖ天井伏図　S=1/100

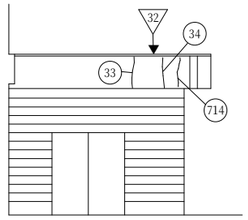


西側立面図　お断面　※数量は北面へ計上

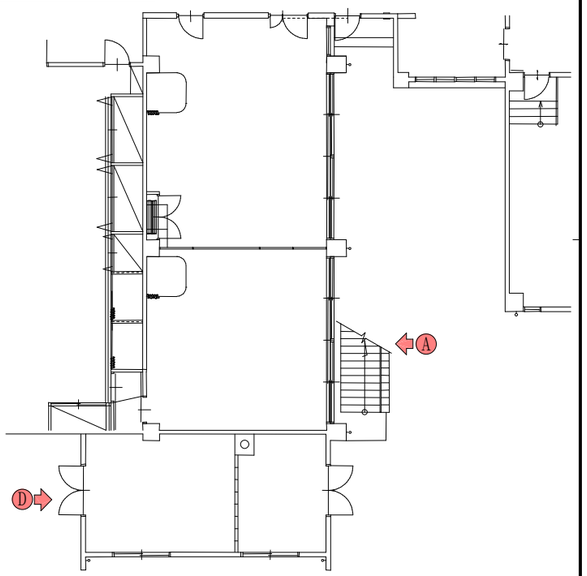


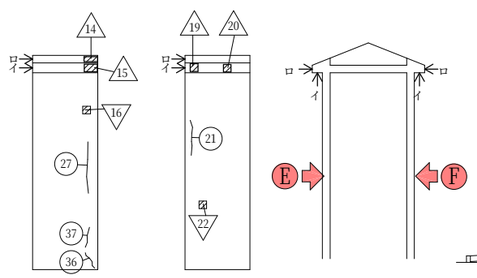
階段立面図　1:50

※数量は北面へ計上



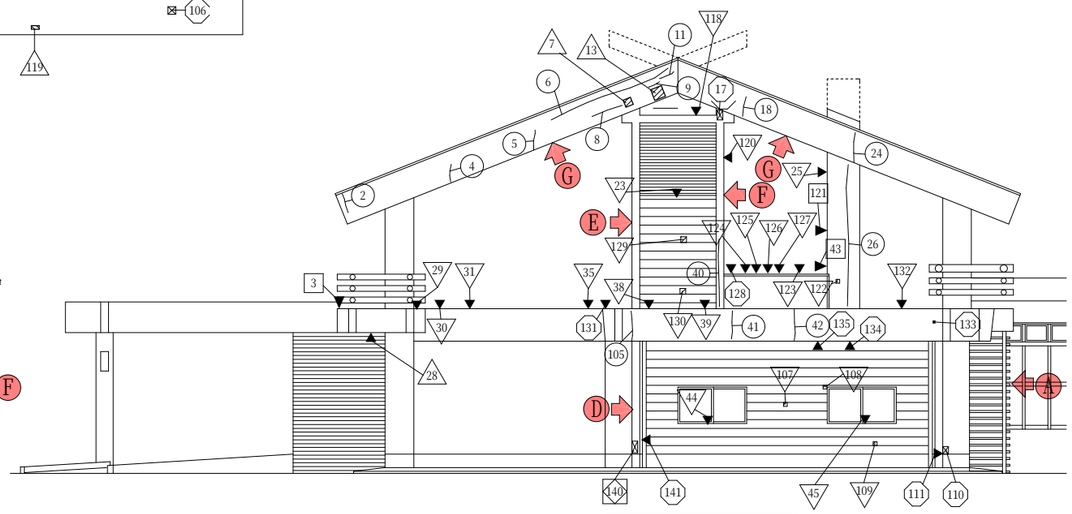
Ⓓ立面図　1:80　※数量は北面へ計上





Ⓔ立面図　1:80

Ⓕ立面図　1:80



北側立面図　1:80

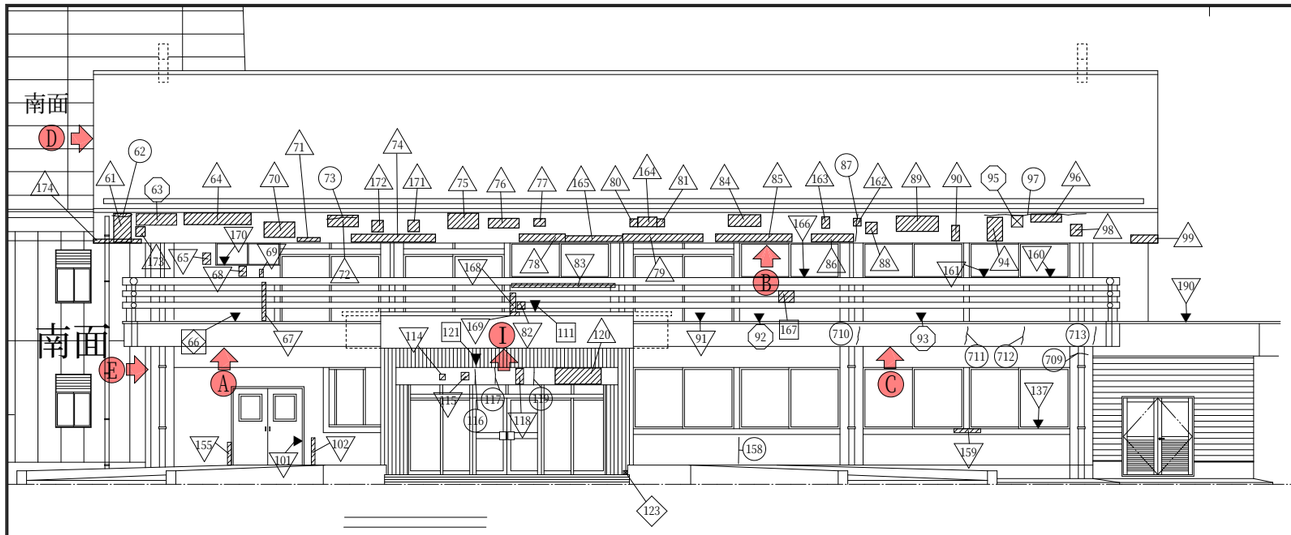
補　修　工　法　名（参　考）		番号	マーク
イ－１	爆裂部改修工法：爆裂部ポリマーセメントモルタル工法（打放し面）	✻	
イ－２	欠損部改修工法：欠損部ポリマーセメントモルタル工法（モルタル面）	✻	
ロ	欠損部改修工法：ポリマーセメントモルタル工法（ハツリ部）	✻	
ハ－１	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡（一般部）	✻	
ハ－２	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡（指定部）	✻	
ハ－３	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法　5本/m（狭幅部）	✻	
ニ	浮き部改修工法：タイル部分	✻	
ホ	ひび割れ部改修工法：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法０．２～１．０mm	✻	

特記事項

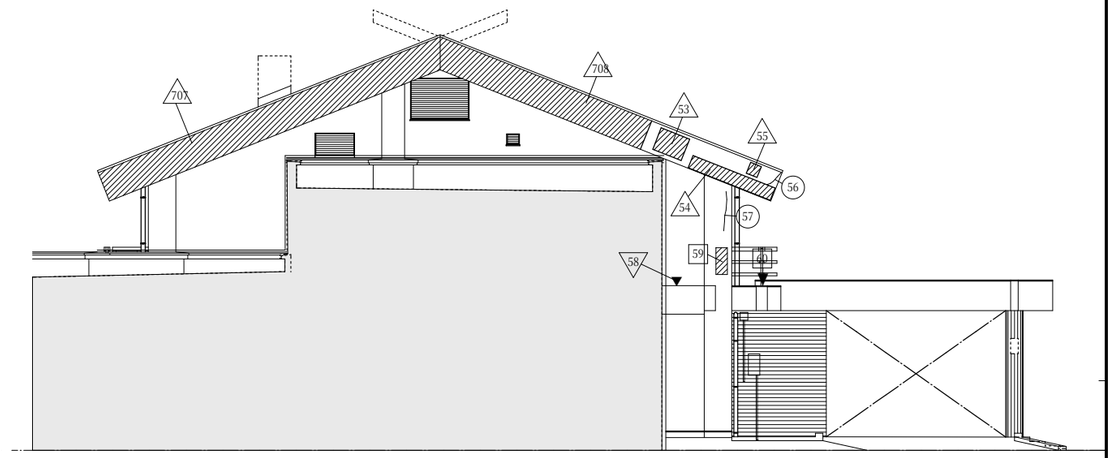
堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７

一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

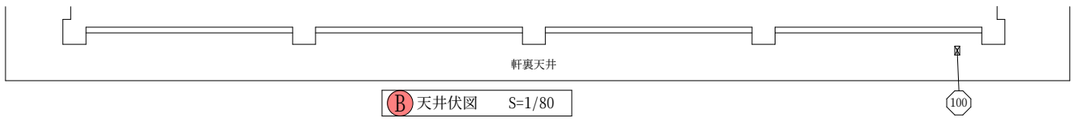
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号
R7・2・				A-84
縮尺 A1 1:80 A3 1:160	図面名称	(共同利用施設)外壁調査図(1)		



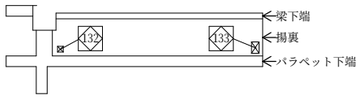
東側立面図



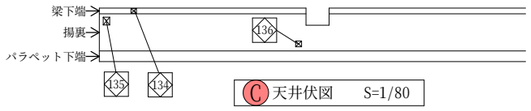
南側立面図　あ断面



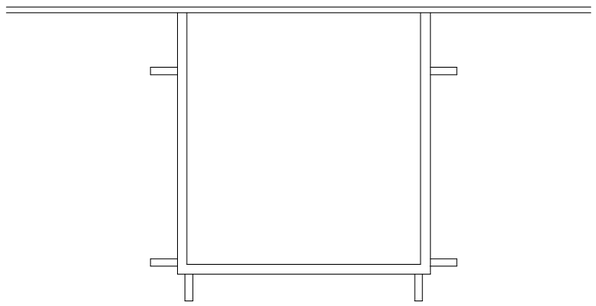
B 天井伏図　S=1/80



A 天井伏図　S=1/80

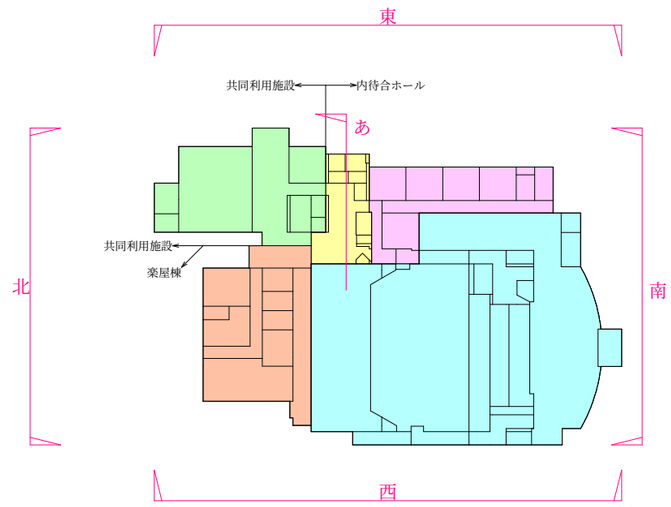


C 天井伏図　S=1/80



I 天井伏図　S=1/80

補　修　工　法　名（参考）		番号	マーク
イー１	爆裂部改修工法：爆裂部ポリマーセメントモルタル工法（打放し面）		
イー２	欠損部改修工法：欠損部ポリマーセメントモルタル工法（モルタル面）		
ロ	欠損部改修工法：ポリマーセメントモルタル工法（ハツリ部）		
ハー１	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法16本/㎡（一般部）		
ハー２	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法25本/㎡（指定部）		
ハー３	浮き部改修工法：アンカーピンニング部分エポキシ樹脂注入工法　5本/m（狭幅部）		
ニ	浮き部改修工法：タイル部分		
ホ	ひび割れ部改修工法：自動式低圧エポキシ樹脂注入工法０．２～１．０mm		



特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
			縮尺 A1 1:80 A3 1:160	図面名称	(共同利用施設)外壁調査図(2)
					図面番号 A-85

北面
イ-1．爆裂部改修ポリマーセメントモルタル充填工法（打放し面）

番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	モルタルカット(m) 計算	モルタルカット(m) 計	脆弱部のはつりさらえ清掃（㎡）	鉄筋の錆落し（㎡）	防錆材塗布（㎡）	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填（㎡）
1	天井面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01	0.01	0.01
17	壁面	0.15	0.25	0.04	（ 0.15 + 0.25 ）× 2	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
61	天井面	0.20	0.20	0.04	（ 0.20 + 0.20 ）× 2	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
62	天井面	0.20	0.20	0.04	（ 0.20 + 0.20 ）× 2	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
82	天井面	0.20	0.40	0.08	（ 0.20 + 0.40 ）× 2	1.20	0.08	0.08	0.08	0.08
84	天井面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01	0.01	0.01
85	壁面	0.10	5.40	0.54	（ 0.10 + 5.40 ）× 2	11.00	0.54	0.54	0.54	0.54
86	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
87	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
88	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
89	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
90	壁面	0.20	0.10	0.02	（ 0.20 + 0.10 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
91	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
92	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
93	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
94	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
95	壁面	0.10	0.60	0.06	（ 0.10 + 0.60 ）× 2	1.40	0.06	0.06	0.06	0.06
96	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
97	壁面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
106	天井面	0.20	0.20	0.04	（ 0.20 + 0.20 ）× 2	0.80	0.04	0.04	0.04	0.04
110	壁面	0.15	0.20	0.03	（ 0.15 + 0.20 ）× 2	0.70	0.03	0.03	0.03	0.03
111	壁面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01	0.01	0.01
128	壁面	0.40	0.10	0.04	（ 0.40 + 0.10 ）× 2	1.00	0.04	0.04	0.04	0.04
131	壁面	0.25	0.20	0.05	（ 0.25 + 0.20 ）× 2	0.90	0.05	0.05	0.05	0.05
133	壁面	0.05	0.05	0.01	（ 0.05 + 0.05 ）× 2	0.20	0.01	0.01	0.01	0.01
134	天井面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01	0.01	0.01
135	天井面	0.05	0.05	0.01	（ 0.05 + 0.05 ）× 2	0.20	0.01	0.01	0.01	0.01
141	壁面	0.20	0.10	0.02	（ 0.20 + 0.10 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
壁面計					20ヶ所	23.60	1.08	1.02	1.02	1.02
天井面計					8ヶ所	5.00	0.24	0.24	0.24	0.24

北面
ロ．ポリマーセメントモルタル充填工法（ハツリ部）

番号	部位	W(m)	H（m）	A（㎡）	モルタルカット(m) 計算	モルタルカット(m) 計	脆弱部のはつりさらえ清掃（㎡）	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填（㎡）
67	壁面	0.90	2.00	1.80	（ 0.90 + 2.00 ）× 2	5.80	1.80	1.80
69	壁面	0.90	3.70	3.33	（ 0.90 + 3.70 ）× 2	9.20	3.33	3.33
140	壁面	0.15	0.30	0.05	（ 0.15 + 0.30 ）× 2	0.90	0.05	0.05
壁面計					3ヶ所	15.90	5.18	5.18
天井面計					0ヶ所	0.00	0.00	0.00

北面
ハ-1．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(一般部分)　㎡×16本

番号	部位	W(m)	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
3	壁面	0.40	0.30	0.12	× 16	2
43	壁面	0.30	1.80	0.54	× 16	9
76	壁面	0.30	2.70	0.81	× 16	13
77	壁面	0.30	0.90	0.27	× 16	5
78	壁面	0.30	0.50	0.15	× 16	3
121	壁面	0.25	0.50	0.13	× 16	3
壁面計		6ヶ所		2.02		35
天井面計		0ヶ所		0.00		0

北面
ハ-2．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(指定部分)　㎡×25本

番号	部位	W(m)	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
7	壁面	0.20	0.20	0.04	× 25	1
13	壁面	0.30	0.30	0.09	× 25	3
14	壁面	0.10	0.30	0.03	× 25	1
15	天井面	0.20	0.30	0.06	× 25	2
19	天井面	0.20	0.20	0.04	× 25	1
20	天井面	0.20	0.20	0.04	× 25	1
28	天井面	0.10	0.10	0.01	× 25	1
63	天井面	0.20	0.20	0.04	× 25	1
64	天井面	5.40	0.05	0.27	× 25	7
65	壁面	0.30	0.50	0.15	× 25	4
66	壁面	0.20	0.40	0.08	× 25	2
68	壁面	0.20	0.80	0.16	× 25	4
71	壁面	0.30	1.70	0.51	× 25	13
72	壁面	0.60	1.10	0.66	× 25	17
119	天井面	0.20	0.10	0.02	× 25	1
136	壁面	0.20	0.20	0.04	× 25	1
壁面計		9ヶ所		1.76		46
天井面計		0ヶ所		0.48		14

北面
ハ-3．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(狭幅部分)　m×５本

番号	部位	W (m)	H (m)	A (㎡)	採用値 (m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ (本)	番号	部位	W (m)	H (m)	A (㎡)	採用値 (m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ (本)	番号	部位	W (m)	H (m)	A (㎡)	採用値 (m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ (本)
16	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1	98	壁面	0.20	1.10	0.22	1.10	× 5	6	129	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1
22	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1	99	壁面	0.20	1.20	0.24	1.20	× 5	6	130	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1
23	壁面	0.10	1.80	0.18	1.80	× 5	9	107	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	132	壁面	0.35	0.15	0.06	0.35	× 5	2
25	壁面	0.50	0.20	0.10	0.50	× 5	3	108	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	137	壁面	1.90	0.20	0.38	1.90	× 5	10
29	壁面	0.20	0.30	0.06	0.30	× 5	2	109	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
30	壁面	0.15	0.60	0.09	0.60	× 5	3	112	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1	壁面小計					2.55		14
31	壁面	0.15	0.20	0.03	0.20	× 5	1	113	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1	天井面小計					0.00		0
32	壁面	0.10	0.30	0.03	0.30	× 5	2	118	壁面	1.50	0.10	0.15	1.50	× 5	8								
35	壁面	0.15	0.15	0.03	0.15	× 5	1	120	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
38	壁面	0.20	1.40	0.28	1.40	× 5	7	122	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
39	壁面	0.20	8.30	1.66	8.30	× 5	42	123	壁面	2.50	0.10	0.25	2.50	× 5	13								
44	壁面	0.10	1.80	0.18	1.80	× 5	9	124	壁面	0.30	0.20	0.06	0.30	× 5	2								
45	壁面	0.10	1.80	0.18	1.80	× 5	9	125	壁面	0.50	0.10	0.05	0.50	× 5	3								
74	壁面	0.20	0.80	0.16	0.80	× 5	4	126	壁面	0.50	0.15	0.08	0.50	× 5	3								
75	壁面	0.06	2.70	0.17	2.70	× 5	14	127	壁面	0.20	0.25	0.05	0.25	× 5	2								
79	壁面	0.20	0.80	0.16	0.80	× 5	4																
壁面小計					21.85		112	壁面小計					8.60		50	壁面合計					33.00		176
天井面小計					0.00		0	天井面小計					0.00		0	天井面合計					0.00		0

北面
ホ．自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法

番号	部位	長さ（m）	番号	部位	長さ（m）	番号	部位	長さ（m）
2	壁面	0.60	33	壁面	0.80	105	壁面	0.70
4	壁面	0.70	34	壁面	0.80	714	壁面	0.70
5	壁面	0.60	36	壁面	0.40	715	壁面	0.30
6	壁面	3.20	37	壁面	0.30	716	壁面	0.70
8	壁面	0.60	40	壁面	2.40	717	壁面	0.70
9	壁面	0.30	41	壁面	0.80	718	壁面	0.70
11	壁面	0.50	42	壁面	0.70			
18	壁面	0.40	70	壁面	1.20			
21	壁面	0.40	73	壁面	1.20			
24	壁面	0.70	80	壁面	0.70			
26	壁面	3.70	81	壁面	3.00			
27	壁面	1.00	83	壁面	0.70			
壁面計						30ヶ所		29.50
天井面計						0ヶ所		0.00

東面
イ-1．爆裂部改修ポリマーセメントモルタル充填工法（打放し面）

番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	モルタルカット(m) 計算	モルタルカット(m) 計	脆弱部のはつりさらえ清掃（㎡）	鉄筋の錆落し（㎡）	防錆材塗布（㎡）	ﾎﾟﾘﾏｰｾﾒﾝﾄﾓﾙﾀﾙ充填（㎡）
92	壁面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01	0.01	0.01
93	壁面	12.70	0.20	2.54	（ 12.70 + 0.20 ）× 2	25.80	2.54	2.54	2.54	2.54
95	壁面	0.30	0.30	0.09	（ 0.30 + 0.30 ）× 2	1.20	0.09	0.09	0.09	0.09
100	天井面	0.20	0.10	0.02	（ 0.20 + 0.10 ）× 2	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02
壁面計					3ヶ所	27.40	2.64	2.64	2.64	2.64
天井面計					1ヶ所	0.60	0.02	0.02	0.02	0.02

東面
ロ．ポリマーセメントモルタル充填工法（ハツリ部）

図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	モルタルカット(m) 計算	モルタルカット(m) 計	脆弱部のはつりさらえ清掃（㎡）	ポリマーセメントモルタル充填（㎡）
66	壁面	6.70	0.30	2.01	（ 6.70 + 0.30 ）× 2	14.00	2.01	2.01
132	天井面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01
133	天井面	0.20	0.30	0.06	（ 0.20 + 0.30 ）× 2	1.00	0.06	0.06
134	天井面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01
135	天井面	0.10	0.20	0.02	（ 0.10 + 0.20 ）× 2	0.60	0.02	0.02
136	天井面	0.10	0.10	0.01	（ 0.10 + 0.10 ）× 2	0.40	0.01	0.01
壁面計					1ヶ所	14.00	2.01	2.01
天井面計					5ヶ所	2.80	0.11	0.11

東面
ハ-1．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(一般部分)　㎡×16本

図面番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
59	壁面	0.70	0.30	0.21	× 16	4
60	壁面	0.25	0.60	0.15	× 16	3
111	壁面	0.70	0.30	0.21	× 16	4
121	壁面	0.30	0.30	0.09	× 16	2
167	壁面	0.40	0.30	0.12	× 16	2
壁面計		5ヶ所		0.78		15
天井面計		0ヶ所		0.00		0

東面
ハ-2．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(指定部分)　㎡×25本

番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）	番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
61	壁面	0.50	0.80	0.40	× 25	10	96	壁面	0.80	0.20	0.16	× 25	4
64	壁面	0.40	1.90	0.76	× 25	19	98	壁面	0.30	0.30	0.09	× 25	3
70	壁面	0.50	0.90	0.45	× 25	12	99	壁面	0.70	0.20	0.14	× 25	4
71	壁面	0.10	0.70	0.07	× 25	2	120	壁面	1.20	0.50	0.60	× 25	15
72	壁面	0.40	1.00	0.40	× 25	10	162	壁面	0.20	0.20	0.04	× 25	1
74	壁面	0.20	2.40	0.48	× 25	12	163	壁面	0.20	0.30	0.06	× 25	2
75	壁面	0.50	0.90	0.45	× 25	12	164	壁面	0.50	0.25	0.13	× 25	4
76	壁面	0.30	0.90	0.27	× 25	7	165	壁面	1.50	0.15	0.23	× 25	6
77	壁面	0.20	0.30	0.06	× 25	2	171	壁面	0.30	0.30	0.09	× 25	3
78	壁面	0.20	1.20	0.24	× 25	6	172	壁面	0.30	0.30	0.09	× 25	3
79	壁面	0.20	2.40	0.48	× 25	12	173	壁面	0.25	0.25	0.07	× 25	2
80	壁面	0.20	0.20	0.04	× 25	1	174	壁面	1.25	0.10	0.13	× 25	4
81	壁面	0.20	0.20	0.04	× 25	1	壁面小計		12ヶ所		1.83		51
84	壁面	1.00	0.40	0.40	× 25	10	天井面小計		0ヶ所		0.00		0
85	壁面	0.20	2.30	0.46	× 25	12							
86	壁面	1.20	0.20	0.24	× 25	6							
88	壁面	0.30	0.30	0.09	× 25	3							
89	壁面	1.30	0.50	0.65	× 25	17							
90	壁面	0.20	0.40	0.08	× 25	2							
94	壁面	1.00	0.40	0.40	× 25	10							
壁面小計		20ヶ所		6.46		166	壁面合計		31ヶ所		7.69		202
天井面小計		0ヶ所		0.00		0	天井面合計		0ヶ所		0.00		0

東面
ハ-3．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(狭幅部分)　m×５本

番号	部位	W (m)	H (m)	A (㎡)	採用値 (m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ (本)	番号	部位	W (m)	H (m)	A (㎡)	採用値 (m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ (本)
65	壁面	0.20	0.30	0.06	0.30	× 5	2	169	壁面	0.25	0.10	0.03	0.25	× 5	2
67	壁面	0.10	1.00	0.10	1.00	× 5	5	170	壁面	0.75	0.10	0.08	0.75	× 5	4
68	壁面	0.40	0.20	0.08	0.40	× 5	2	190	壁面	3.55	0.10	0.36	3.55	× 5	18
69	壁面	0.20	0.10	0.02	0.20	× 5	1	壁面小計		3ヶ所			4.55		24
82	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1	天井面小計		0ヶ所			0.00		0
83	壁面	2.70	0.06	0.17	2.70	× 5	14								
91	壁面	2.70	0.06	0.17	2.70	× 5	14								
101	壁面	0.05	0.90	0.05	0.90	× 5	5								
102	壁面	0.10	0.70	0.07	0.70	× 5	4								
114	壁面	0.10	0.10	0.01	0.10	× 5	1								
115	壁面	0.20	0.20	0.04	0.20	× 5	1								
118	壁面	0.50	0.20	0.10	0.50	× 5	3								
137	壁面	0.50	0.07	0.04	0.50	× 5	3								
155	壁面	0.10	0.60	0.06	0.60	× 5	3								
159	壁面	0.70	0.10	0.07	0.70	× 5	4								
160	壁面	0.40	0.10	0.04	0.40	× 5	2								
161	壁面	0.65	0.10	0.07	0.65	× 5	4								
166	壁面	2.70	0.10	0.27	2.70	× 5	14								
168	壁面	0.15	0.50	0.08	0.50	× 5	3								
壁面小計		19ヶ所		15.95		86	壁面合計		22ヶ所		20.50		110		
天井面小計		0ヶ所		0.00		0	天井面合計		0ヶ所		0.00		0		

東面
ホ．自動式低圧ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法

図面番号	部位	長さ（m）	図面番号	部位	長さ（m）
56	壁面	0.80			
57	壁面	0.40			
62	壁面	1.70			
73	壁面	0.90			
87	壁面	0.90			
97	壁面	2.60			
116	壁面	0.40			
117	壁面	0.70			
119	壁面	0.50			
158	壁面	0.90			
709	壁面	0.60			
710	壁面	0.60			
711	壁面	0.60			
712	壁面	0.60			
713	壁面	0.60			
壁面計		15ヶ所			12.80
天井面計		0ヶ所			0.00

南面
ハ-2．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(指定部分)　㎡×25本

番号	部位	W（m）	H（m）	A（㎡）	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ（本）
53	壁面	0.60	0.80	0.48	× 25	12
54	壁面	0.40	2.30	0.92	× 25	23
55	壁面	0.30	0.30	0.09	× 25	3
707	壁面	9.60	0.80	7.68	× 25	192
708	壁面	5.60	0.80	4.48	× 25	112
壁面計		5ヶ所		13.65		342
天井面計		1ヶ所		0.00		0

南面
ハ-3．ｱﾝｶｰﾋﾟﾝﾆﾝｸﾞ部分ｴﾎﾟｷｼ樹脂注入工法(狭幅部分)　m×５本

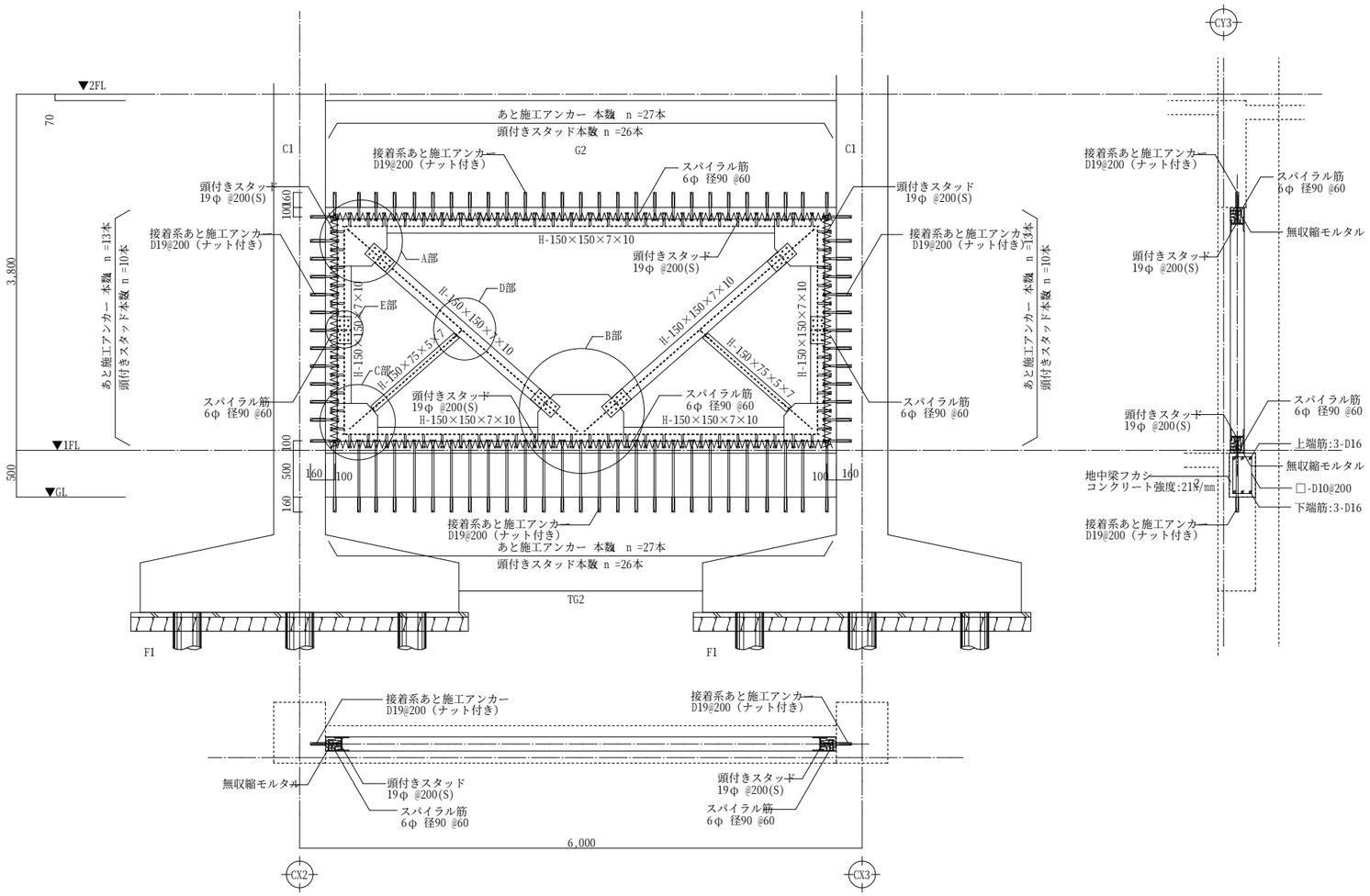
番号	部位	W (m)	H (m)	A (㎡)	採用値 (m)	本	ｱﾝｶｰﾋﾟﾝ (本)
58	壁面	0.20	1.00	0.20	1.00	× 5	5
壁面計		1ヶ所			1.00		5
天井面計		0ヶ所			0.00		0

特記事項

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第１－３－１６４号
鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７
一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選

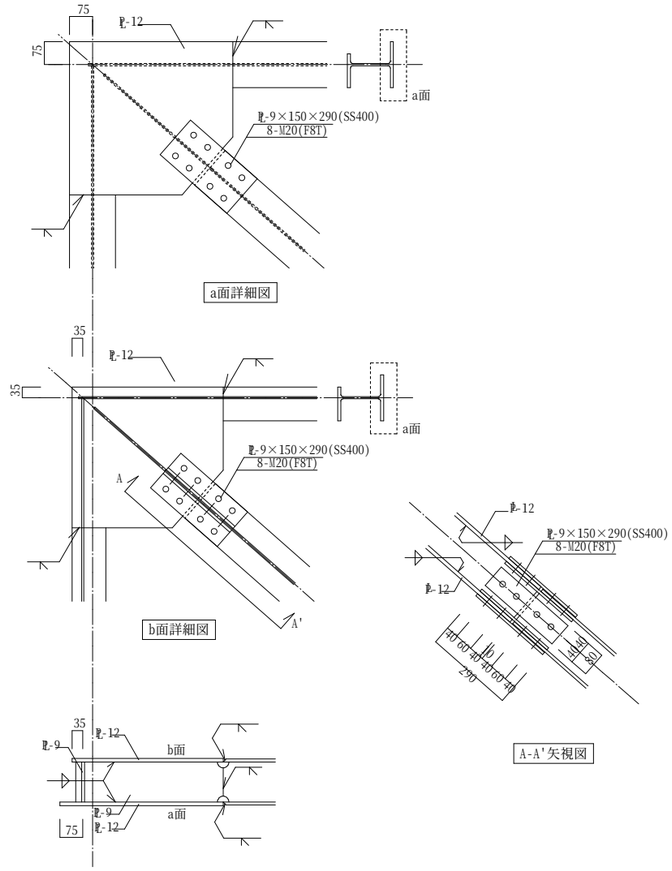
設計年月日	R7 ・ 2 ・
縮　尺	NO.SCALE
工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図
図面名称	(共同利用施設)外壁調査数量表
図面番号	A-86

CY3通り鉄骨ブレース詳細図 1:30



CY3通り鉄骨ブレース詳細図

A部詳細図 1:10

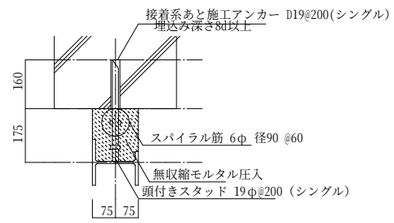


a面詳細図

b面詳細図

A部詳細図S=1/10

接合部 取合詳細図 1:10



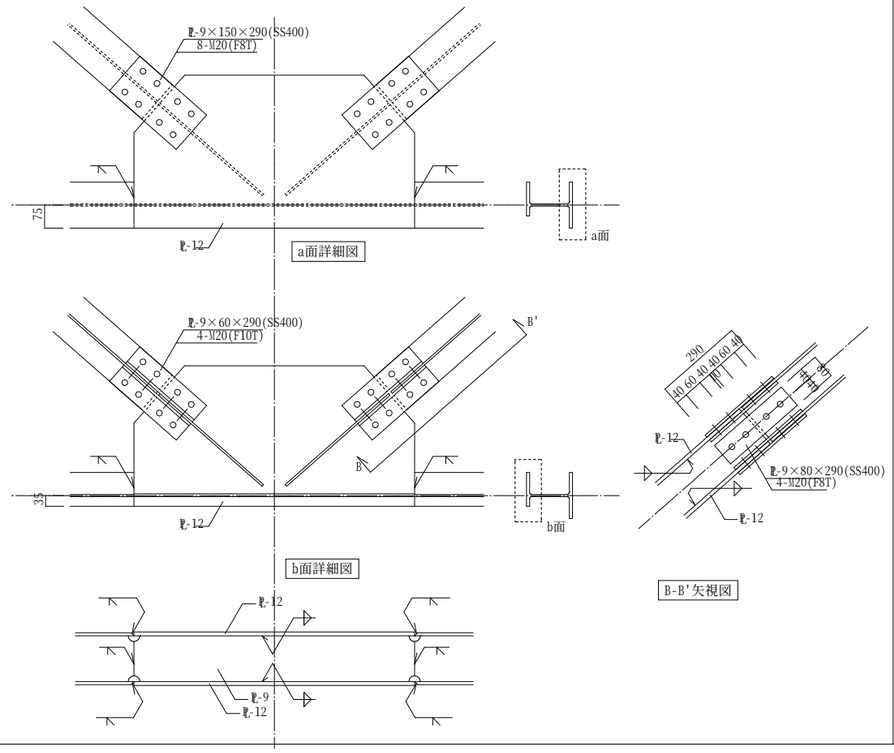
鉄骨工事一般仕様

1．使用鋼材
 a)SS400(規格品)(H形鋼・プレート)
 b)頭付きスタッド JIS B 1198(規格品)
 c)アンカー筋 JIS G 3112 3種 SD345(規格品)
 d)H.T.B F8T(規格品)
2．使用鉄筋
 SD295(規格品) D記号
3．使用モルタル
 設計基準強度 Fc=30 N/mm²
4．あと施工アンカー
 接着系アンカー:メーカーにより素材強度が保証されたもの
5．注意事項
 a)H形鋼材及びスパイラル筋の材料加工に先立ち躯体寸法を実施し、これらの部材を実状に合った寸法にする。
 b)補強部材と既存コンクリート躯体との接触面については、既存コンクリート躯体面をめ荒らしとし、コンクリート又はモルタル打設前に充分水湿しを行う。
6．無収縮モルタル圧入
 (圧縮強度試験を公共建築改修工事標準仕様書8.2.11により実施すること)
 鉄骨枠と躯体との間に圧入する。

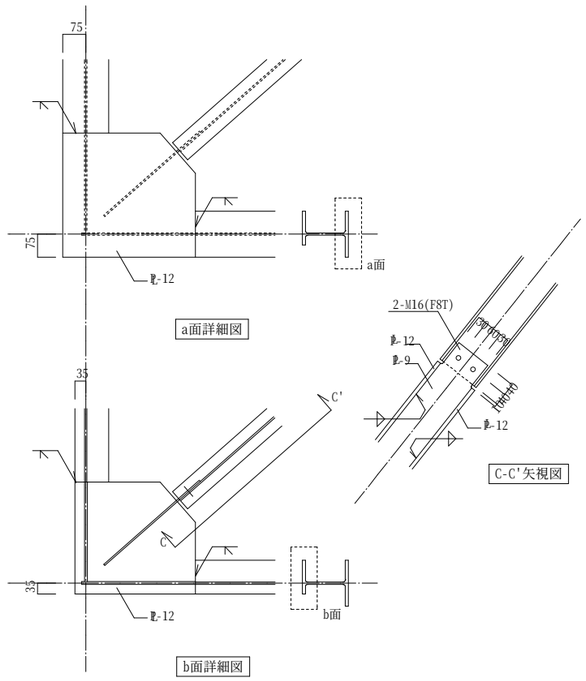
着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号	一級建築士登録 第160636号 外村 選
竣工	・ ・	鹿児島市真砂本町21番7号 TEL（代）099-257-1177	
監理			
施工			

設計年月日	R07・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図
縮尺	1：10,30(A1) 1：20,60(A3)	図面名称	(共同利用施設)鉄骨ブレース補強詳細図1
図面番号	A-87		

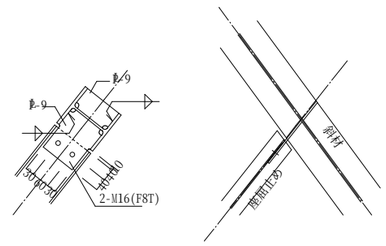
A部詳細図 1:10



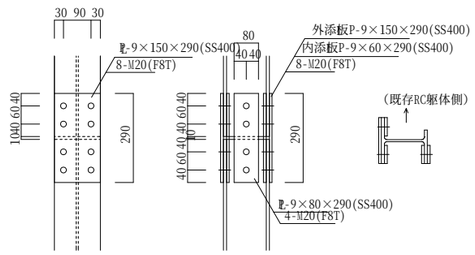
C部詳細図 1:10



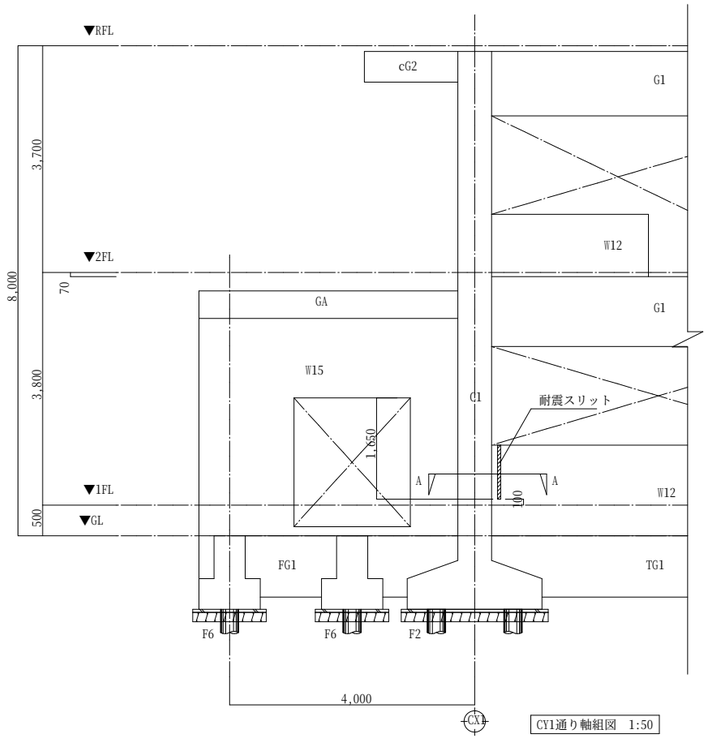
D部詳細図 1:10



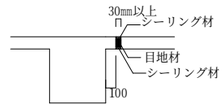
E部詳細図 1:10



耐震スリット詳細図 1:30 1:50

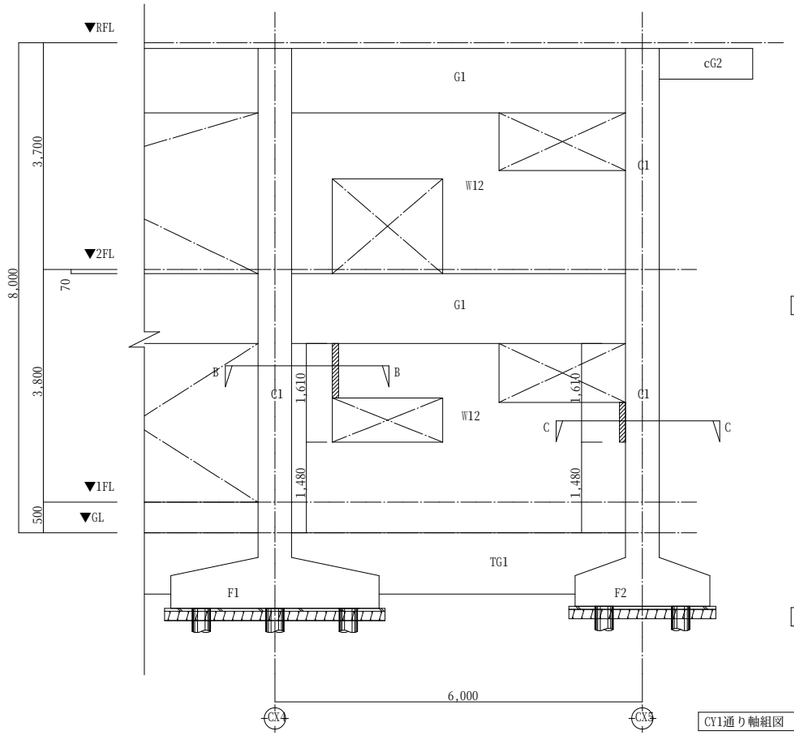


CY1通り軸組図 1:50

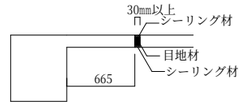


A-A断面 耐震スリット詳細図 1:30

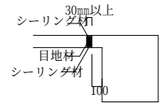
A-A断面 耐震スリット詳細図 1:30



CY1通り軸組図 1:50



B-B断面 耐震スリット詳細図 1:30



C-C断面 耐震スリット詳細図 1:30

着工	・ ・	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 選	設計年月日 R07・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区） 設計図	図面番号 A-88
竣工	・ ・			縮尺 1：10,30,50(A1) 1：20,60,100(A3)	図面名称	(共同利用施設)鉄骨ブレース補強詳細図2 耐震スリット詳細図	
監理							
施工							

煙突カポスタック除去工事特記仕様書（レベル２）

※ 本項目は全て適用する。

◎ 関係法令等の遵守、及び仕様（レベル２煙突カポスタック除去）

除去工事の実施にあたっては、労働基準法・労働安全衛生法・大気汚染防止法・建築基準法
石綿障害予防規則（以下石綿則という）廃棄物の処理及び清掃に関する法律・廃棄物処理
及び清掃に関する条例等の関係法令を遵守し、適切に施工を行う。

・工事は下記関係図書等に拠り実施すること。
『既存建築物の吹付アスベスト粉塵飛散防止処理技術指針・同解説』(日本建築センター)
(以下「センター指針」という)
『公共建築改修工事標準仕様書』[令和7年度版]・『建築改修工事監理指針』[令和4年度版]
(国土交通省)(以下「標準仕様書」という)
『建築物等の解体・改修工事等における石綿障害の予防』(建設業労働災害防止協会)
『石綿粉じんへのばく露防止マニュアル』(建設業労働災害防止協会)
(以下「建災防予防・防止マニュアル」という)
『建設・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する技術指針・同解説』(環境省)
『建築物等の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策徹底マニュアル』(環境省)
(以下「環境省指針」という)

◎ 工法

除去工法は、建設技術審査証明協議会会員法人が実施する『建設技術審査証明事業』において
石綿除去に関する工法の審査証明を受けた工法とするよう努める。
もしくは十分な知識・施工実績のある工法とする。

◎ 専門処理業者

1．施工に当たって、上記の工法について必要な知識・技術及び機器類等を有しているものの
中から施工実績等を考慮して適切な専門処理業者を選定し、関係資料を監督職員に提出する。
2．超高圧水洗工法とする。

◎ 工事管理者

処理工事に係る総合的技術監理を行う工事管理者を選任する。工事管理者は、常駐すること。
なお、工事管理者は、公的機関で実施されたアスベストに関する講習会の受講修了
（石綿作業主任者・特別管理産業廃棄物管理責任者）者とし、受講証明書（写）を監督職員
に提出する。

◎ 石綿作業主任者の選任

1．石綿障害障害予防規則に規定された石綿作業主任者を選定し、管理させる。
証明書（写）を監督職員に提出する。
2．石綿作業主任者は、石綿作業主任者技能講習修了者、又は平成１８年３月以前の特定化学物等
作業主任者の有資格者とする。
3．工事管理者と石綿作業作業主任者はこれを兼ねることができる。
4．石綿作業作業主任者は、負圧・除塵装置の管理、呼吸用保護具等の使用状況の
確認を行う。

◎ 施工調査等

事前に共通仕様書９．１．１により吹付アスベストの使用部位、厚さ等を調査し、結果を
図面等により記録し監督職員に提出する。

◎ 関係機関との協議・届出

法令等に基づき、除去工事に必要な関係機関との協議と届出を速やかに行う。
（労働基準監督署・鹿児島県環境保全課）等

◎ 除去施工計画書

施工調査に基づき、アスベスト粉塵の飛散防止対策を盛り込んだ吹付アスベスト除去
施工計画書を共通仕様書・指針等に基づき作成し、監督職員に提出・承諾を得る。

◎ 施工における安全衛生管理

1．施工に当たっては健康障害を防止する為、関係法令によるほか、「センター指針」及び
「建災防予防・防止マニュアル」等に基づき適切な安全衛生管理を行う。

2．セキュリティーゾーンは、下記の室で構成する。（煙突の場合は上下２箇所）
〇更衣室
〇エアーシャワー室（洗身設備）
〇保護衣等着脱室
〇前室　等

◎ 施工におけるアスベスト粉塵飛散防止措置等

1．施工におけるアスベスト粉塵飛散防止措置等は、関係法令によるほか、特に次の事項に
ついては「センター指針」等に基づき実施する。
〇粉塵飛散抑制剤の使用
〇粉塵飛散防止処理剤の使用等
〇負圧・除塵装置の設置

粉塵飛散防止処理材、粉塵飛散抑制材は散布特性、浸透、湿潤性、耐久性、防・耐火性
吸音性等を考慮して適切なものを、選定し、関係資料を監督職員に提出する。

2．作業場の床は、厚さ０．１５mm以上のプラスチックシート（　二重　）壁その他の
厚さは０．０８mm以上のプラスチックシートにより隔離されるよう確実に固定し、養生する。
3．隔離した処理作業の換気回数は、規定の回数以上とする。
4．施工において使用した水等の排水のうち、アスベストを含有する可能性のある排水は、
ＵＦフィルターやＨＥＰＡフィルター等によりろ過し適切に処理する。

◎ 処理作業

1．除去処理作業は「標準仕様書」及び「センター指針」の(吹付アスベスト除去処理工事マニュアル)
の(５　除去処理工事作業手順)に基づいて行う。
2．上記による他、作業処理に伴い発生する飛散性アスベストを含む廃棄物（以下「アスベスト
廃棄物」という。）を作業当日に適切な処理作業となるよう作業手順を定める。
なお、一日の作業終了時には床等を高性能真空掃除機等により清掃する。
3．アスベスト除去作業完了の確認は、一般建築物石綿含有建材調査者及び当該除去作業に係る
石綿作業主任者により目視で行う。

◎ アスベスト粉塵濃度の測定

1．アスベスト粉塵濃度の測定場所、測定点及び測定時期は下記による。

測定時間	重要度	測定場所	測定点（各施工箇所毎）	備考
処理作業前	△	処理作業室内	２又は３点	
	△	施工区画周辺又は敷地境界	２点	
処理作業中	△	処理作業室内	２点	
	◎	セキュリティーゾーン入口	１点	空気の流れを確認
	◎	負圧・除塵装置の排出口（処理作業室外の場合）	１点	除塵装置の性能確認
	○	施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	
処理作業後（隔離シート撤去前）	◎	処理作業室内	２点	
	△	施工区画周辺又は敷地境界	４方向各１点	

（注）各施工箇所ごと室面積が５０㎡以下２点，５０㎡～３００㎡３点、３００㎡以下までは３点以上
とする。３００㎡を超えるものは、監督職員と協議する。
2．粉塵濃度の測定は、「作業環境測定法」及び「JIS K3850-1空気中の繊維状粒子測定方法　第１部：
光学顕微鏡法及び走査電子顕微鏡法」及び「標準仕様書」に基づき、都道府県労働局に登録されて
いる作業環境測定機関で行うものとし、資料を提出し、監督職員の承諾を受ける。
3．アスベスト粉塵濃度の測定に当たっては、アスベスト粉塵濃度測定計画書を作成し
監督職員に提出する。
4．下記の内容に基づくアスベスト粉塵濃度測定結果報告書を３部作成し、監督職員に提出する。
（１）　工事名称
（２）　測定結果
（３）　測定時間
（４）　測定位置（測定高さと共に図示する。）
（５）　測定時の作業内容
（６）　サンプリング条件（ホルダー直径、吸引時間、吸引空気量）
（７）　マウンティング方法
（８）　顕微鏡視野面積、計数視野数
（９）　測定時（各測定場所等）の天候、温度、湿度、外気の風速及び風向
（１０）その他必要な事項

◎ アスベスト廃棄物の運搬・処分等

1．「アスベスト廃棄物」の処理に当たっては、関係法令、地方公共団体、特定行政庁の指導
等による他、共通仕様書、指針等、及び「建築・解体工事に伴うアスベスト廃棄物処理に関する
技術指針・同解説」により適正に処分する。

2．　収集運搬、処分とも都道府県知事等の許可を受けている特別管理産業廃棄物処理業者と
特別管理廃棄物処理に関する契約を締結し、廃棄物処理場の現地確認を行い、記録保管する。
特別管理廃棄物処理業者の引き受け承諾書及び許可証の写しを提出こと。
廃棄物の保管、運搬及び処分は、廃棄物の処理及び清掃に関する法律（平成１５年法第９３号）
及び都道府県衛生条例等関係法令の規定を厳守する。

3．アスベスト廃棄物をやむを得ず一時的に構内に保管する場合の保管場所などについては、
監督職員と協議する。
4．アスベスト廃棄物の構外搬出作業に当たっては、作業実施予定日等を事前に監督職員と
協議する。
5．アスベストを搬出した場合は、監督職員に報告する。
6．検査及び片付けを共通仕様書に基づき適正に行う。

◎ 吹付アスベスト除去施工記録

1．共通仕様書に基づき、施工記録報告書を作成し、監督職員に提出する。
2．施工記録報告書は下記の事項により作成する。(工事完成書類と兼用可)
（１）　施工計画書
（２）　工事記録及び工事写真
（３）　産業廃棄物処理記録（マニフェスト）
（４）　施工調査等記録
（５）　作業者の作業員名簿、作業記録、各種健康診断記録、安全衛生教育記録
（６）　その他必要な事項

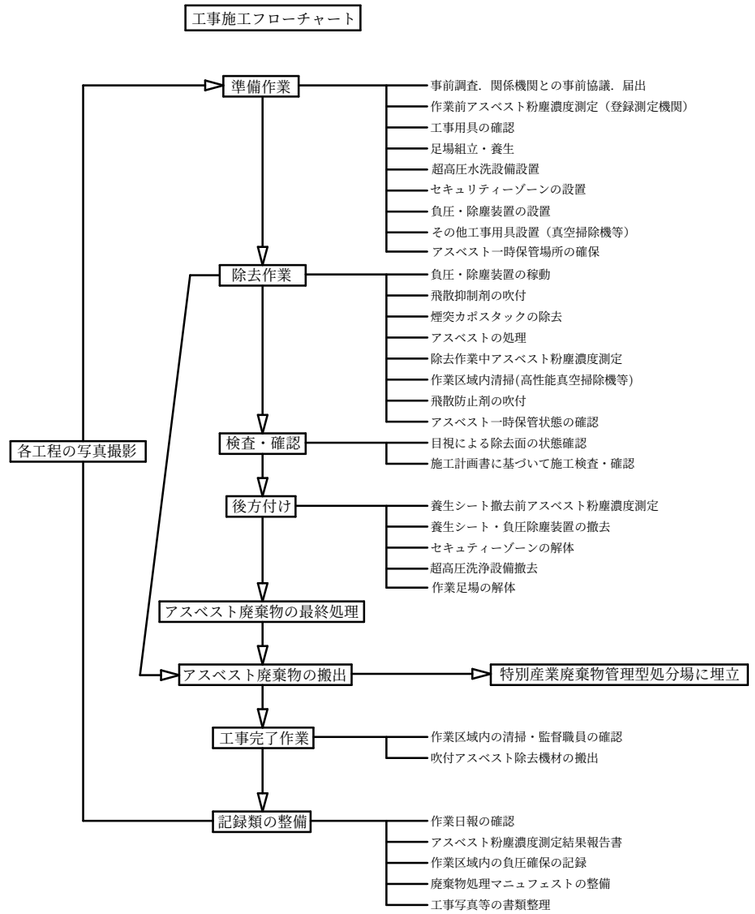
◎ 工事条件（レベル２煙突カポスタック）

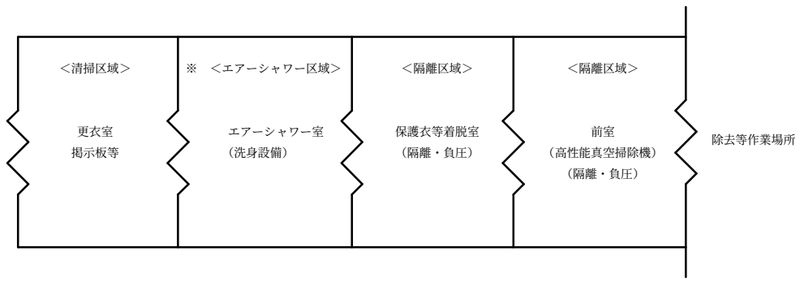
1．除去前工事
(１)除去に関わる設備機器は、シートで密閉養生を行う。また、作業に支障のあるものは
床養生完了後、事前撤去を行い、関係法令等に基づき適正に処分する。
(２)足場下は敷板等で床面を保護する。
(３)足場床は必要な場合は合板等を隙間なく敷詰めた上で養生を行う。
(４)不要な出入り口は閉鎖し、養生シートで隔離する。

2．除去工事
(１)各階毎又は必要な箇所にセキュリティーゾーンを設置し工事を行う。
（室を追加することは差し支えない。）
(２)最終処分については薬液にて湿潤後、密閉処置とする。
(３)作業用足場は、本枠組足場を基本とし条件により、ステージ棚足場等を設置する。
(４)養生シートは工事後関係法令に基づき適正に処理する。

3．作業範囲　　・アスベスト含有吹付材付着部分　煙突の煙道内部・煙突詳細・断面図参照
・その他アスベスト付着部分

4．石綿則に関わる表示
(１)「建築物等の解体等の作業に関するお知らせ」を見やすい場所に表示を行う。
(２)現場の見やすい場所に工事看板・立入禁止・注意等の必要な標識を表示する。
(３)除去作業者は石綿則に基づく有資格者とする。

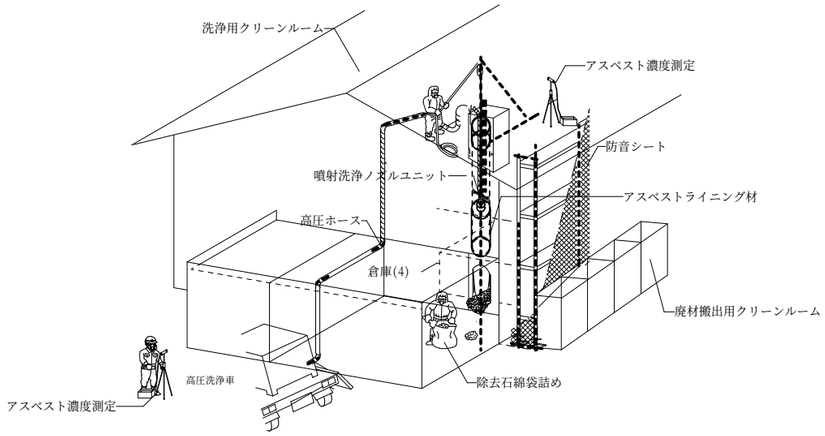




セキュリティーゾーンの構成

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・２・ 縮　尺 NO.SCALE	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）	設計図	図面番号 A-89
				図面名称	(共同利用施設)石綿除去工事（煙突）特記仕様書		

ウォータージェットによる煙突ライニング材除去



測定計画			
測定時期	測定場所	記号	数量
処理作業前	1、処理作業室内	測定１	2
	2、施工区画周辺又は敷地境界	測定２	2
処理作業中	3、処理作業室内	測定３	2
	4、セキュリティゾーン入口	測定４	2
	5、負圧・除塵装置吹出口（処理作業室外の場合）	測定５	2
	6、施工区画周辺又は敷地境界	測定６	4
処理作業後（隔離シート撤去前）	7、処理作業室内	測定７	2
	8、施工区画周辺又は敷地境界	測定８	4
計			２０

※　作業中は　内部照明設置

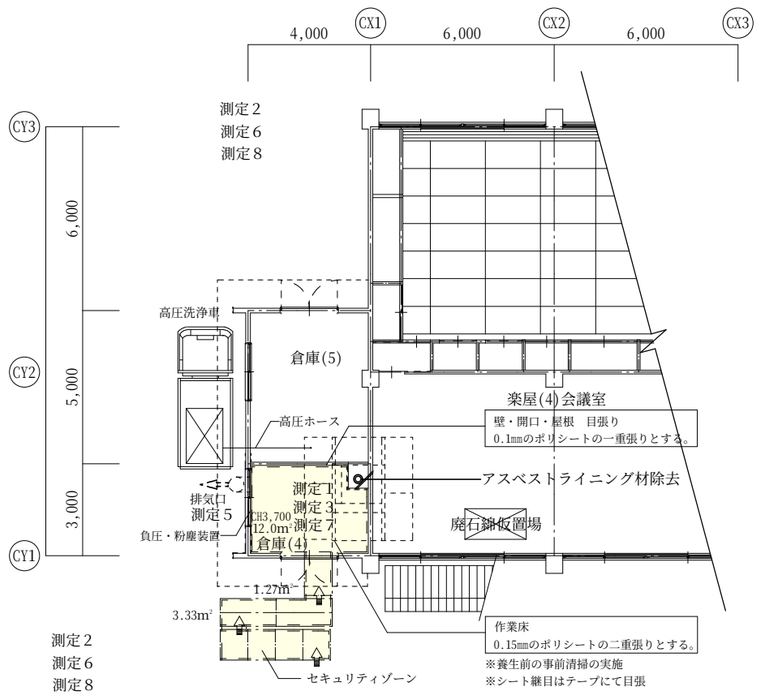
※　作業中は墜落制止用器具の着用・使用の徹底

※　除去範囲の密閉空間は、床はﾎﾟﾘｼｰﾄ0.15㎜二重張、壁は0.10㎜の一重張とする。

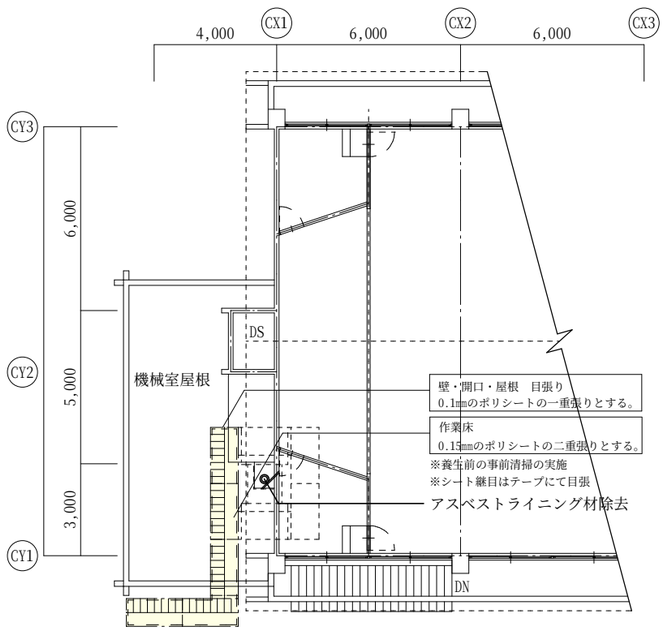
※　ポリシートの重ね幅及び立上り幅は300mm以上とする。

アスベスト除去工事　凡例

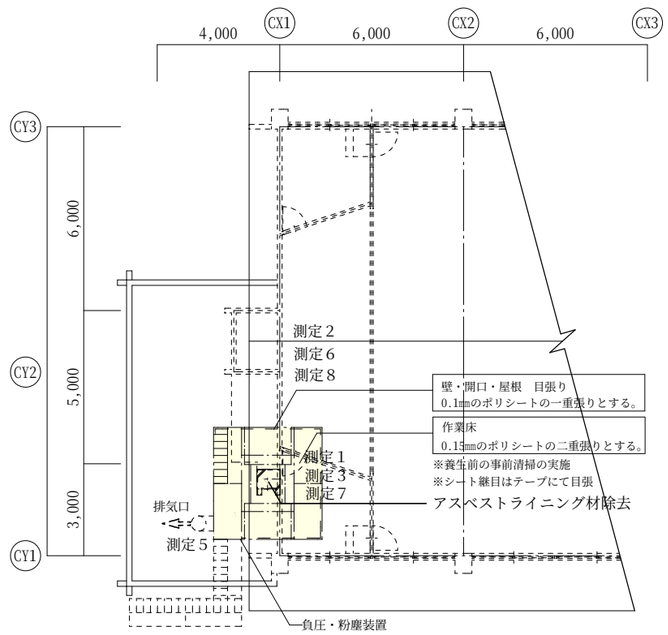
- 負圧・粉塵装置
- セキュリティゾーン
- 廃石綿置場
- 負圧範囲
- 養生
- 掲示板



１階平面図

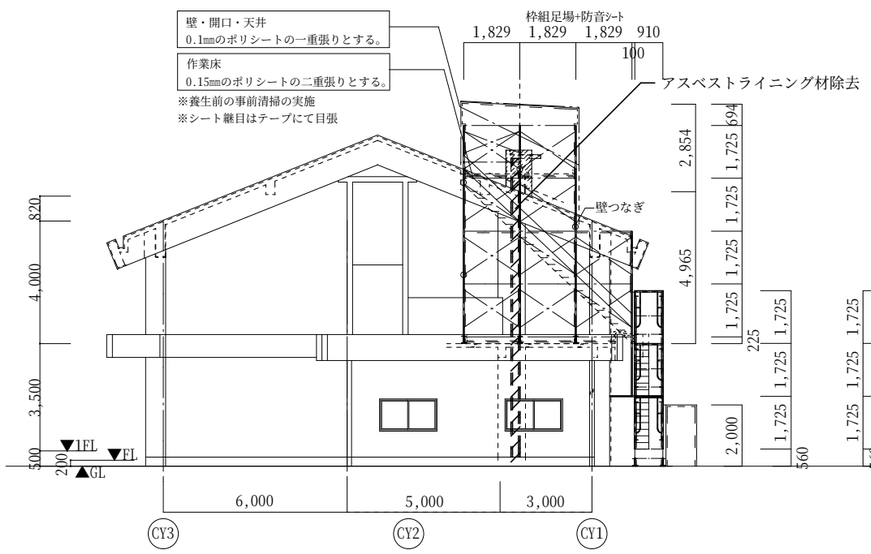


２階平面図

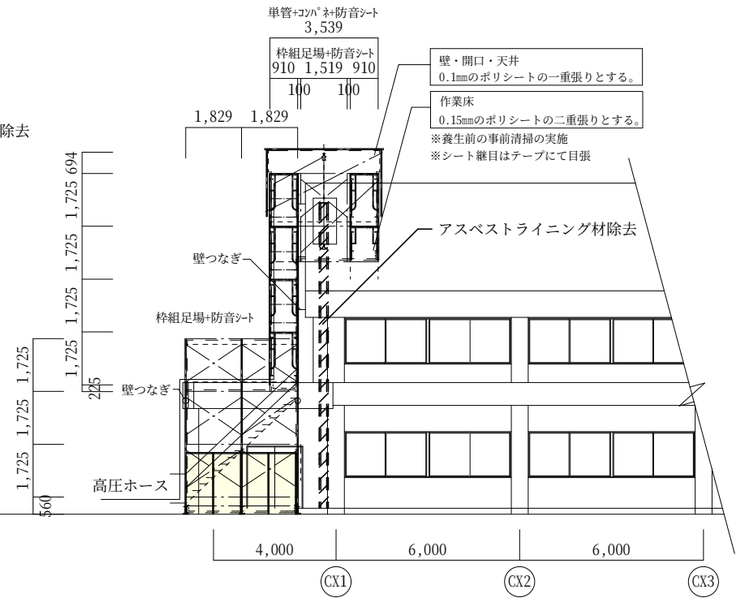


３階平面図

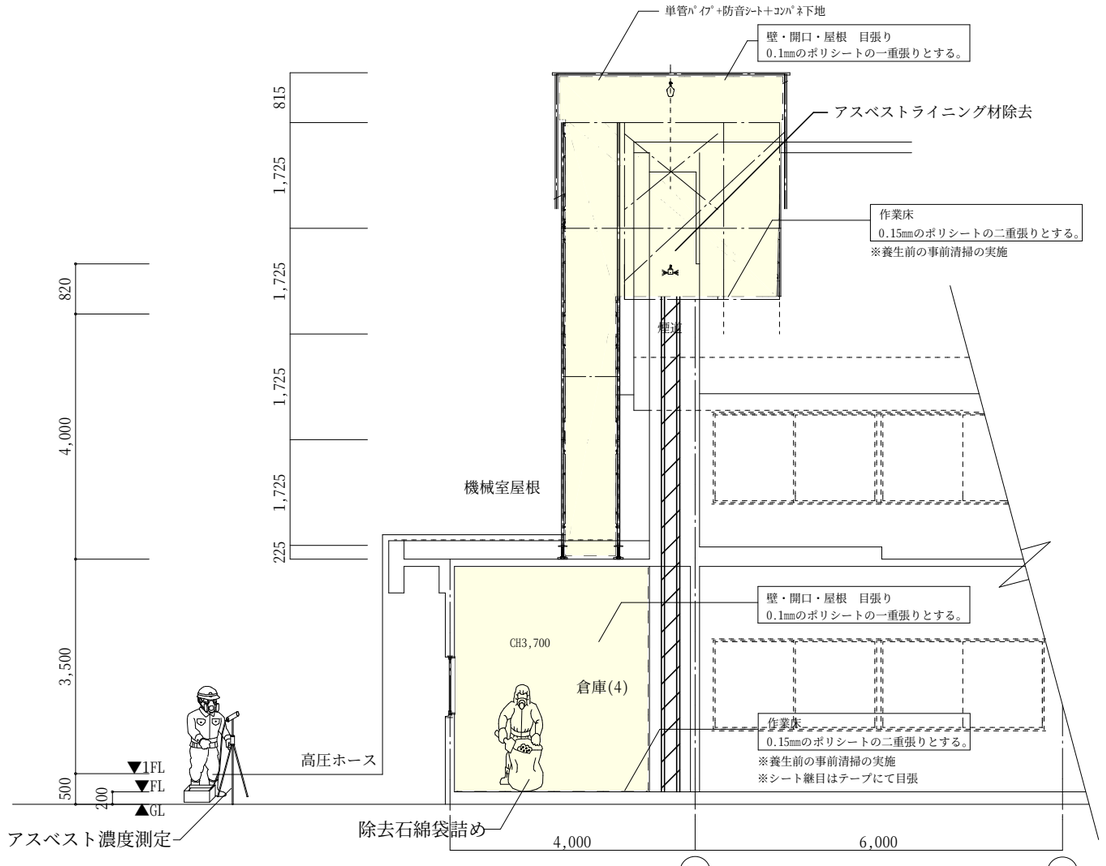
特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１-３-１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９-２５７-１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮尺 S=1:100(A1) S=1:200(A3)	工事名称 図面名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図 (共同利用施設)石綿除去工事（煙突）1	図面番号 A-90



北側立面図



西側立面図



断面図

	体積計算式			
倉庫(4)	12.0m²	CH3,700	＝	44.4m3
足場1	3.33m²	1.725*3+0.56	＝	19.09755m3
足場2	1.27m²	1.725*1+0.56	＝	2.90195m3
足場3	1.829*0.91	1.725*2+0.225	＝	6.11663325m3
足場4	1.829*0.91*2	1.725*4+0.225	＝	23.7175575m3
足場5	0.91	4.965	＝	4.51815m3
足場6	3.539	2.854	＝	10.100306m3
		小計	＝	110.85214675m3
		計算式		110.9m3

負圧範囲容積

作業区域内の容積〔m3〕
上記計算式より　　計　110.9m3

セキュリティゾーン容積〔m3〕
0.9 × 4.0 × 2.0　　＝ 7.2
110.9 ＋ 7.2 ＝ 118.1
119 m3

負圧除塵装置の能力〔m3/min〕×60×負圧除塵装置の台数 / 作業区域内の容積〔m3〕 =排気回数/時間〔hr〕

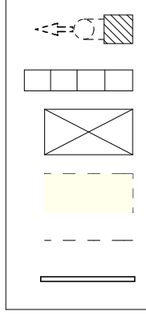
※作業区域内の排気回数が、

１時間におよそ4回以上になるような台数を設置する。

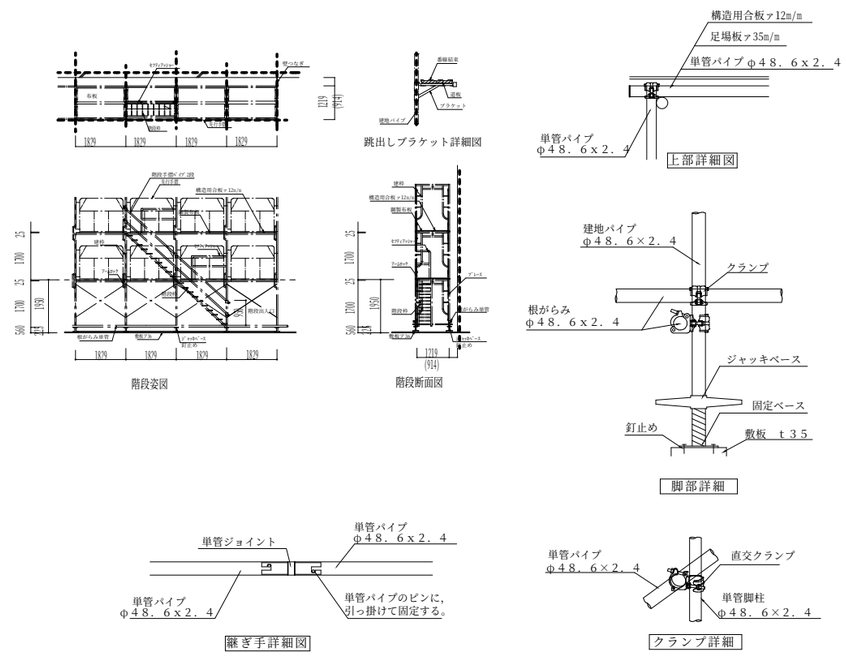
21×60×2 / 119　=21.17　∴21回 ＞ 4回

負圧粉塵装置　〔PREDATOR750〕 21〔m3/min〕　2台

アスベスト除去工事　凡例



仮設足場　標準仕様図



特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7 ・ 2 ・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A-91
			縮尺 S=1:100(A1) S=1:200(A3)	図面名称	(共同利用施設)石綿除去工事（煙突）2	

■外部仕上表

※表中 "(00)" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

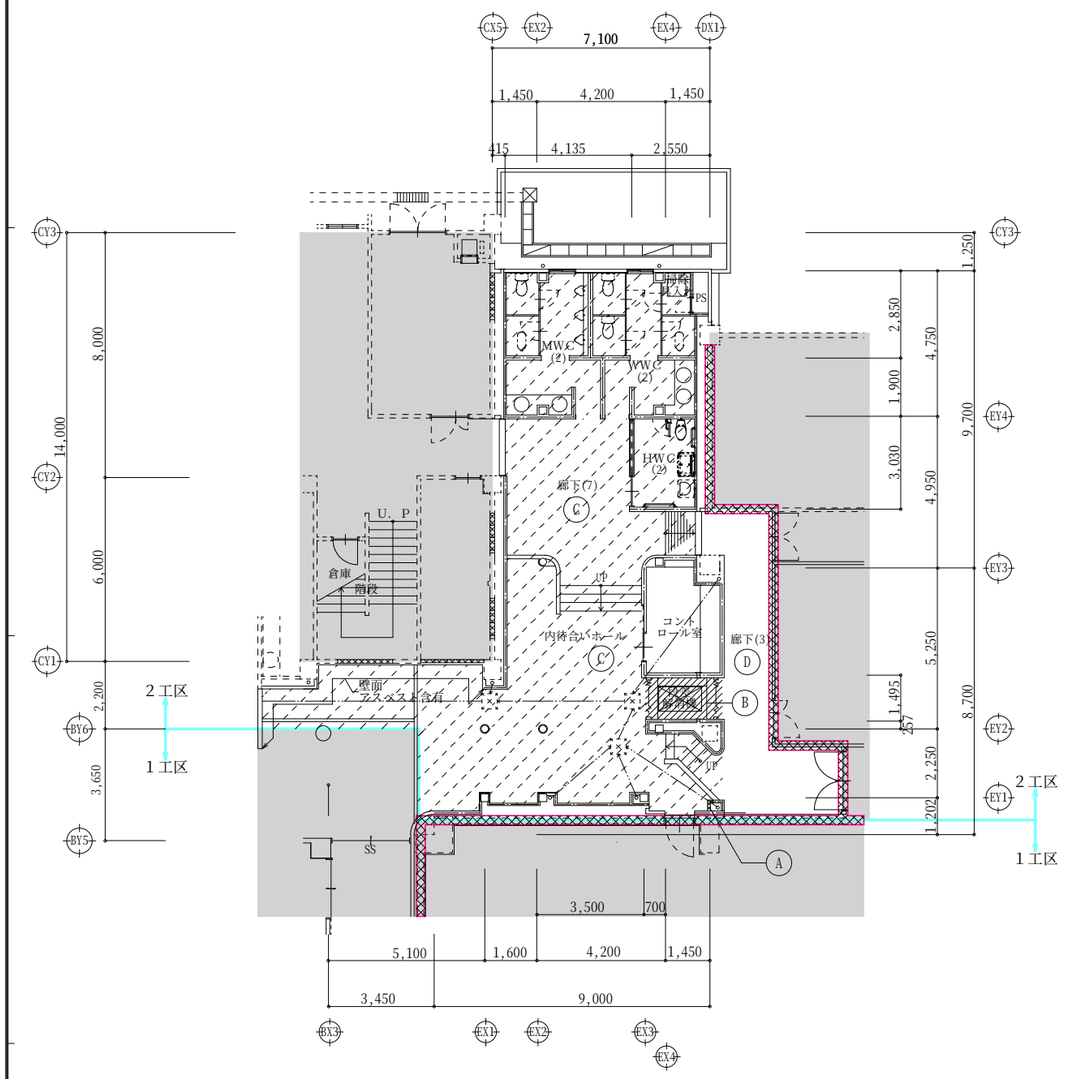
部 位	仕 様 既存	仕 様 改修後	部 位	仕 様 既存	仕 様 改修後
屋根	防水用保護材の上ゴムシート防水(S-1工法) (66) (95)	平場：高圧洗浄、特定化学物質無配合1成分形ウレタン塗膜防水(機械的固定工法) コーナー部押え金物取付、脱気筒設置、改修用ドレン取付	巾木	化粧型枠コンクリート打放し (68)	セメント系塗材(ノロ) 納期部を除去、高圧洗浄後 下地調整塗材(C-2)の上 無機可とう形塗材(シーラー共)仕上
		立上り：既存防水層撤去後下地サンディング、樹脂モルタルノロ引き 特定化学物質無配合1成分形ウレタン密着メッシュ入工法	縦樋	硬質塩ビカラーパイプ100Φ 掴み金物：ステンレス製@1,000内外 (71)	縦樋：ケレン処理の上DP塗装(シリコン樹脂) 掴み金物：既存のまま
外 壁	ALCt=100の上複層塗材 (67)	下地調整(RB種)、高圧洗浄後 可とう形改修塗材E(耐候形1種)さざ波状ローラー仕上げ			
笠木	アルミ笠木W=350 (65)	既存のまま			

■(内待合ホール)内部仕上表(上段:仕上材・下段:下地材)

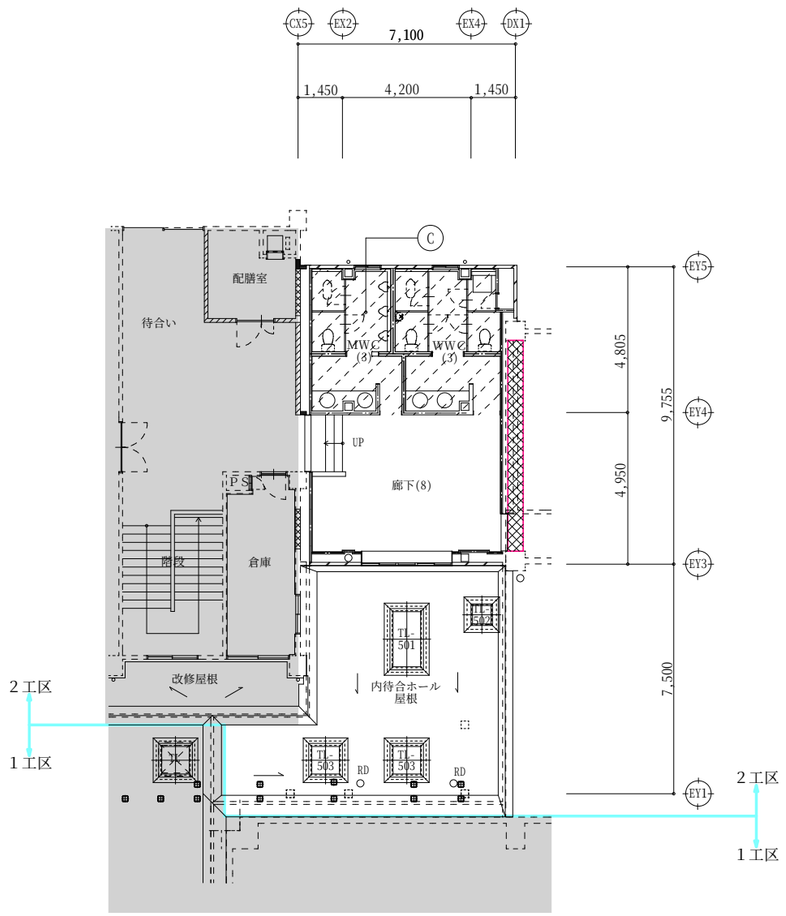
階	室 名	内装制限 排煙方式 免除根拠	床 既存	床 改修後	巾木 既存	巾木 改修後	壁 既存	壁 改修後	天井 既存	天井 改修後	天井高 既存	天井高 改修後	備考	改修後室名
1	内待合ホール	(準) 自 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上塗装 LGS	塗装(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)撤去後下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0張 既存のまま	2,400	2,400	階段段鼻ノンスリップ取替え	内待合ホール
	廊下(7)	(準) 自 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上EP LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0張 既存のまま	2,550	2,550	垂壁(H=500)新設(不燃シート)	廊下(7)
	コントロール室	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上EP LGS	既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,500	2,500		コントロール室
	MWC(2),WWC(2)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5 + FKt=6.0(目透し張)の上EP LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,400	2,400	洋便器、小便器取替、ﾍﾞﾋﾞｰﾁｪｱ設置(設備工事) (MWC)汚垂石、トイレブース一時撤去再取付け	MWC(2) WWC(2)
	HWC(2)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5 + FKt=6.0(目透し張)の上EP LGS	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,400	2,400	オストメイト対応(設備工事)	HWC(2)
	(既存)段差解消機 → (改修後)倉庫(9)	(不) 免除 告へ(2)	コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0 下地調整後 フリーフロアH=100+T1ベニヤt=15	—	ビニル巾木 H=100	(既存壁)GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上EP (既存壁)LGS	(既存壁)下地補修調整後EP-G (新設壁)GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上EP-G (既存壁)既存のまま (新設壁)LGS	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	既存のまま		3,300	※既存段差解消機撤去	倉庫(9)
	前室(5)(新設)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	(既存壁)GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上EP (既存壁)LGS	(既存壁)下地補修調整後EP-G (新設壁)GB-Ht=12.5 + GB-Ft=21の上EP-G(両面) (既存壁)既存のまま (新設壁)LGS	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	仕上撤去後 GR-Rt=9.5+DRt=9.0 撤去後LGS下地新設	2,400	2,400		前室(5)
	廊下(3)	(準) 自 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	※管理棟工事	ビニル巾木 H=100	(D面) 既存撤去後 ビニル巾木 H=100	GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上塗装 LGS	(D面既存壁)下地補修調整後EP-G (D面新設壁)GB-Rt=12.5 + GB-Rt=9.5の上EP-G (D面既存壁)既存のまま (D面新設壁)LGS	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	※管理棟工事	2,400	2,400		廊下(3)
2	廊下(8)	(難) 自 —	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	既存のまま	ビニル巾木 H=100	既存のまま	GB-Rt=9.5(継目処理)の上EP LGS + GB-Rt=12.5	下地補修調整後EP-G	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5 LGS	既存のまま	2,500	2,500		廊下(8)
	MWC(3),WWC(3)	(不) 免除 告へ(2)	長尺塩ビシートt=2.0 コンクリート	長尺塩ビシートt=2.0張 既存仕上げ撤去後下地調整	ビニル巾木 H=100	既存撤去後 ビニル巾木 H=100	FKt=6.0(目透し張)の上EP LGS + GB-Rt=12.5	下地補修調整後EP-G 既存のまま	GB-Dt=9.5 LGS	既存のまま	2,400	2,400	洋便器、小便器取替(設備工事) (MWC)汚垂石、トイレブース一時撤去再取付け	MWC(3) WWC(3)

特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1-3-164号 鹿児島市真砂本町21番7号 TEL(代)099-257-1177	一級建築士登録 第160636号 外村 選	設計年月日 R7・2・ 縮 尺 NO.SCALE	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区） 設計図	図面番号 A-92
				図面名称	(内待合ホール)仕上表	

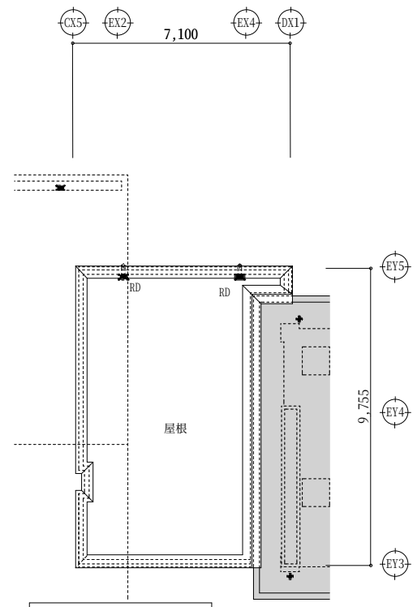
既　存



既存1階平面図　1:100



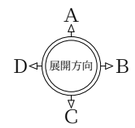
既存2階平面図　1:100



既存R階平面図　1:100

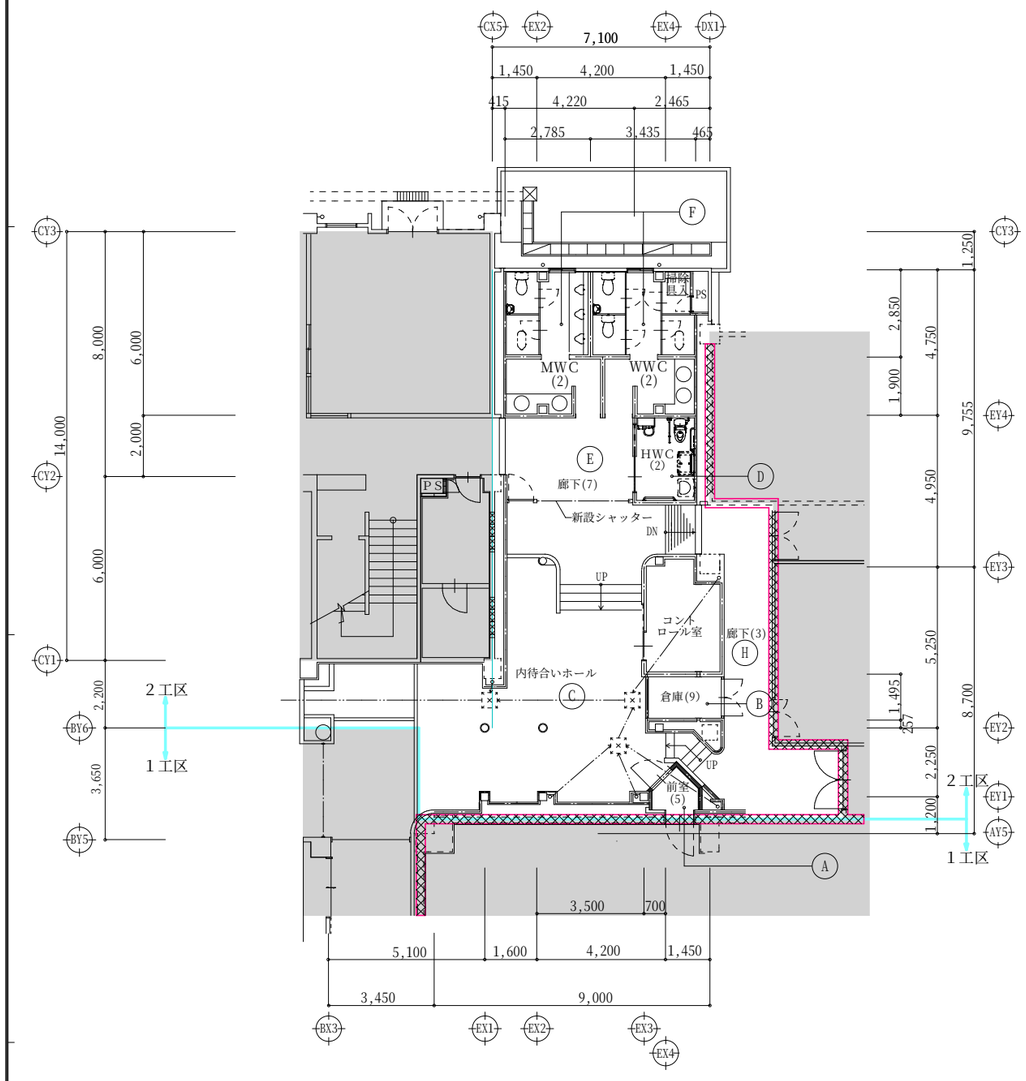
撤去内容	
A	LGS下地壁一部撤去
B	段差解消機を撤去 (クマリフト㈱　2名　220kg)
C	床仕上げ撤去後下地調整・補修 壁下地調整・補修
D	床,天井,壁面(A～C面)→管理棟工事 壁面(D面)→内待合ホール工事

凡例	
	LGS65壁
	CB壁
	RC壁
	防火区画

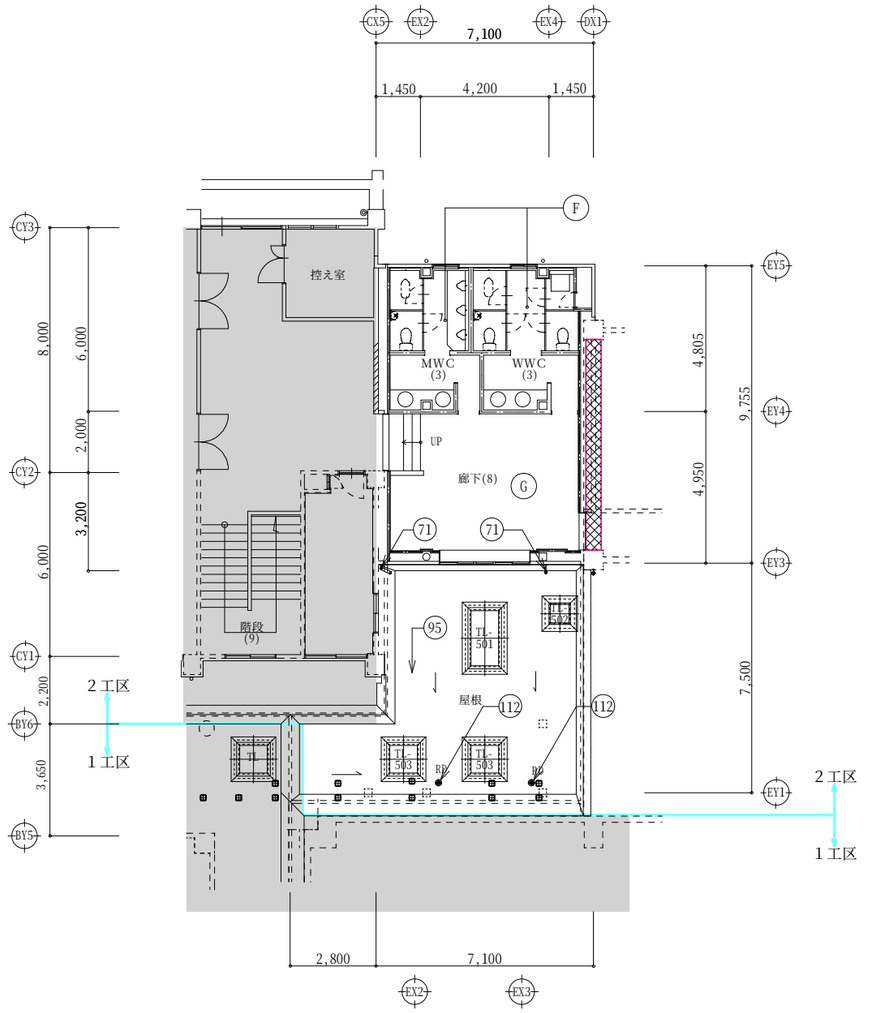


特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A－93
			縮尺 A1　1:100 A3　1:200	図面名称	(内待合ホール)既存1階・屋根平面図	

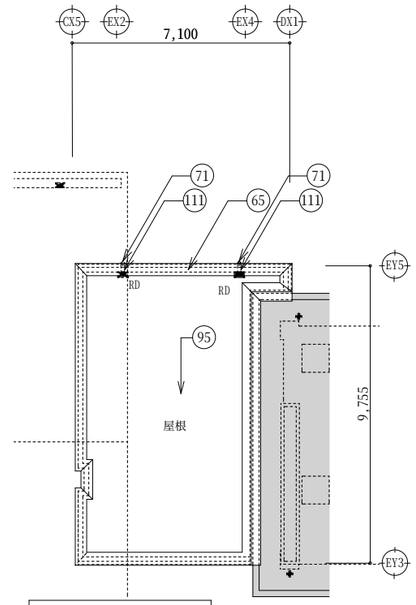
改修後



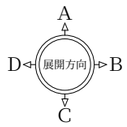
改修後1階平面図　1:100



改修後2階平面図　1:100



改修後R階平面図　1:100



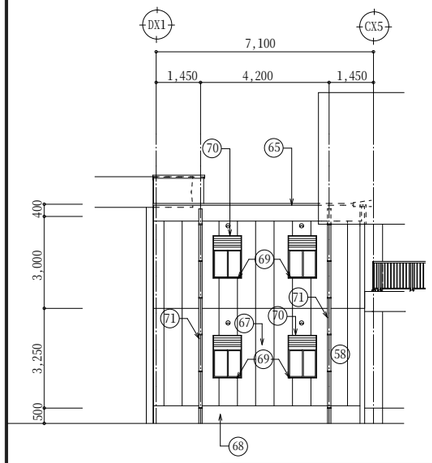
※図中 "00" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

	屋上防水改修内容
65	アルミ笠木W=400(既存のまま)
71	縦樋:ケレンの上DP塗り(シリコン樹脂) 掴み金物:ステンレス製@1,000内外 既存品使用
95	平 場:高圧洗浄 特定化学物質無配合1成分形ウレタン機械的固定工法 立上り:下地調整の上特定化学物質無配合1成分形ウレタン密着メッシュ入り工法
111	改修用横引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共
112	改修用縦引き型ドレン100Φ(90Φ)鉛製ドレンキャップ(アルミ製)共

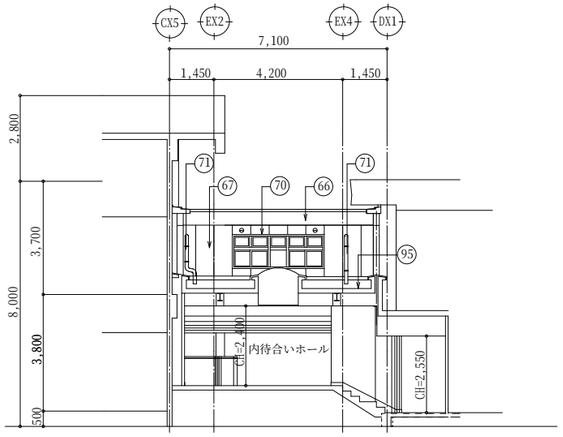
改修内容	
A	前室を設置
B	倉庫へ変更
C	内装を一部張替え
D	床仕上げ張替え　壁仕上げ塗替え オストメイト対応のWCとする(設備工事)
E	内装を一部張替え、シャッターを設置
F	床仕上げ張替え　壁仕上塗替え 洋便器、小便器を取り替え(設備工事)
G	壁仕上げ塗替え
H	D面のみ壁仕上げ塗替え

凡例	
	LGS65壁
	CB壁
	RC壁
	防火区画

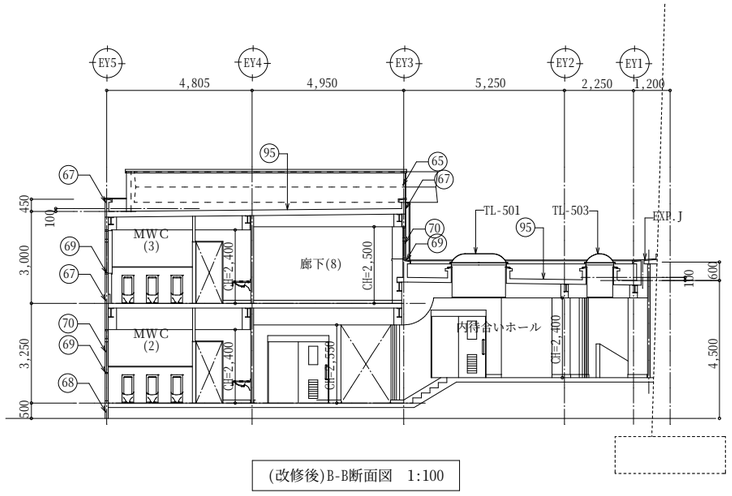
特記事項	堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第１－３－１６４号 鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	一級建築士登録　第１６０６３６号 外村　選	設計年月日 R7・2・ 縮　尺 A1 1:100 A3 1:200	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号 A−94
				図面名称	(内待合ホール)改修後1階・屋根平面図	



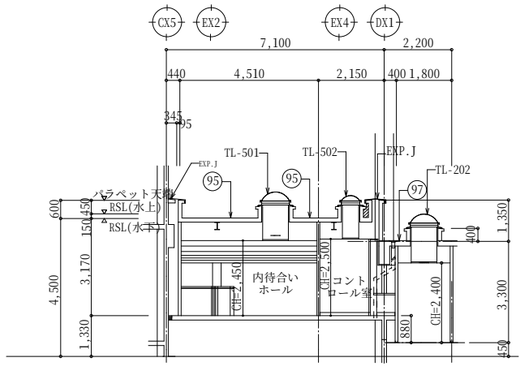
(改修後)東側立面図　1:100



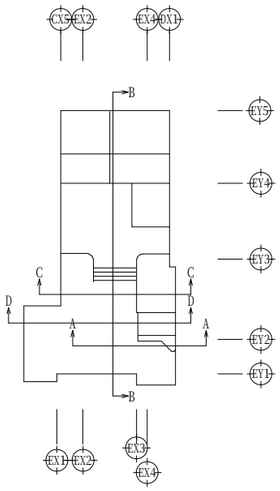
(既存・改修後)A-A断面図・北側立面図　1:100



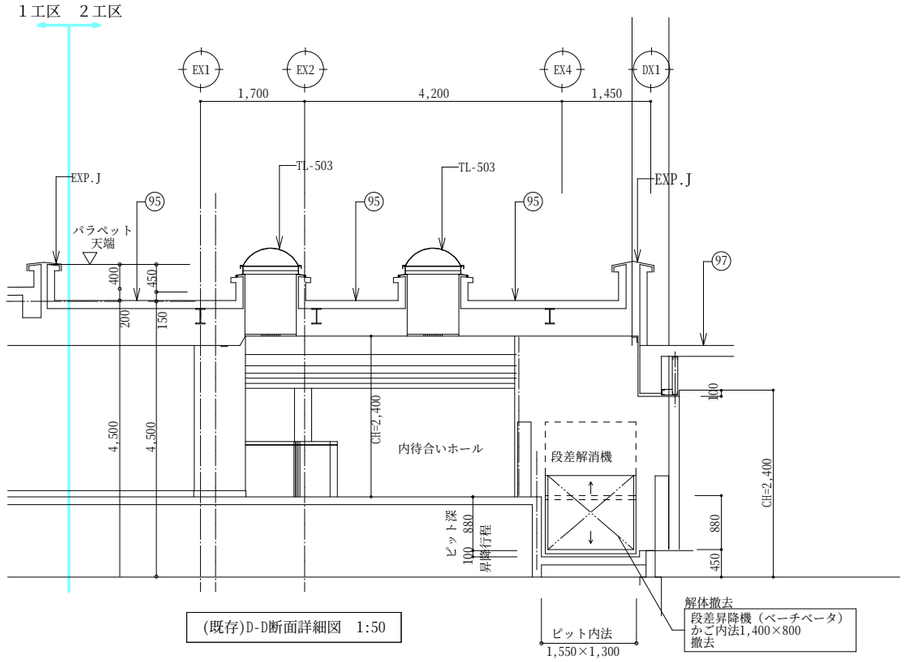
(改修後)B-B断面図　1:100



(改修後)C-C断面図　1:100

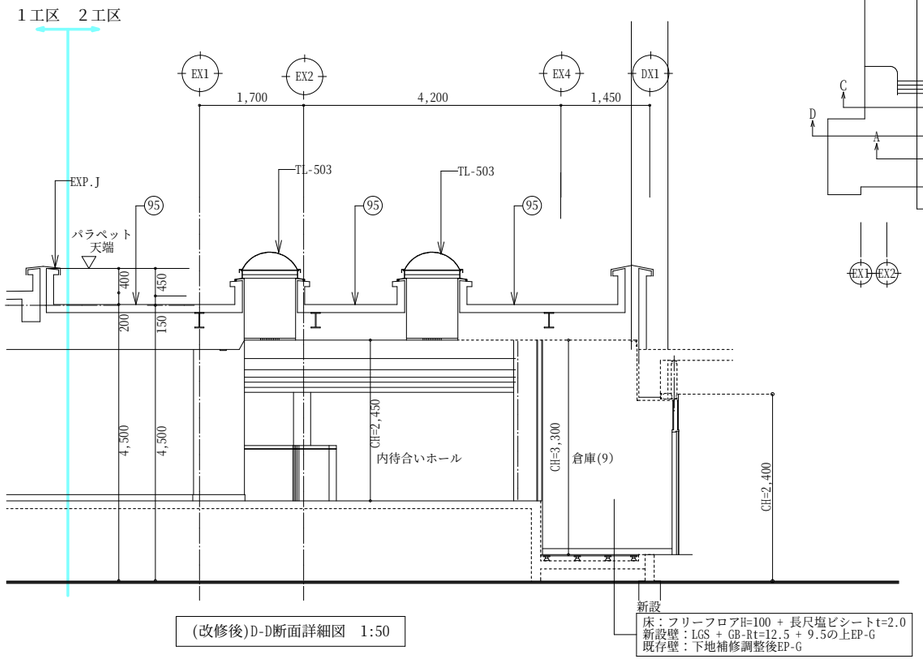


1工区　2工区



(既存)D-D断面詳細図　1:50

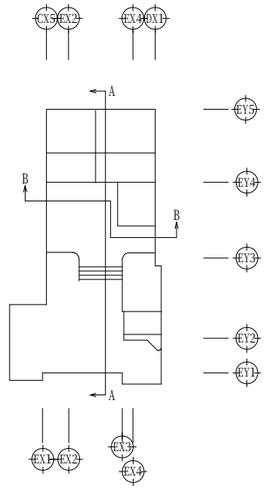
1工区　2工区

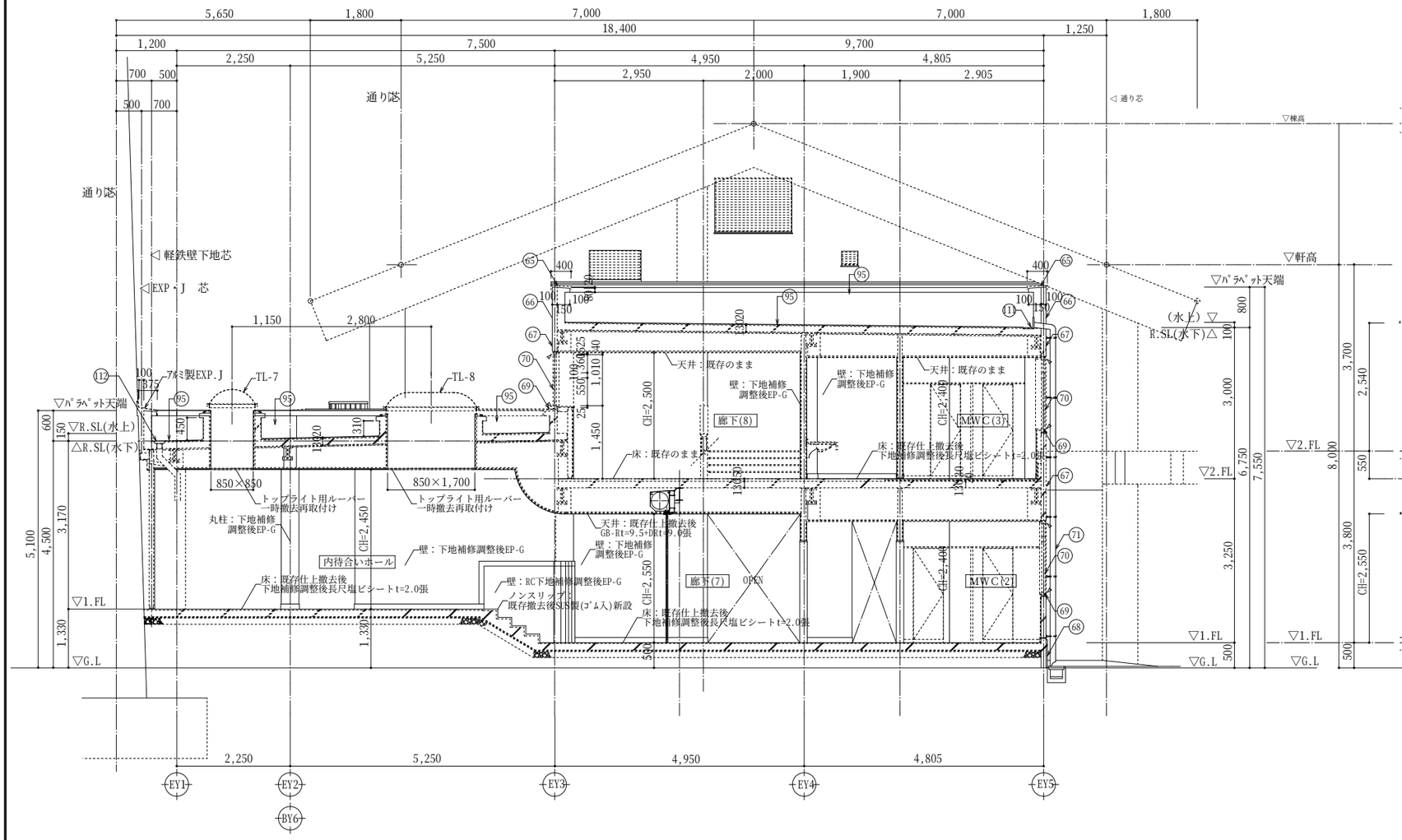


(改修後)D-D断面詳細図　1:50

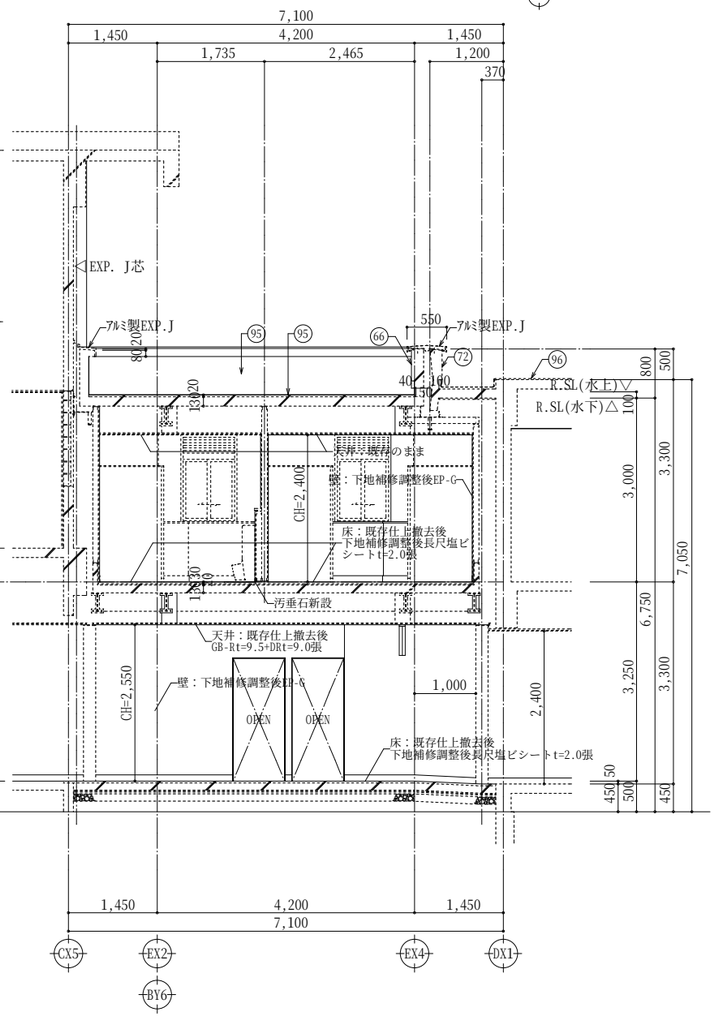
※図中 "㊿" は、A-22,23(共通)工事範囲仕上表を参照の事。

着工	・　・		堂園設計株式会社 一級建築士事務所 県知事登録第1－3－164号 鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177	一級建築士登録　第160636号 外村　選	設計年月日 R7・2・	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号 A－95
竣工	・　・				縮尺 1：100,50(A1) 1：200,100(A3)	図面名称	(内待合ホール)立面図・断面図	
監理								
施工								





A-A部分矩計図　1:50

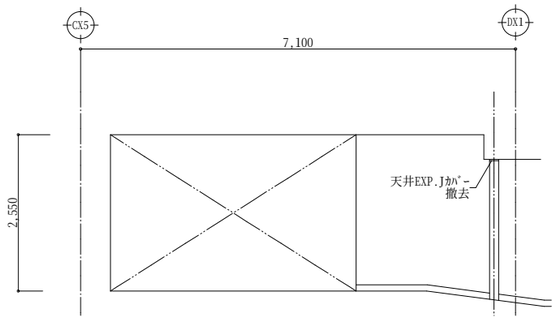


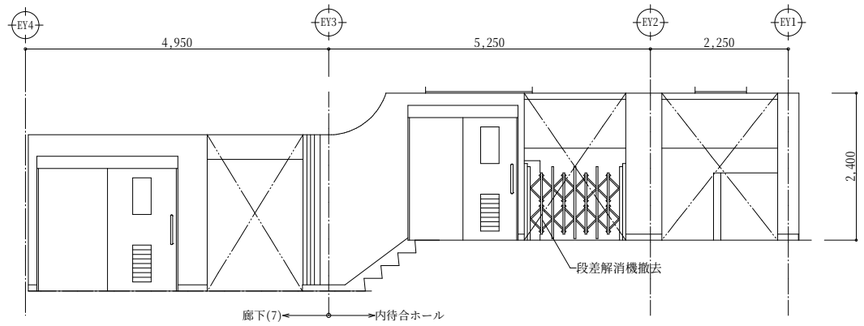
B-B断面詳細図　1:50

着工	・　・		堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・　・		一級建築士事務所	外村　選	R7・2・			A−96
監理			県知事登録第１−３−１６４号		縮尺	図面名称	(内待合ホール)矩計図・断面詳細図	
施工			鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９−２５７−１１７７		1：50(A1) 1：100(A3)			

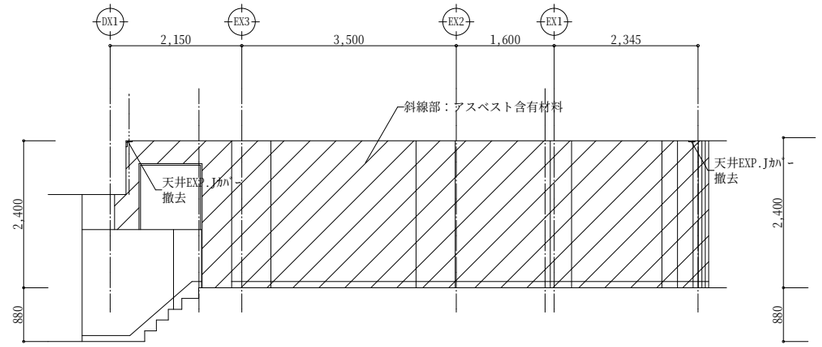
廊下(7)		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5
	改修後	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	
	改修後	天井EXP.Jｶﾊﾞｰ撤去の上新設

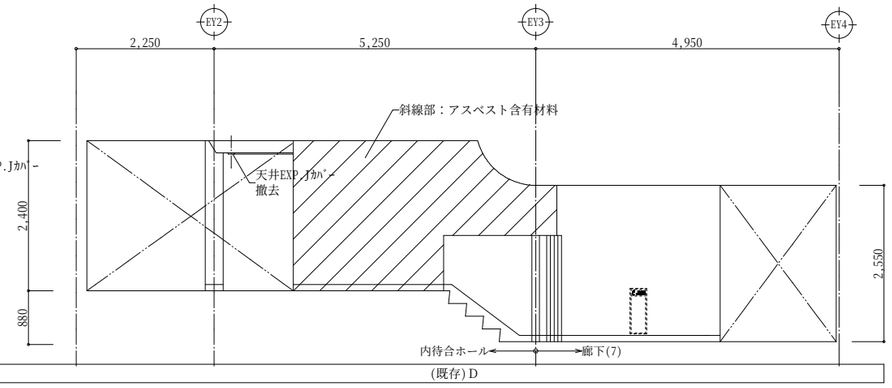
内待合ホール		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	塗装　※撤去(ｱｽﾍﾞｽﾄ含有)後下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DRt=9.5
	改修後	仕上撤去後GB-Rt=9.5 + DRt=9.0
備考	既存	
	改修後	天井EXP.Jｶﾊﾞｰ撤去の上新設



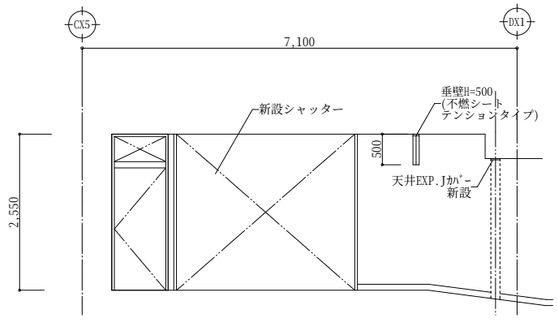


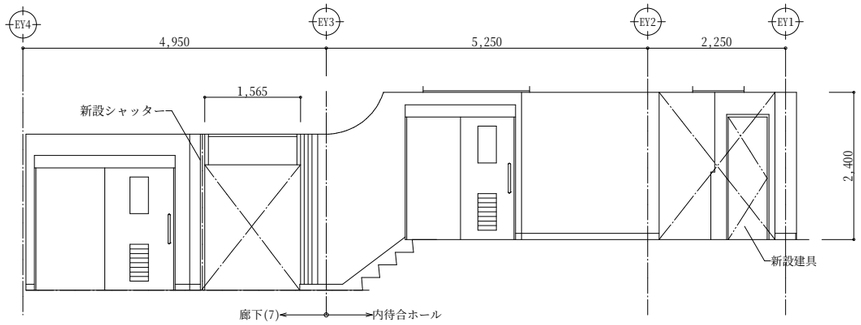
廊下(7)内待合ホール　(既存)A　(既存)B



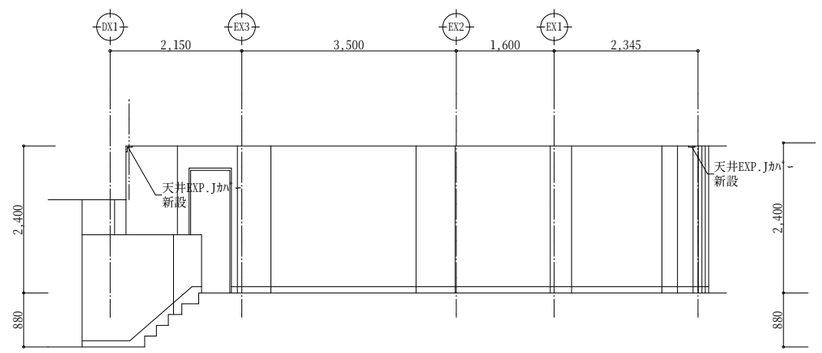


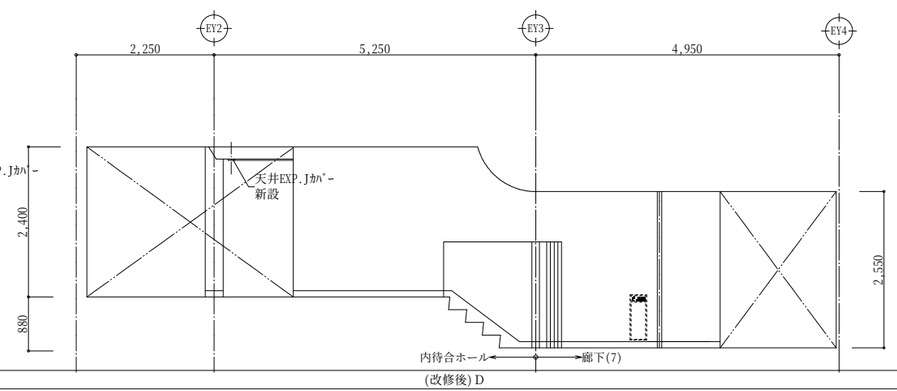
内待合ホール　(既存)C　(既存)D





廊下(7)内待合ホール　(改修後)A　(改修後)B





内待合ホール　(改修後)C　(改修後)D

備考

■既存アスベスト含有塗装の撤去について

□下記法令等に基づき施工の事。

・公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・建築改修工事監理指針　令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・建築物解体工事共通仕様書・同解説　令和4年版(国土交通省大臣官房官庁営繕部監修)
・石綿含有廃棄物等処理マニュアル第3版(環境省)
・建築物の解体等に係る石綿ばく露防止及び石綿飛散漏えい防止対策マニュアル
　令和3年3月(令和6年2月改正)
　(厚生労働省労働基準局安全衛生部化学物質対策課、環境省水・大気環境局大気環境課)
・建築物の改修・解体時における石綿含有建築用仕上塗材からの石綿粉じん飛散防止処理技術指針
　(国立研究開発法人建築研究所、日本建築仕上材工業会)
・［新石綿技術指針対応版］石綿粉じんへのばく露防止マニュアル（建設業労働災害防止協会）
・［令和2年石綿障害予防規則改正対応版］建築物等の解体・改修工事等における石綿障害の予防
　（建設業労働災害防止協会）

□作業範囲

・1階内待合ホール(斜線部)　壁面塗材

※1：レベル3の石綿含有建材相当の措置(集塵機能付ディスクグラインダー工法)を講じ、
　　適切に処理すること。

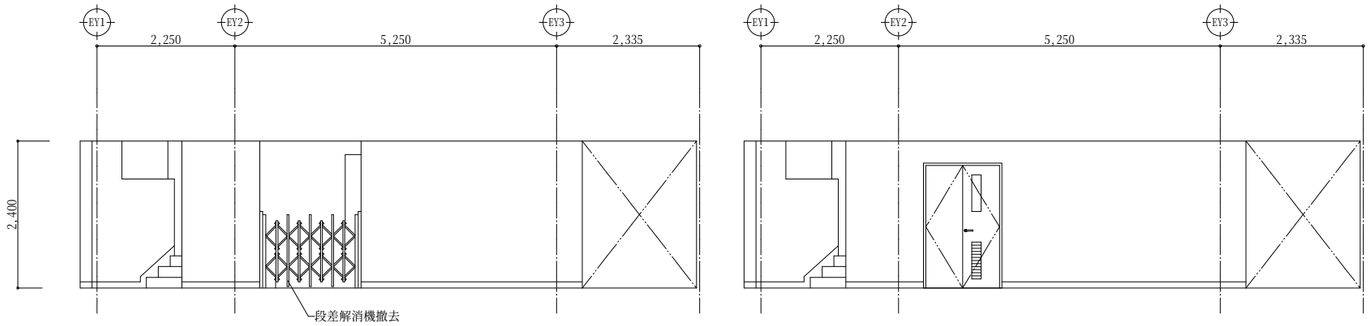
※2：内待合ホール　壁面については、施工前にアスベスト定性分析(2ヶ所)を行い、
　　アスベストが含有するか否かの判定を行うこと。

着工	・　・	
竣工	・　・	
監理		
施工		

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第1－3－164号
鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177
一級建築士登録　第160636号
外村　選

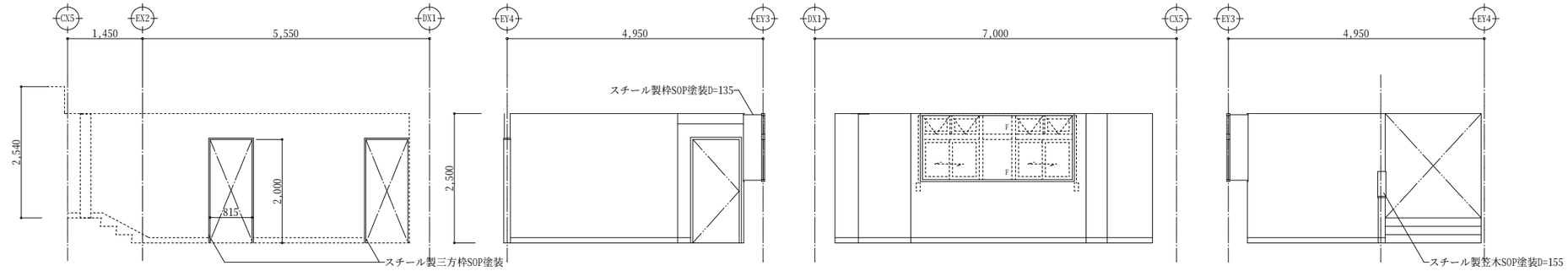
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-97
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(内待合ホール)展開図(1)	

廊下(3)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DR t=9.0　※仕上材撤去
	改修後	GB-Rt=9.5 + DR t=9.0
備考	既存	
	改修後	※A～C面は管理棟工事



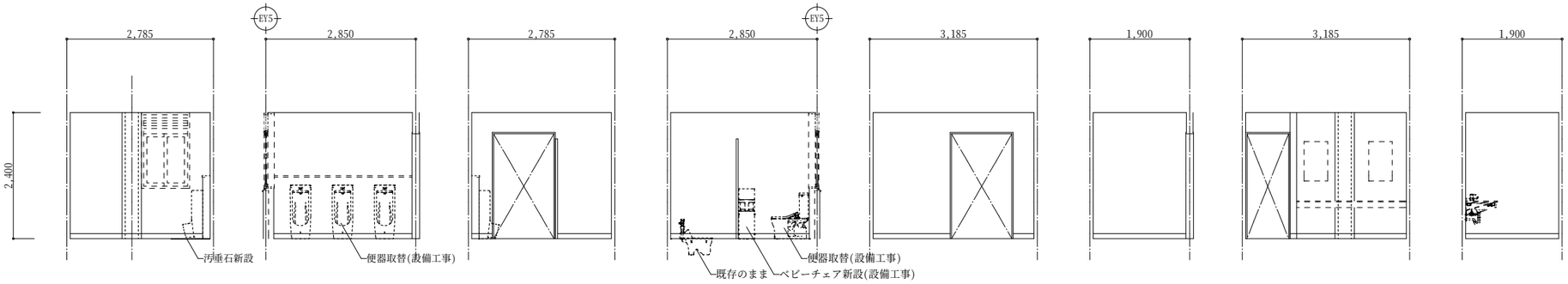
廊下(3)	(既存) D	(改修後) D

廊下(8)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0
	改修後	既存のまま
巾木	既存	ビニル巾木H=100
	改修後	既存のまま
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Rt=9.5 + DR t=9.0
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	

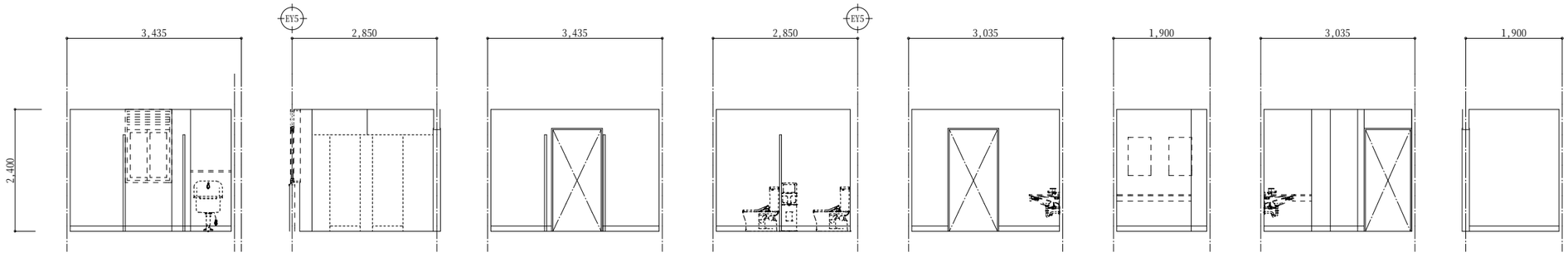


廊下(8)	(改修後) A	(改修後) B	(改修後) C	(改修後) D

MWC(2)　WWC(2)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	トイレブース一時撤去再取付け



	MWC(2)	(改修後) A	(改修後) B	(改修後) C	(改修後) D	MWC(2)洗面	(改修後) A	(改修後) B	(改修後) C	(改修後) D



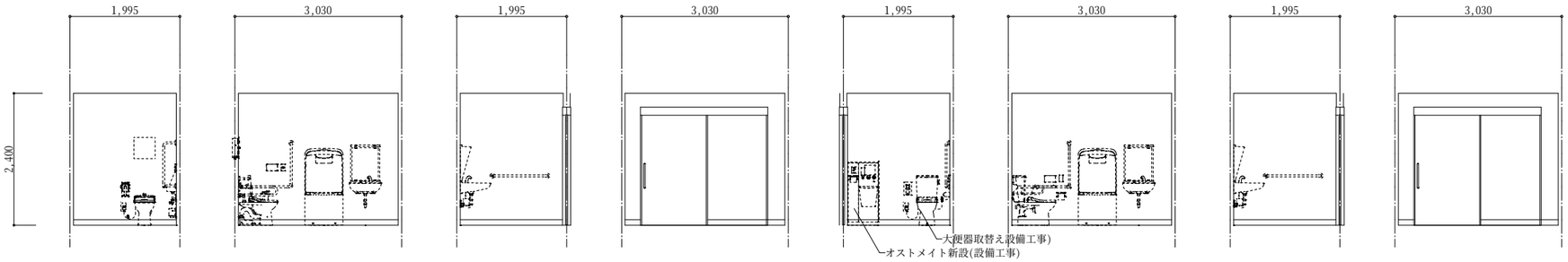
WWC(2)	(改修後) A	(改修後) B	(改修後) C	(改修後) D	WWC(2)洗面	(改修後) A	(改修後) B	(改修後) C	(改修後) D

着工	・　・		
竣工	・　・		
監理			
施工			

堂園設計株式会社
一級建築士事務所
県知事登録第1－3－164号
鹿児島市真砂本町21番7号　TEL（代）099-257-1177
一級建築士登録　第160636号
外村　選

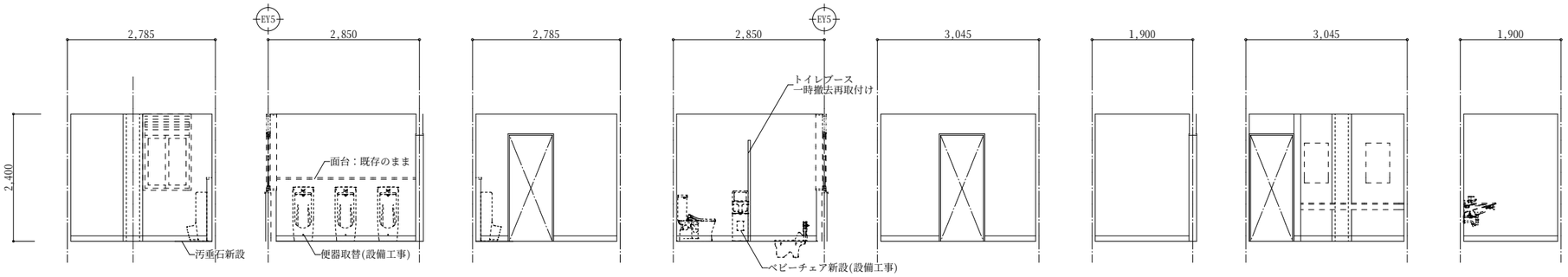
設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築2工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-98
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(内待合ホール)展開図(2)	

HWC		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	開閉ボタン位置移動

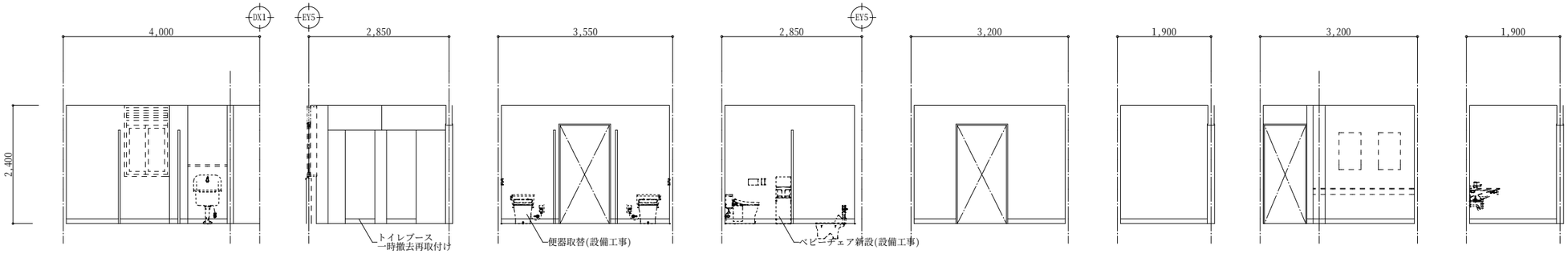


	HWC(2)	(既存)A	(既存)B	(既存)C	(既存)D	(改修後)A	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D

MWC(3)　WWC(3)【既存】【改修後】仕上表		
床	既存	長尺塩ビシートt=2.0　※撤去下地調整
	改修後	長尺塩ビシートt=2.0
巾木	既存	ビニル巾木H=100　※撤去下地調整
	改修後	ビニル巾木H=100
壁	既存	EP塗装　※下地補修
	改修後	EP-G塗替
天井	既存	GB-Dt=9.5
	改修後	既存のまま
備考	既存	
	改修後	トイレブース一時撤去再取付け



	MWC(3)	(改修後)A	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D	MWC(3)洗面	(改修後)A	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D

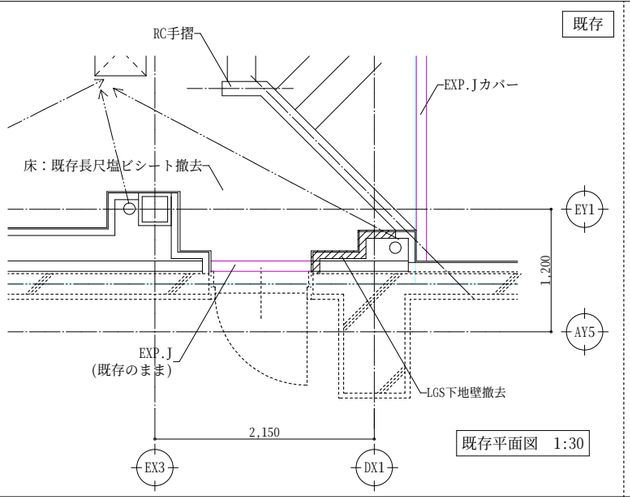


WWC(2)	(改修後)A	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D	WWC(3)洗面	(改修後)A	(改修後)B	(改修後)C	(改修後)D

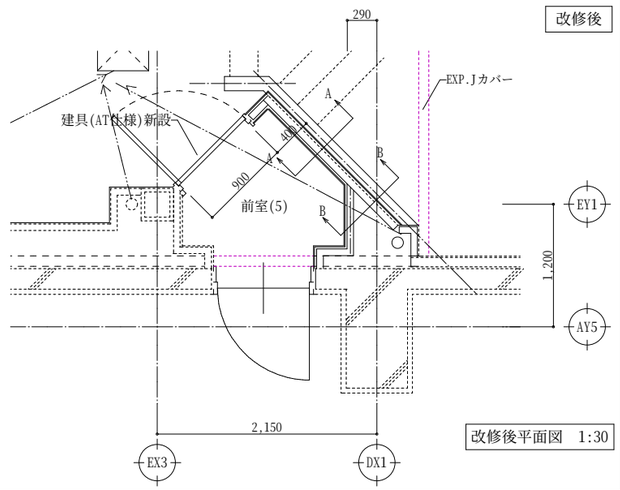
着工	・　・	堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号　外村　選
竣工	・　・	一級建築士事務所　県知事登録第１－３－１６４号	
監理		鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７	
施工			

設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
R7・2・			A-99
縮尺 1：50(A1) 1：100(A3)	図面名称	(内待合ホール)展開図(3)	

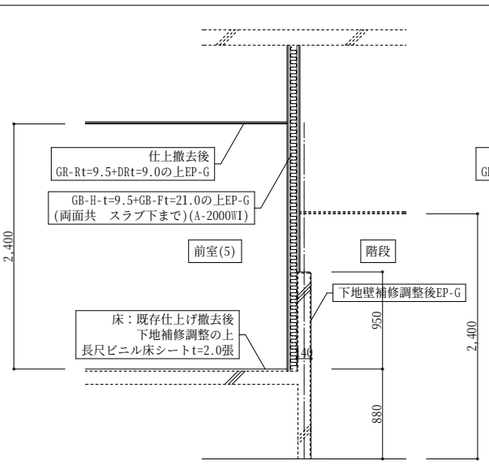
前室(5)廻り詳細図　S=1:30



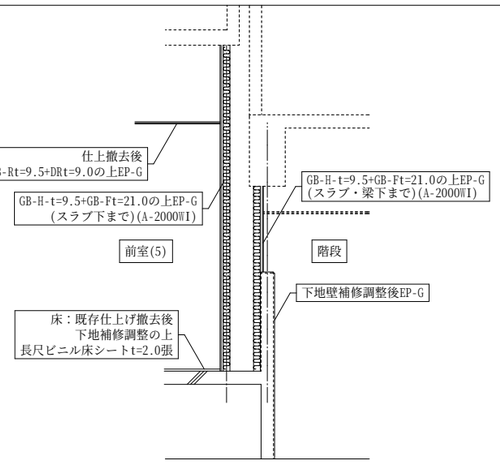
既存平面図　1:30



改修後平面図　1:30

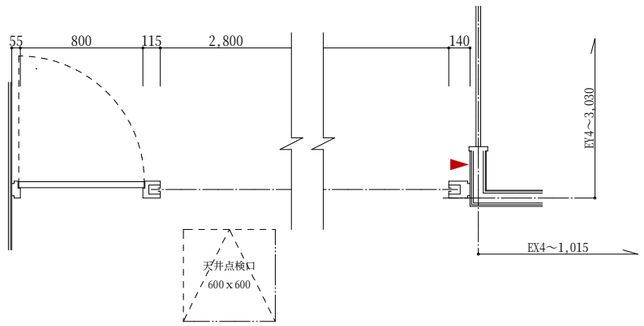


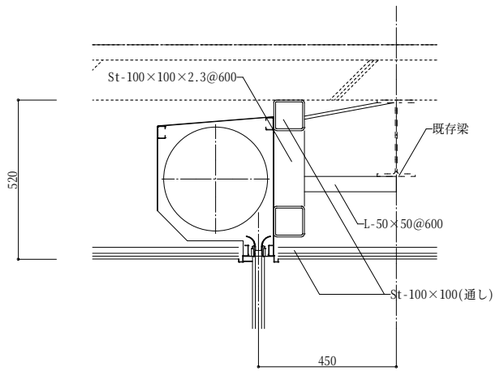
A-A断面図図　1:30



B-B断面図　1:30

シャッター廻り詳細図　S=1:10,1:20





シャッター廻り平面図　1:20

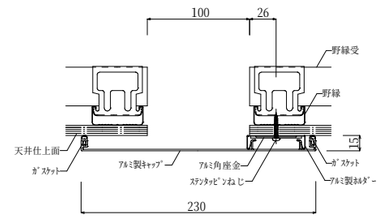
※▲　開閉ボタンは一時撤去移動再取付け

シャッター断面図　1:10

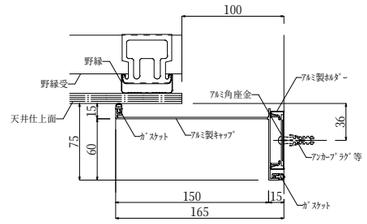
EXP.Jカバー　S=1:3

アルミ製ｸﾘｱﾌﾗﾝｽ 100
落下防止ワイヤー付

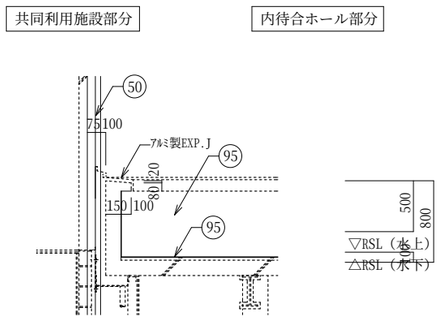
天井-天井



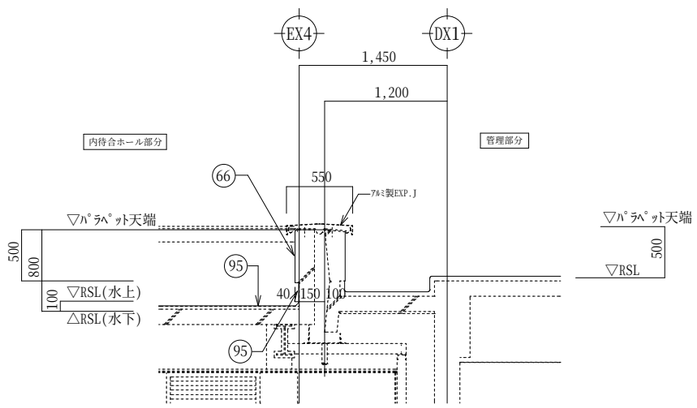
天井-壁



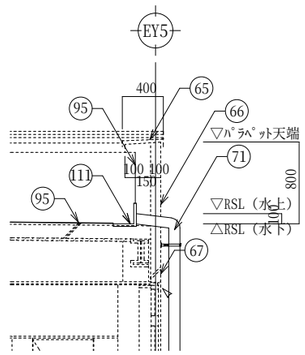
内待合ホール部分～共同利用施設部分外壁取合部防水範囲詳細図　S=1:30



内待合ホール部分～管理部分屋根取合部防水範囲詳細図　S=1:30



内待合ホール部分パラペット廻り防水範囲詳細図　S=1:30



着工	・　・		堂園設計株式会社	一級建築士登録　第１６０６３６号	設計年月日	工事名称	R7霧島市民会館大規模改修工事（建築２工区）　設計図	図面番号
竣工	・　・		一級建築士事務所	外村　選	R7・2・			A-100
監理			県知事登録第１－３－１６４号		縮尺	図面名称	(内待合ホール)部分詳細図	
施工			鹿児島市真砂本町２１番７号　ＴＥＬ（代）０９９－２５７－１１７７		図示			